

可児市
市民意識アンケート調査
調査結果報告書

平成 29 年 9 月

可 児 市

目 次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収状況	1
6	調査結果の表示方法	1
II	調査結果	2
1	全世代	2
(1)	回答者属性	2
(2)	可児市への居住理由について	11
(3)	施策の重要度と満足度について	18
(4)	可児市のイメージについて	67
(5)	子育て環境について	87
(6)	運動の推進について	91
2	若年層	95
(1)	回答者属性	95
(2)	可児市への居住理由について	102
(3)	施策の重要度と満足度について	108
(4)	可児市のイメージについて	154
(5)	子育て環境について	173
(6)	運動の推進について	178

I 調査の概要

1 調査の目的

平成 27 年 10 月に策定した「可児市総合戦略」の施策の評価のための指標とするとともに、市政に対しての市民の皆さんの考えをお聞かせいただくために実施するものです。

2 調査対象

可児市在住の 16 歳以上を無作為抽出

3 調査期間

平成 29 年 4 月 28 日から平成 29 年 5 月 12 日

4 調査方法

郵送による配布・回収

5 回収状況

	配 布 数	有効回答数	有効回答率
①16 歳以上の市民	2,000 通	792 通	39.6%
② ①以外の 16 歳～ 39 歳までの市民	1,000 通	231 通	23.1%

6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、内訳の合計が 100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が 100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを  で網かけをしています。（無回答を除く）

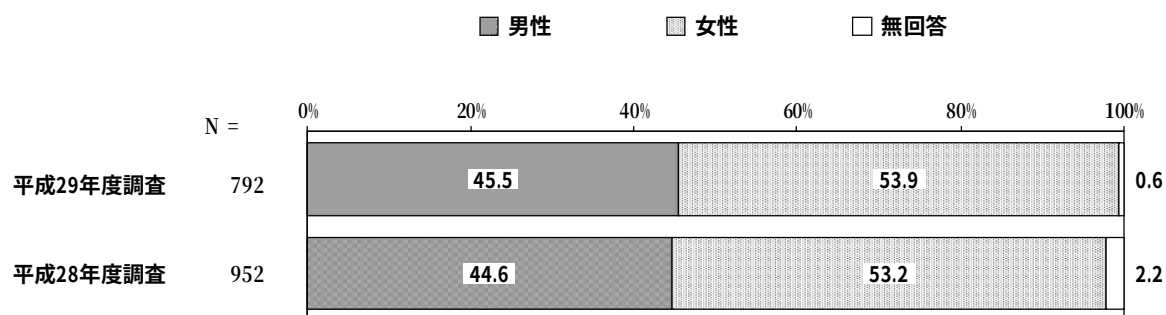
II 調査結果

1 全世代

(1) 回答者属性

問1 あなたの性別はどちらですか。(○は1つだけ)

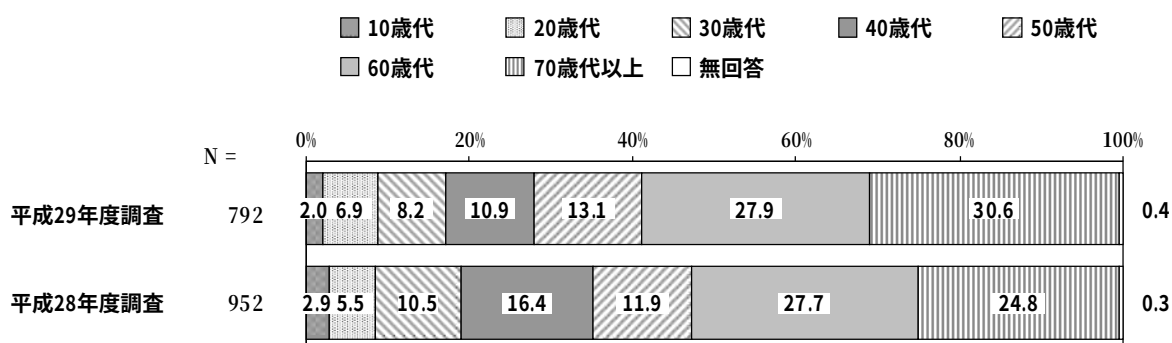
「男性」の割合が45.5%、「女性」の割合が53.9%となっています。
平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問2 あなたの年齢は、次のうちどれですか。(○は1つだけ)

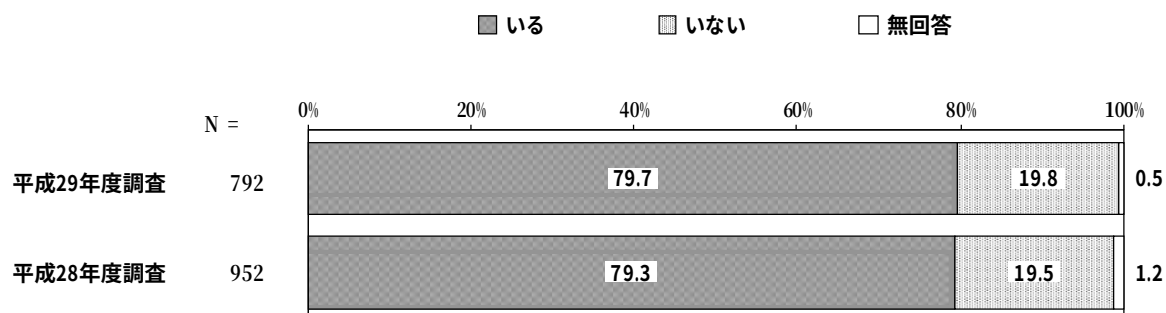
「70歳代以上」の割合が30.6%と最も高く、次いで「60歳代」の割合が27.9%、「50歳代」の割合が13.1%となっています。

平成28年度調査と比較すると、「70歳代以上」の割合が増加しています。一方、「40歳代」の割合が減少しています。



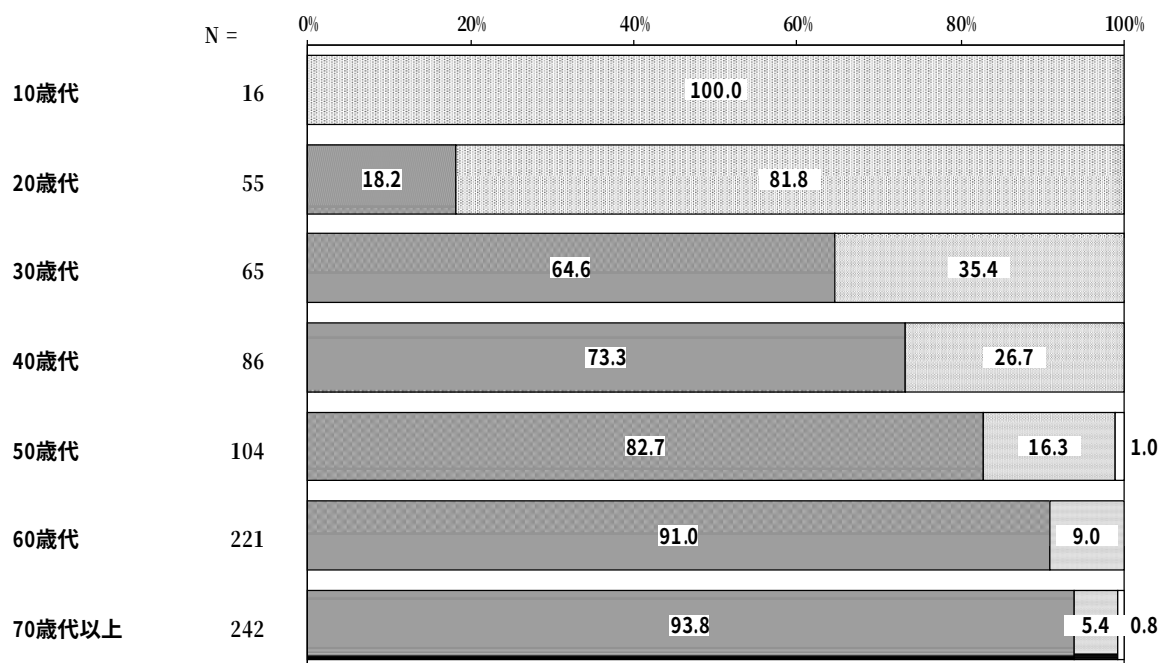
問3 あなたには、子どもはいますか。(いる場合は子どもの世代も選択して下さい。)

「いる」の割合が79.7%、「いない」の割合が19.8%となっています。
平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【年代別】

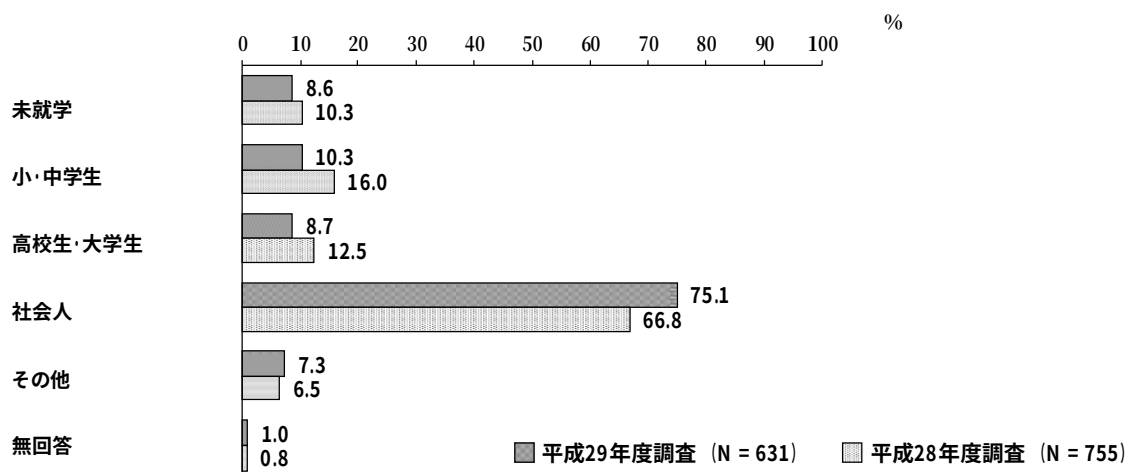
年代別でみると、年代が高くなるにつれ「いる」の割合が高くなる傾向がみられ、60歳代以上で9割を超えています。



子どもの世代

「社会人」の割合が75.1%と最も高く、次いで「小・中学生」の割合が10.3%、「高校生・大学生」の割合が8.7%となっています。

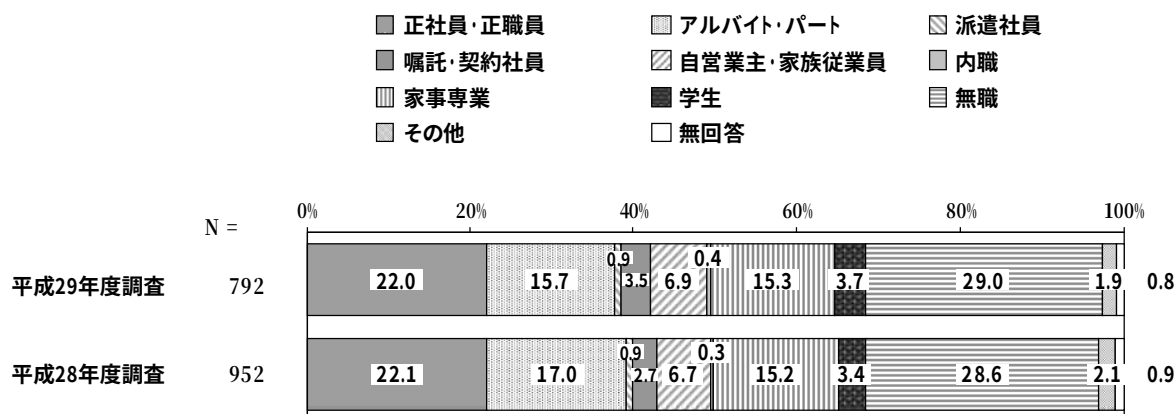
平成28年度調査と比較すると、「社会人」の割合が増加しています。一方、「小・中学生」の割合が減少しています。



問4 あなたの職業は、次のうちどれですか。(○は1つだけ)

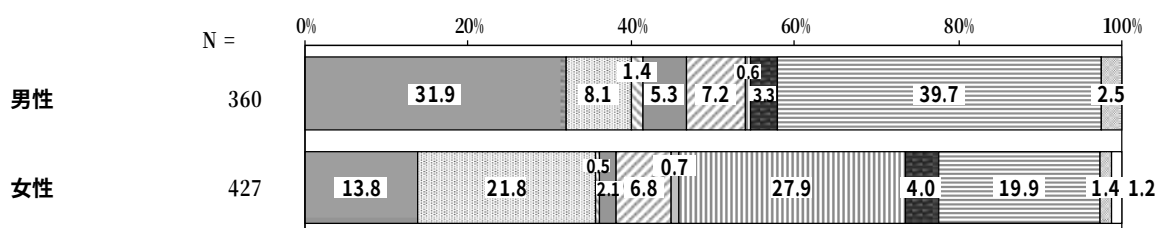
「無職」の割合が29.0%と最も高く、次いで「正社員・正職員」の割合が22.0%、「アルバイト・パート」の割合が15.7%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



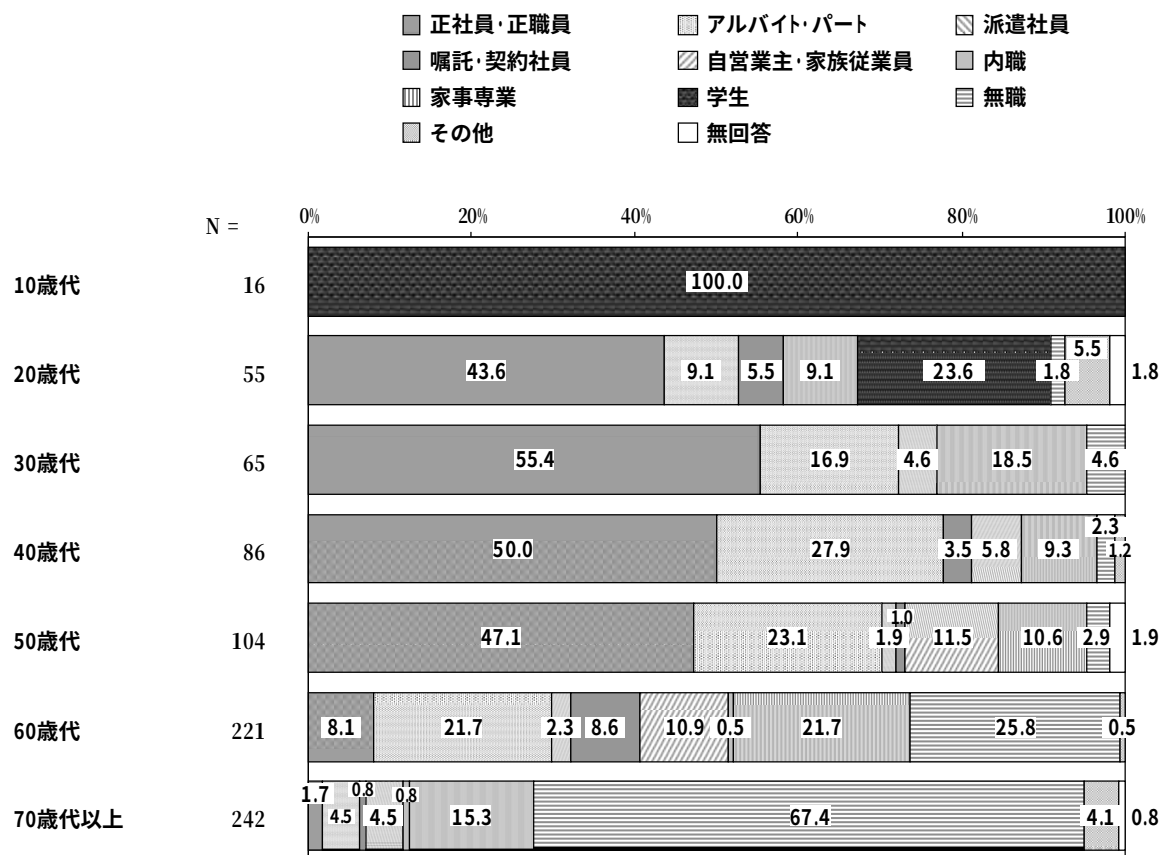
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「正社員・正職員」「無職」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「アルバイト・パート」「家事専業」の割合が高くなっています。



【年代別】

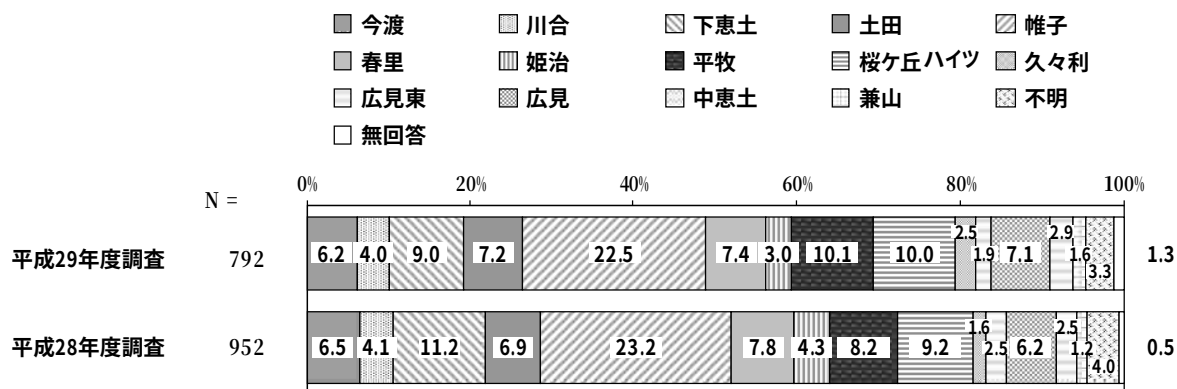
年代別でみると、他の年代に比べ、70歳代以上で「無職」の割合が高く、6割台半ばとなっています。また、30歳代で「正社員・正職員」の割合が、40歳代、50歳代、60歳代で「アルバイト・パート」の割合が高くなっています。



問5 あなたはどちらにお住まいですか。（自治連合会単位）

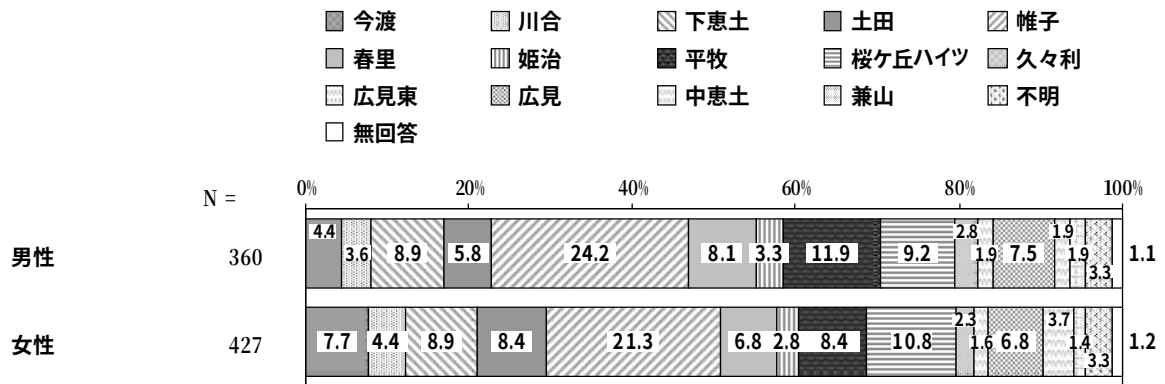
「帷子」の割合が22.5%と最も高く、次いで「平牧」の割合が10.1%、「桜ヶ丘ハイツ」の割合が10.0%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



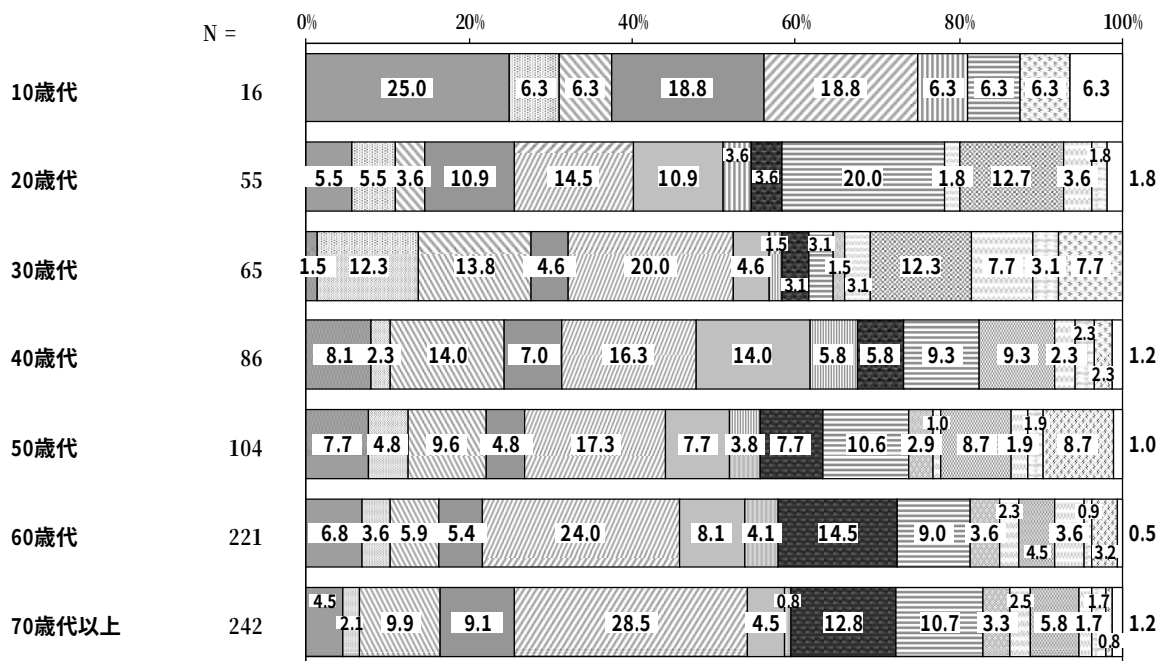
【性 別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



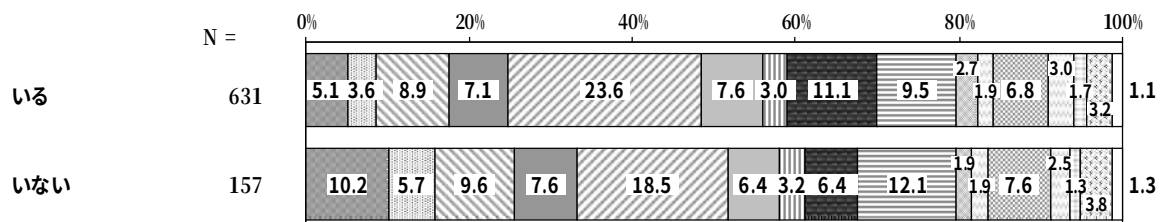
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、70 歳代以上で「帷子」の割合が高く、約 3 割となっています。



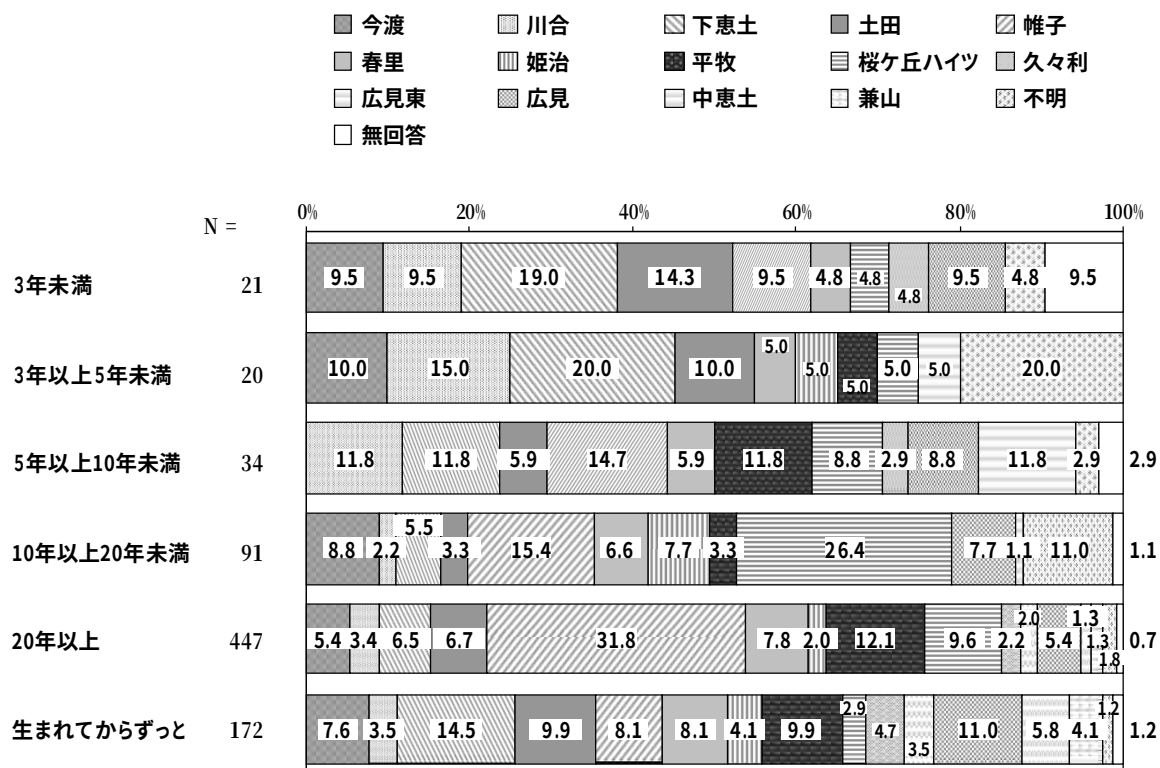
【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で「帷子」の割合が高くなっています。



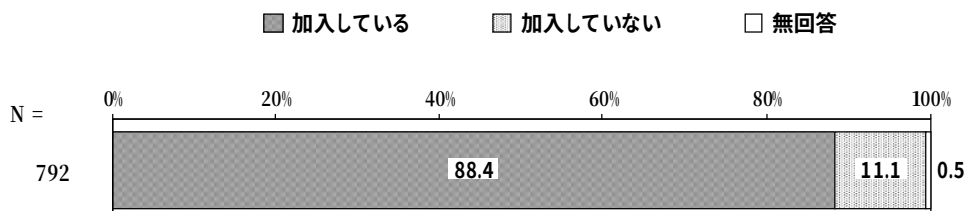
【居住年数別】

居住年数別でみると、他に比べ、3年未満で「下恵土」の割合が約2割、20年以上で「帷子」の割合が約3割と高くなっています。また、3年以上5年未満で「下恵土」の割合が2割、5年以上10年未満で「帷子」の割合が1割台半ば、10年以上20年未満で「桜ヶ丘ハイツ」の割合が2割台半ばと高くなっています。



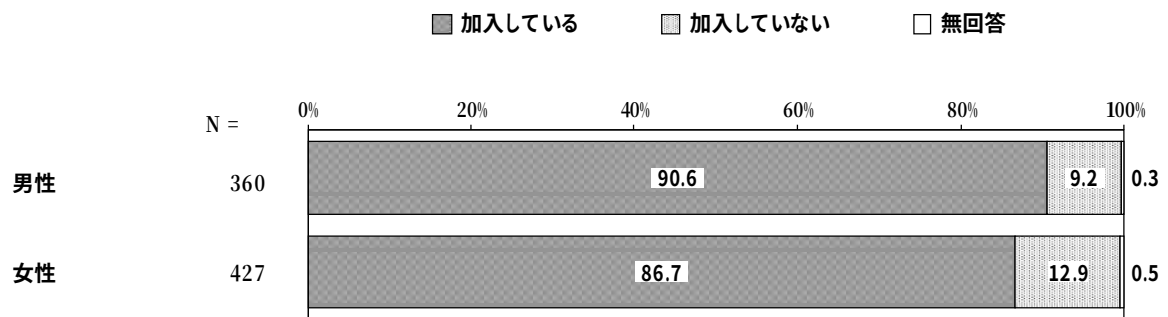
問6 あなたは、お住まいの地区の自治会に加入していますか。

「加入している」の割合が88.4%、「加入していない」の割合が11.1%となっています。



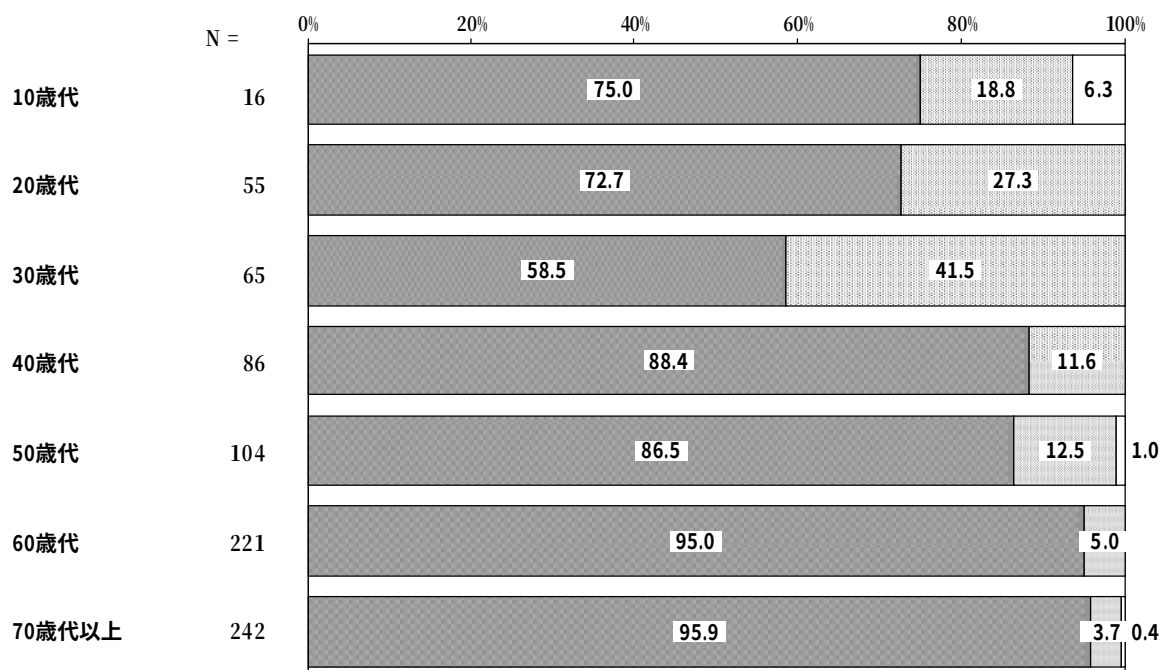
【性 別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



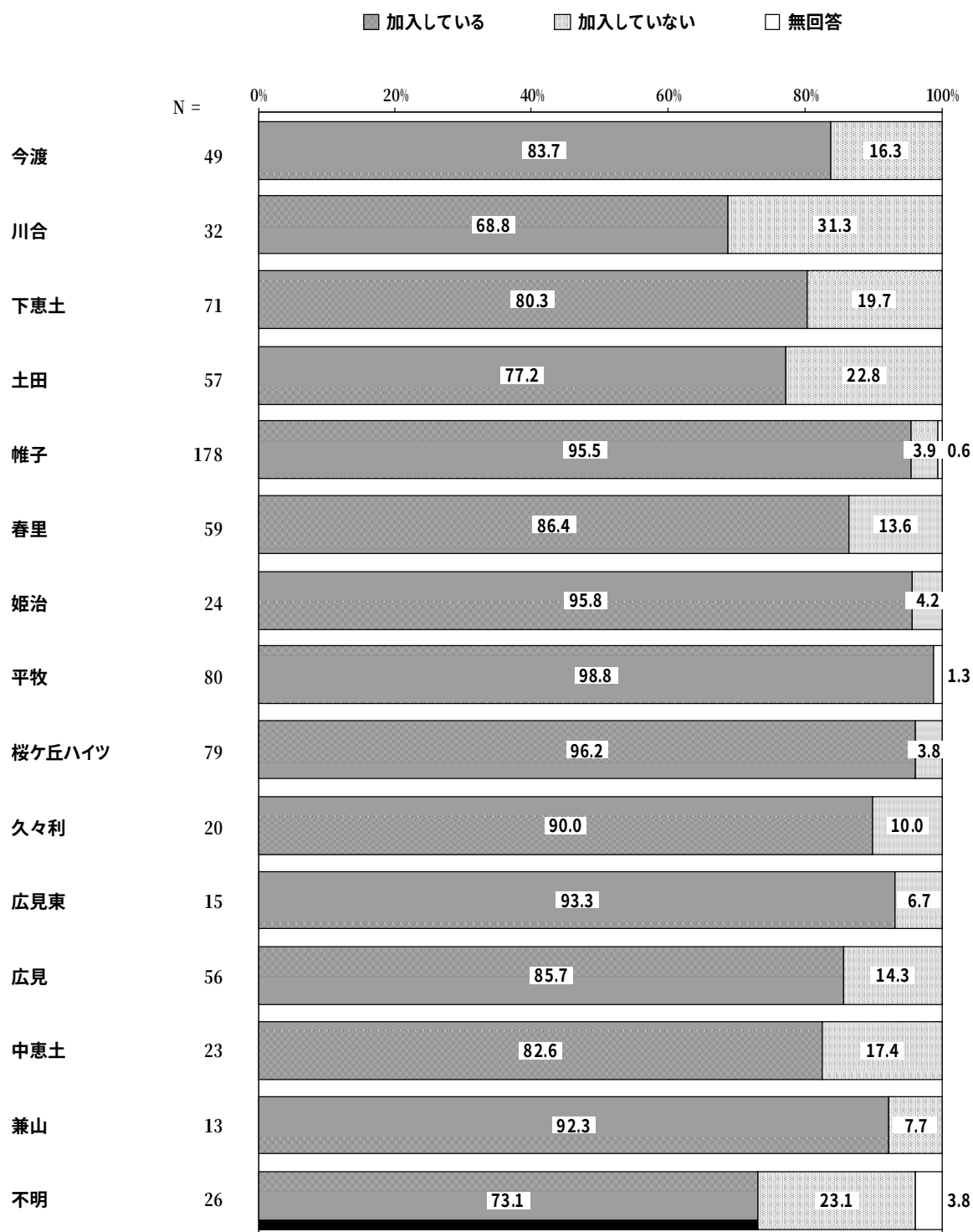
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、40 歳代以上で「加入している」の割合が高く、8 割を超えています。



【居住地区別】

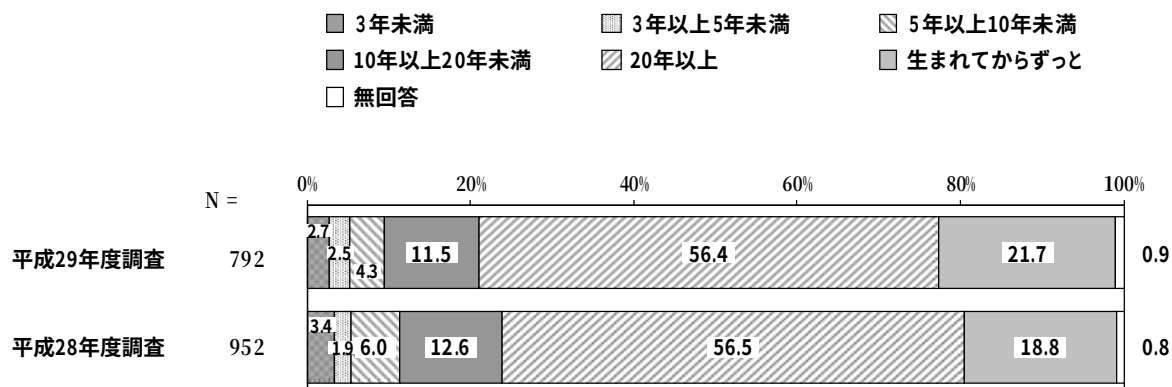
居住地区別でみると、他に比べ、帷子、姫治、平牧、桜ヶ丘ハイツ、久々利、広見東、兼山で「加入している」の割合が9割以上と高くなっています。



問7 あなたは、可児市(合併前の兼山町を含む)にお住まいになって何年ですか。

「20年以上」の割合が56.4%と最も高く、次いで「生まれてからずっと」の割合が21.7%、「10年以上20年未満」の割合が11.5%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



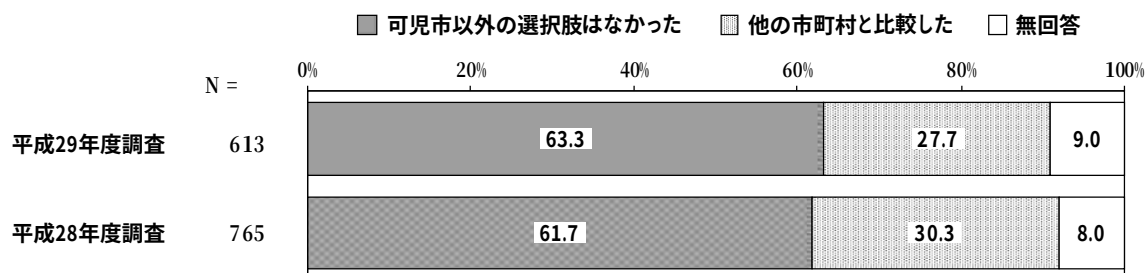
(2) 可児市への居住理由について

【問7で1～5を選択された方に伺います】

問8 どのように可児市を転居先に選ばれましたか。(○は1つだけ)

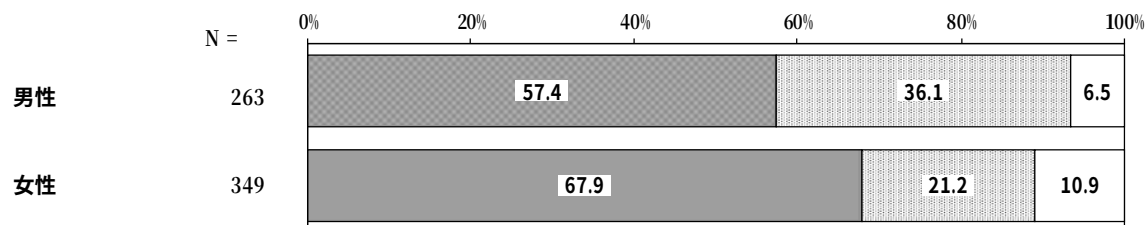
「可児市以外の選択肢はなかった」の割合が 63.3%、「他の市町村と比較した」の割合が 27.7%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



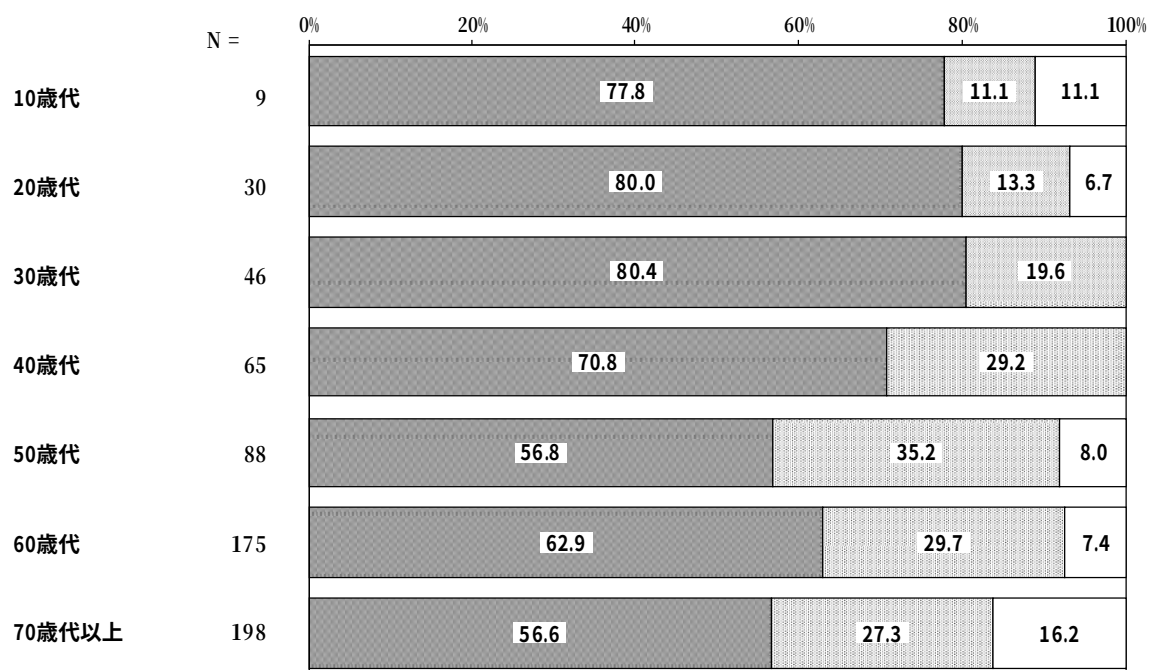
【性 別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「他の市町村と比較した」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「可児市以外の選択肢はなかった」の割合が高くなっています。



【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、20 歳代、30 歳代で「可児市以外の選択肢はなかった」の割合が高くなっており、8 割となっています。



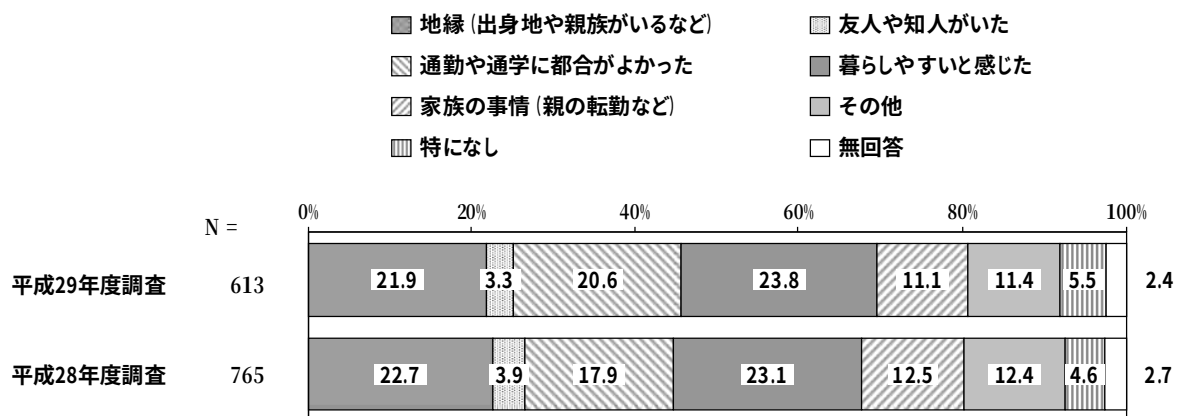
<比較した市町村>

多治見市 (54 件)	犬山市 (50 件)	名古屋市 (28 件)
春日井市 (25 件)	小牧市 (23 件)	美濃加茂市 (21 件)
各務原市 (14 件)	御嵩町 (9 件)	江南市 (7 件)
一宮市 (5 件)	岡崎市 (4 件)	岐阜市 (4 件)
瑞浪市 (4 件)	加茂郡 (3 件)	岩倉市 (3 件)
桑名市 (3 件)	坂祝町 (3 件)	瀬戸市 (3 件)
大日 (3 件)	豊明市 (3 件)	知立市 (1 件)
豊橋市 (1 件)	扶桑 (1 件)	みよし (1 件)
安城市 (1 件)	稲沢 (1 件)	可児市 (1 件)
刈谷市 (1 件)	亀山市 (1 件)	広眺カ丘 (1 件)
今渡 (1 件)	佐屋町 (1 件)	桜ヶ丘 (1 件)
川合 (1 件)	大阪市 (1 件)	長久手 (1 件)
土岐 (1 件)	土田 (1 件)	日進 (1 件)
八百津 (1 件)	尾張旭市 (1 件)	豊山町 (1 件)
豊田市 (1 件)	名古屋市周辺市町村 (1 件)	木曽川町 (1 件)

問9 可児市を選んだ理由は何ですか。(○は1つだけ)

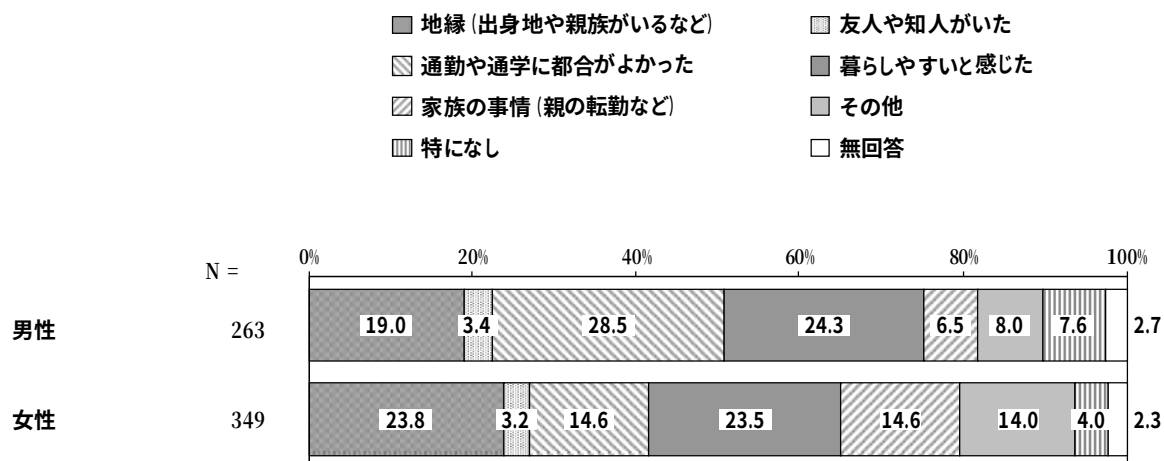
「暮らしやすいと感じた」の割合が 23.8%と最も高く、次いで「地縁(出身地や親族がいるなど)」の割合が 21.9%、「通勤や通学に都合がよかった」の割合が 20.6%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



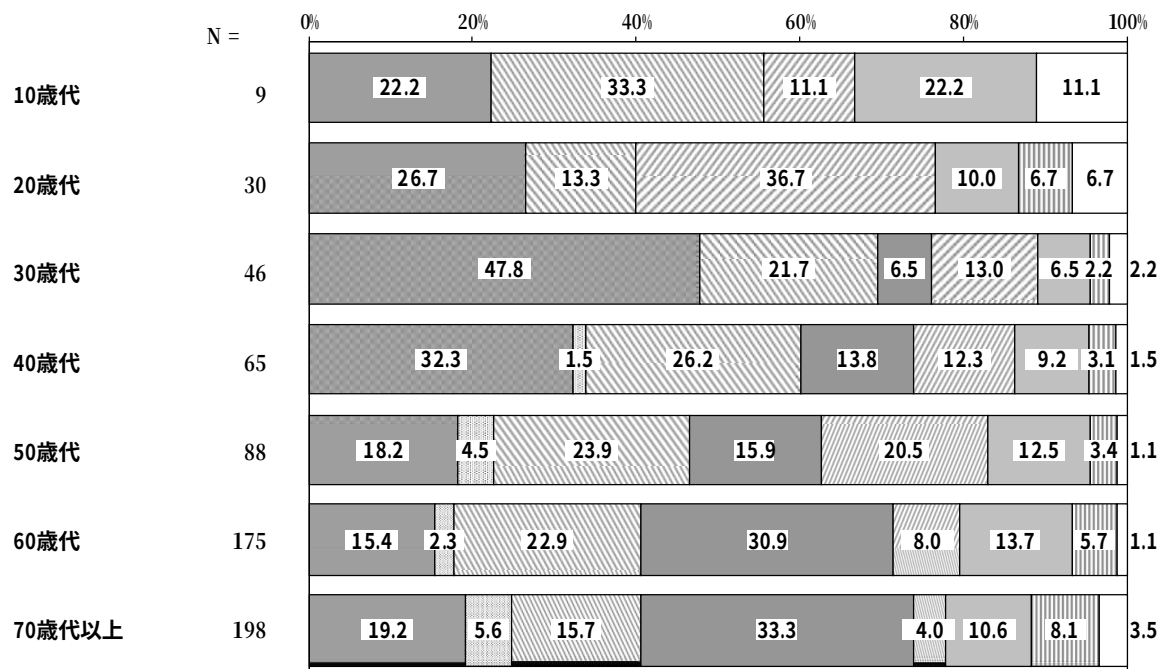
【性 別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「通勤や通学に都合がよかった」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「家族の事情（親の転勤など）」の割合が高くなっています。



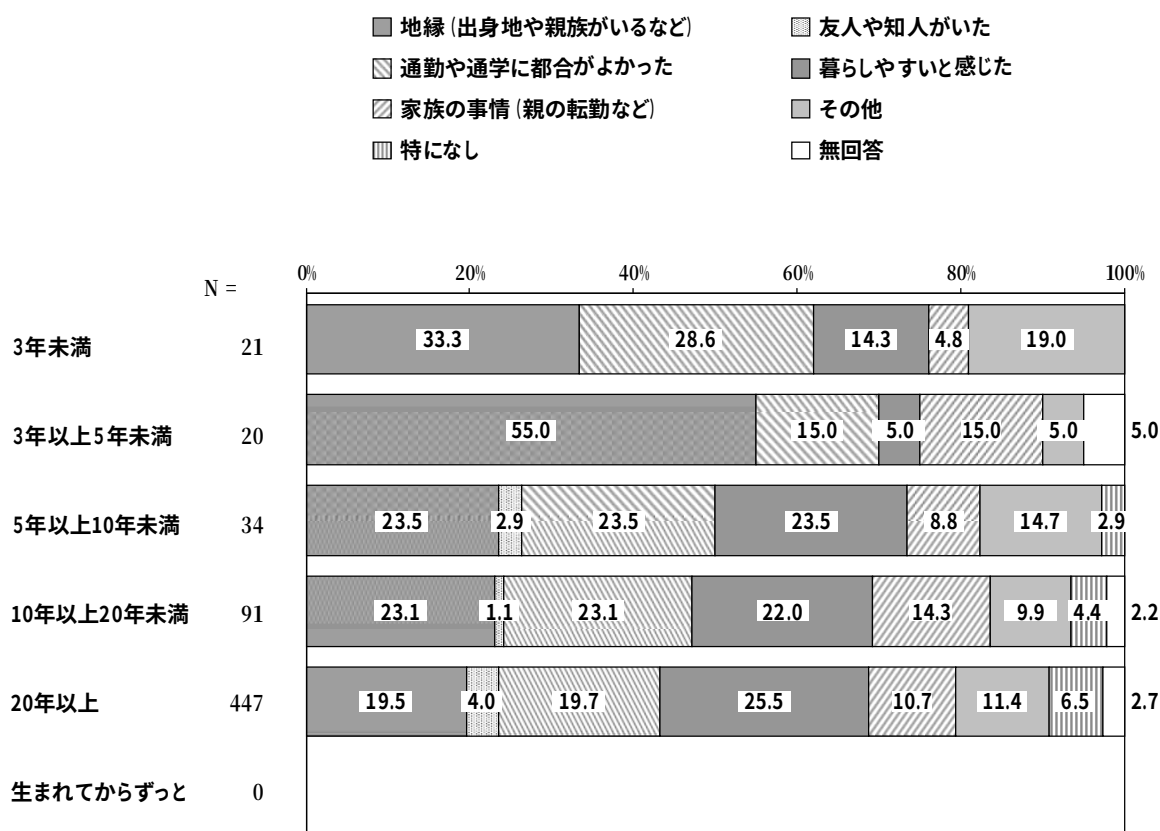
【年代別】

年代別でみると、他に比べ、30 歳代で「地縁（出身地や親族がいるなど）」の割合が高く、4割台半ばとなっています。また、60 歳代以上で「暮らしやすいと感じた」の割合が、20 歳代で「家族の事情（親の転勤など）」の割合が高くなっています。



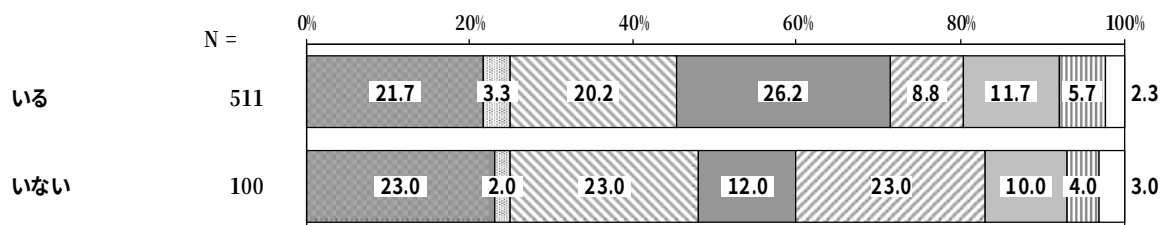
【居住年数別】

居住年数別でみると、他に比べ、3年以上5年未満で「地縁（出身地や親族がいるなど）」の割合が高く、5割台半ばとなっています。



【子どもの有無別】

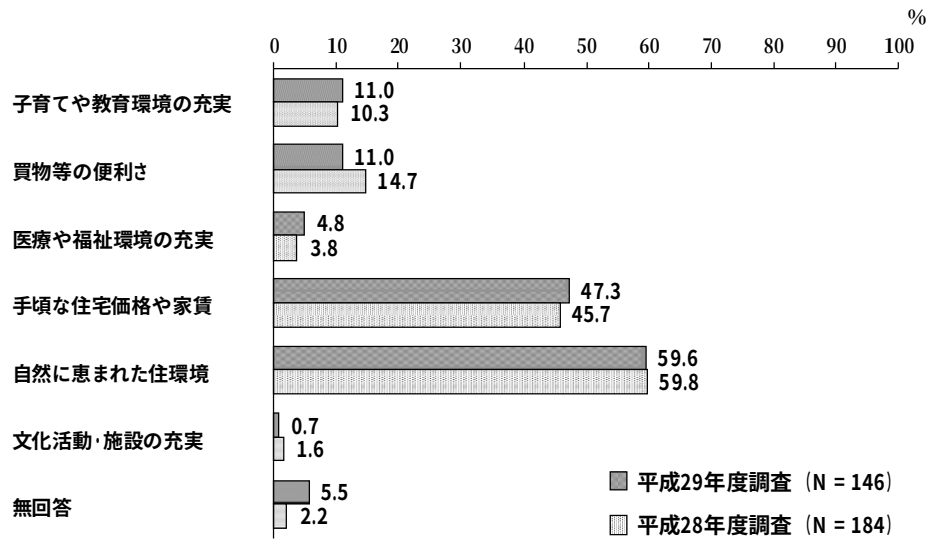
子どもの有無別でみると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で「暮らしやすいと感じた」の割合が高く、2割台半ばとなっています。また、子どもがいない人で「家族の事情（親の転勤など）」の割合が高く、2割を超えています。



暮らしやすいと感じた理由

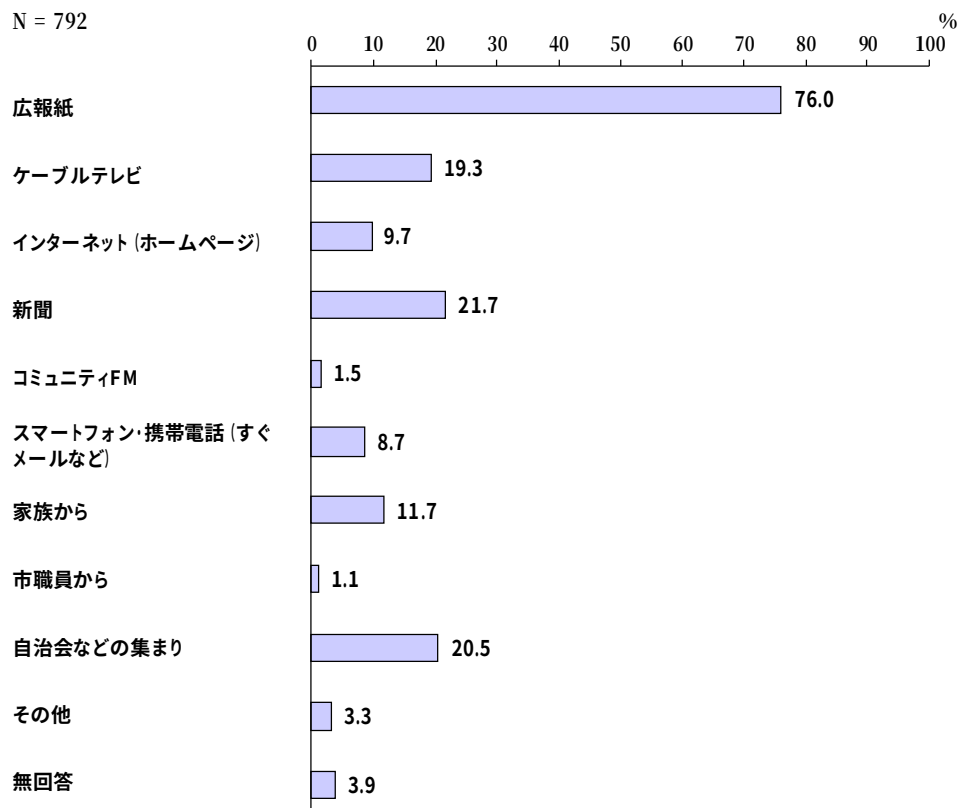
「自然に恵まれた住環境」の割合が59.6%と最も高く、次いで「手頃な住宅価格や家賃」の割合が47.3%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 10 あなたは日頃、市の情報をどのように収集していますか。

「広報紙」の割合が76.0%と最も高く、次いで「新聞」の割合が21.7%、「自治会などの集まり」の割合が20.5%となっています。



【性 別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「スマートフォン・携帯電話（すぐメールなど）」「家族から」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	広報紙	ケーブルテレビ	インターネット (ホームページ)	新聞	コミュニティFM	スマートフォン・携帯電話 (すぐメールなど)	家族から	市職員から	自治会などの集まり	その他	無回答
男性	360	78.1	21.7	12.5	23.6	1.7	5.3	8.9	1.7	22.5	2.2	3.9
女性	427	74.2	17.3	7.5	19.9	1.4	11.7	14.3	0.7	18.7	4.2	4.0

【年代別】

年代別でみると、他に比べ、20 歳代以上で「広報紙」の割合が最も高くなっています。また、10 歳代で「家族から」の割合が高くなっています。

単位：％

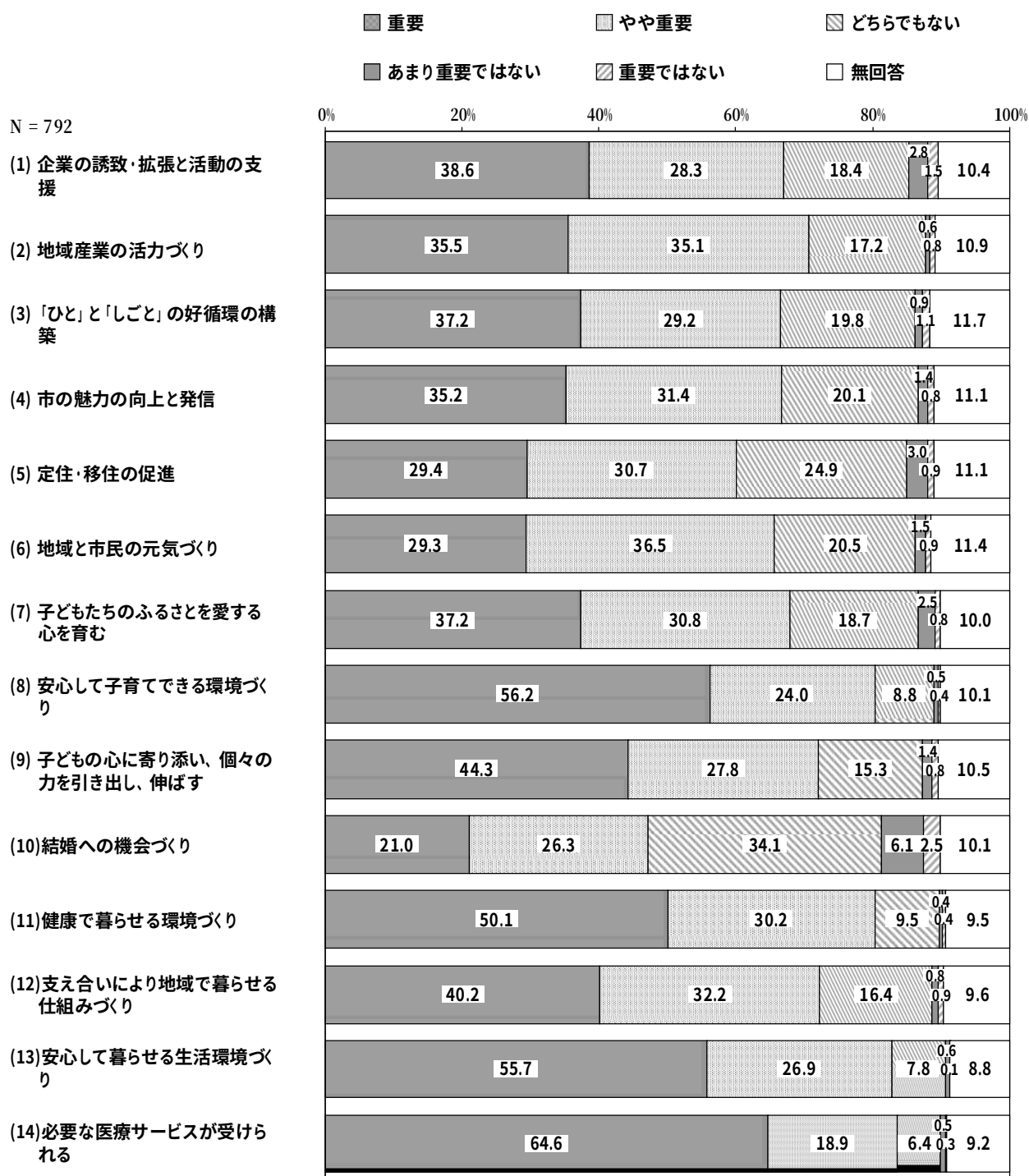
区分	有効回答数 (件)	広報紙	ケーブルテレビ	インターネット (ホームページ)	新聞	コミュニティFM	スマートフォン・携帯電話 (すぐメールなど)	家族から	市職員から	自治会などの集まり	その他	無回答
10 歳代	16	43.8	6.3	—	12.5	—	25.0	50.0	—	—	—	—
20 歳代	55	49.1	12.7	12.7	9.1	1.8	7.3	36.4	—	1.8	7.3	1.8
30 歳代	65	70.8	24.6	13.8	12.3	—	12.3	16.9	3.1	10.8	3.1	1.5
40 歳代	86	81.4	16.3	14.0	5.8	4.7	16.3	12.8	2.3	17.4	3.5	—
50 歳代	104	77.9	25.0	20.2	21.2	1.0	19.2	9.6	—	26.0	3.8	1.0
60 歳代	221	85.1	18.1	9.0	30.8	2.7	6.8	5.0	1.8	28.1	2.7	2.7
70 歳代以上	242	74.4	20.2	3.3	25.6	—	1.7	9.1	0.4	20.7	2.9	9.1

(3) 施策の重要度と満足度について

問 11 可児市総合戦略の各施策について、「重要度」と「満足度」をおたずねします。
5点満点で評価し、該当する数字を1つずつ○で囲んでください。

① 重要度

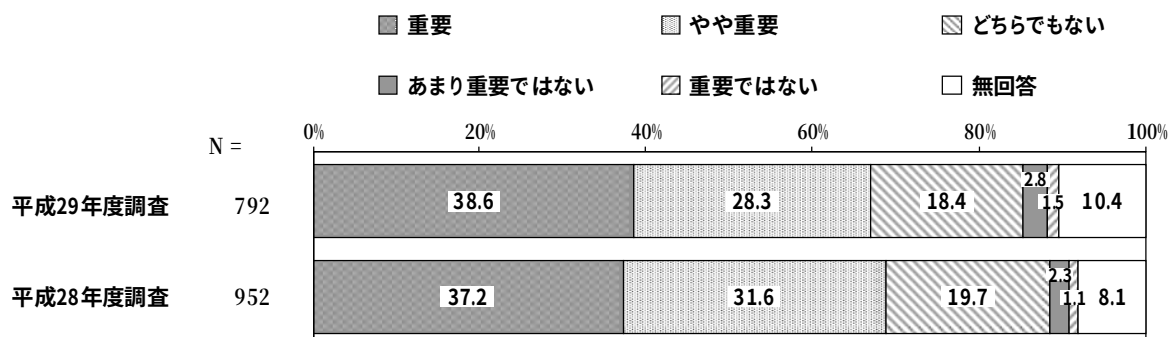
『安心して子育てできる環境づくり』『健康で暮らせる環境づくり』『安心して暮らせる生活環境づくり』『必要な医療サービスが受けられる』で「重要」と「やや重要」をあわせた“重要”の割合が高くなっています。



（１）企業の誘致・拡張と活動の支援

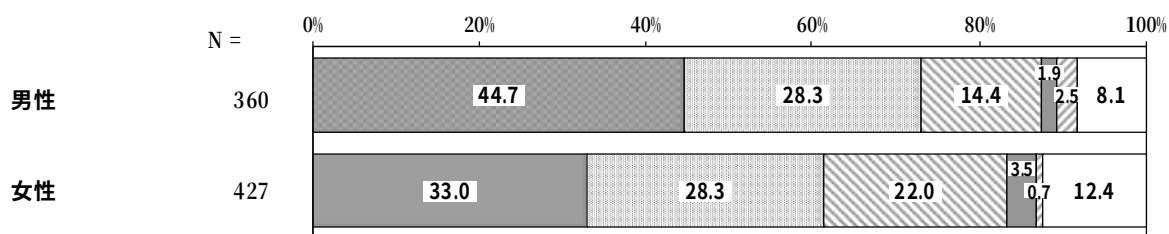
「重要ではない」と「あまり重要ではない」を合わせた“重要ではない”の割合が4.3%、「やや重要」と「重要」を合わせた“重要”の割合が66.9%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



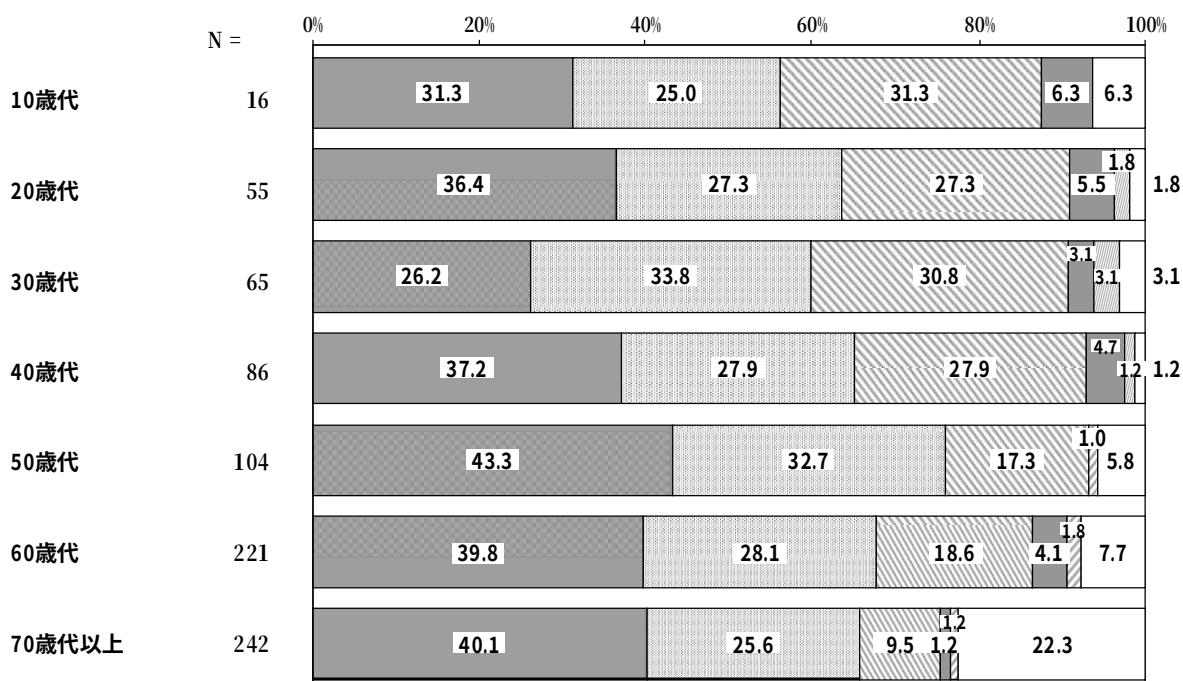
【性 別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「重要」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「どちらでもない」の割合が高くなっています。



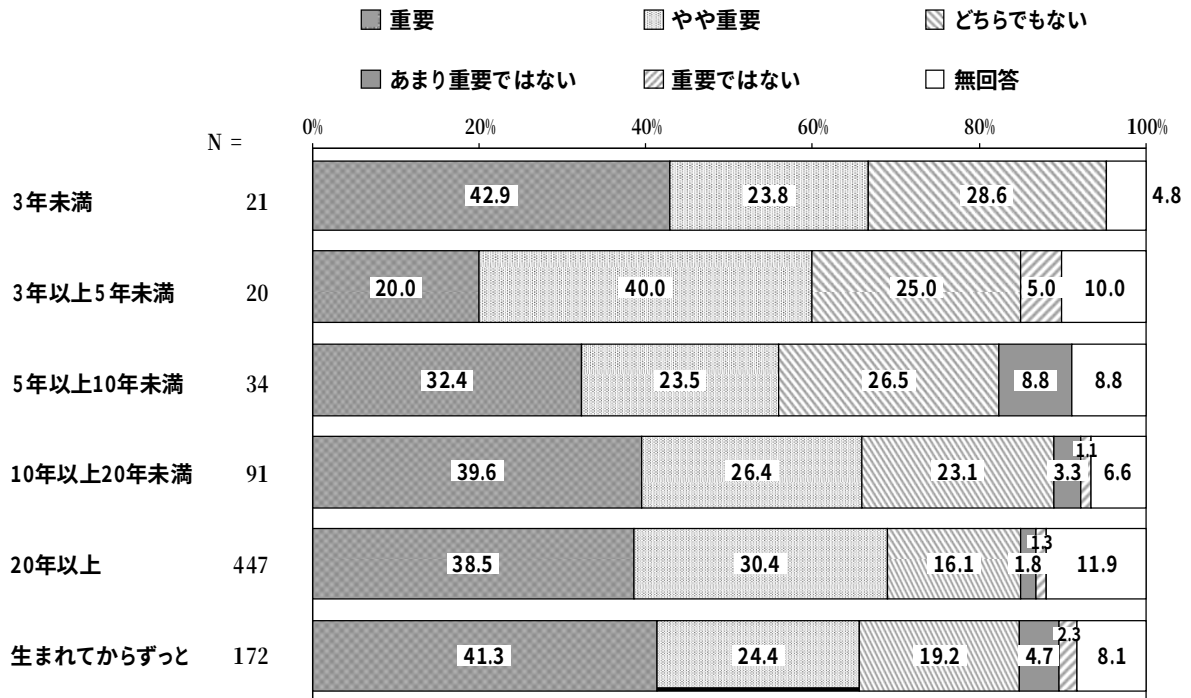
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、50歳代で“重要”の割合が高く、7割台半ばとなっています。



【居住年数別】

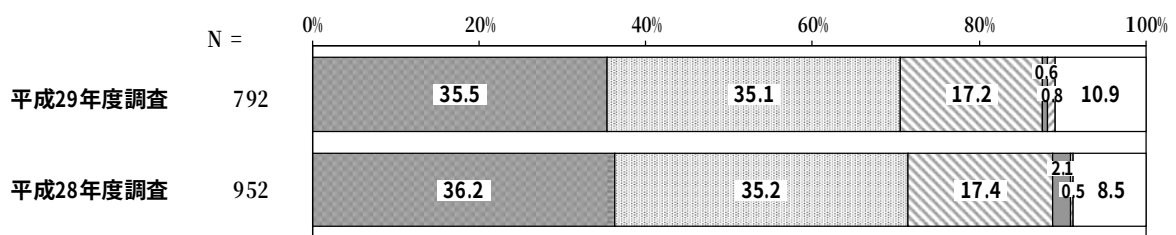
居住年数別でみると、他に比べ、3年未満、10年以上20年未満、20年以上、生まれてからずっとで“重要”の割合が高く、6割台半ばとなっています。



(2) 地域産業の活力づくり

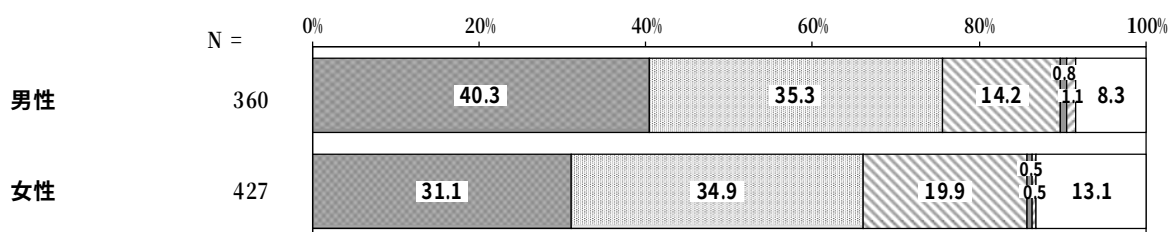
「重要ではない」と「あまり重要ではない」を合わせた“重要ではない”の割合が1.4%、「やや重要」と「重要」を合わせた“重要”の割合が70.6%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



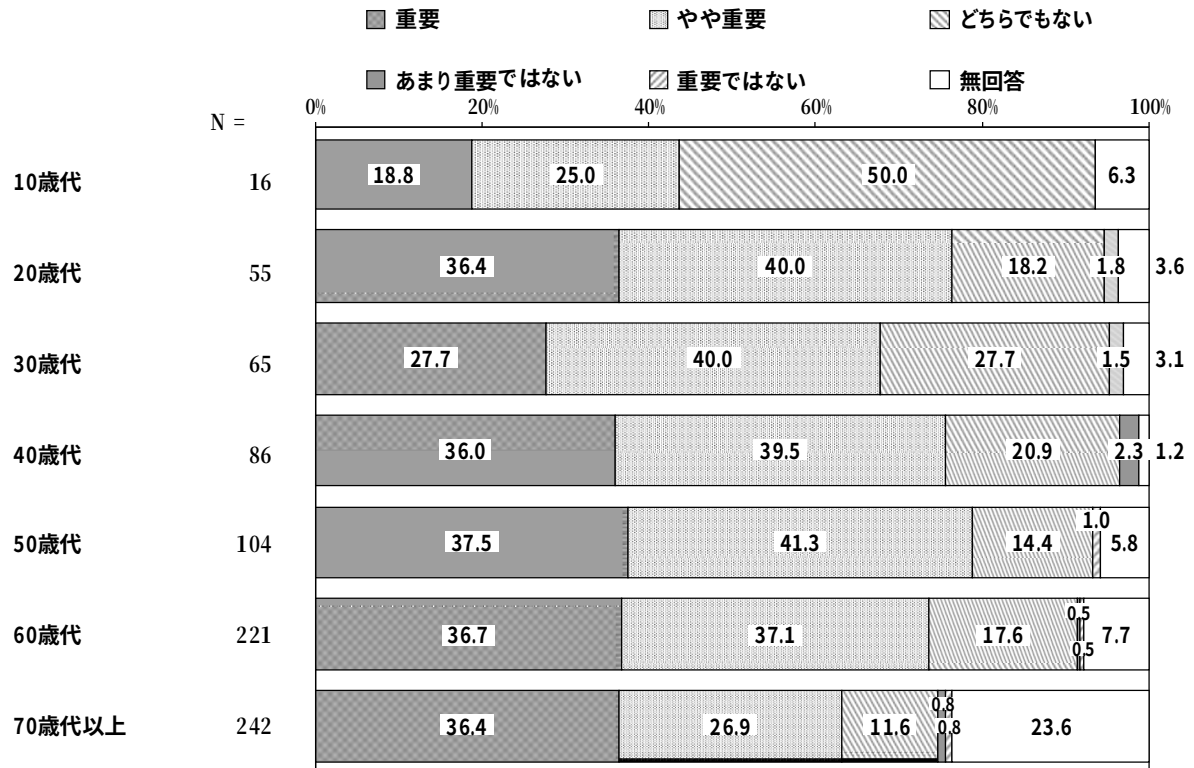
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「重要」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「どちらでもない」の割合が高くなっています。



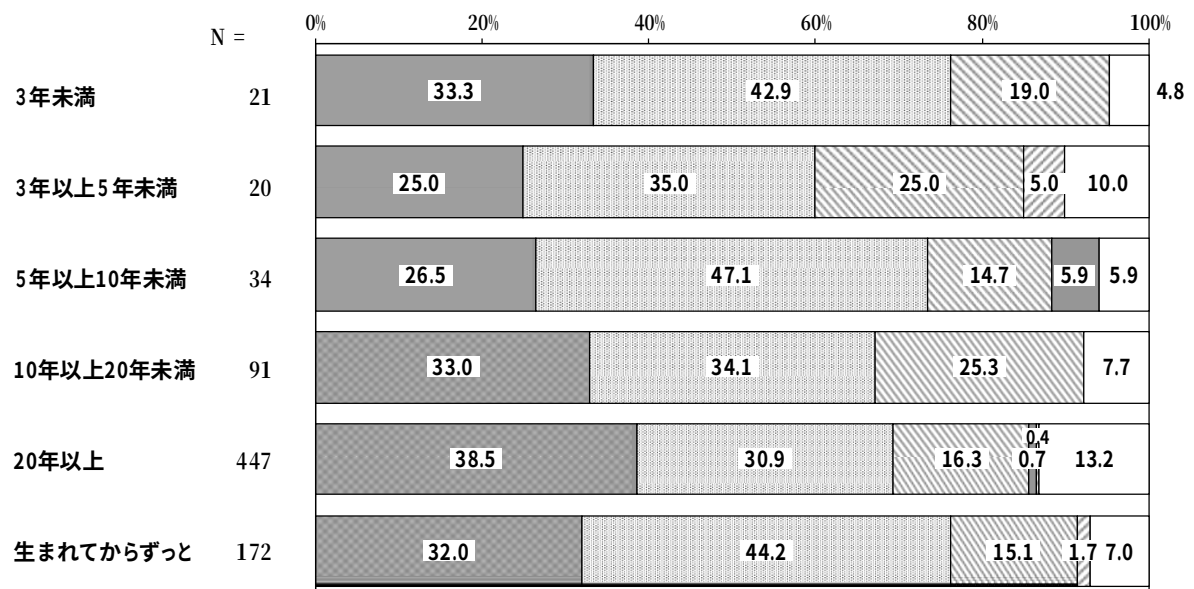
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、20 歳代、40 歳代、50 歳代、60 歳代で“重要”の割合が高く、7 割台半ばとなっています。



【居住年数別】

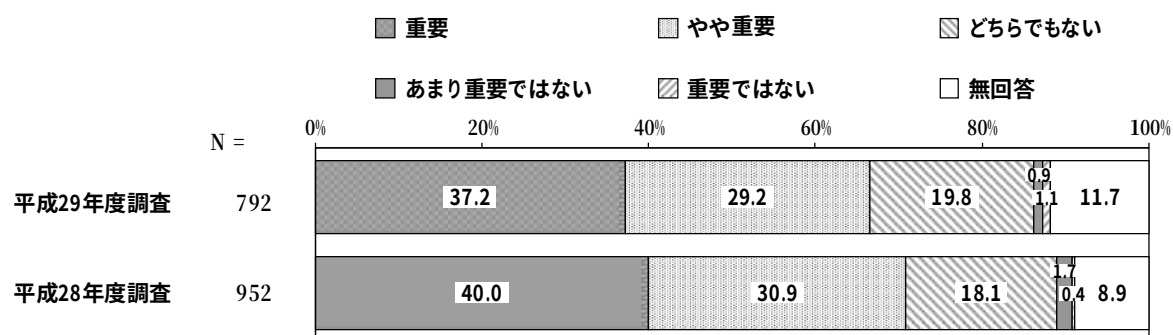
居住年数別でみると、他に比べ、3 年未満、5 年以上 10 年未満、生まれてからずっとで“重要”の割合が高く、7 割台半ばとなっています。



(3) 「ひと」と「しごと」の好循環の構築

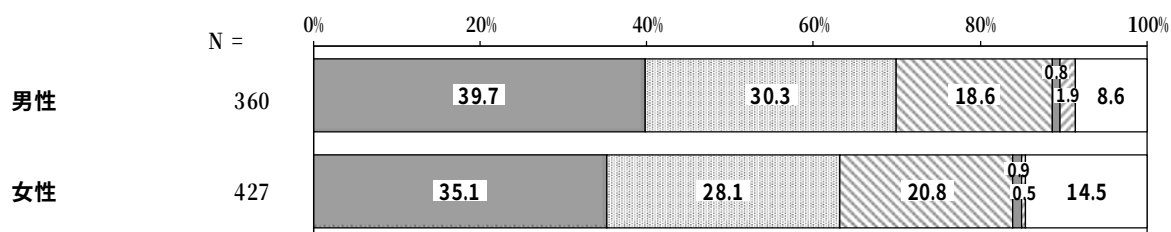
「重要ではない」と「あまり重要ではない」を合わせた“重要ではない”の割合が2.0%、「やや重要」と「重要」を合わせた“重要”の割合が66.4%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



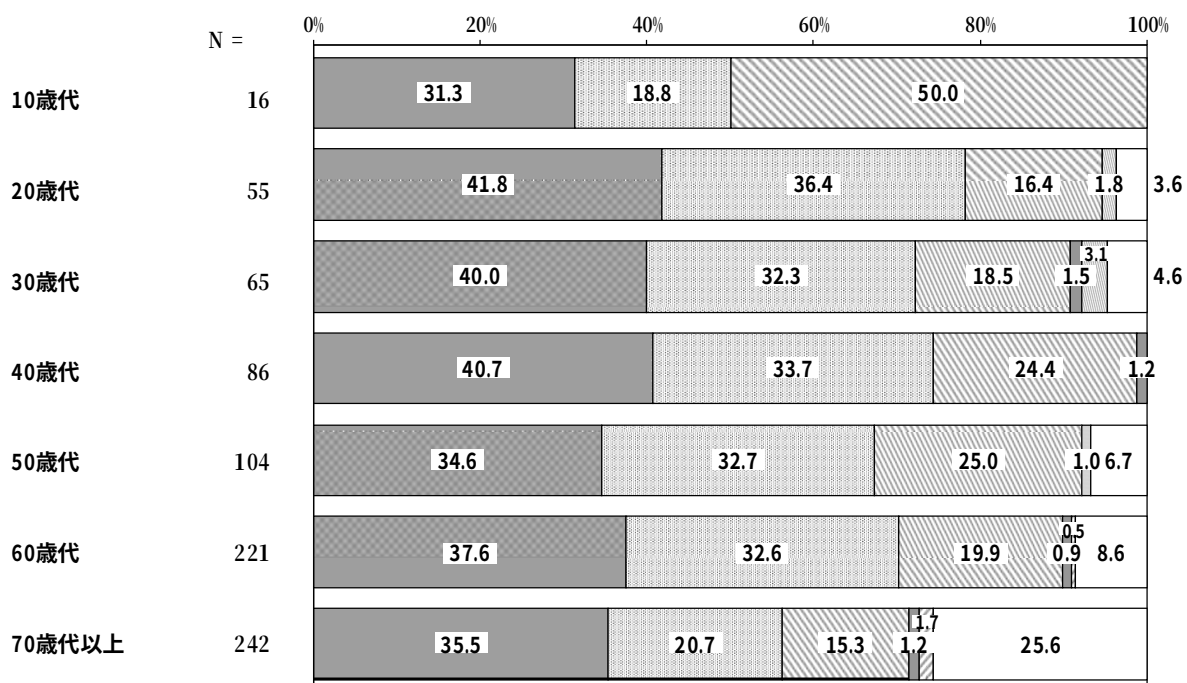
【性 別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



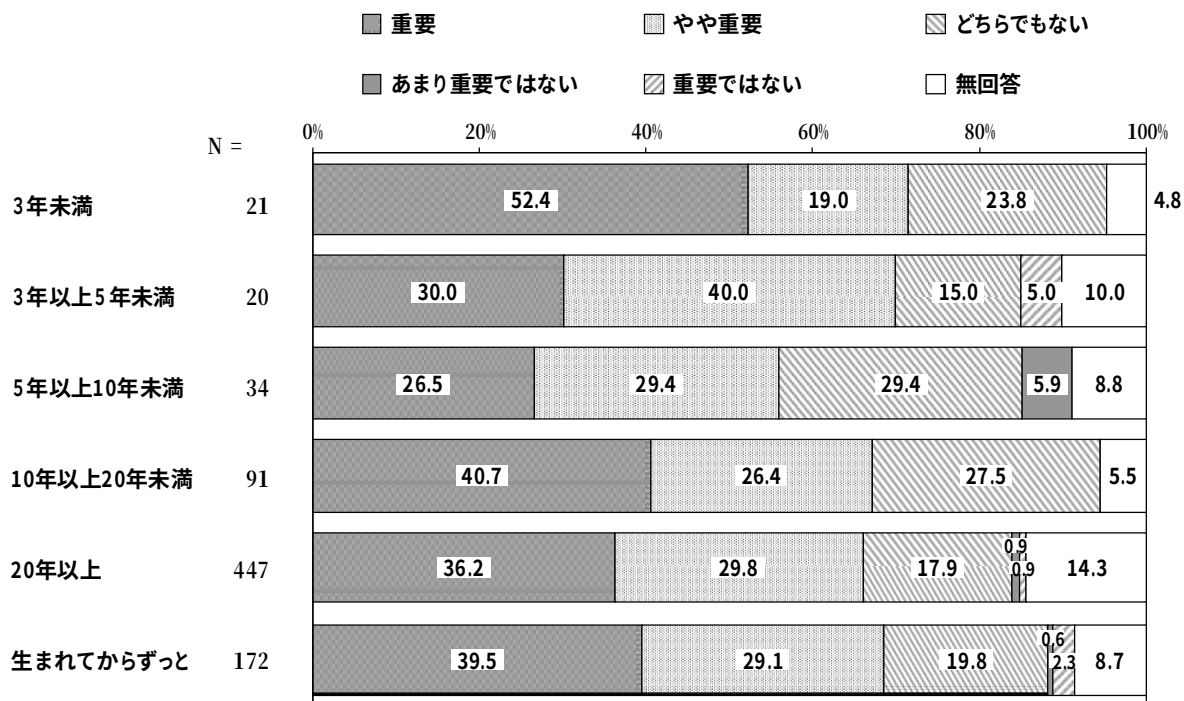
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、20歳代で“重要”の割合が高く、約8割となっています。



【居住年数別】

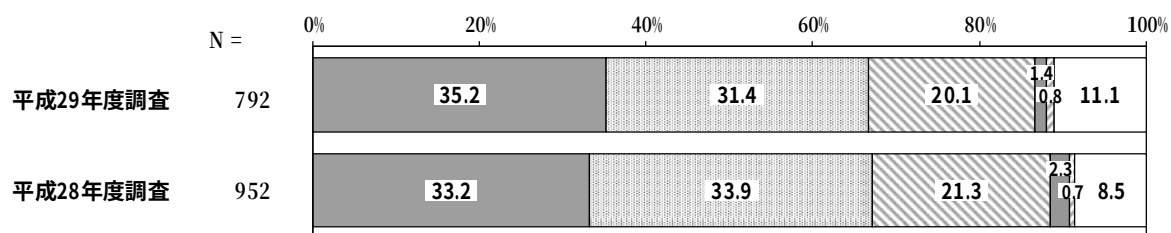
居住年数別でみると、他に比べ、3年未満、3年以上5年未満で“重要”の割合が高く、7割以上となっています。



（４）市の魅力の向上と発信

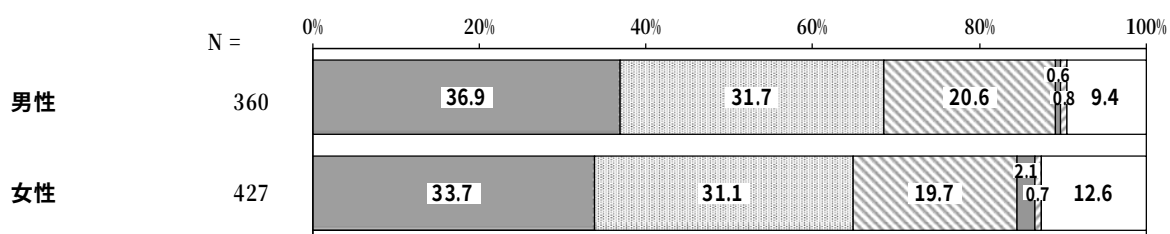
「重要ではない」と「あまり重要ではない」を合わせた“重要ではない”の割合が2.2%、「やや重要」と「重要」を合わせた“重要”の割合が66.6%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



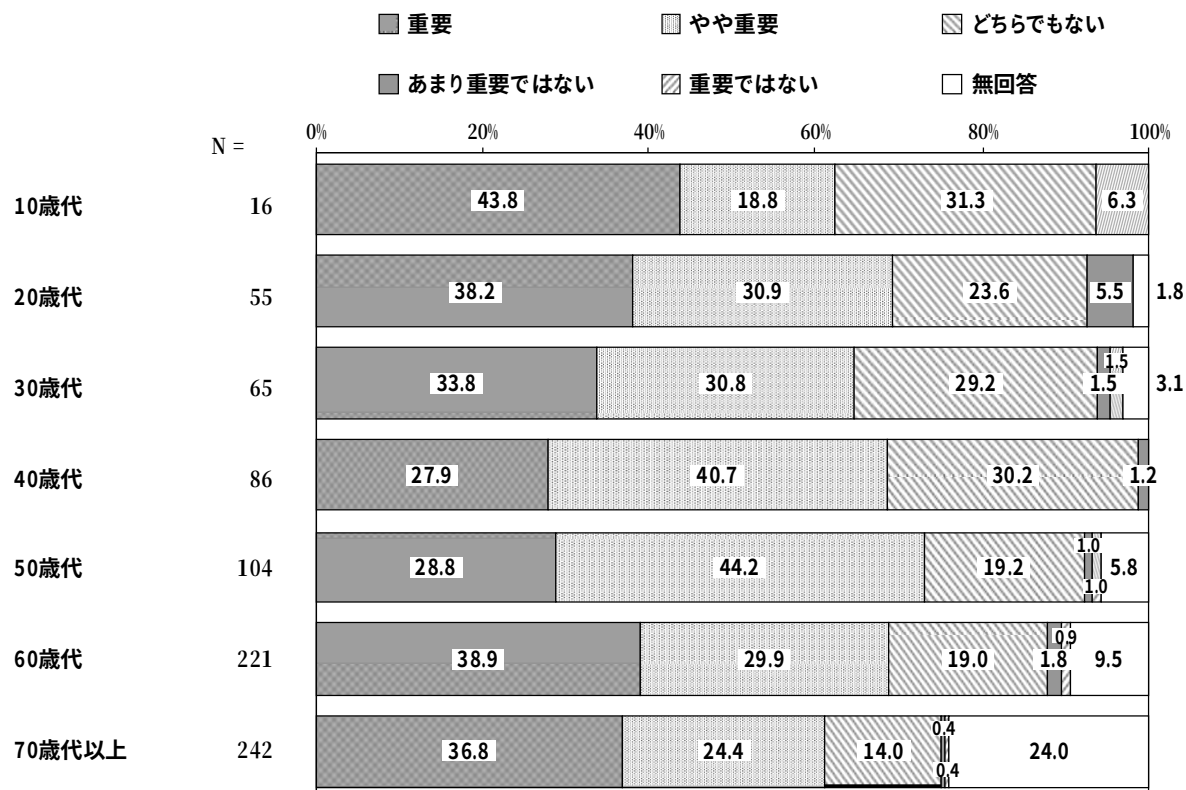
【性 別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



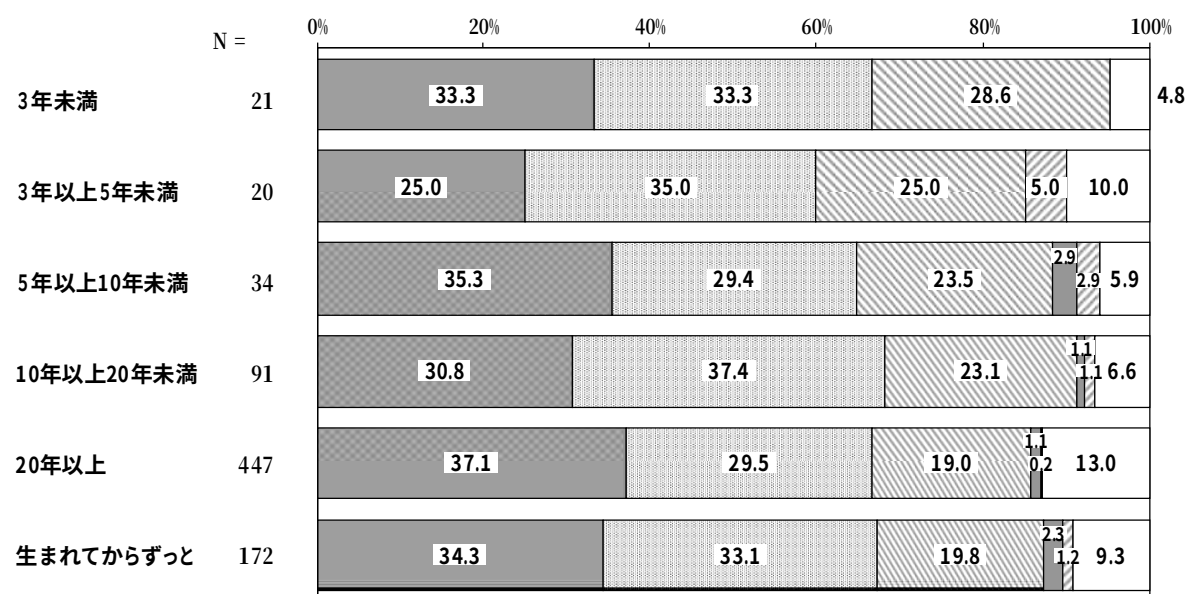
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、50歳代で“重要”の割合が高く、7割台半ばとなっています。



【居住年数別】

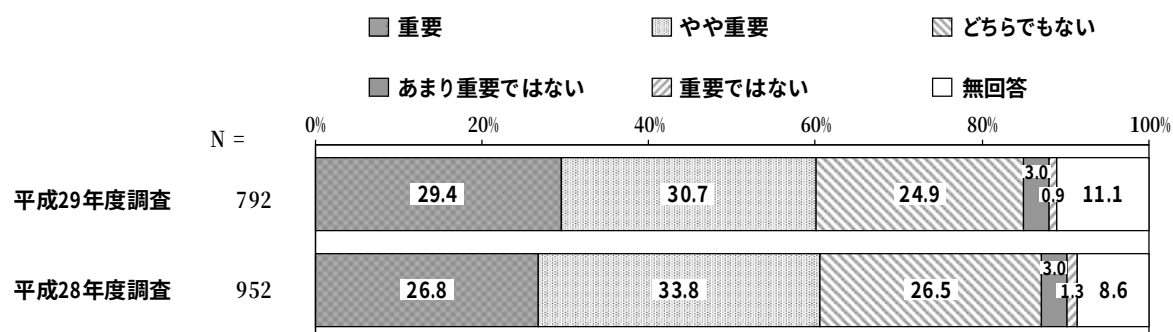
居住年数別でみると、他に比べ、10年以上20年未満で“重要”の割合が高く、約7割となっています。



(5) 定住・移住の促進

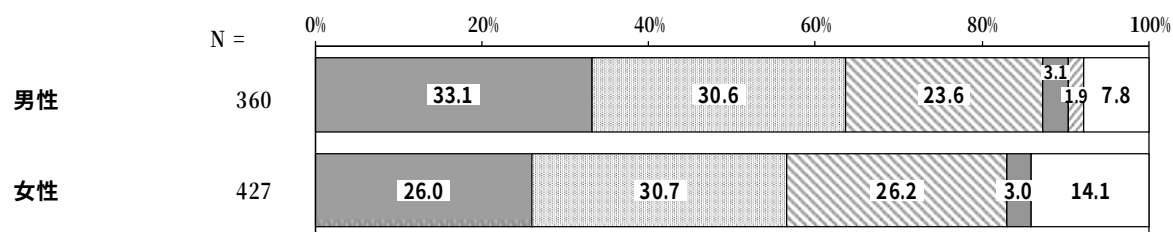
「重要ではない」と「あまり重要ではない」を合わせた“重要ではない”の割合が3.9%、「やや重要」と「重要」を合わせた“重要”の割合が60.1%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



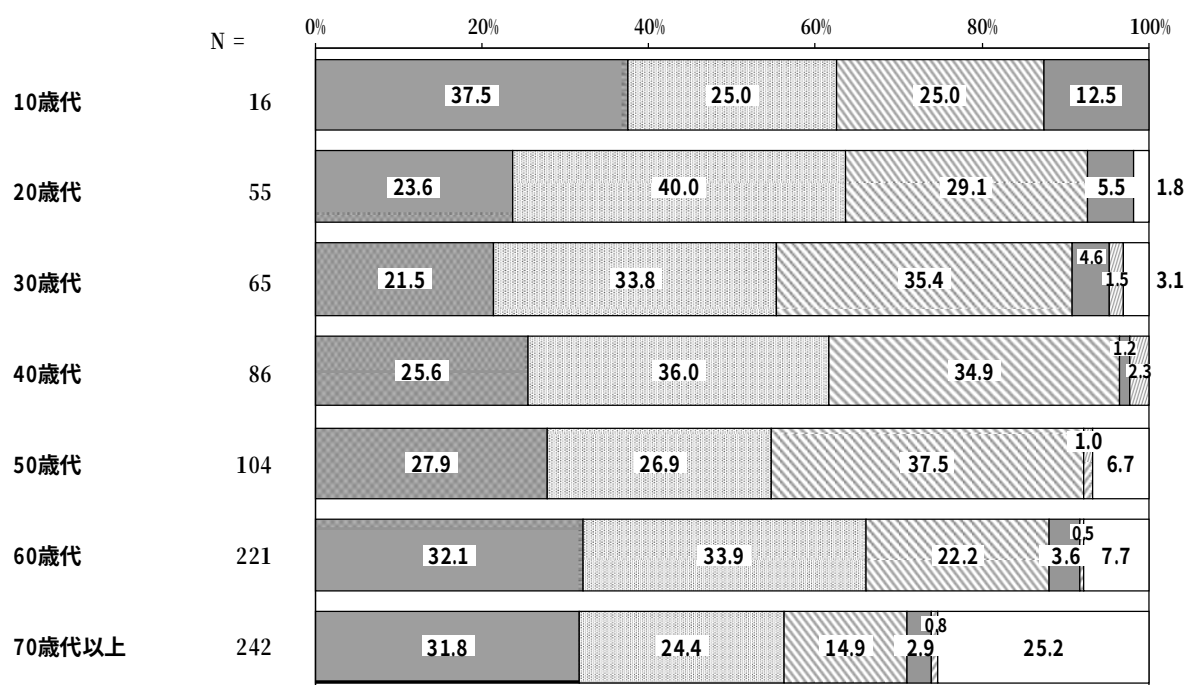
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「重要」の割合が高くなっています。



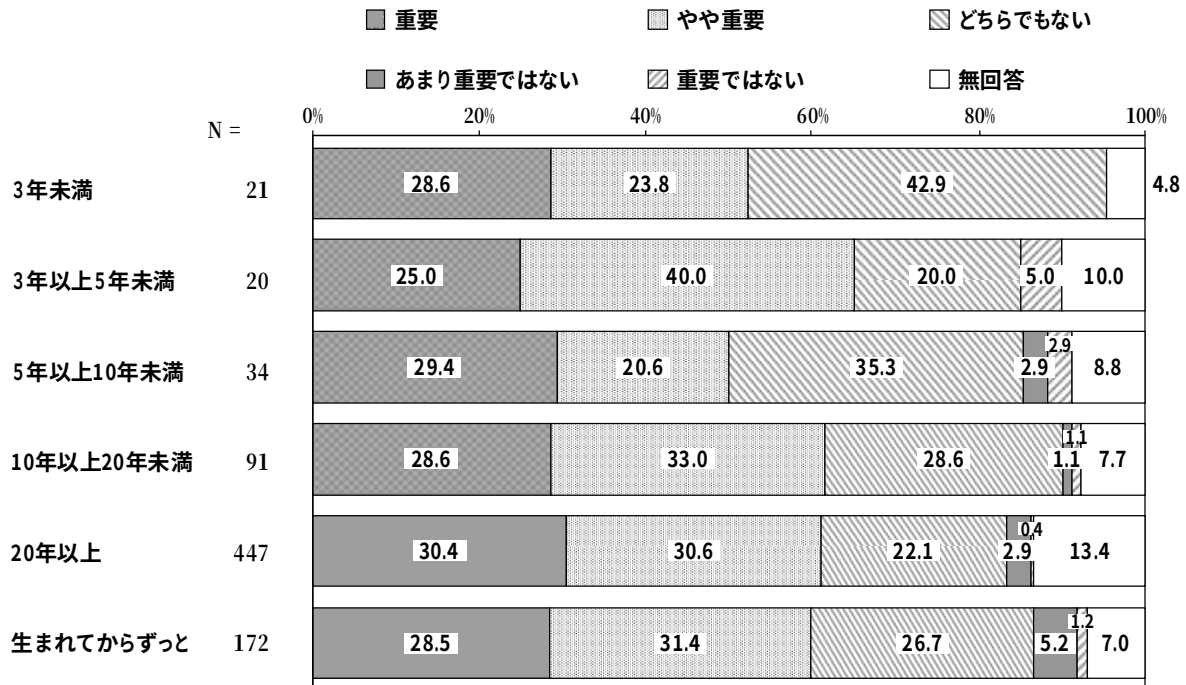
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、10歳代、20歳代、40歳代、60歳代で“重要”の割合が高く、6割を超えています。



【居住年数別】

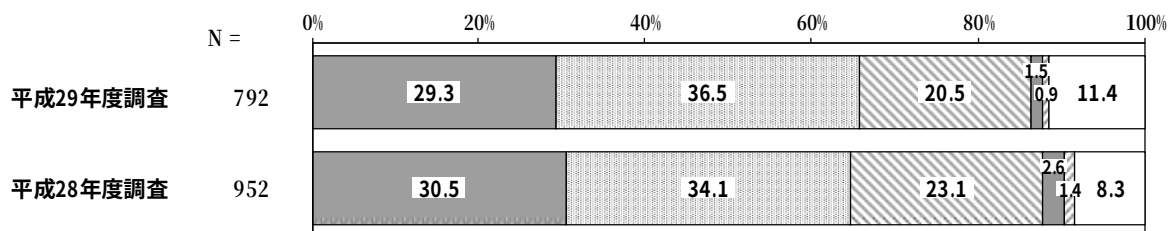
居住年数別でみると、他に比べ、3年以上5年未満、10年以上20年未満、20年以上で“重要”の割合が高く、6割を超えています。



(6) 地域と市民の元気づくり

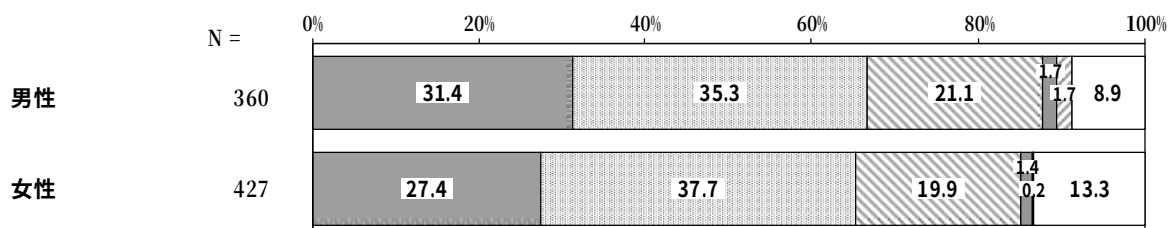
「重要ではない」と「あまり重要ではない」を合わせた“重要ではない”の割合が2.4%、「やや重要」と「重要」を合わせた“重要”の割合が65.8%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



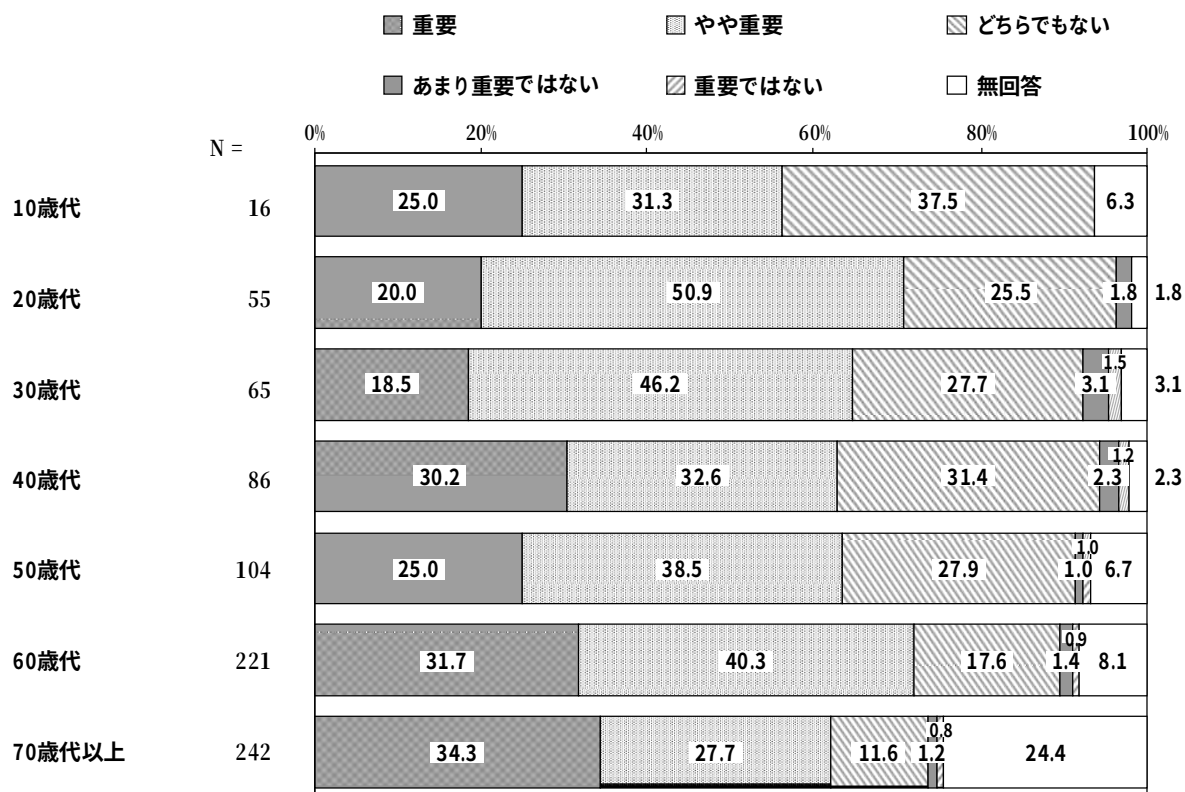
【性 別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



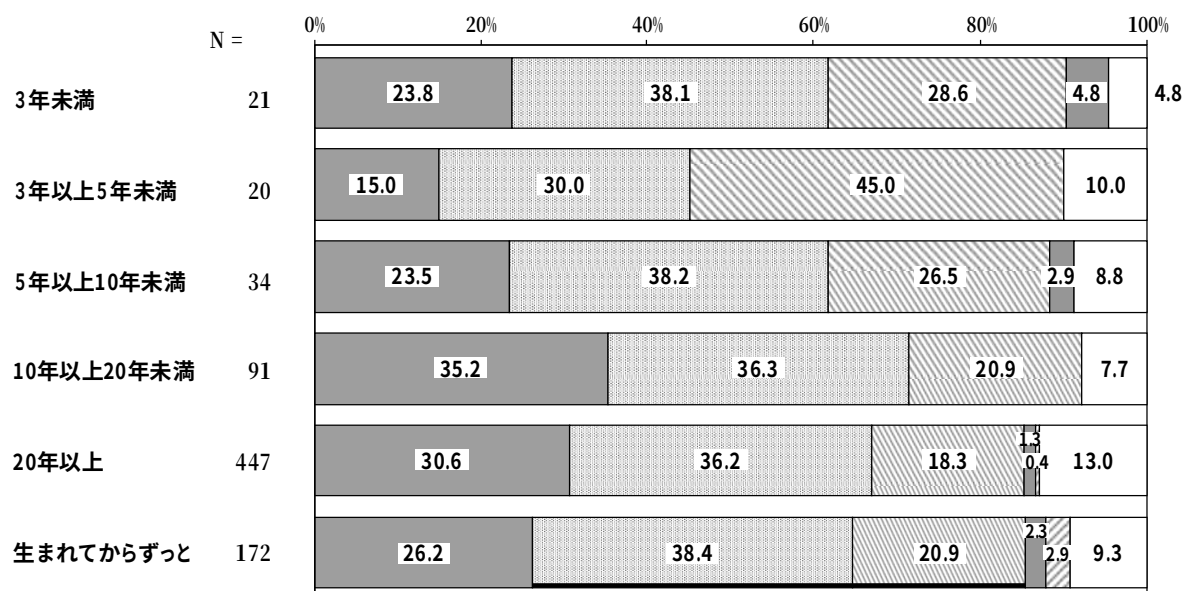
【年代別】

年代別でみると、他に比べ、20 歳代、60 歳代で“重要”の割合が高く、7 割を超えています。



【居住年数別】

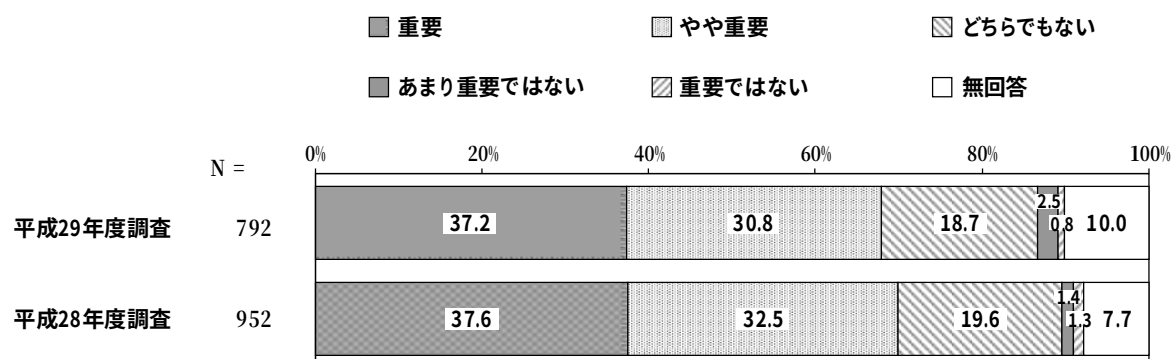
居住年数別でみると、他に比べ、10 年以上 20 年未満で“重要”の割合が高く、7 割を超えています。



(7) 子どもたちのふるさとを愛する心を育む

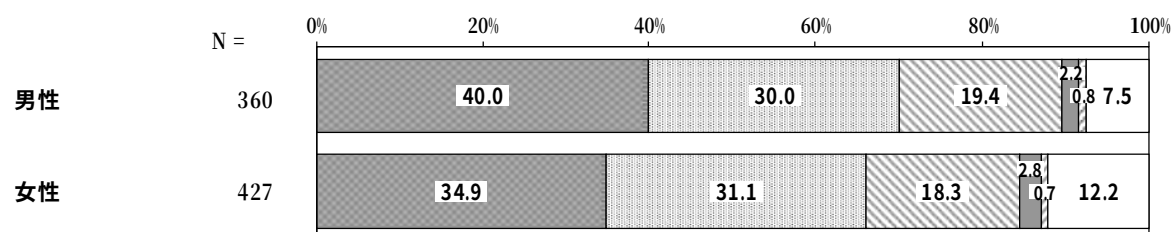
「重要ではない」と「あまり重要ではない」を合わせた“重要ではない”の割合が3.3%、「やや重要」と「重要」を合わせた“重要”の割合が68.0%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



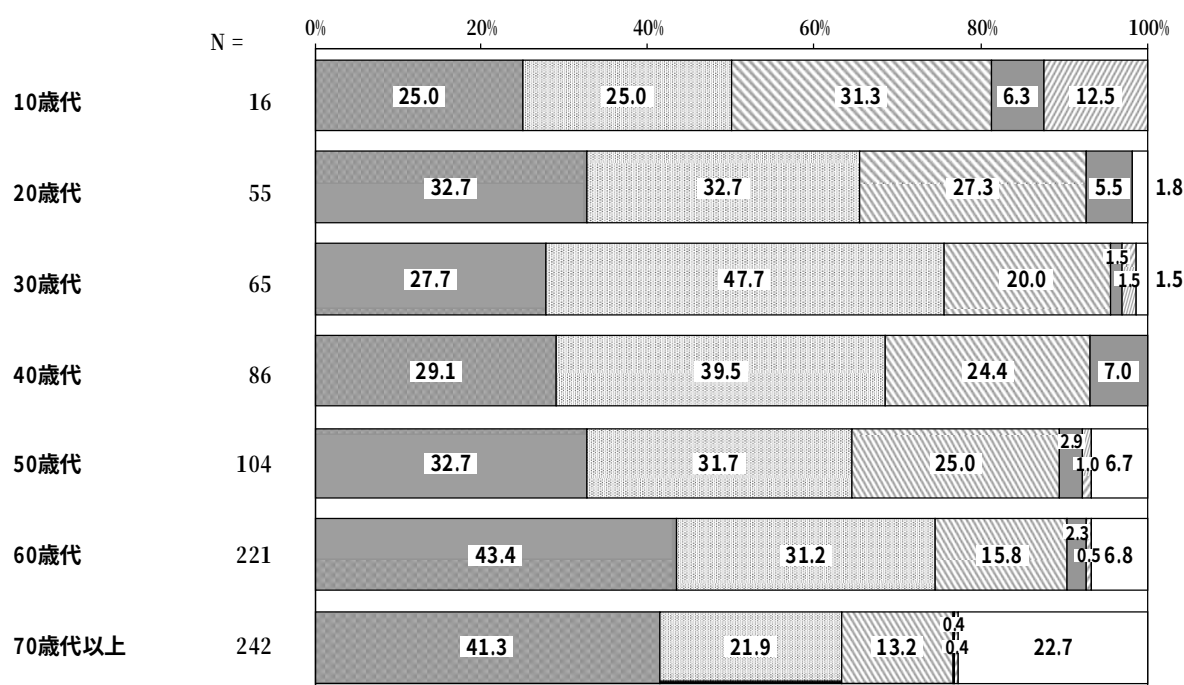
【性 別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「重要」の割合が高くなっています。



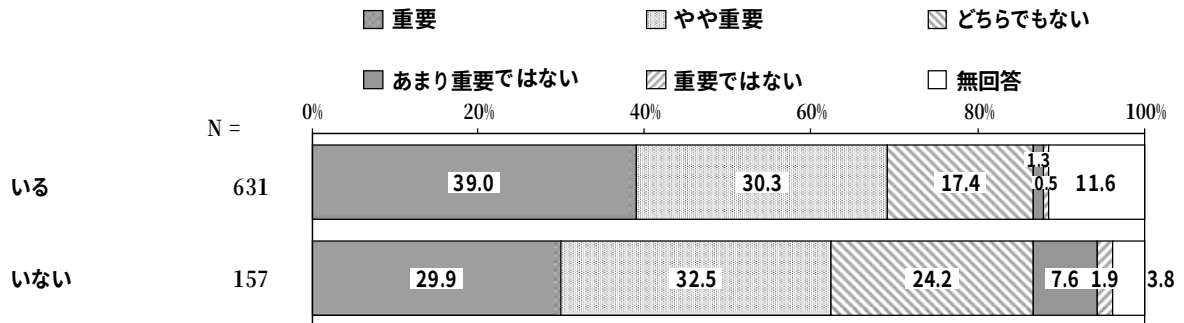
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、30歳代、60歳代で“重要”の割合が高く、7割台半ばとなっています。



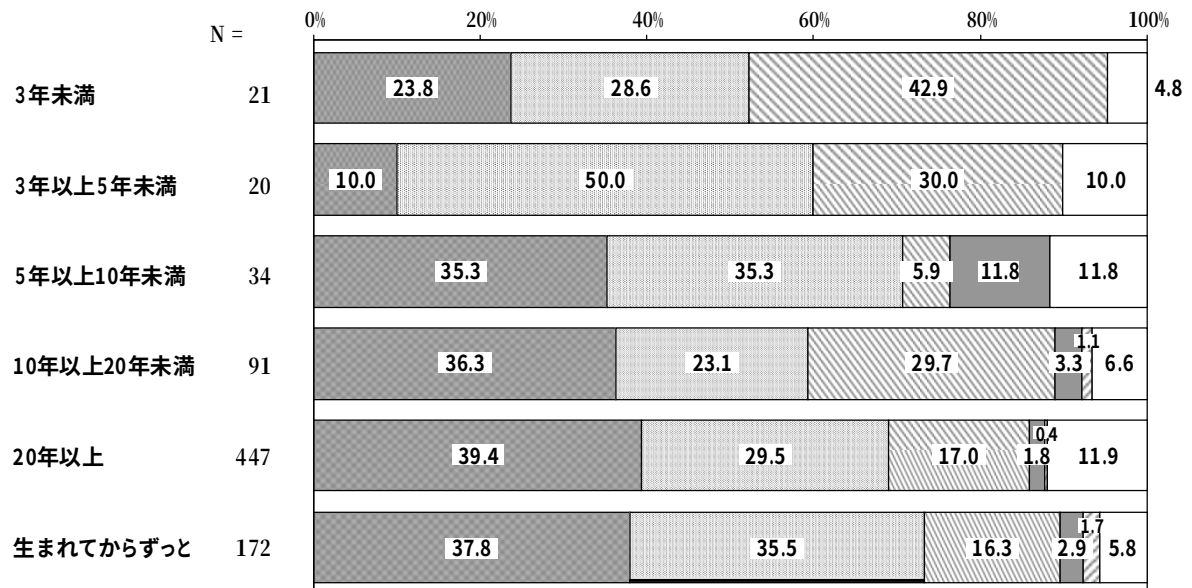
【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で“重要”の割合が高く、約7割となっています。



【居住年数別】

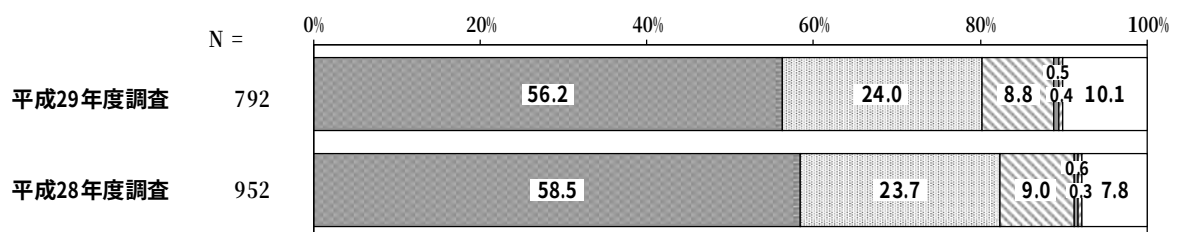
居住年数別でみると、他に比べ、5年以上10年未満、生まれてからずっとで“重要”の割合が高く、7割を超えています。



（8）安心して子育てできる環境づくり

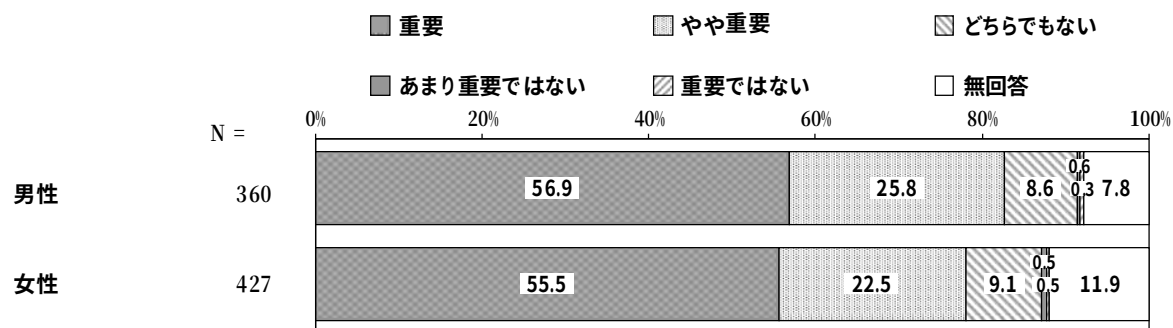
「重要ではない」と「あまり重要ではない」を合わせた“重要ではない”の割合が0.9%、「やや重要」と「重要」を合わせた“重要”の割合が80.2%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



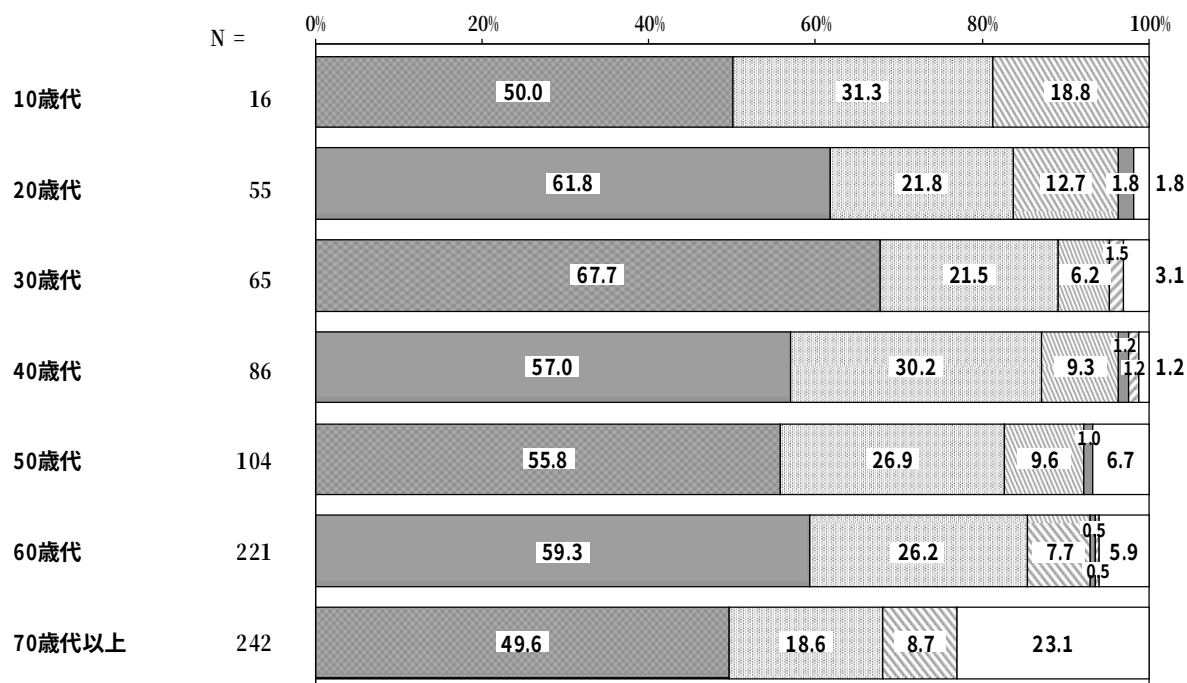
【性 別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



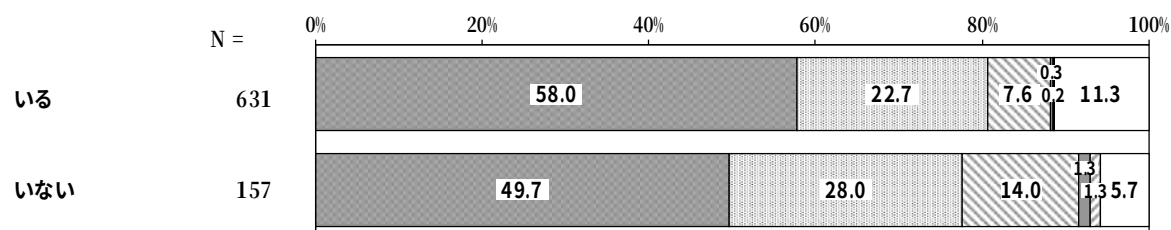
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、70歳代以上で“重要”の割合が低く、約7割となっています。



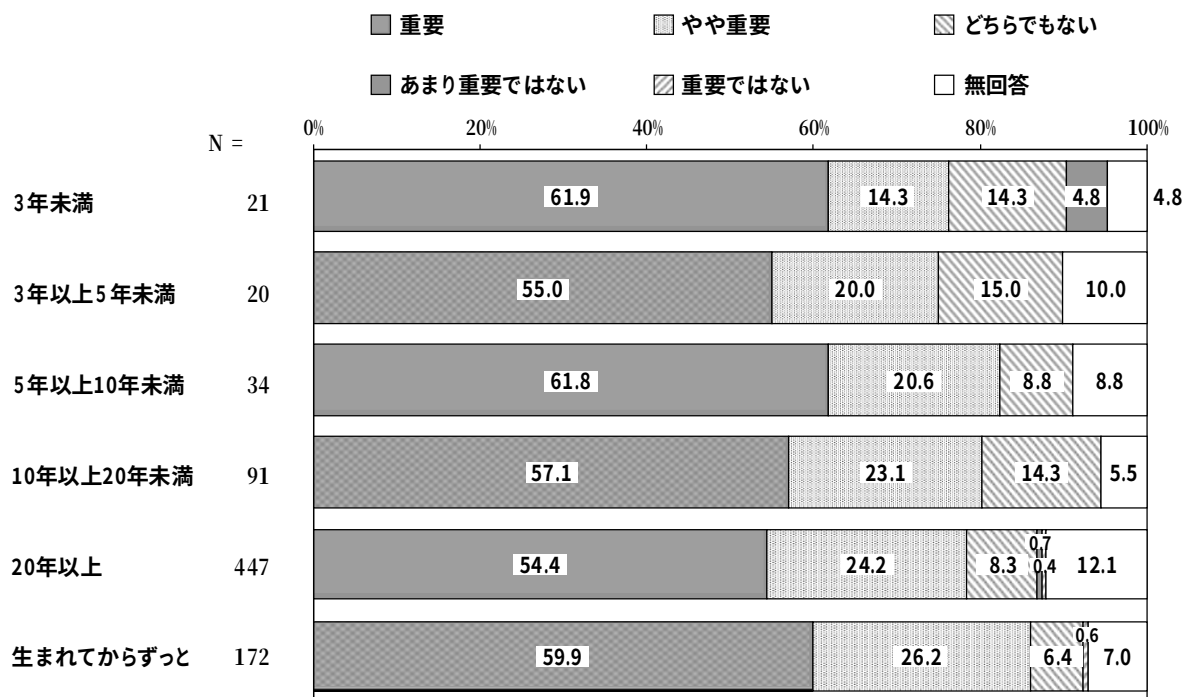
【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、大きな差異はみられません。



【居住年数別】

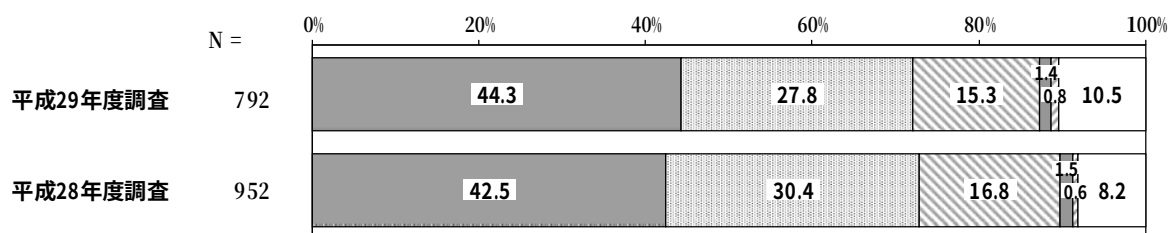
居住年数別でみると、他に比べ、5年以上10年未満、10年以上20年未満、生まれてからずっとで“重要”の割合が高く、8割を超えています。



(9) 子どもの心に寄り添い、個々の力を引き出し、伸ばす

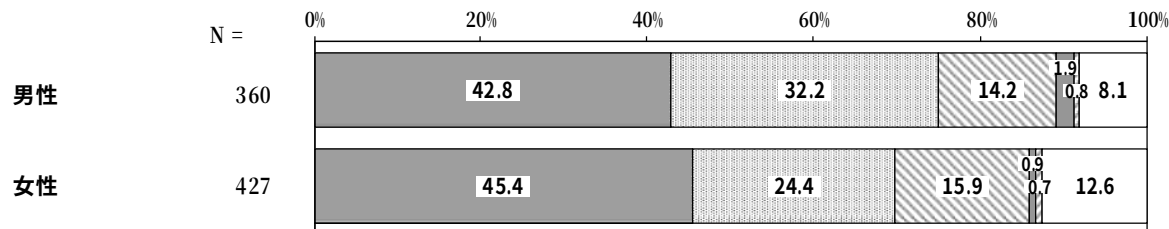
「重要ではない」と「あまり重要ではない」を合わせた“重要ではない”の割合が2.2%、「やや重要」と「重要」を合わせた“重要”の割合が72.1%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



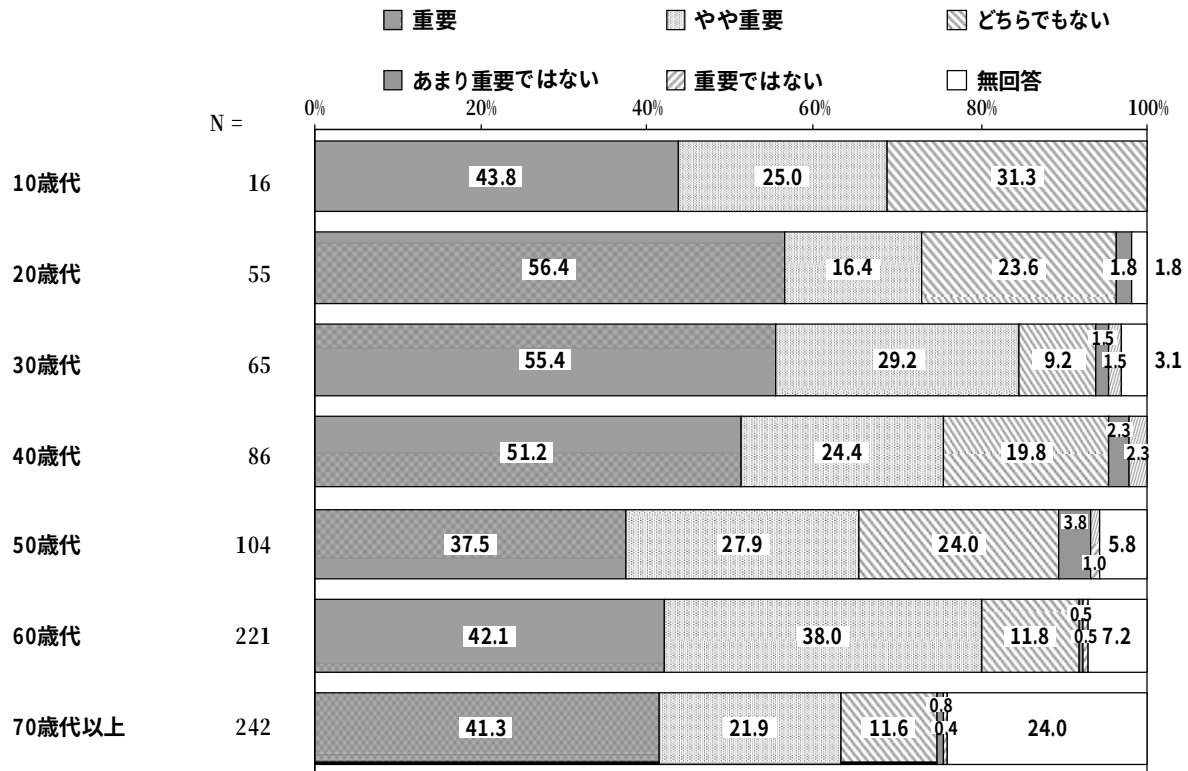
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「やや重要」の割合が高くなっています。



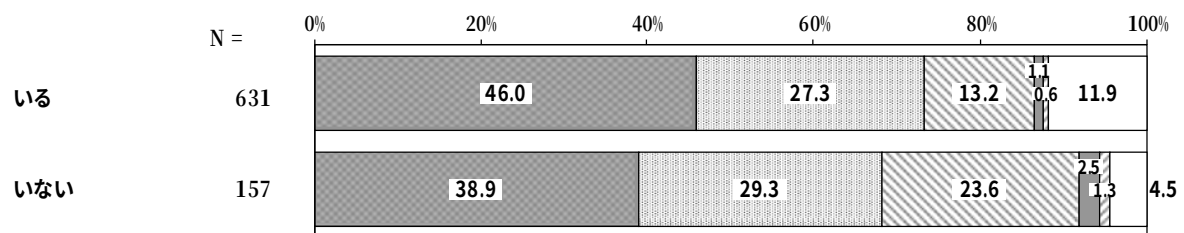
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、30 歳代、60 歳代で“重要”の割合が高く、8 割を超えています。



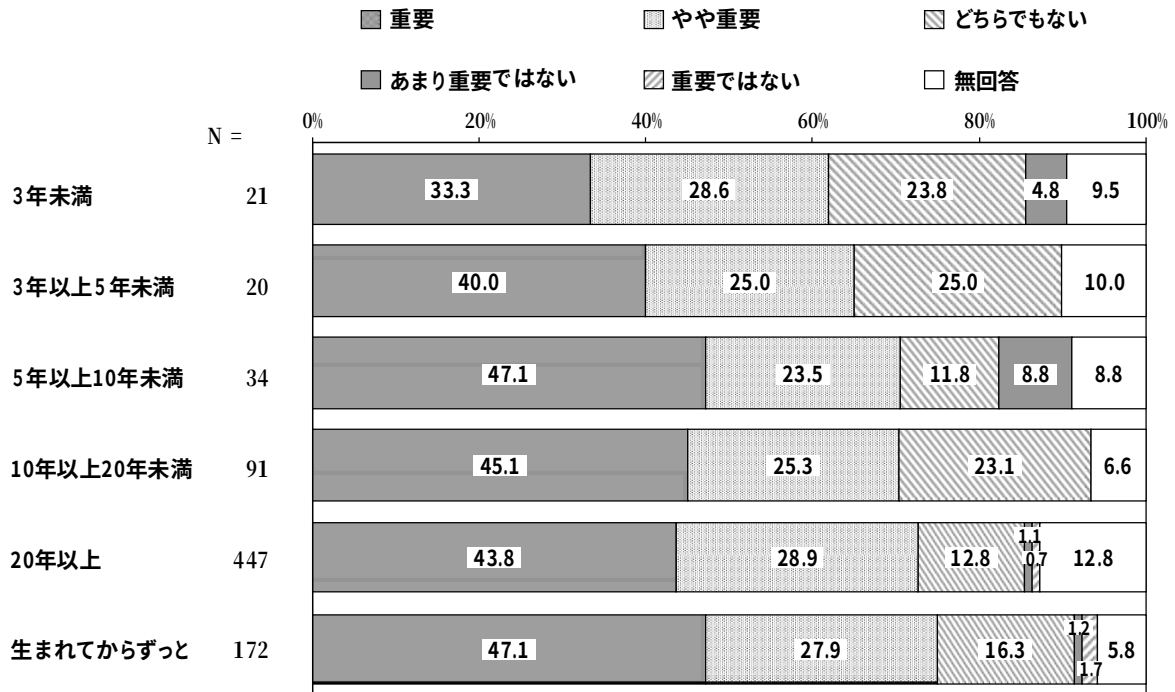
【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で“重要”の割合が高く、7 割台半ばとなっています。



【居住年数別】

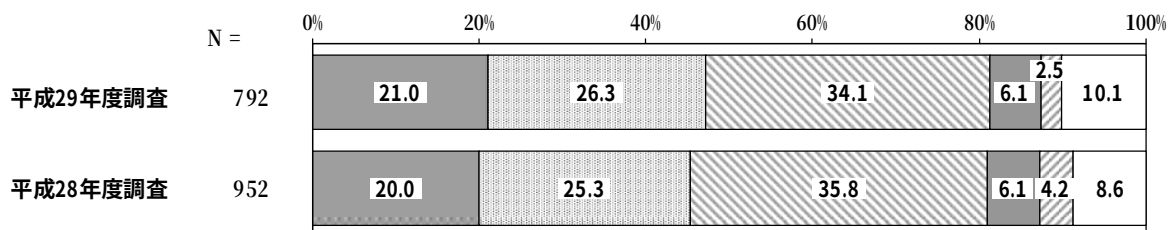
居住年数別でみると、他に比べ、5年以上10年未満、10年以上20年未満、20年以上、生まれてからずっとで“重要”の割合が高く、7割を超えています。



（10）結婚への機会づくり

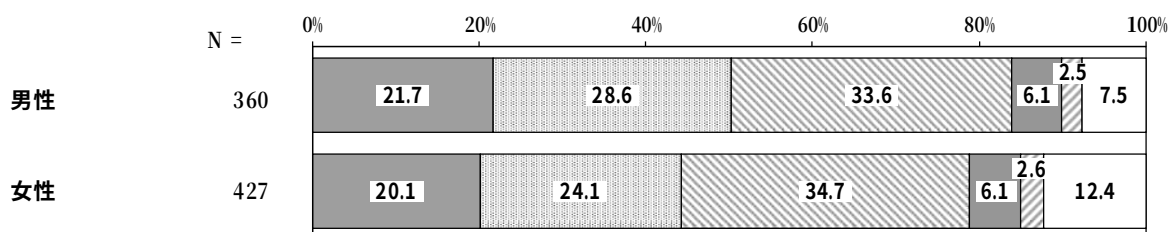
「重要ではない」と「あまり重要ではない」を合わせた“重要ではない”の割合が8.6%、「やや重要」と「重要」を合わせた“重要”の割合が47.3%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



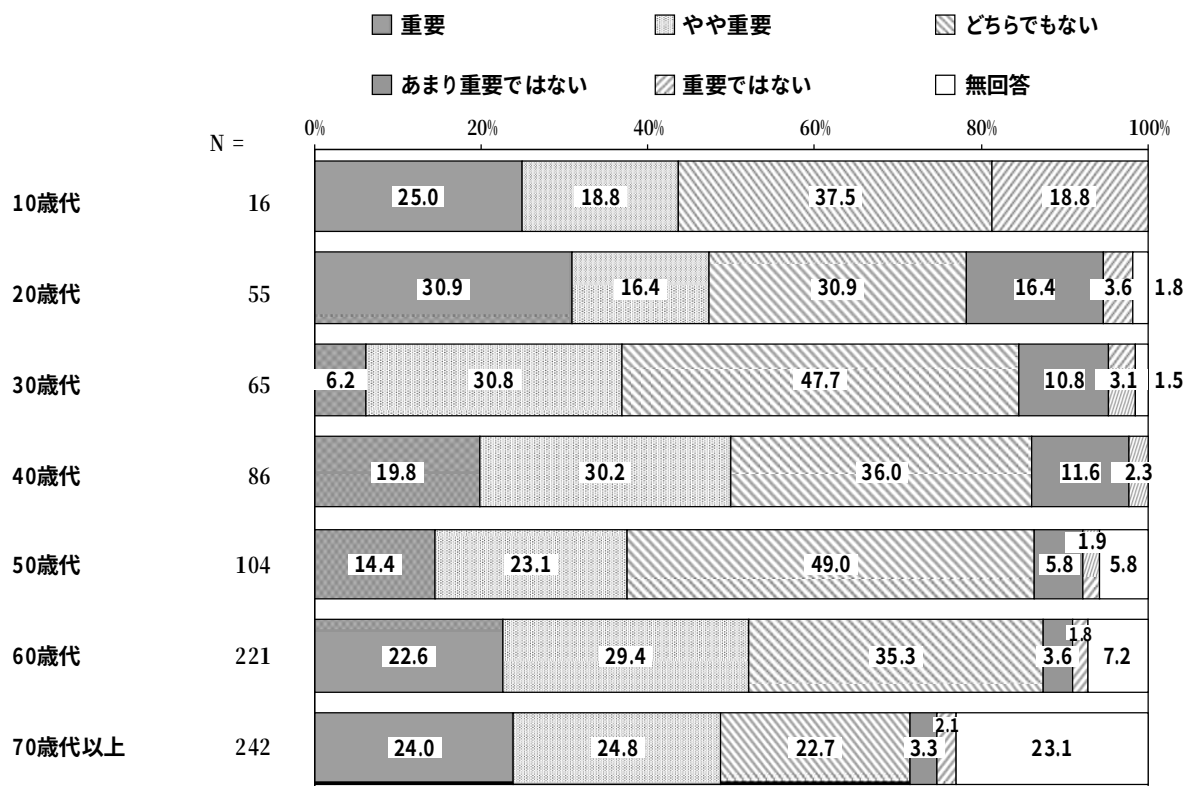
【性 別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



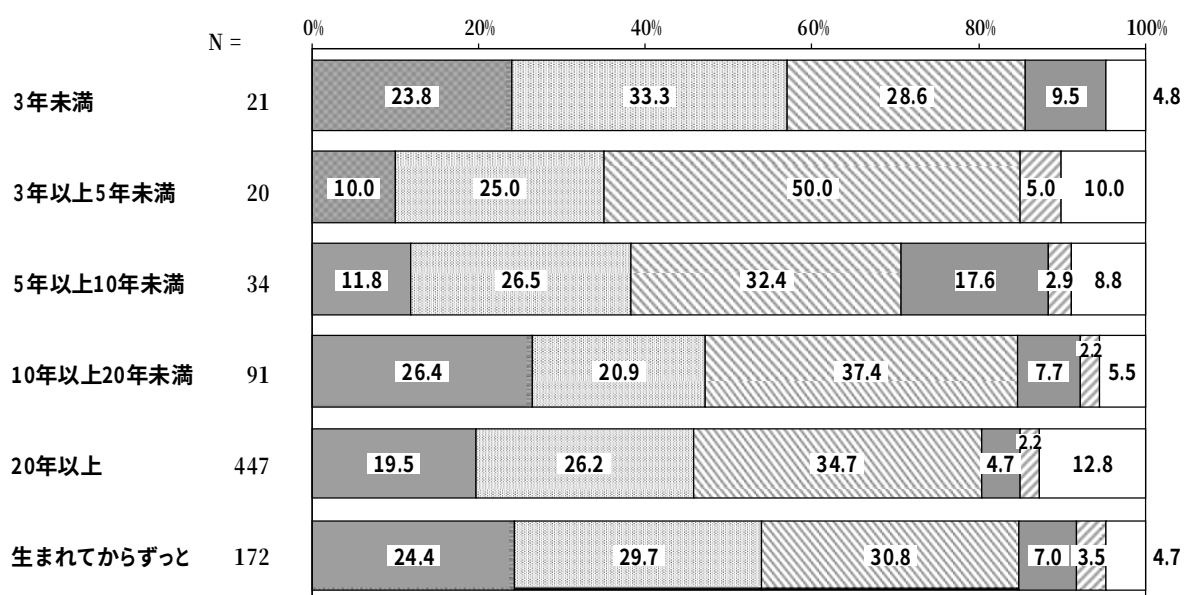
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、40歳代、60歳代で“重要”の割合が高く、5割以上となっています。



【居住年数別】

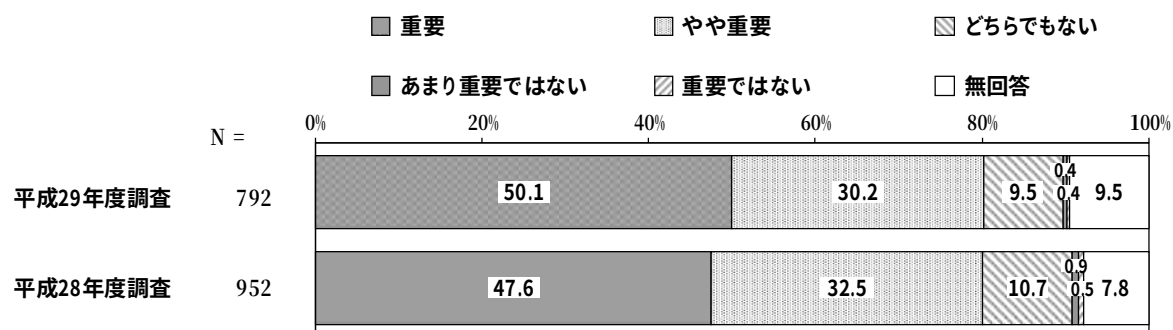
居住年数別でみると、他に比べ、3年未満、生まれてからずっとで“重要”の割合が高く、5割半ばとなっています。また、5年以上10年未満で“重要ではない”の割合が高く、約2割となっています。



（１１）健康で暮らせる環境づくり

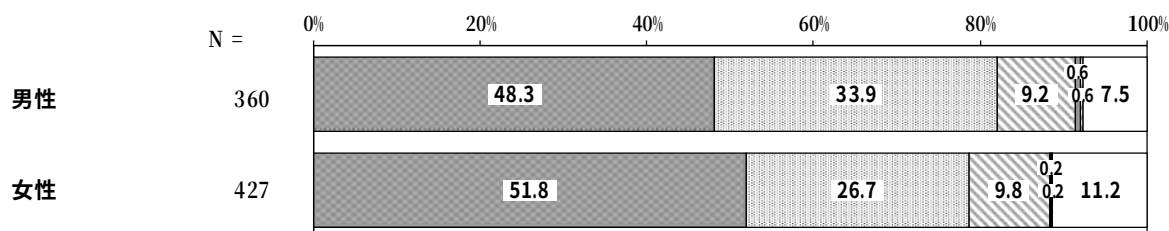
「重要ではない」と「あまり重要ではない」を合わせた“重要ではない”の割合が0.8%、「やや重要」と「重要」を合わせた“重要”の割合が80.3%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



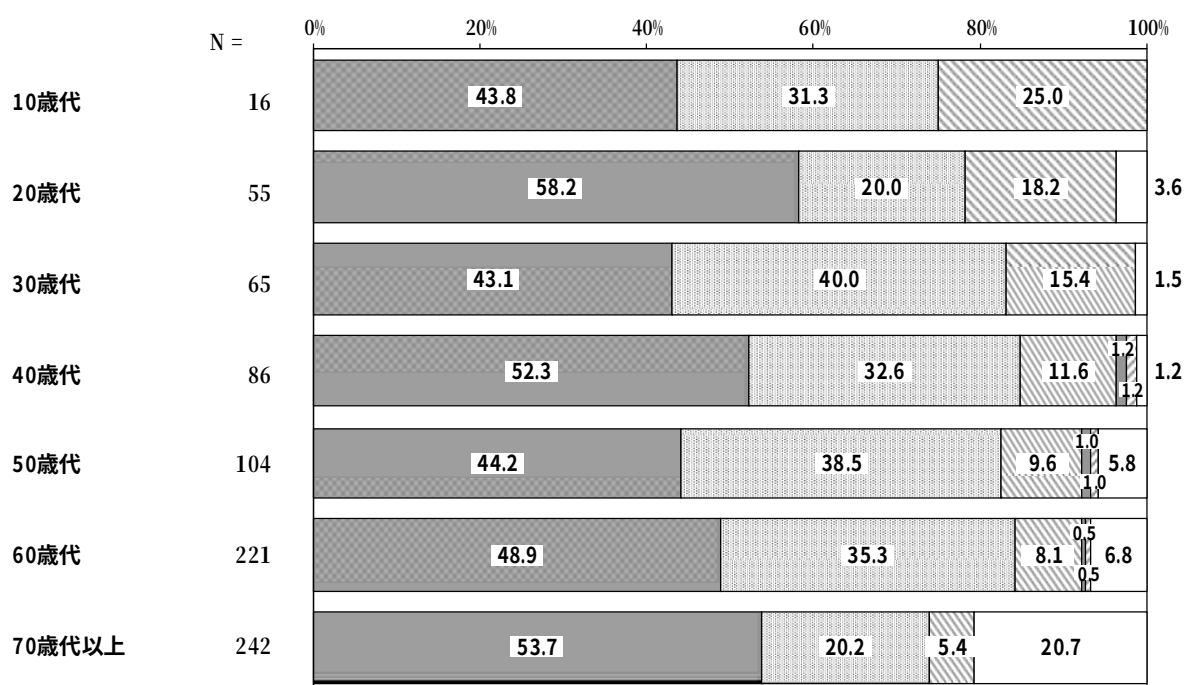
【性 別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「やや重要」の割合が高くなっています。



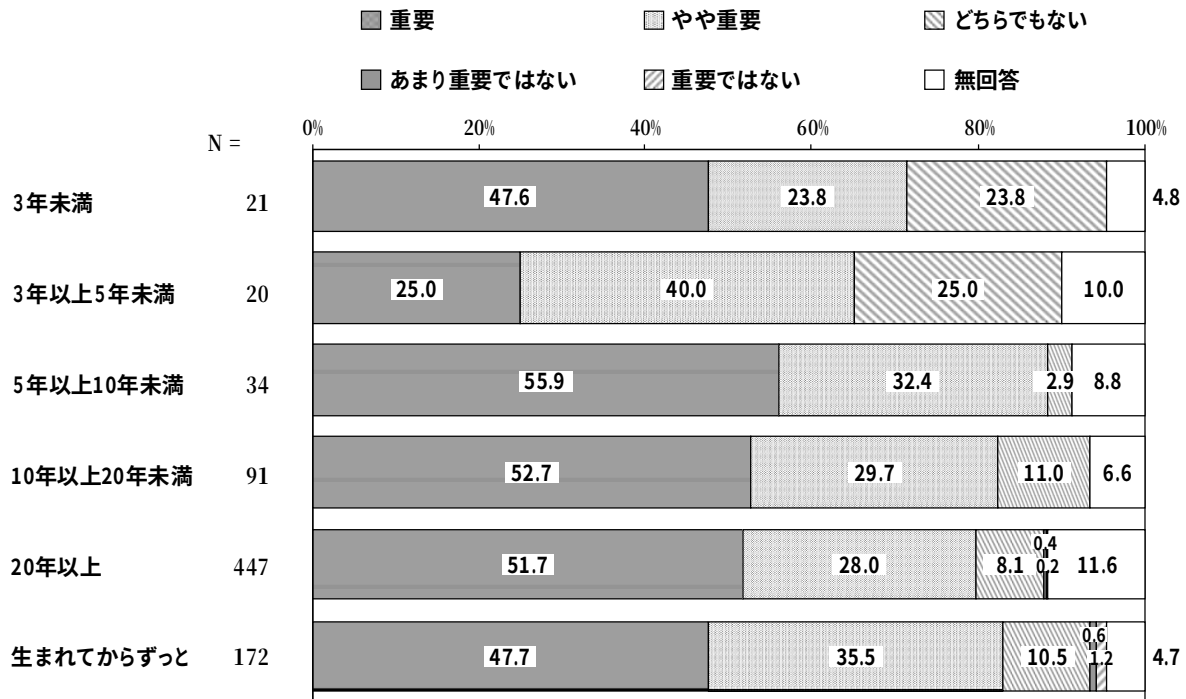
【年代別】

年代別でみると、他に比べ、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代で“重要”の割合が高く、8割を超えています。



【居住年数別】

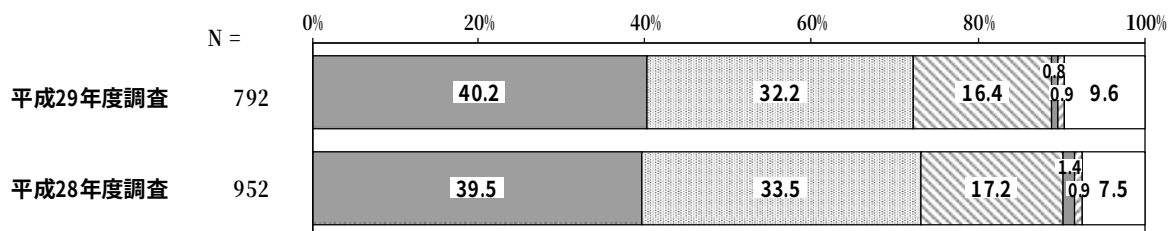
居住年数別でみると、他に比べ、5年以上10年未満で“重要”の割合が高く、約9割となっています。



（12）支え合いにより地域で暮らせる仕組みづくり

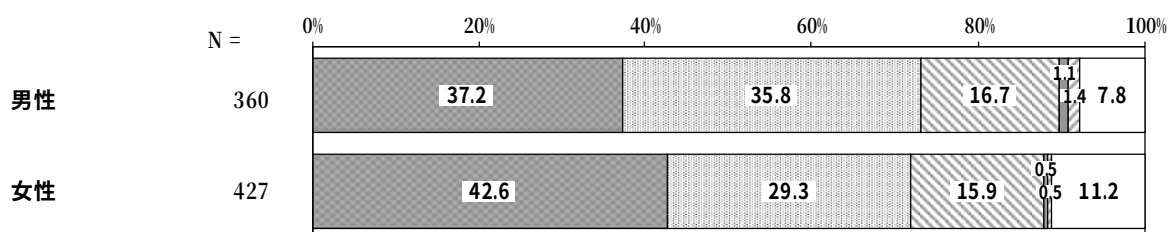
「重要ではない」と「あまり重要ではない」を合わせた“重要ではない”の割合が1.7%、「やや重要」と「重要」を合わせた“重要”の割合が72.4%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



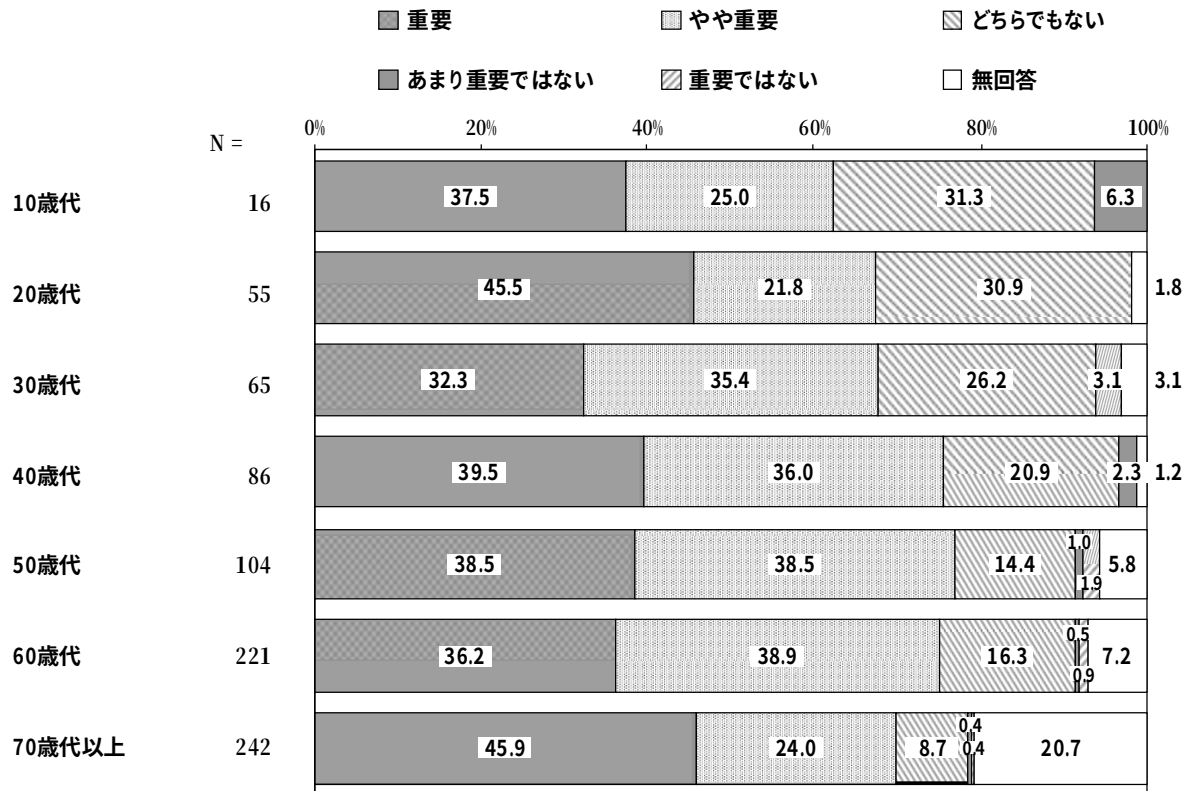
【性 別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「やや重要」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「重要」の割合が高くなっています。



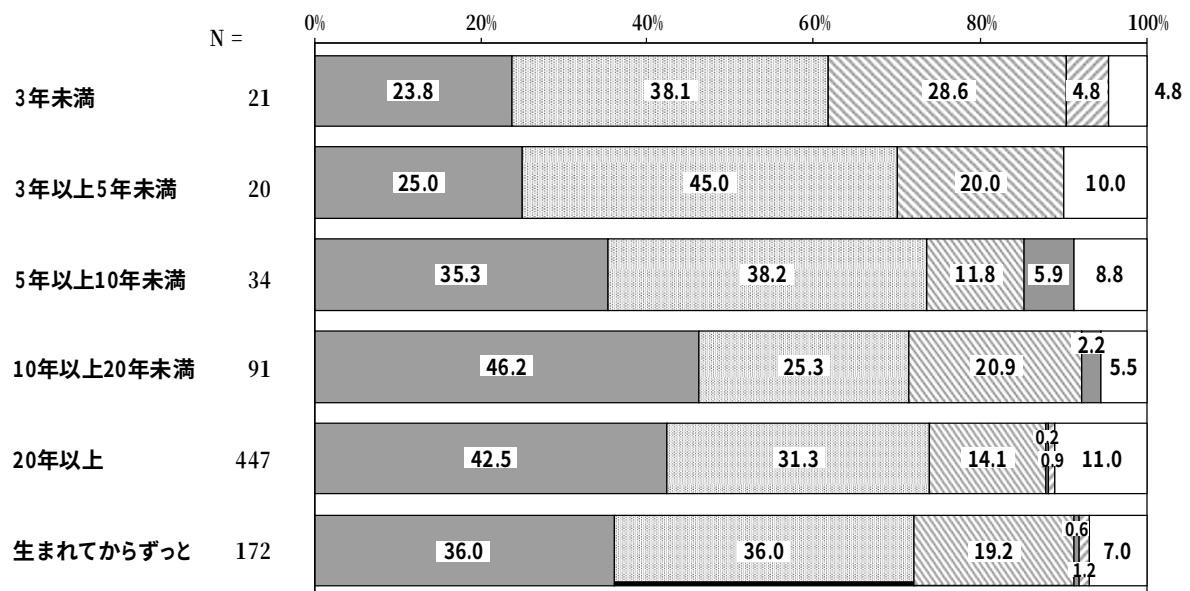
【年代別】

年代別でみると、他に比べ、40歳代、50歳代、60歳代で“重要”の割合が高く、7割半ばとなっています。



【居住年数別】

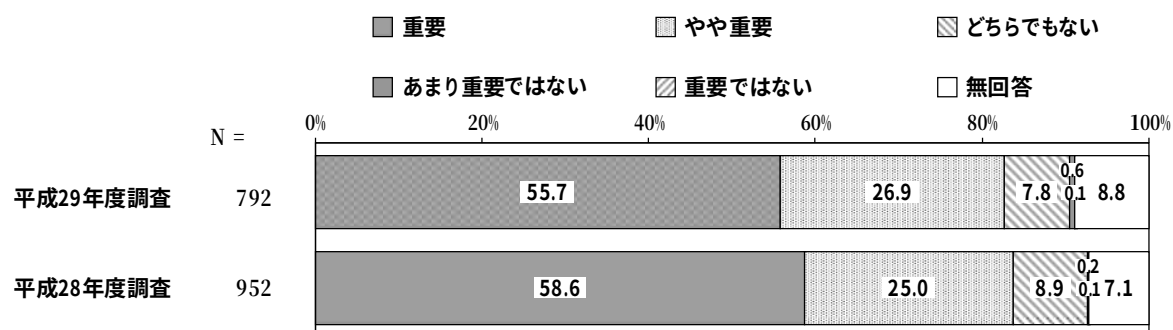
居住年数別でみると、他に比べ、3年未満で“重要”の割合が低く、約6割となっています。



（１３）安心して暮らせる生活環境づくり

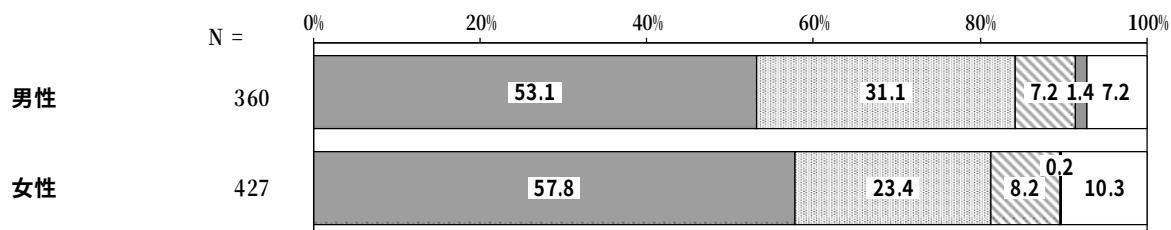
「重要ではない」と「あまり重要ではない」を合わせた“重要ではない”の割合が0.7%、「やや重要」と「重要」を合わせた“重要”の割合が82.6%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



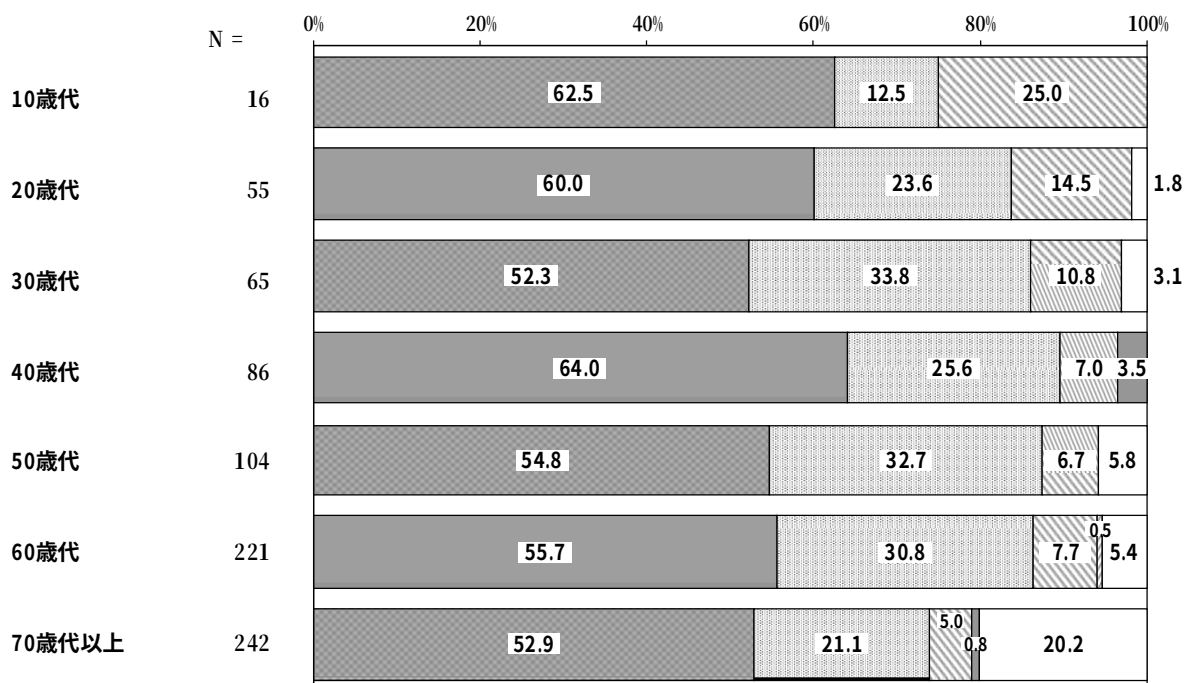
【性 別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「やや重要」の割合が高くなっています。



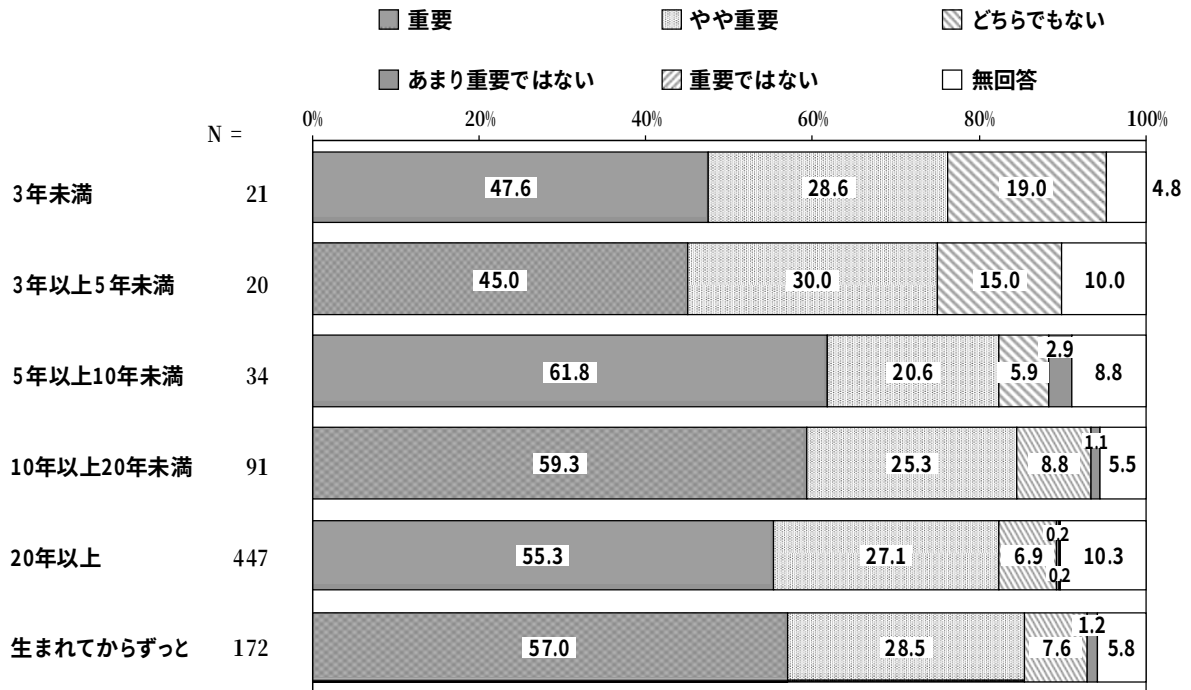
【年代別】

年代別でみると、他に比べ、40歳代で“重要”の割合が高く、約9割となっています。



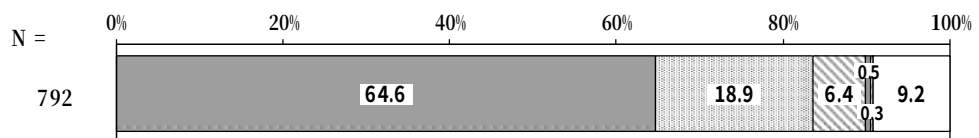
【居住年数別】

居住年数別でみると、他に比べ、5年以上10年未満、10年以上20年未満、20年以上、生まれてからずっとで“重要”の割合が高く、8割を超えています。



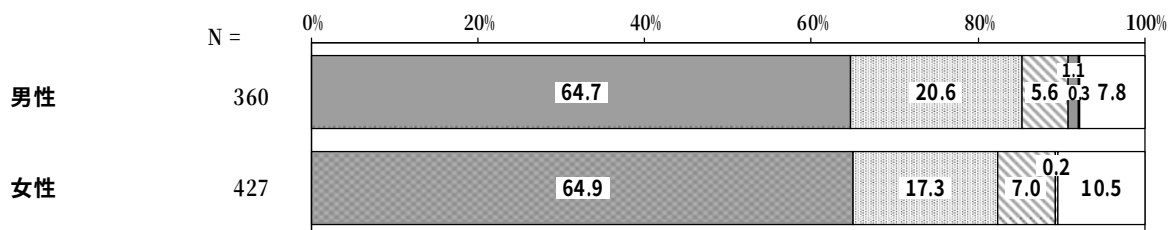
(14) 必要な医療サービスが受けられる

「重要ではない」と「あまり重要ではない」を合わせた“重要ではない”の割合が0.8%、「やや重要」と「重要」を合わせた“重要”の割合が83.5%となっています。



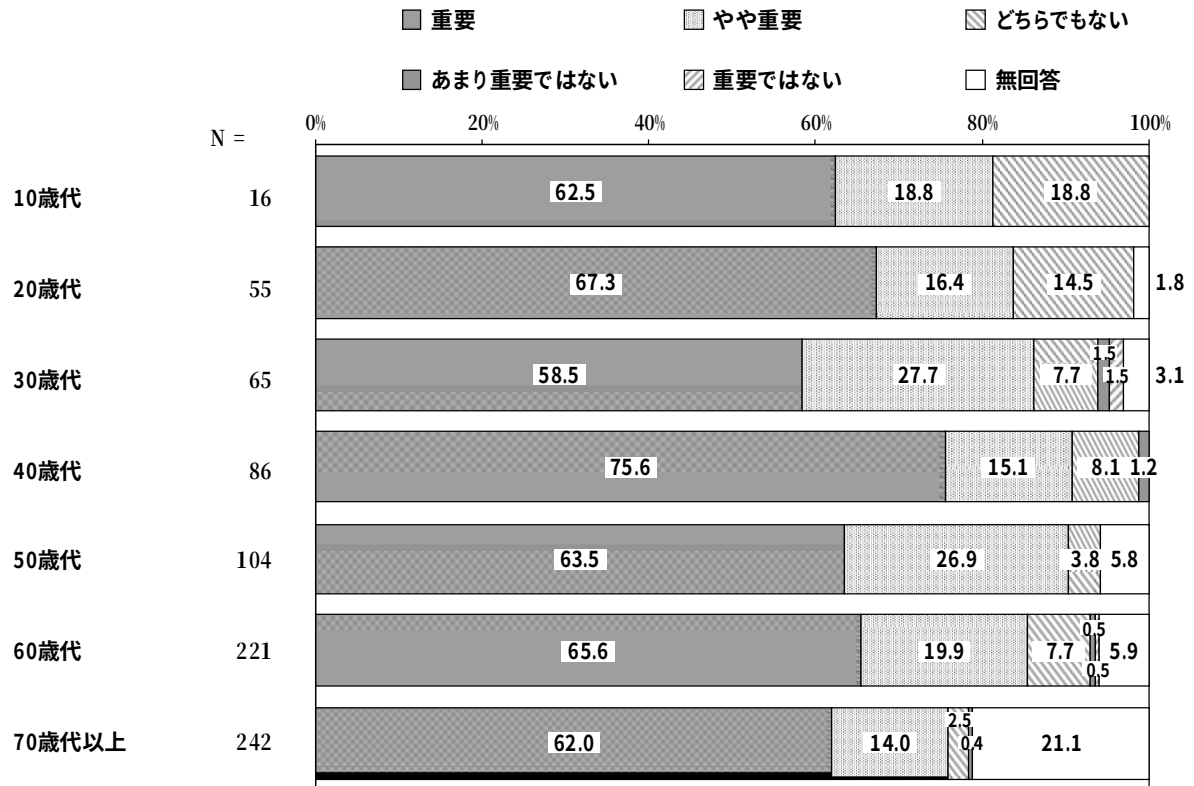
【性 別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



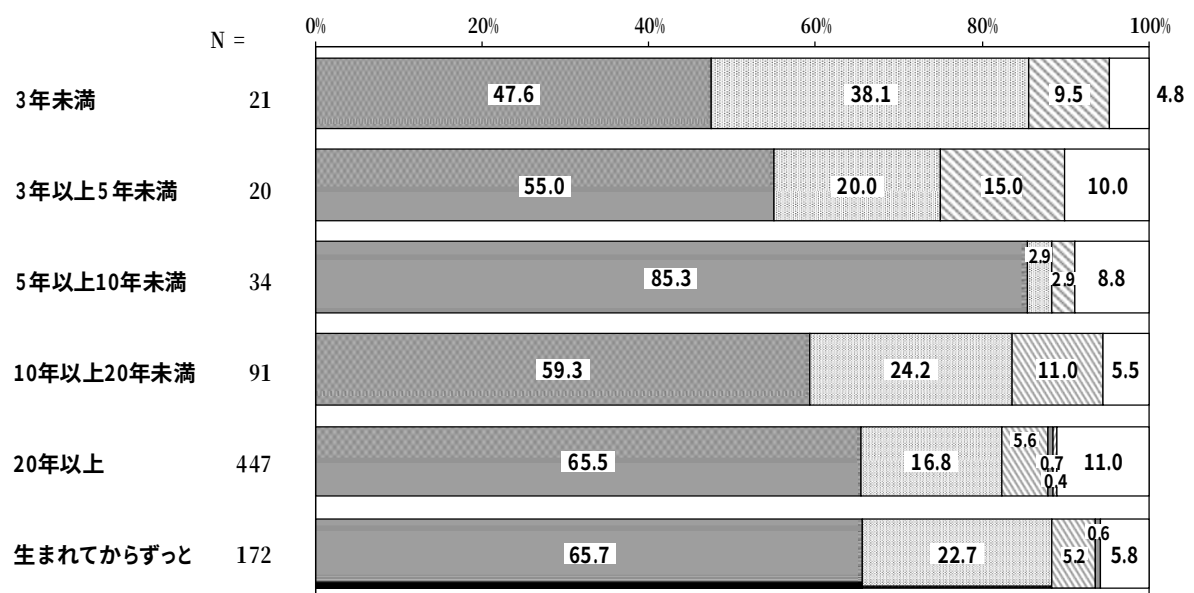
【年代別】

年代別でみると、他に比べ、40 歳代、50 歳代で“重要”の割合が高く、約9割となっています。



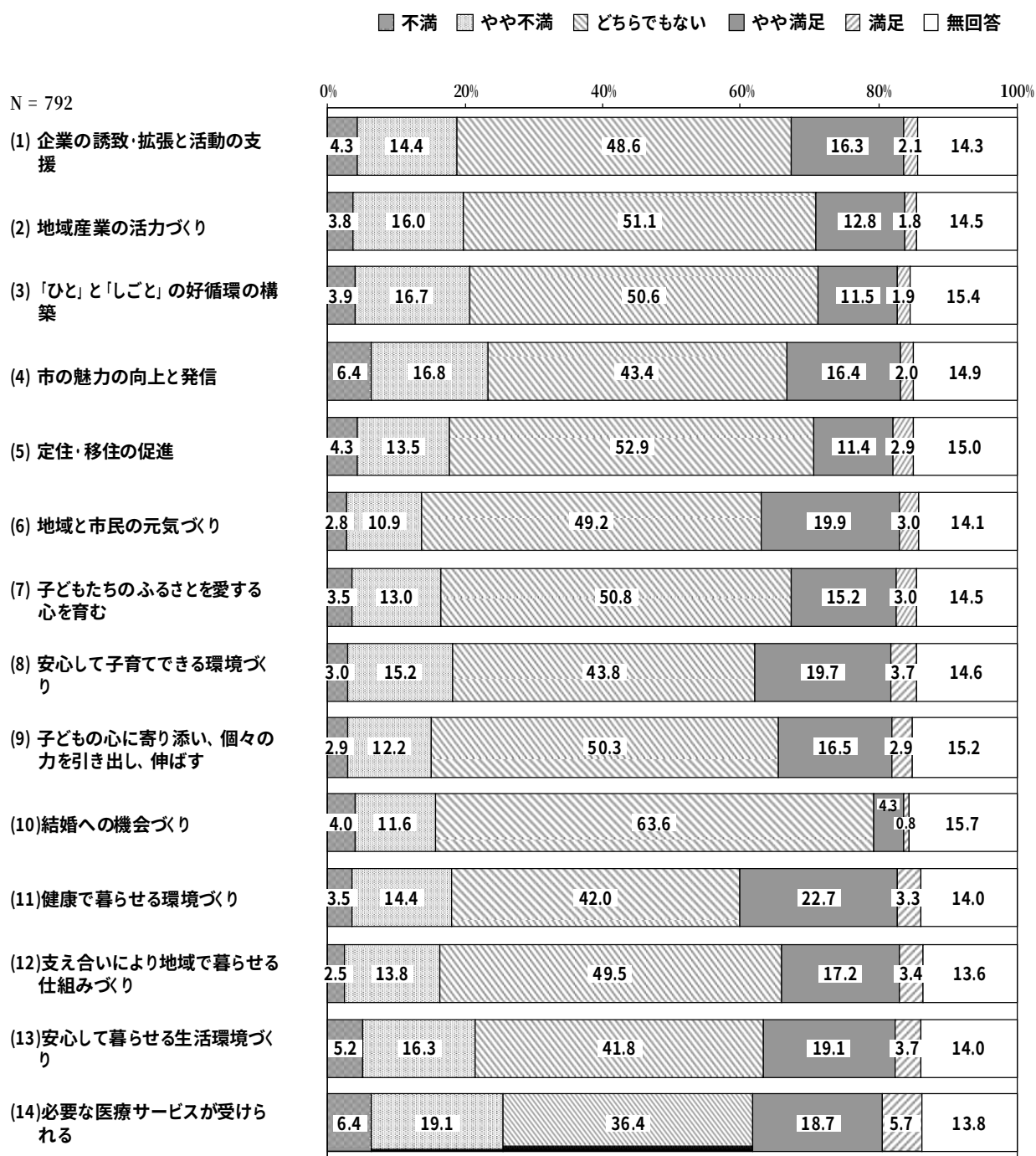
【居住年数別】

居住年数別でみると、他に比べ、3年以上5年未満で“重要”の割合が低く、7割半ばとなっています。



② 満足度

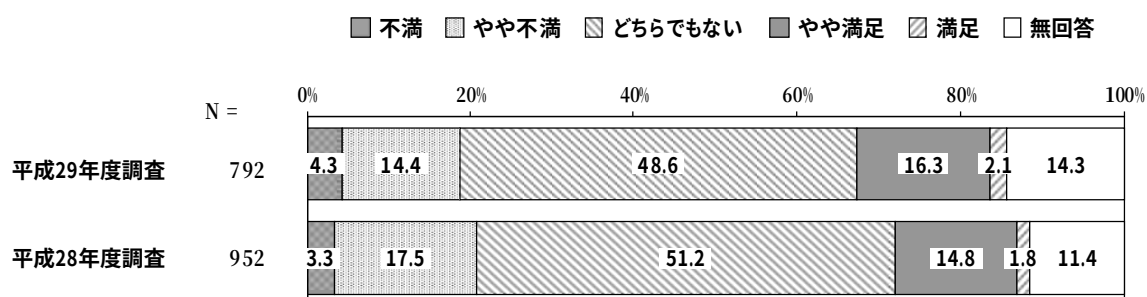
『地域と市民の元気づくり』『安心して子育てできる環境づくり』『健康で暮らせる環境づくり』『支え合いにより地域で暮らせる仕組みづくり』『安心して暮らせる生活環境づくり』『必要な医療サービスが受けられる』で「満足」と「やや満足」を合わせた“満足”の割合が高くなっています。



（１）企業の誘致・拡張と活動の支援

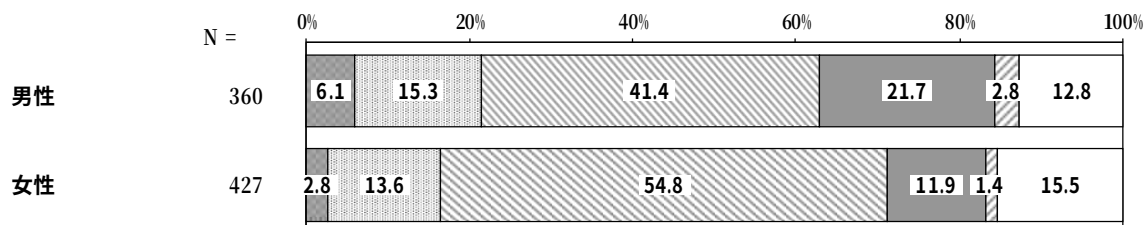
「不満」と「やや不満」を合わせた“不満”の割合が 18.7%、「やや満足」と「満足」を合わせた“満足”の割合が 18.4%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



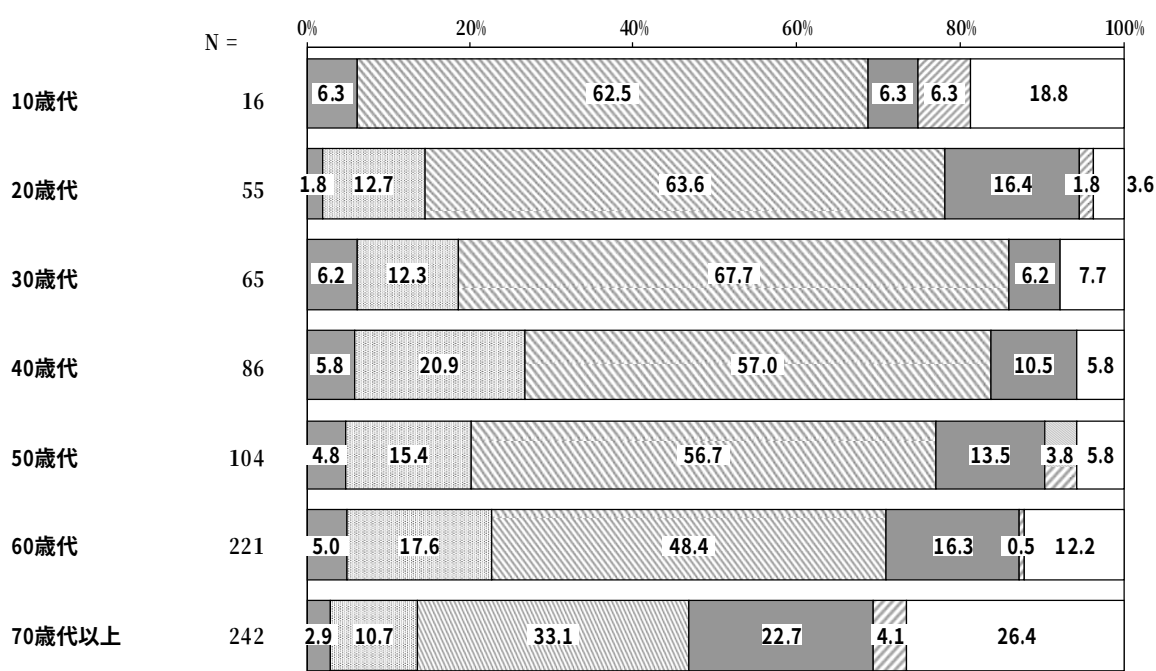
【性 別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「やや満足」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「どちらでもない」の割合が高くなっています。



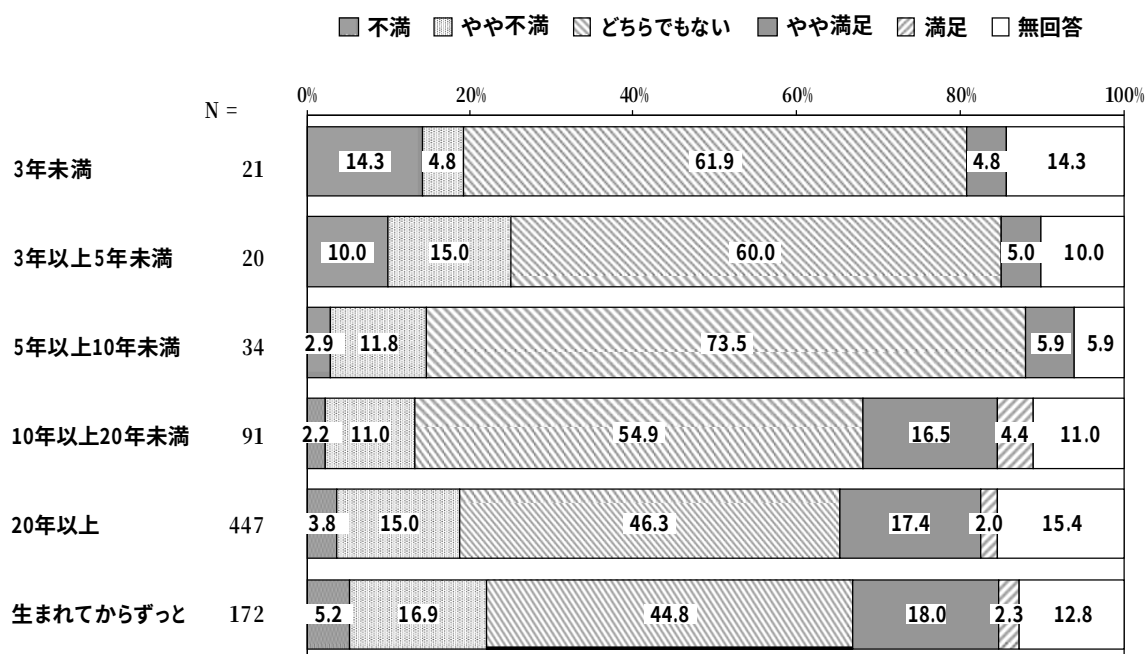
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、40 歳代で“不満”の割合が高く、2 割台半ばとなっています。また、70 歳代以上で“満足”の割合が高く、2 割台半ばとなっています。



【居住年数別】

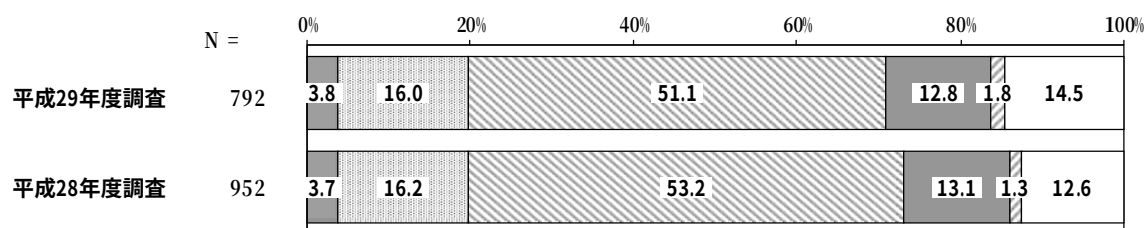
居住年数別でみると、他に比べ、3年以上5年未満で“不満”の割合が高く、2割台半ばとなっています。また、10年以上20年未満、20年以上、生まれてからずっとで“満足”の割合が高く、約2割となっています。



(2) 地域産業の活力づくり

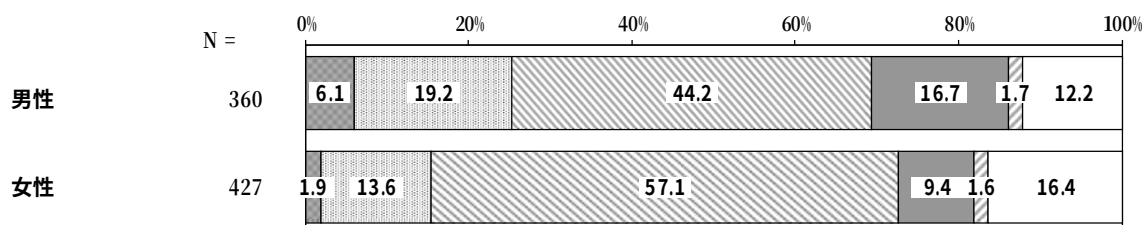
「不満」と「やや不満」を合わせた“不満”の割合が19.8%、「やや満足」と「満足」を合わせた“満足”の割合が14.6%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



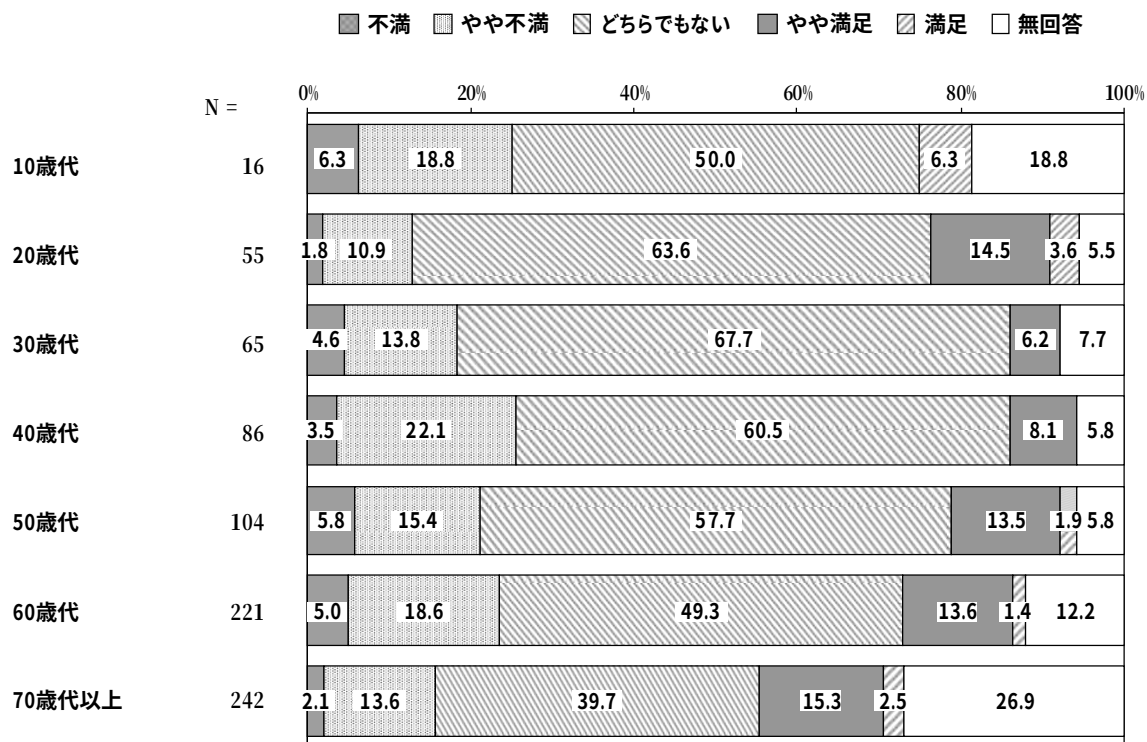
【性 別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「やや不満」「やや満足」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「どちらでもない」の割合が高くなっています。



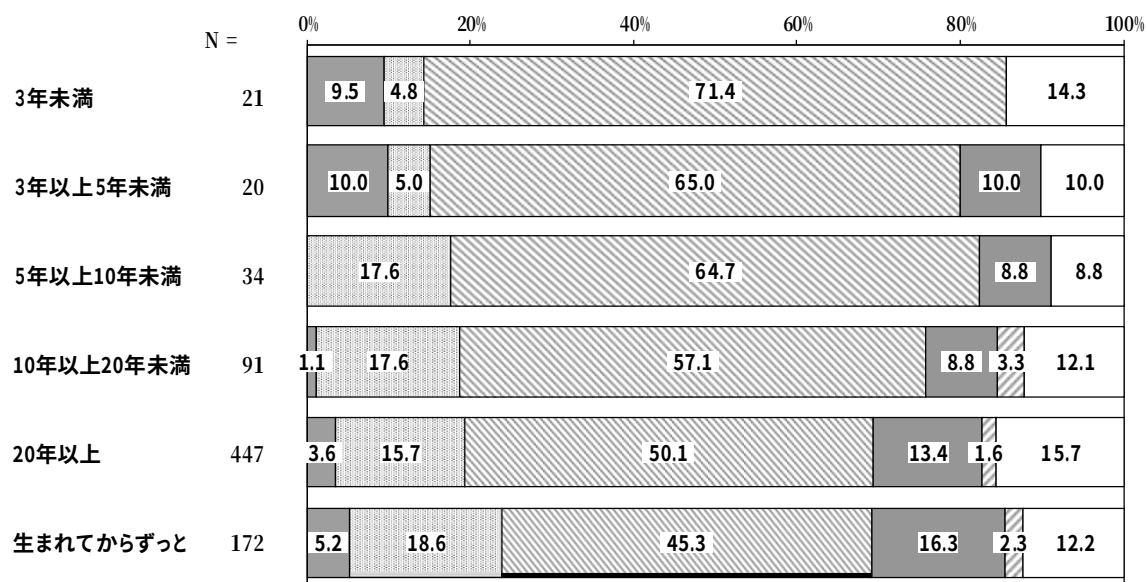
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、10 歳代、40 歳代、50 歳代、60 歳代で“不満”の割合が高く、2 割を超えています。また、20 歳代で“満足”の割合が高く、約 2 割となっています。



【居住年数別】

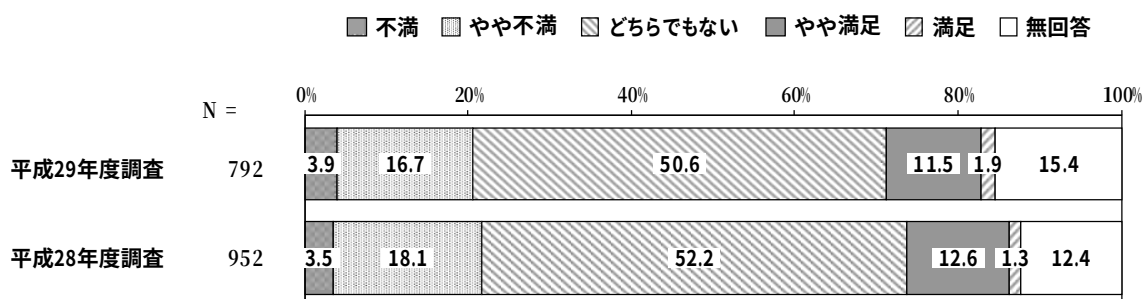
居住年数別でみると、他に比べ、生まれてからずっとで“不満”、“満足”の割合が高くなっています。



(3) 「ひと」と「しごと」の好循環の構築

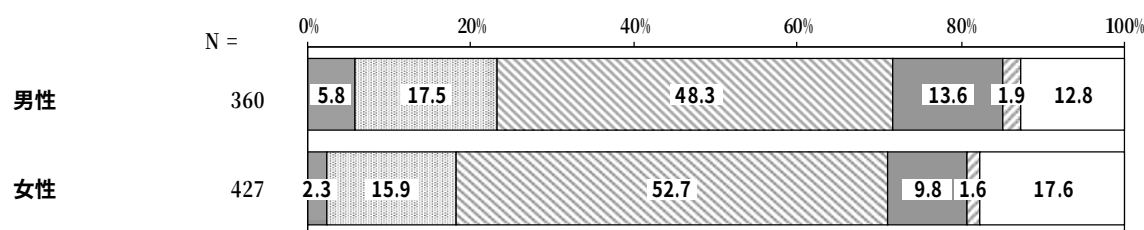
「不満」と「やや不満」を合わせた“不満”の割合が 20.6%、「やや満足」と「満足」を合わせた“満足”の割合が 13.4%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



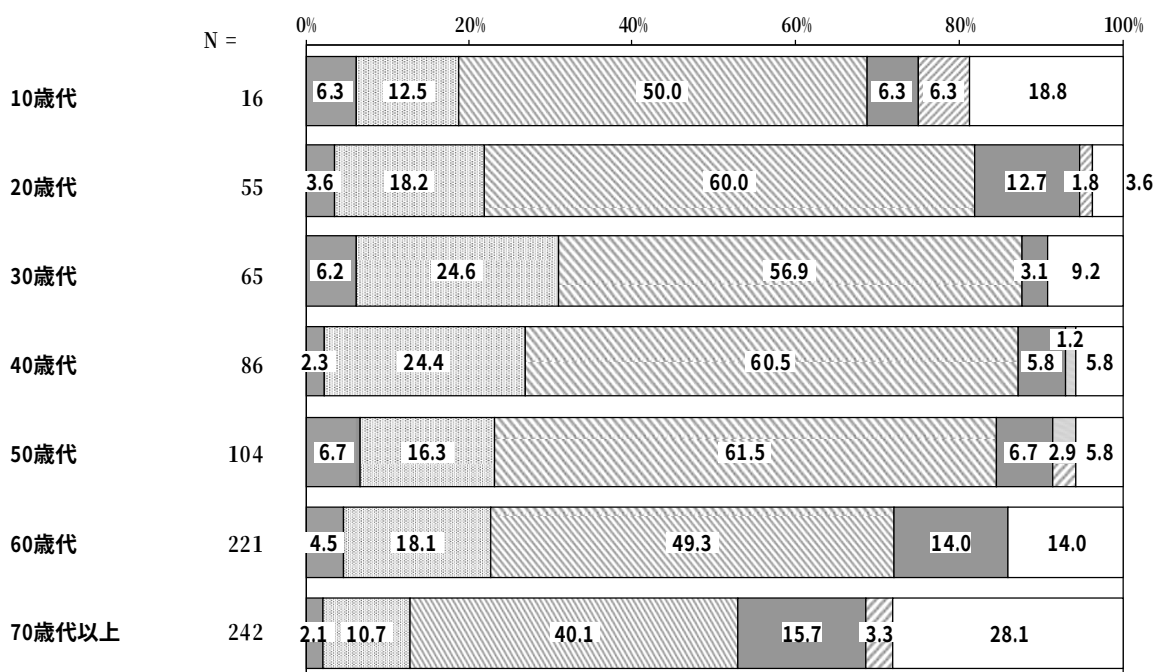
【性 別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



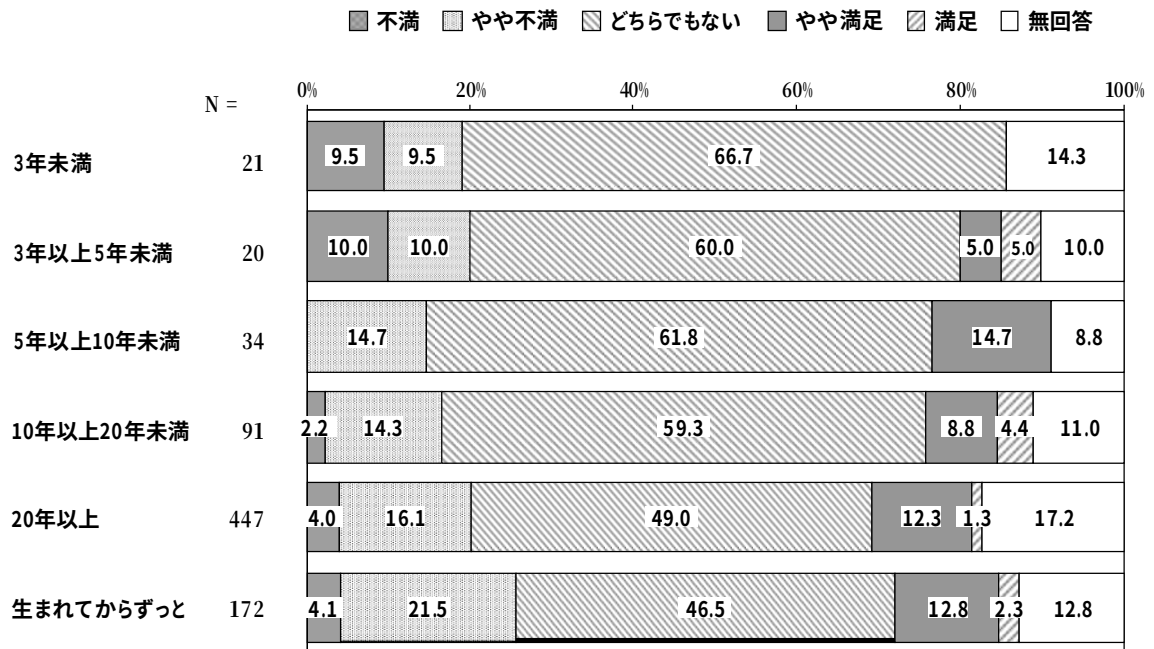
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、30 歳代で“不満”の割合が高く、約 3 割となっています。また、70 歳代以上で“満足”の割合が高く、約 2 割となっています。



【居住年数別】

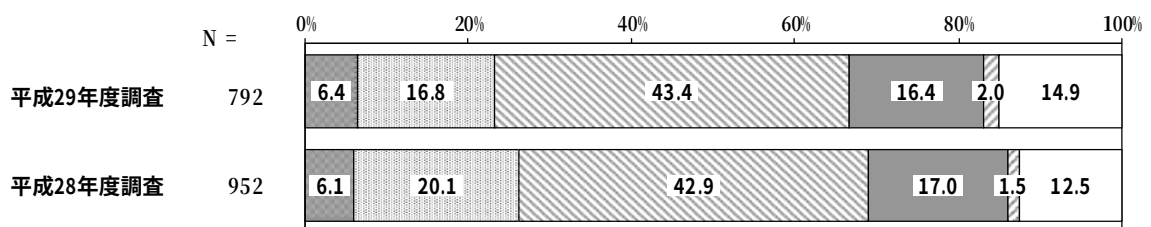
居住年数別でみると、他に比べ、生まれてからずっとで“不満”、“満足”の割合が高くなっています。



（４）市の魅力の向上と発信

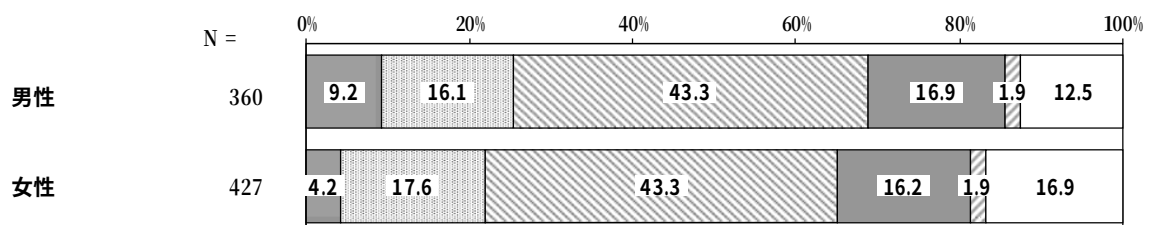
「不満」と「やや不満」を合わせた“不満”の割合が 23.2%、「やや満足」と「満足」を合わせた“満足”の割合が 18.4%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



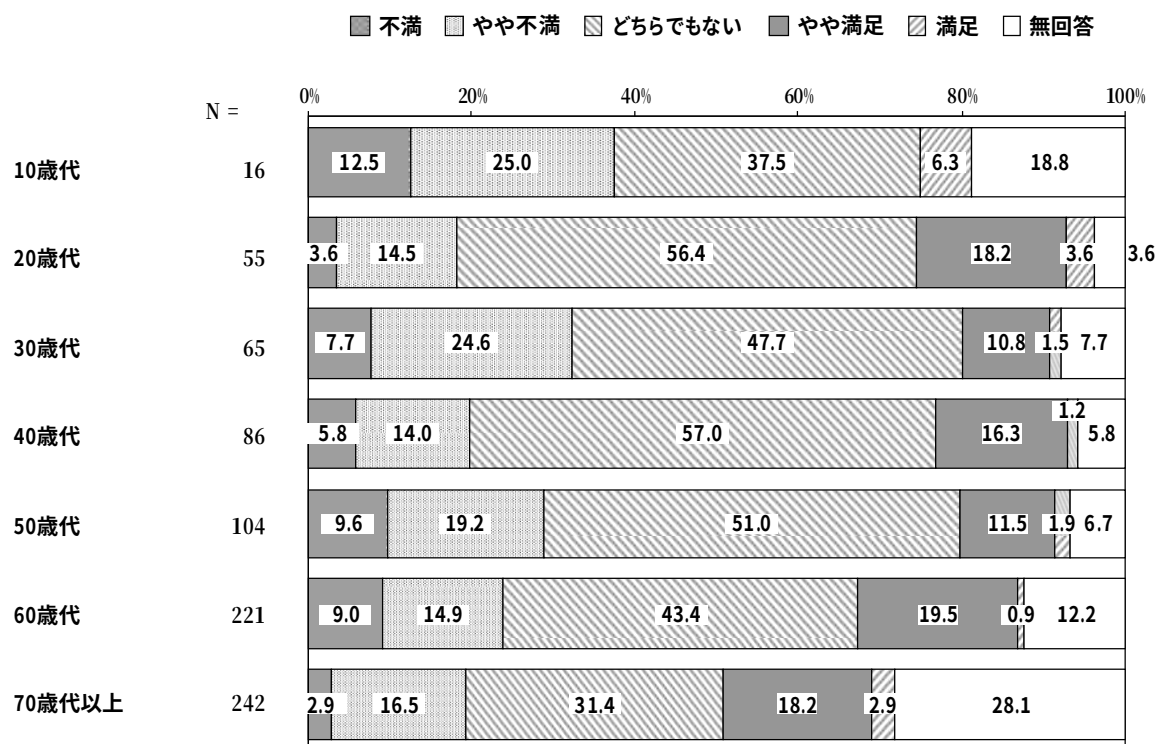
【性 別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「不満」の割合が高くなっています。



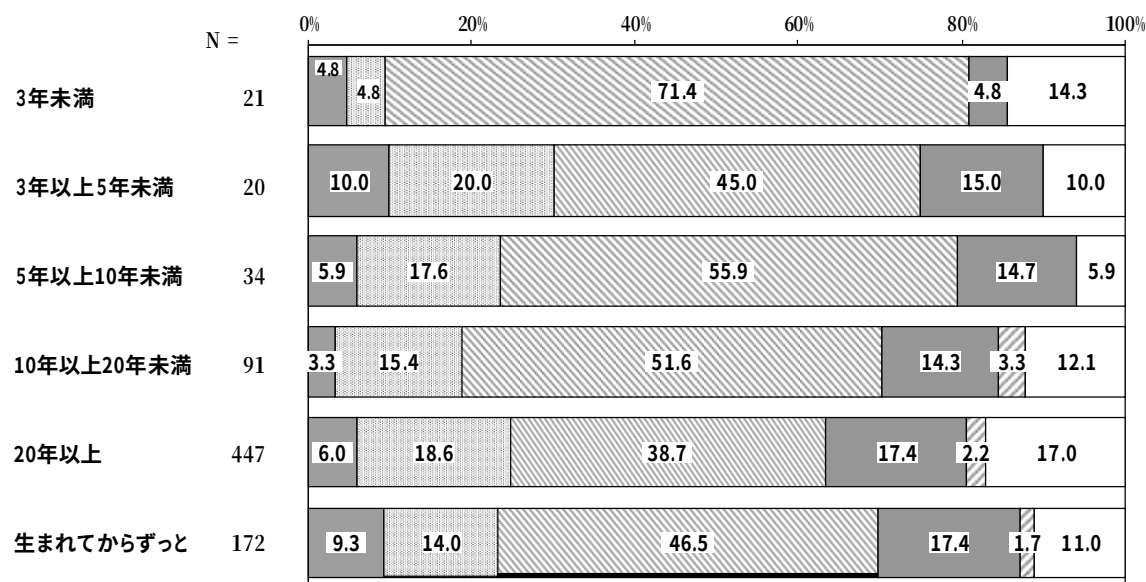
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、10 歳代で“ 不満 ”の割合が高く、3 割半ばとなっています。また、20 歳代、60 歳代、70 歳代以上で“ 満足 ”の割合が高く、約 2 割となっています。



【居住年数別】

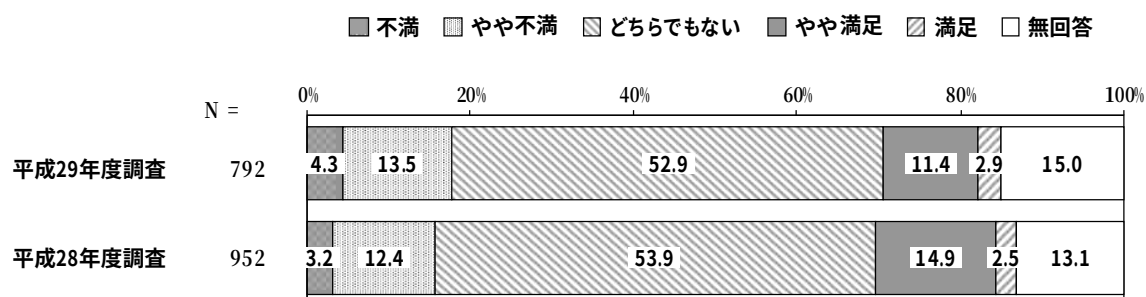
居住年数別でみると、他に比べ、3 年以上 5 年未満で“ 不満 ”の割合が高く、3 割となっています。また、20 年以上、生まれてからずっとで“ 満足 ”の割合が高く、約 2 割となっています。



（５）定住・移住の促進

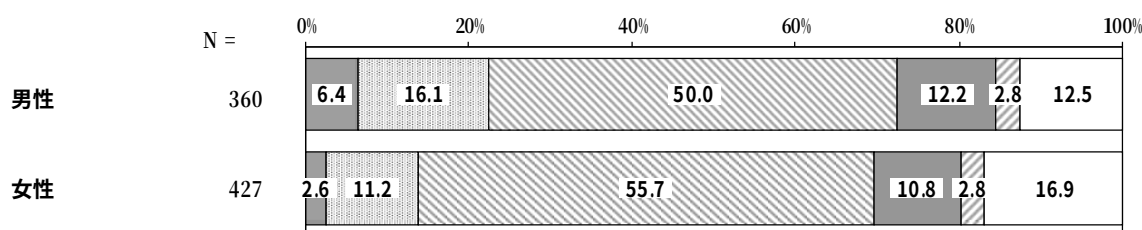
「不満」と「やや不満」を合わせた“不満”の割合が 17.8%、「やや満足」と「満足」を合わせた“満足”の割合が 14.3%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



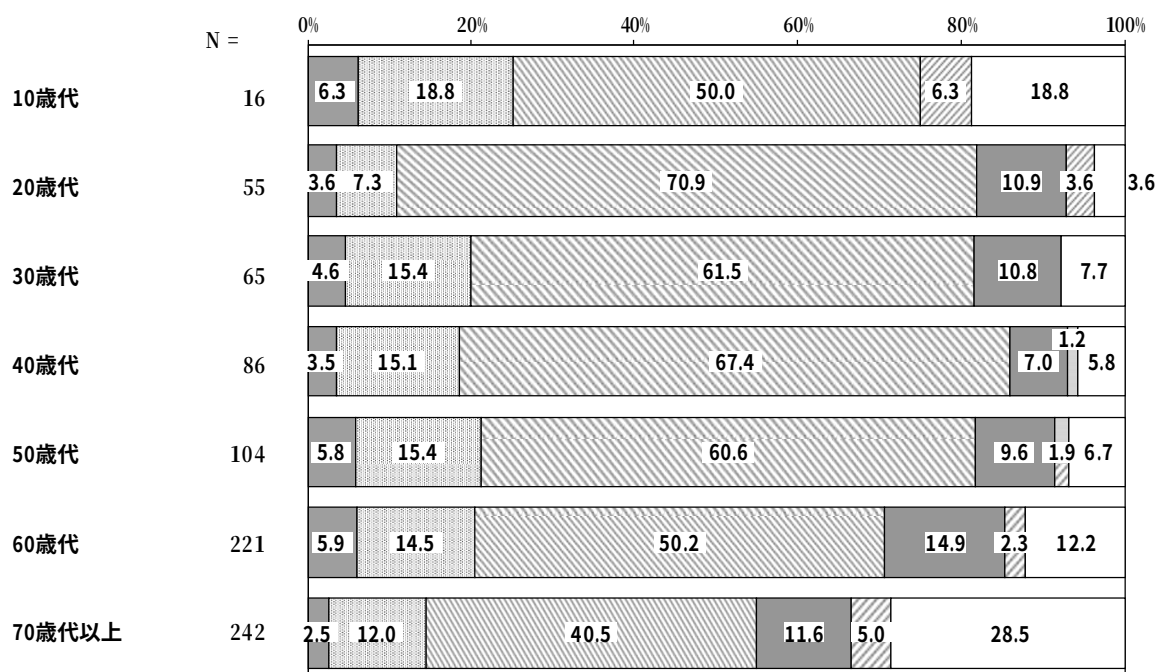
【性 別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「どちらでもない」の割合が高くなっています。



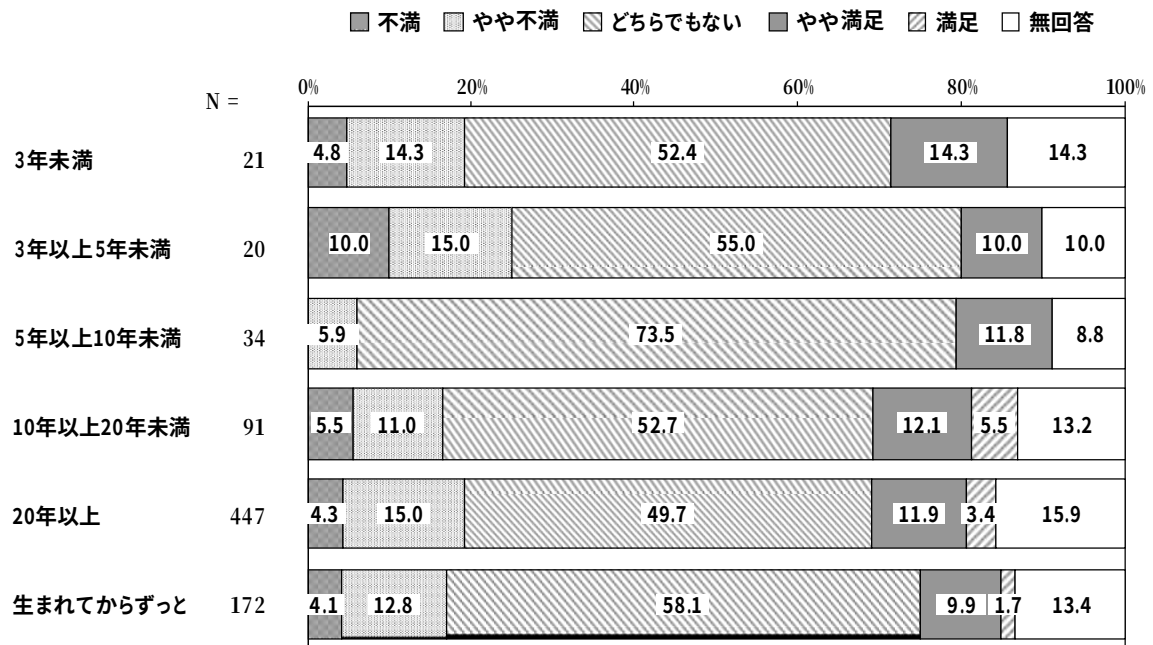
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、10 歳代で“不満”の割合が高く、2 割台半ばとなっています。また、20 歳代、60 歳代、70 歳代以上で“満足”の割合が高く、1 割台半ばとなっています。



【居住年数別】

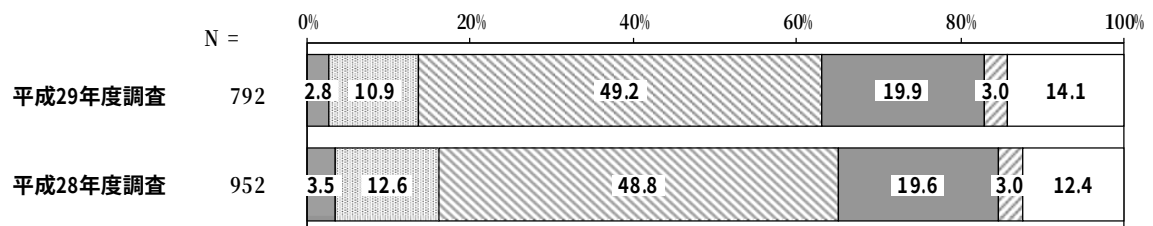
居住年数別でみると、他に比べ、3年以上5年未満で“不満”の割合が高く、2割台半ばとなっています。また、3年未満、10年以上20年未満、20年以上で“満足”の割合が高く、1割台半ばとなっています。



（6）地域と市民の元気づくり

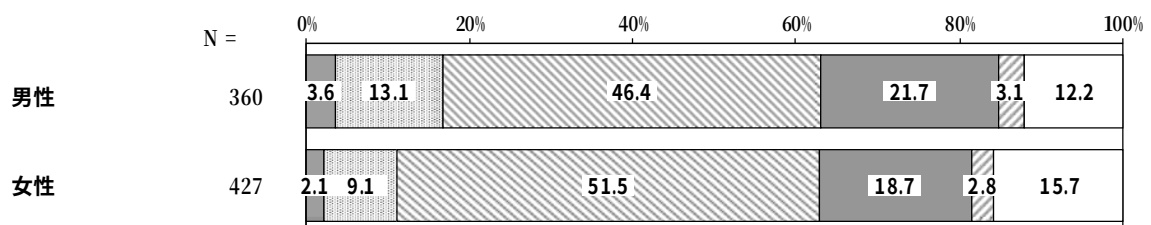
「不満」と「やや不満」を合わせた“不満”の割合が13.7%、「やや満足」と「満足」を合わせた“満足”の割合が22.9%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



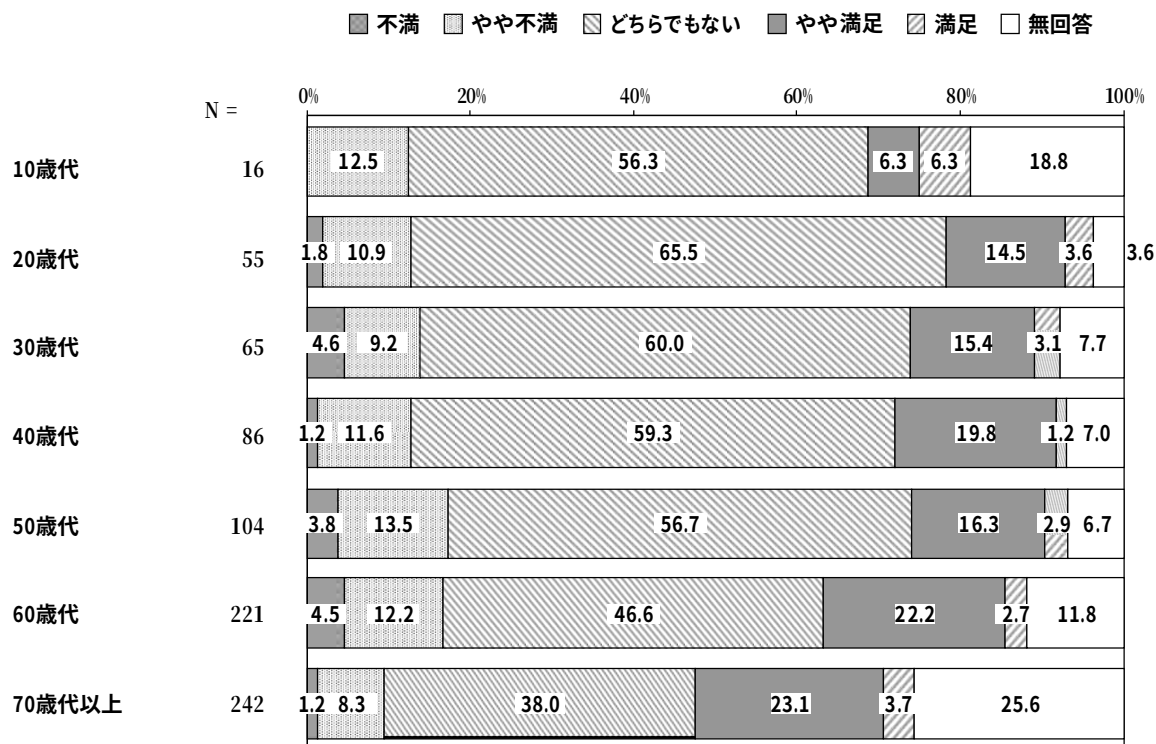
【性 別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「どちらでもない」の割合が高くなっています。



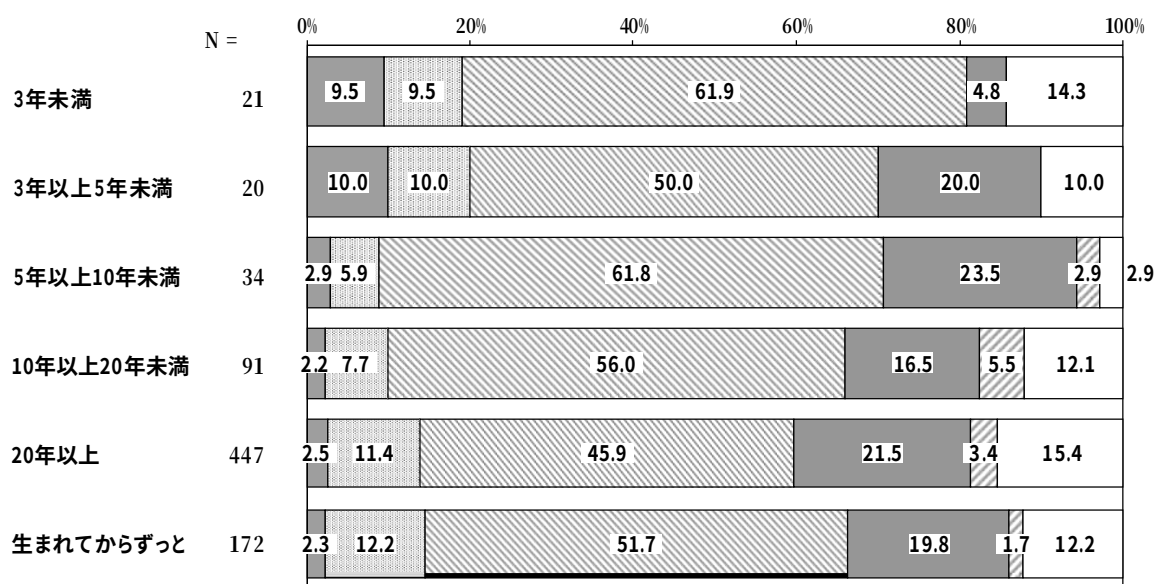
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、70歳代以上で“不満”の割合が低く、1割未満となっています。また、60歳代、70歳代以上で“満足”の割合が高く、2割台半ばとなっています。



【居住年数別】

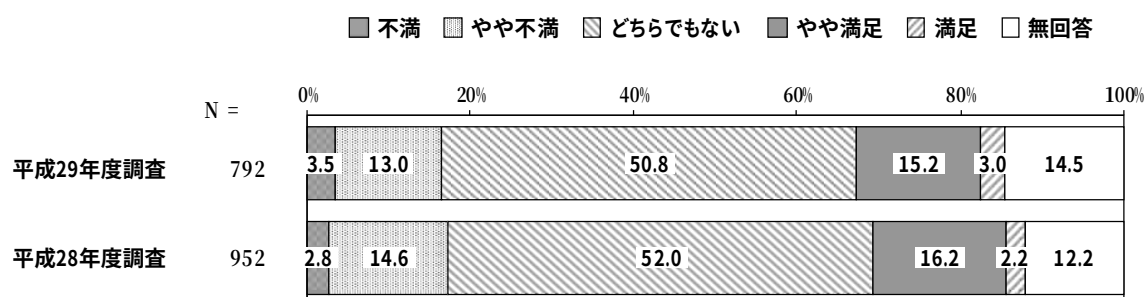
居住年数別でみると、他に比べ、3年未満、3年以上5年未満で“不満”の割合が高く、約2割となっています。また、5年以上10年未満、20年以上で“満足”の割合が高く、2割台半ばとなっています。



（7）子どもたちのふるさとを愛する心を育む

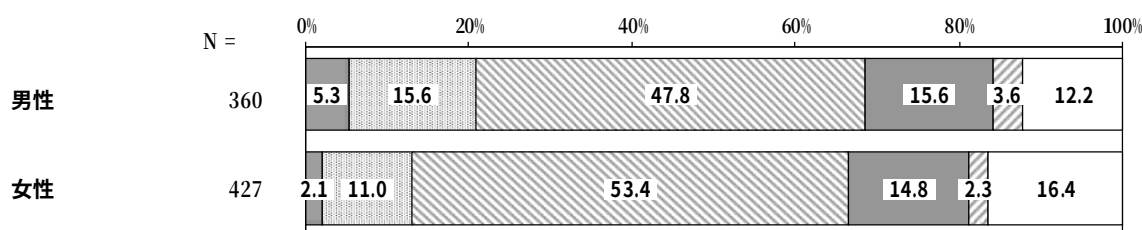
「不満」と「やや不満」を合わせた“不満”の割合が16.5%、「やや満足」と「満足」を合わせた“満足”の割合が18.2%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



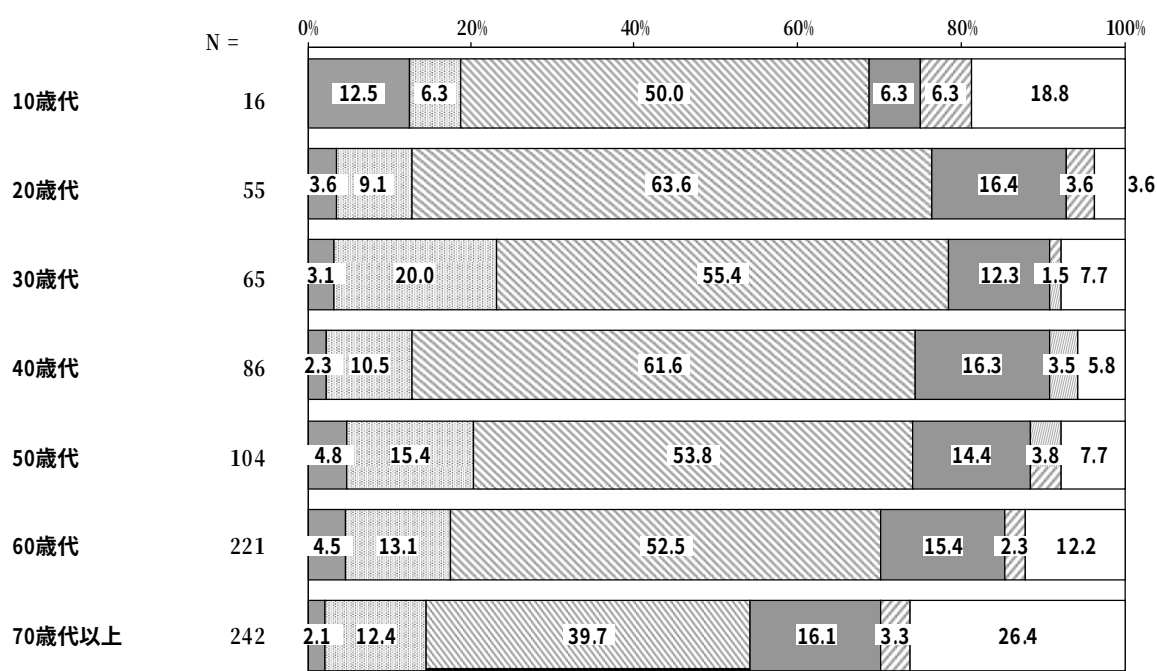
【性 別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「どちらでもない」の割合が高くなっています。



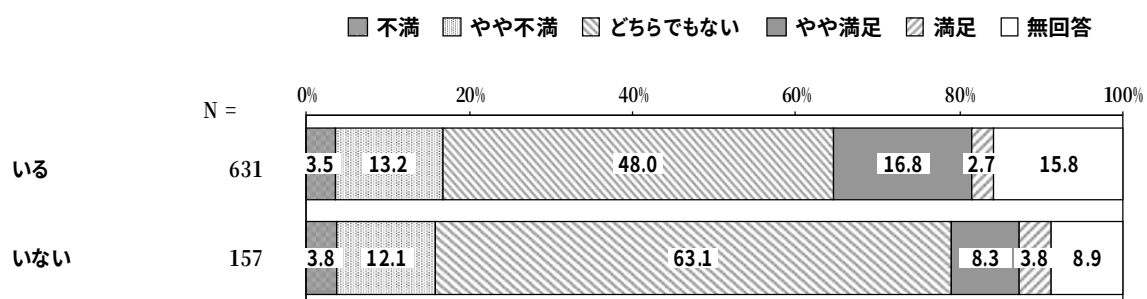
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、30歳代で“不満”の割合が高く、2割台半ばとなっています。また、20歳代、40歳代、50歳代、70歳代以上で“満足”の割合が高く、約2割となっています。



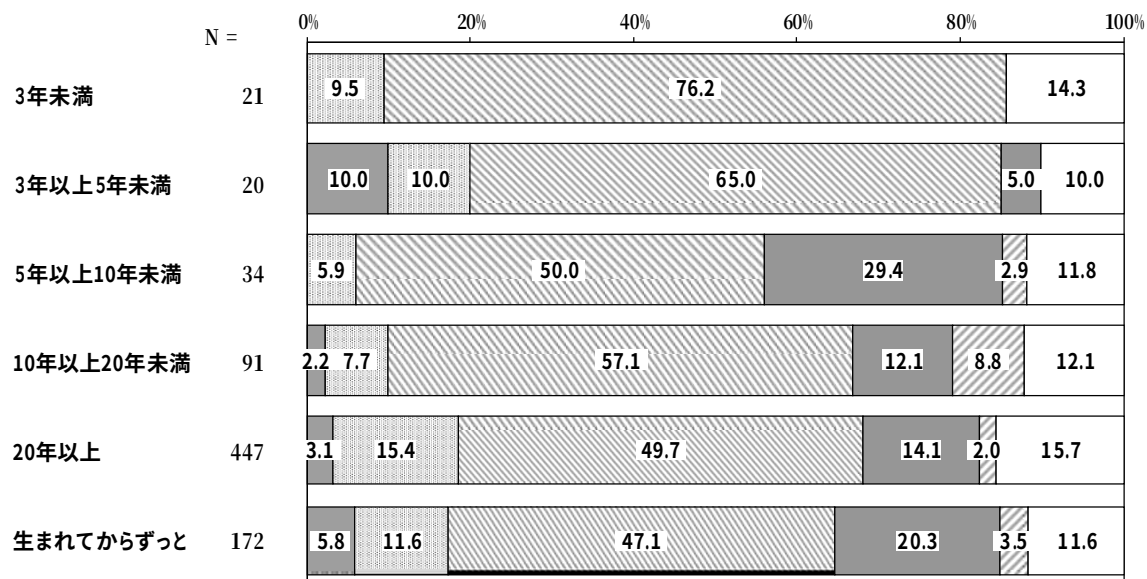
【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で“満足”の割合が高く、約2割となっています。また、子どもがいる人に比べ、子どもがいない人で「どちらでもない」の割合が高くなっています。



【居住年数別】

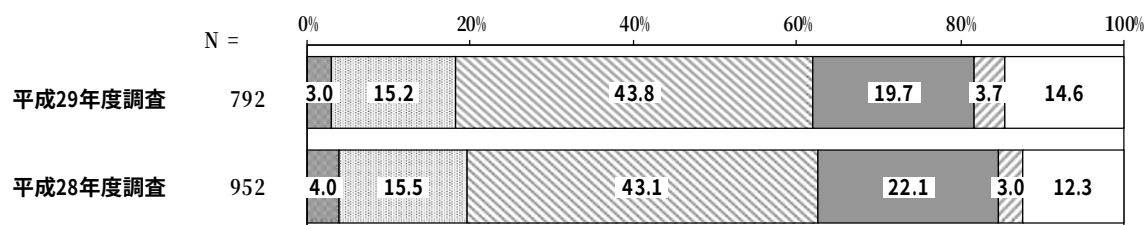
居住年数別でみると、他に比べ、3年以上5年未満、20年以上で“不満”の割合が高く、約2割となっています。また、5年以上10年未満で“満足”の割合が高く、3割を超えています。



（8）安心して子育てできる環境づくり

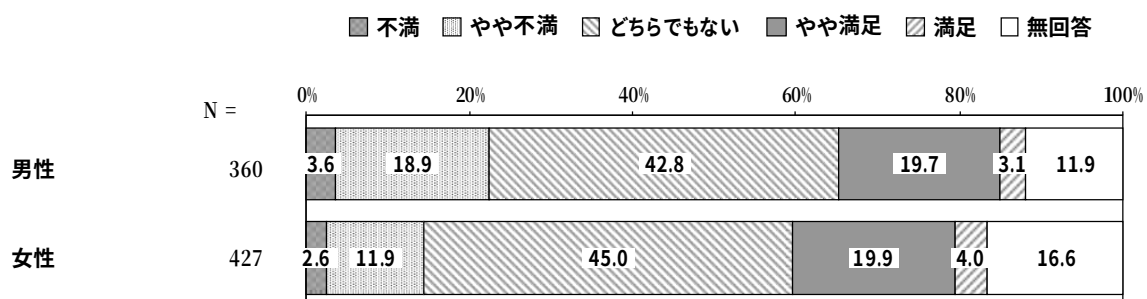
「不満」と「やや不満」を合わせた“不満”の割合が18.2%、「やや満足」と「満足」を合わせた“満足”の割合が23.4%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



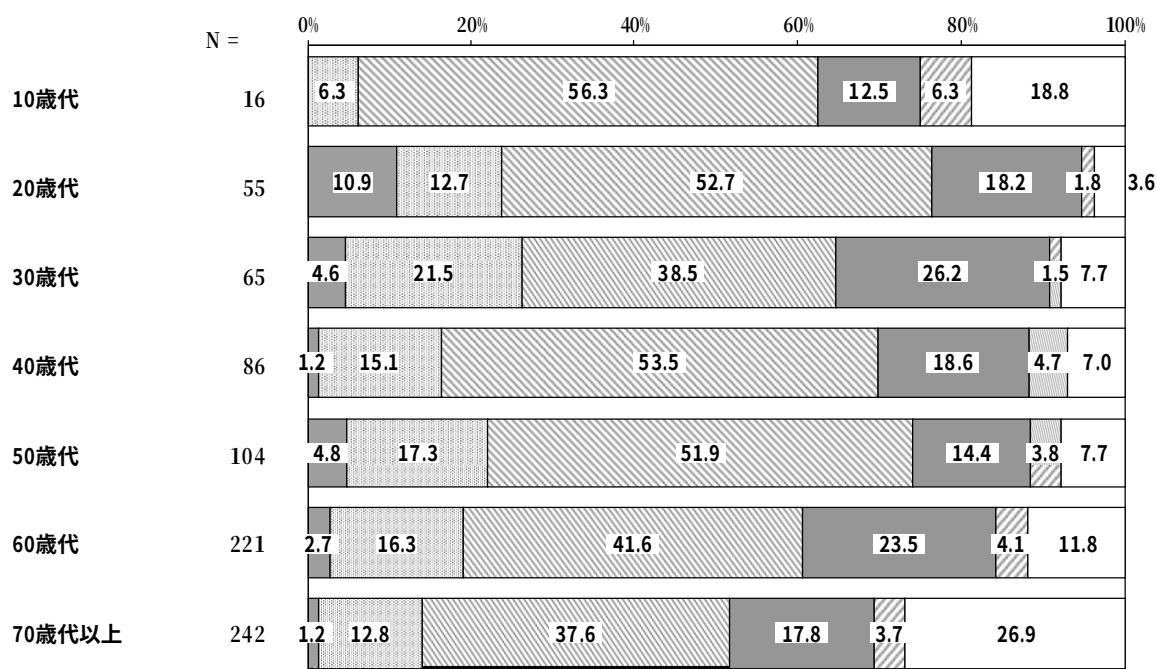
【性 別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「やや不満」の割合が高くなっています。



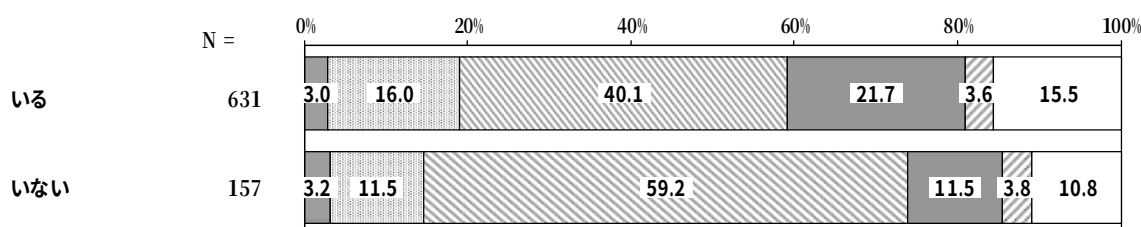
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、20 歳代、30 歳代で“ 不満 ”の割合が高く、2 割台半ばとなっています。また、30 歳代、60 歳代で“ 満足 ”の割合が高く、2 割台半ばとなっています。



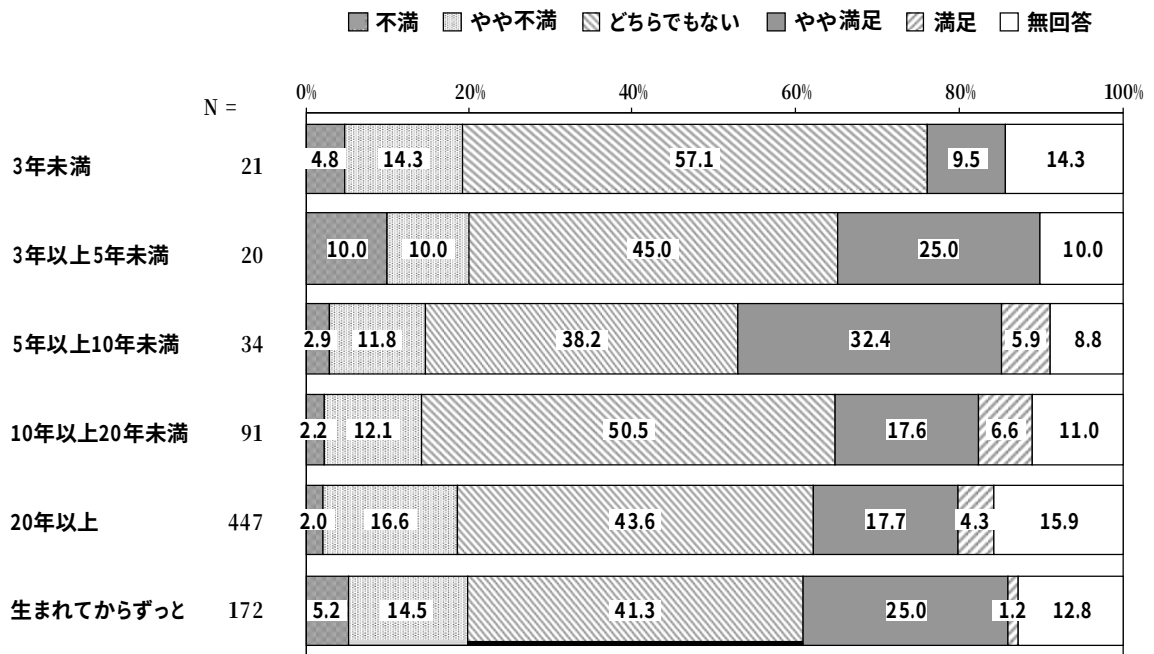
【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で“ 満足 ”の割合が高く、2 割台半ばとなっています。また、子どもがいる人に比べ、子どもがいない人で「どちらでもない」の割合が高くなっています。



【居住年数別】

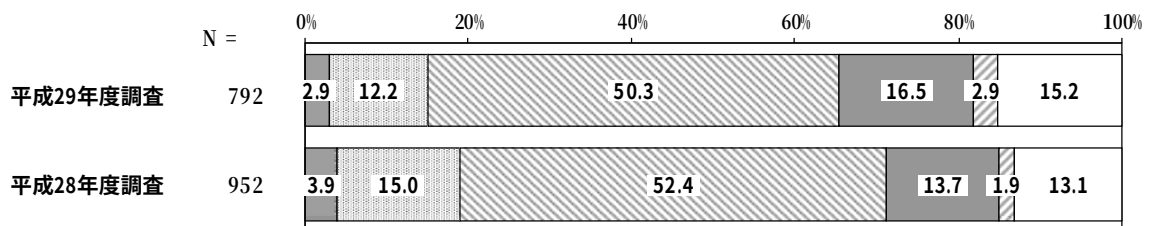
居住年数別でみると、他に比べ、3年未満、3年以上5年未満、20年以上、生まれてからずっとで“不満”の割合が高く、約2割となっています。また、5年以上10年未満で“満足”の割合が高く、約4割となっています。



(9) 子どもの心に寄り添い、個々の力を引き出し、伸ばす

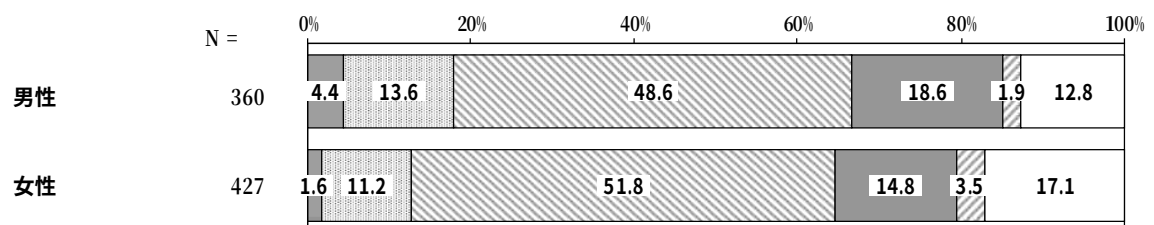
「不満」と「やや不満」を合わせた“不満”の割合が15.1%、「やや満足」と「満足」を合わせた“満足”の割合が19.4%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



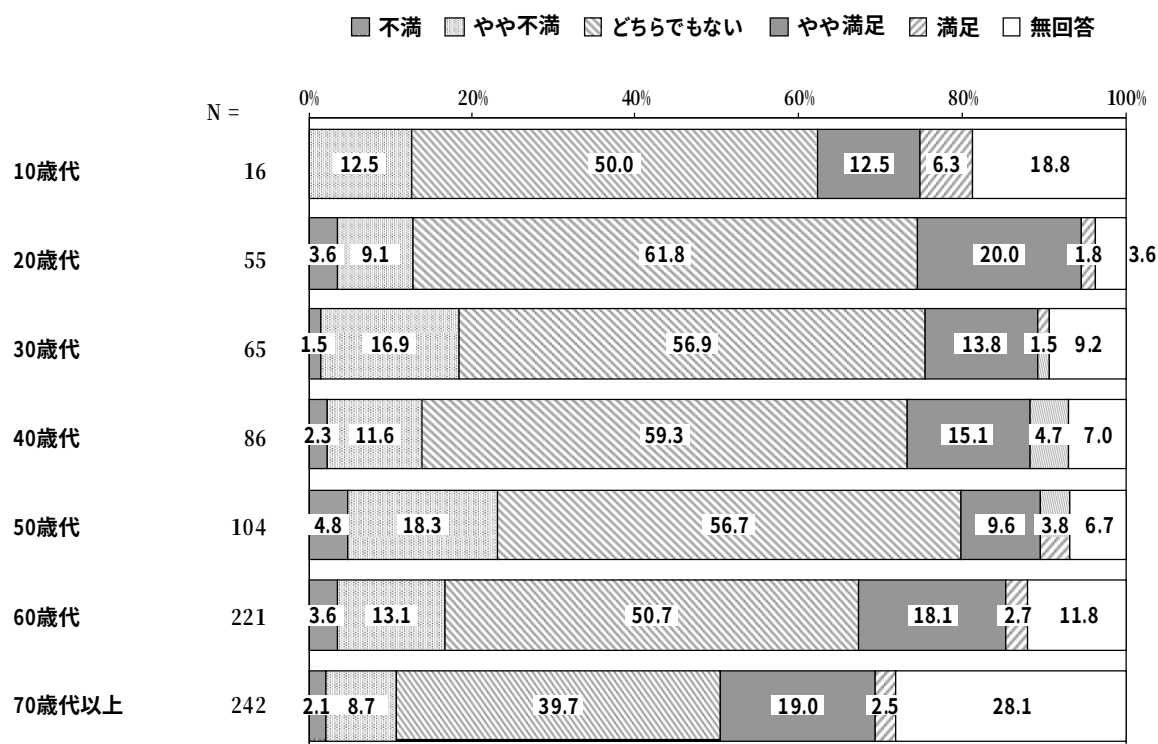
【性 別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



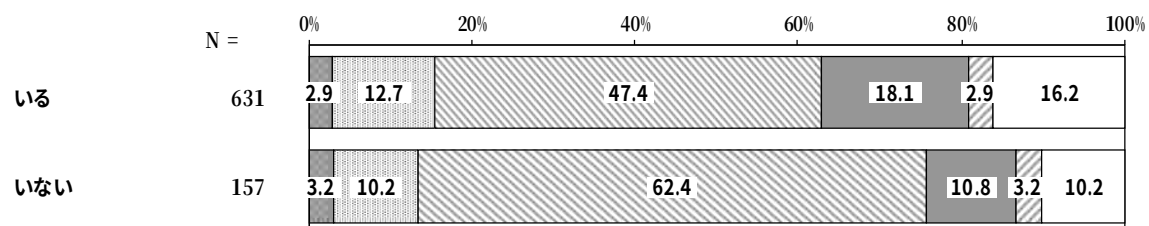
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、50歳代で“不満”の割合が高く、2割台半ばとなっています。また、20歳代、40歳代、60歳代、70歳代以上で“満足”の割合が高く、約2割となっています。



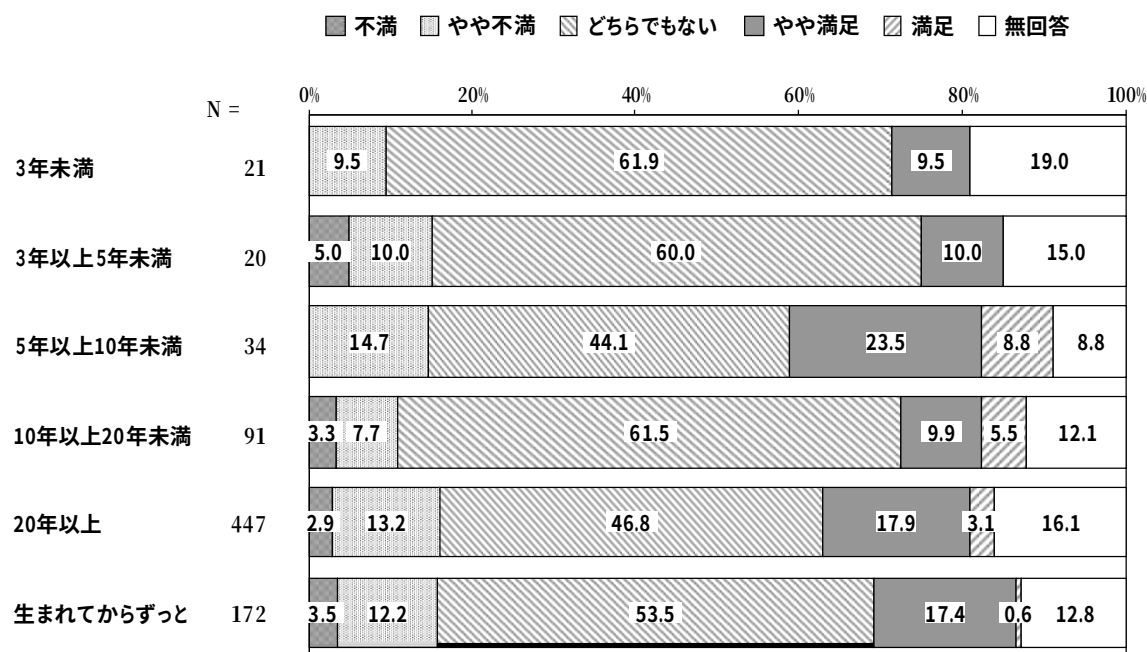
【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で“満足”の割合が高く、約2割となっています。また、子どもがいる人に比べ、子どもがいない人で「どちらでもない」の割合が高くなっています。



【居住年数別】

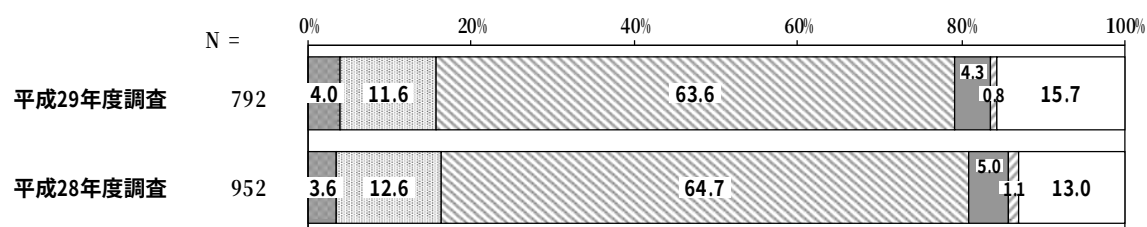
居住年数別でみると、他に比べ、5年以上10年未満で“満足”の割合が高く、3割を超えています。



(10) 結婚への機会づくり

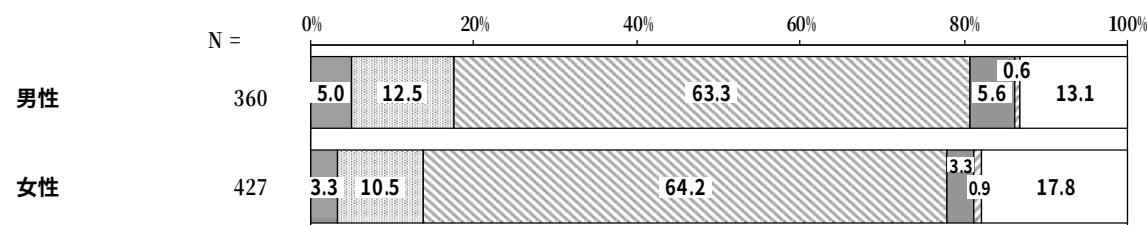
「不満」と「やや不満」を合わせた“不満”の割合が15.6%、「やや満足」と「満足」を合わせた“満足”の割合が5.1%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



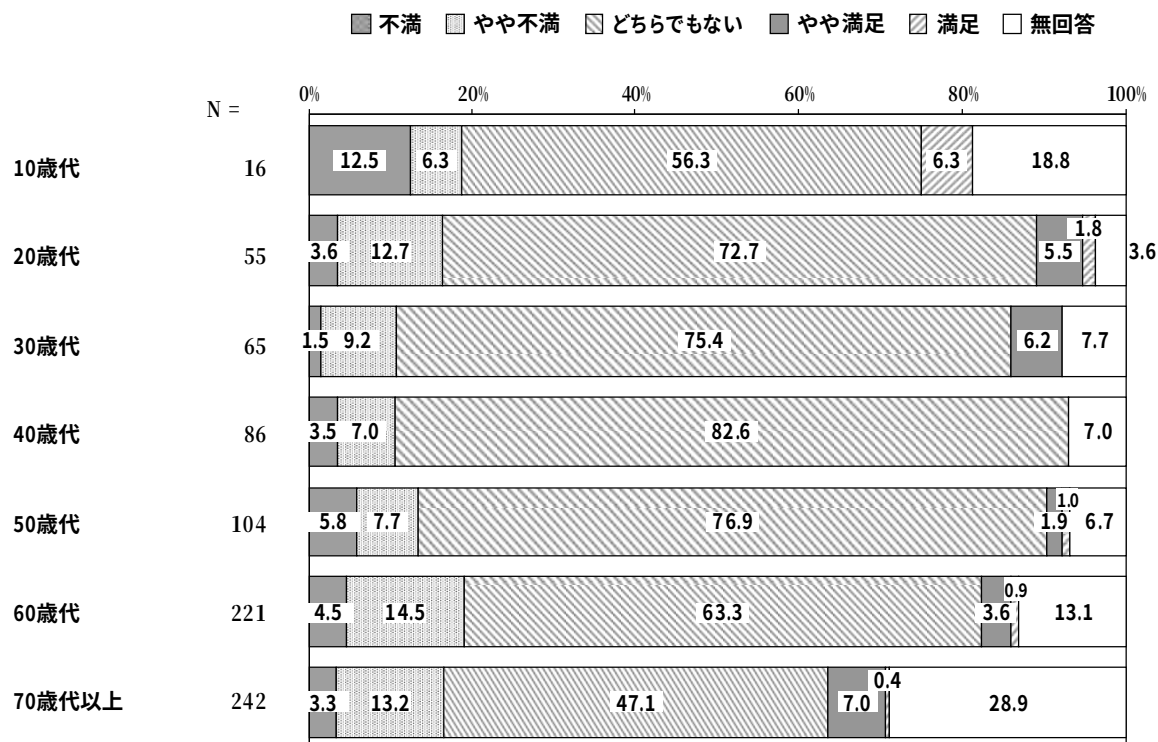
【性 別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



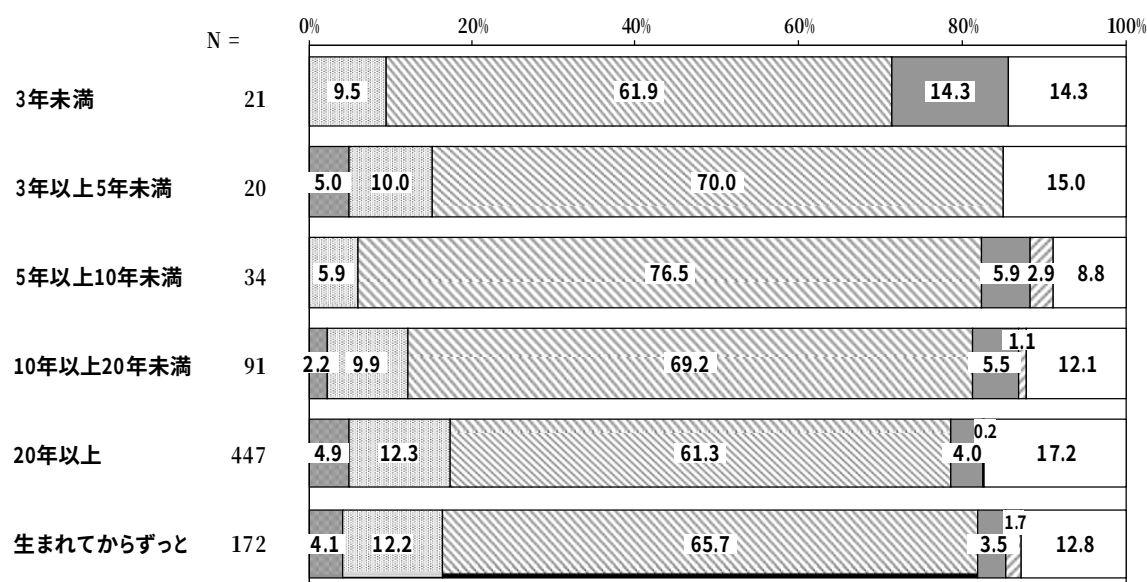
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、10 歳代、60 歳代で“ 不満 ”の割合が高く、約 2 割となっています。



【居住年数別】

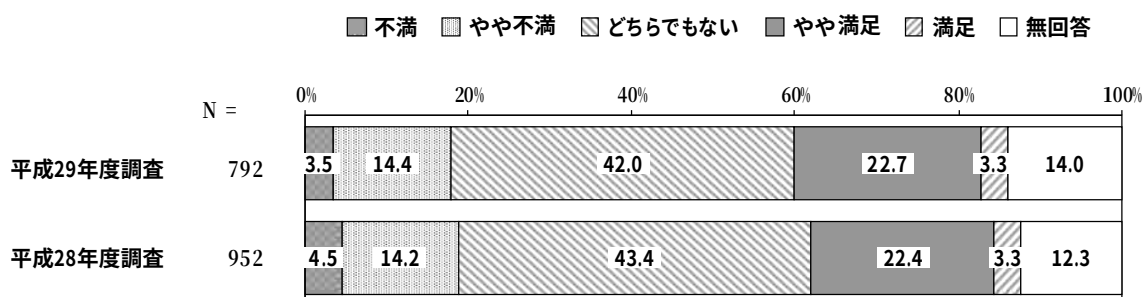
居住年数別でみると、他に比べ、3 年以上 5 年未満、20 年以上、生まれてからずっとで“ 不満 ”の割合が高く、1 割台半ばとなっています。また、3 年未満で“ 満足 ”の割合が高く、1 割台半ばとなっています。



（１１）健康で暮らせる環境づくり

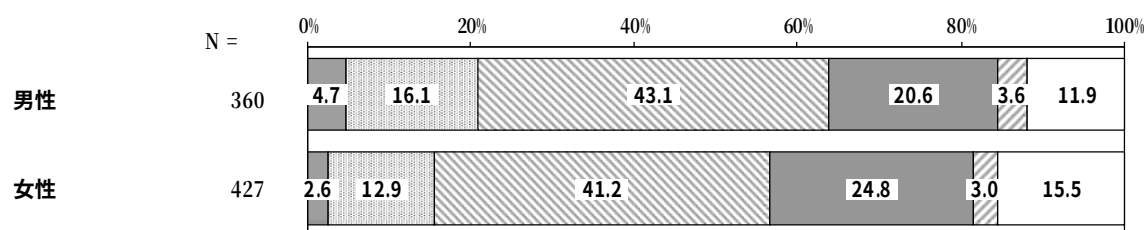
「不満」と「やや不満」を合わせた“不満”の割合が 17.9%、「やや満足」と「満足」を合わせた“満足”の割合が 26.0%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



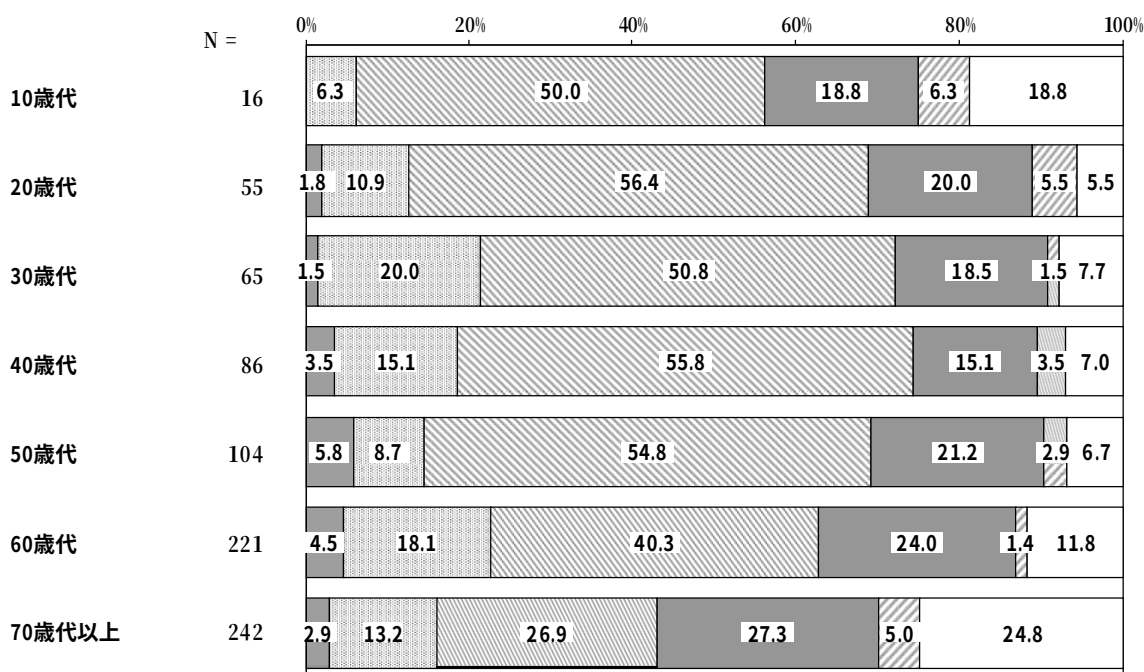
【性 別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



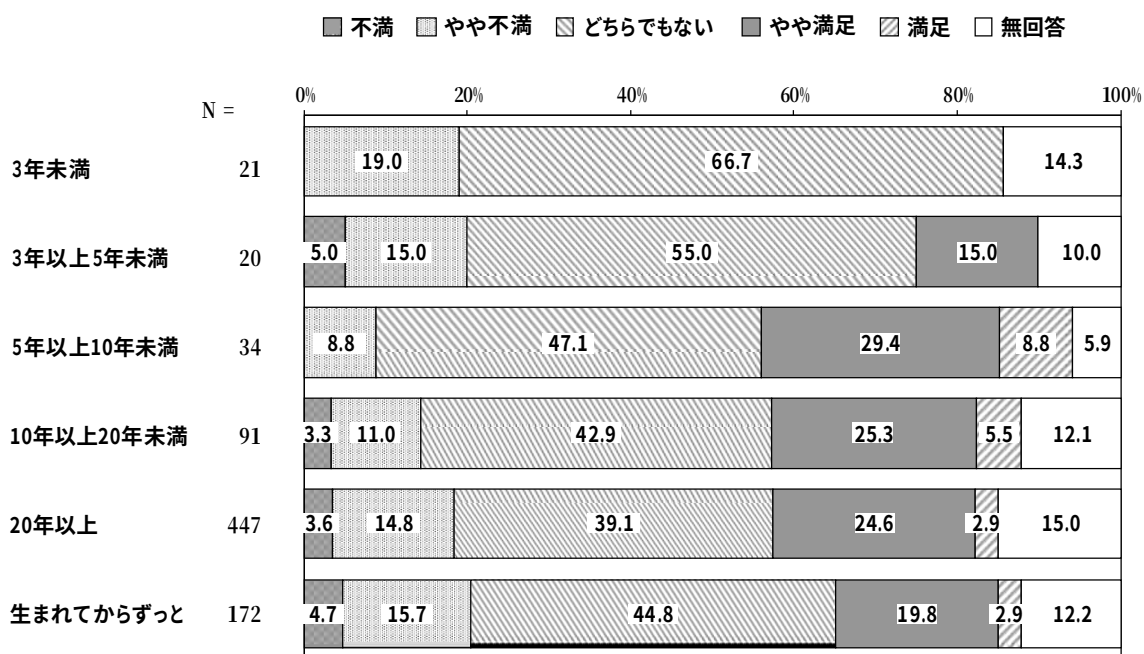
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、30 歳代、40 歳代、60 歳代で“不満”の割合が高く、約 2 割となっています。また、70 歳代以上で“満足”の割合が高く、3 割を超えています。



【居住年数別】

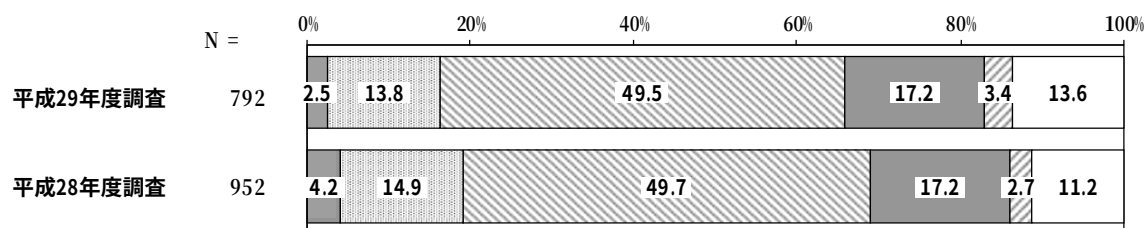
居住年数別でみると、他に比べ、3年未満、3年以上5年未満、20年以上、生まれてからずっとで“不満”の割合が高く、約2割となっています。また、5年以上10年未満で“満足”の割合が高く、約4割となっています。



(12) 支え合いにより地域で暮らせる仕組みづくり

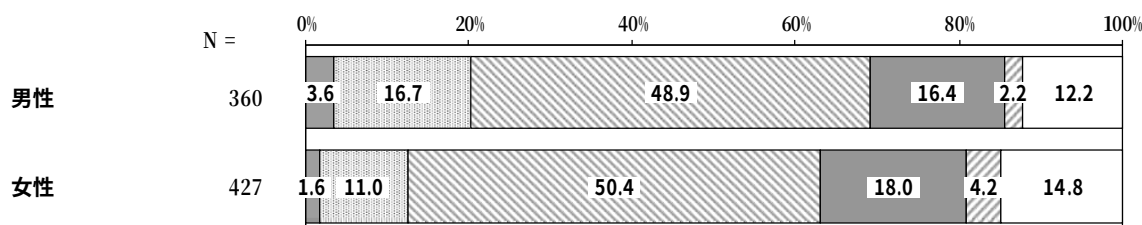
「不満」と「やや不満」を合わせた“不満”の割合が16.3%、「やや満足」と「満足」を合わせた“満足”の割合が20.6%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



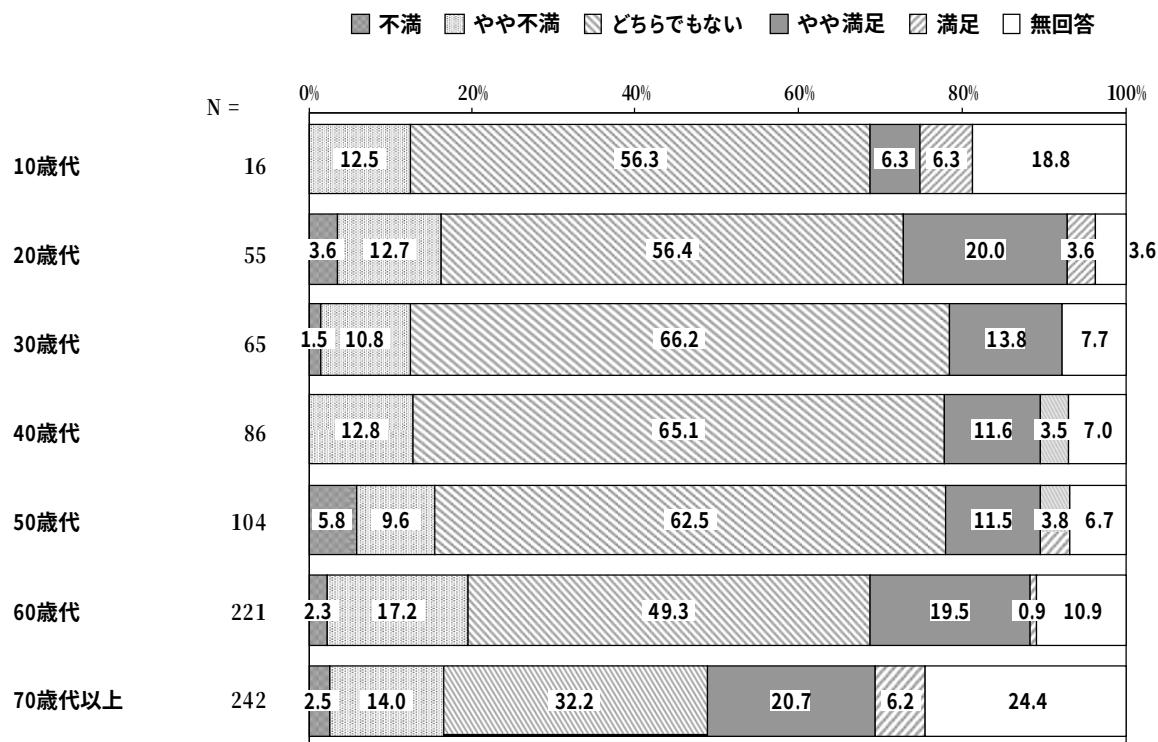
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「やや不満」の割合が高くなっています。



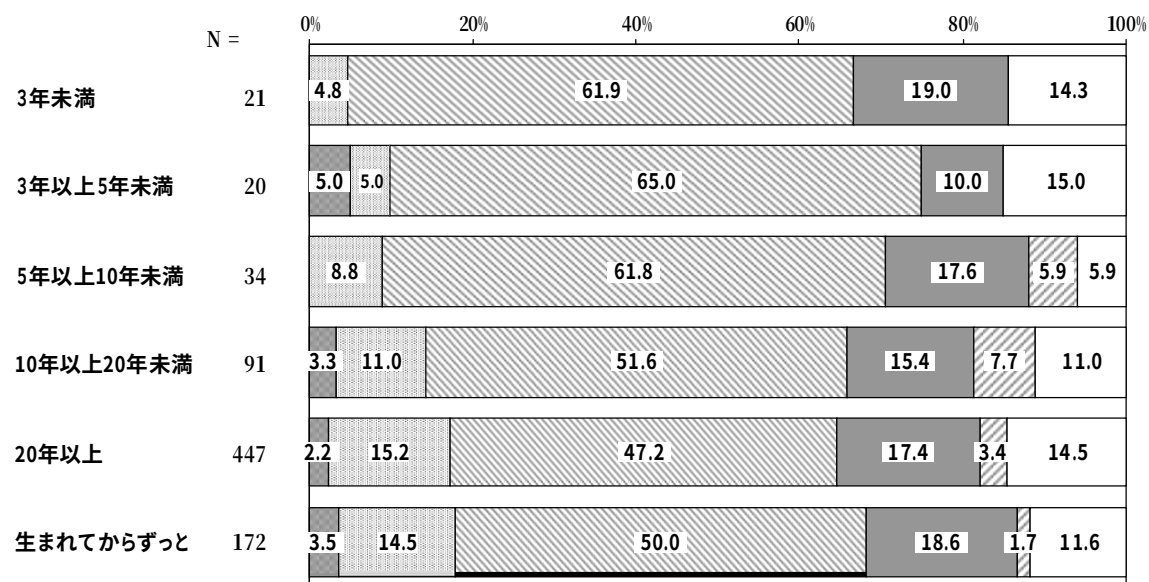
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、60歳代で“不満”の割合が高く、約2割となっています。また、20歳代、70歳代以上で“満足”の割合が高く、2割台半ばとなっています。



【居住年数別】

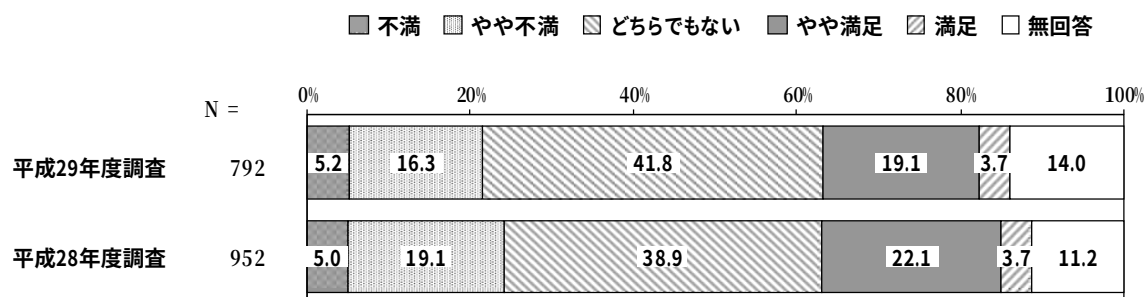
居住年数別でみると、他に比べ、生まれてからずっとで“不満”の割合が高く、約2割となっています。また、3年以上5年未満で“満足”の割合が低く、1割となっています。



（１３）安心して暮らせる生活環境づくり

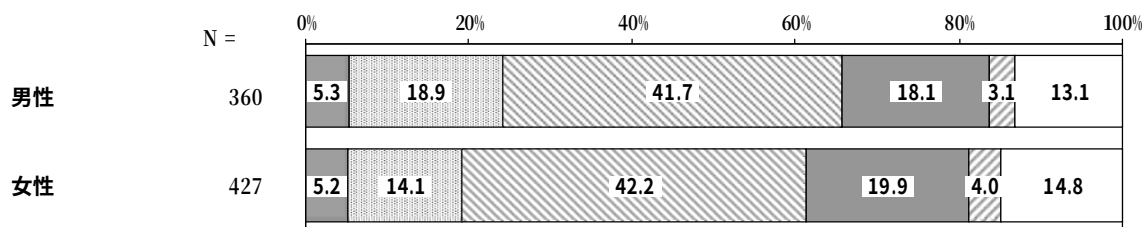
「不満」と「やや不満」を合わせた“不満”の割合が 21.5%、「やや満足」と「満足」を合わせた“満足”の割合が 22.8%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



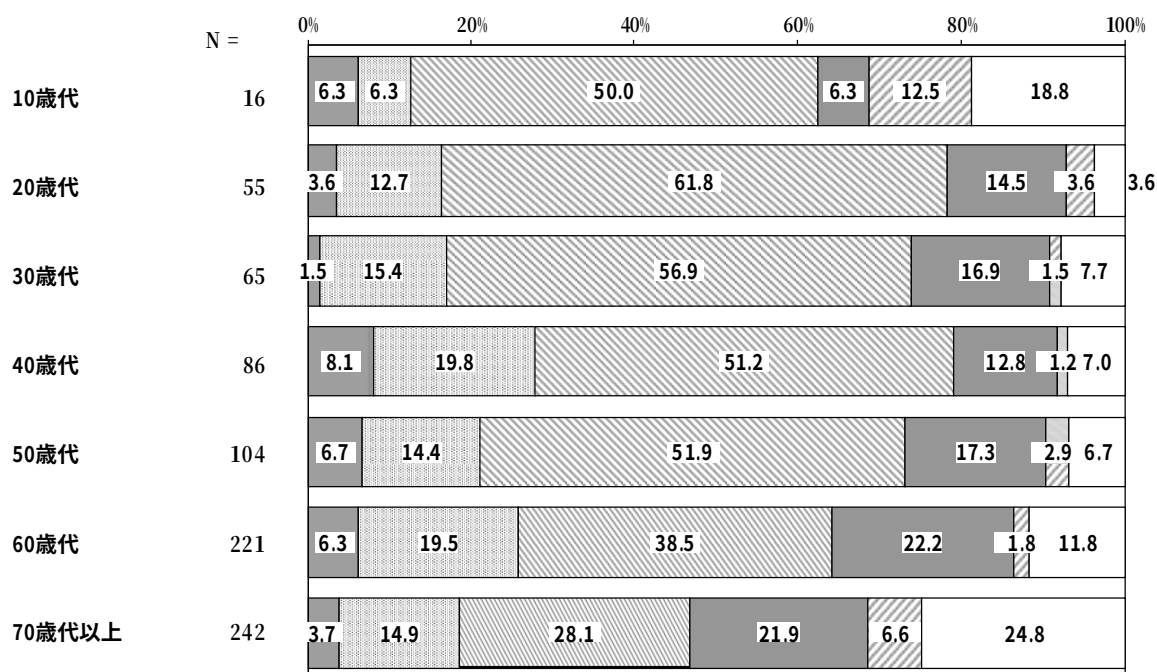
【性 別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



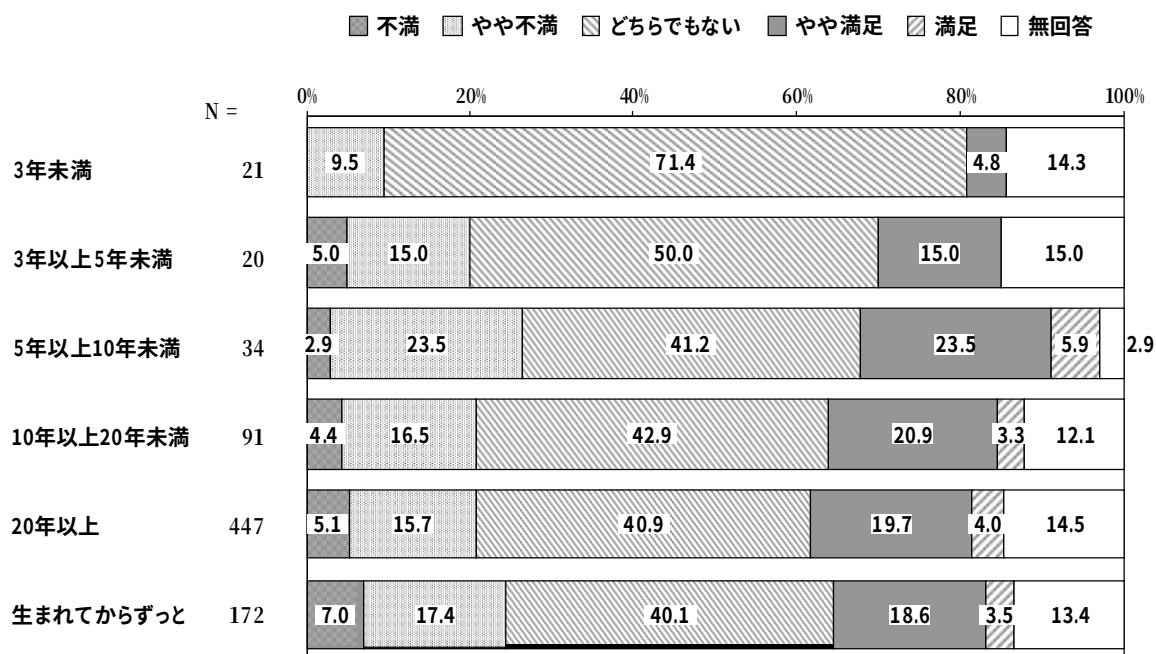
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、40 歳代、60 歳代で“不満”の割合が高く、2 割台半ばとなっています。また、70 歳代以上で“満足”の割合が高く、約 3 割となっています。



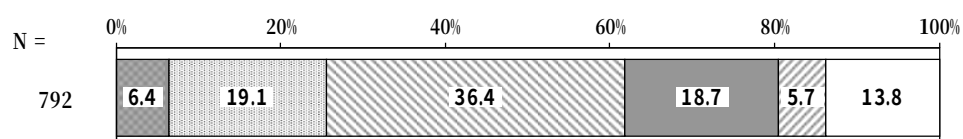
【居住年数別】

居住年数別でみると、他に比べ、5年以上10年未満、生まれてからずっとで“不満”の割合が高く、2割台半ばとなっています。



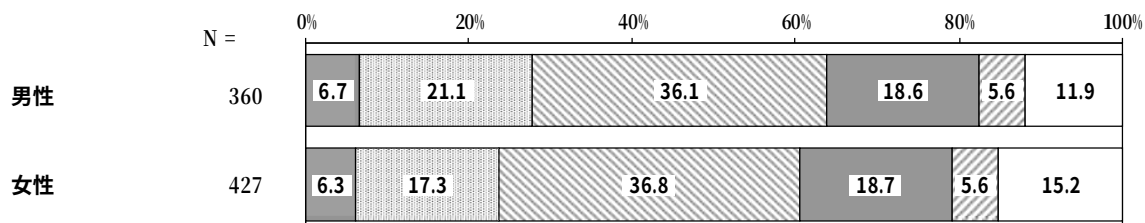
(14) 必要な医療サービスが受けられる

「不満」と「やや不満」を合わせた“不満”の割合が25.5%、「やや満足」と「満足」を合わせた“満足”の割合が24.4%となっています。



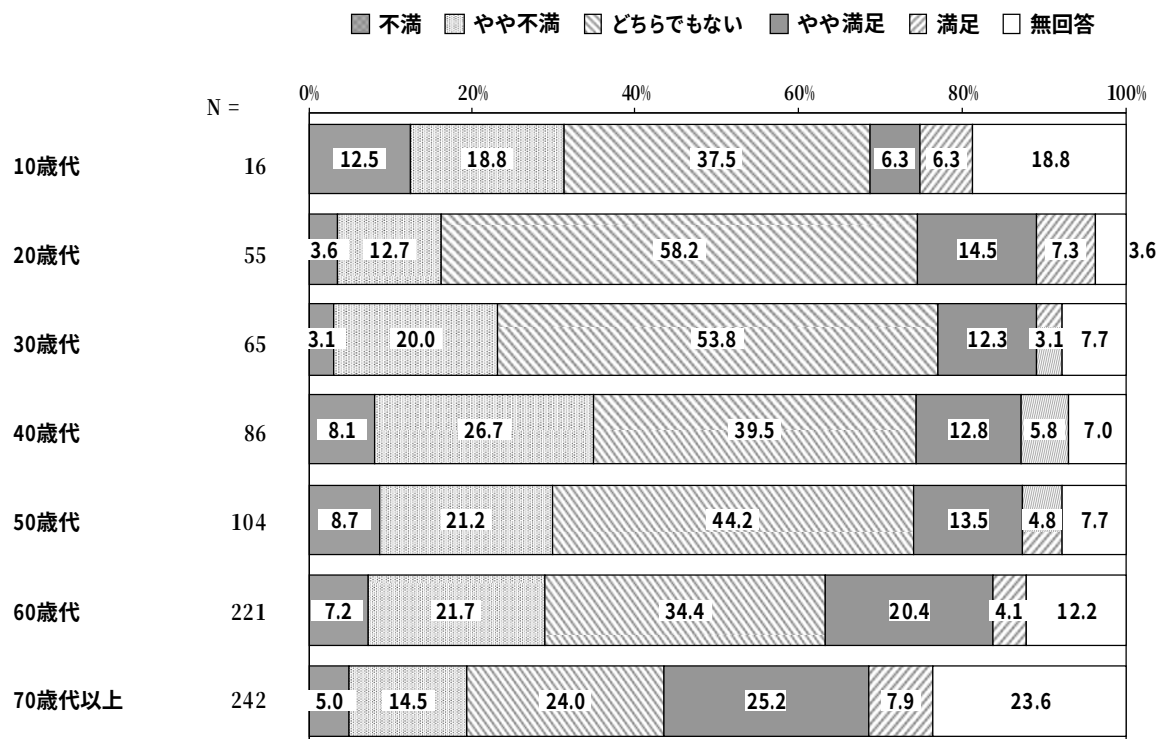
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



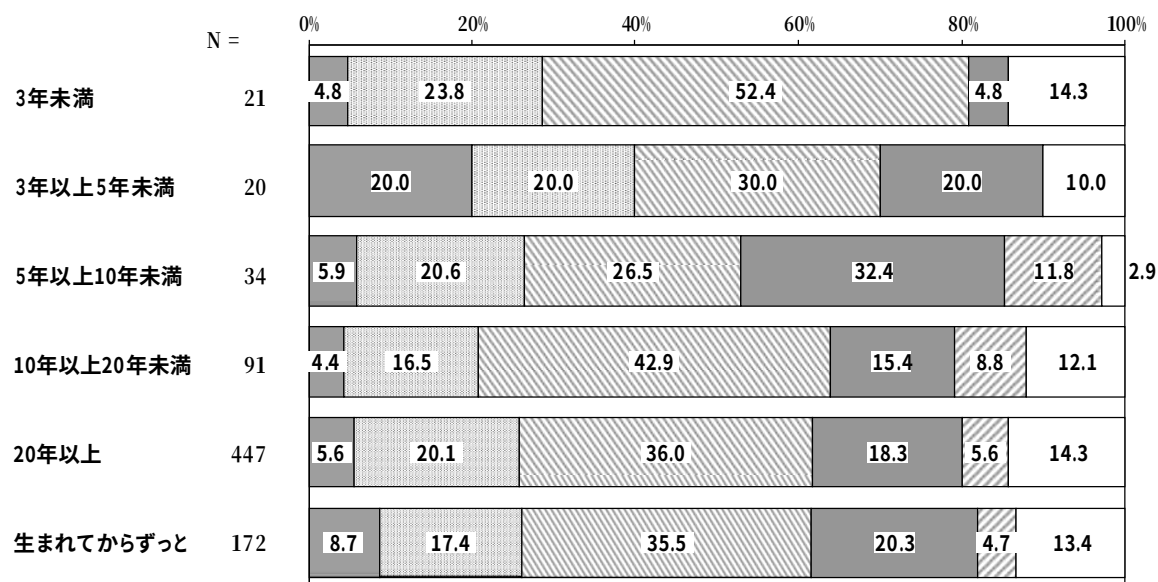
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、10 歳代、40 歳代で“ 不満 ”の割合が高く、3 割を超えています。また、70 歳代以上で“ 満足 ”の割合が高く、3 割台半ばとなっています。



【居住年数別】

居住年数別でみると、他に比べ、3 年以上 5 年未満で“ 不満 ”の割合が高く、4 割となっています。また、5 年以上 10 年未満で“ 満足 ”の割合が高く、4 割台半ばとなっています。



【ポートフォリオによる分析】

(1) 満足度・今後の重要性の得点化

14 項目の質問項目について、「満足度」と「重要度」を 5 つの選択肢の中から回答してもらい、下記の手順で得点化し、分析を行いました。

■満足度・今後の重要性の得点化の手順■

満足度		得点		重要度		得点
不満		-2 点		重要ではない	→	-2 点
やや不満	→	-1 点		あまり重要ではない	→	-1 点
どちらでもない	→	0 点		どちらでもない	→	0 点
やや満足	→	1 点		やや重要	→	1 点
満足	→	2 点		重要	→	2 点
無回答	→	計算対象外		無回答	→	計算対象外

■得点の算出式■

2点×「満足(重要)」の回答数

+1点×「やや満足(やや重要)」の回答数

+0点×「どちらでもない」の回答数

−1点×「やや不満(あまり重要ではない)」の回答数

−2点×「不満(重要ではない)」の回答数／無回答を除く回答数

算出された満足度・重要度の得点をもとに、各施策の満足度・重要度別に順位付けを行いました。

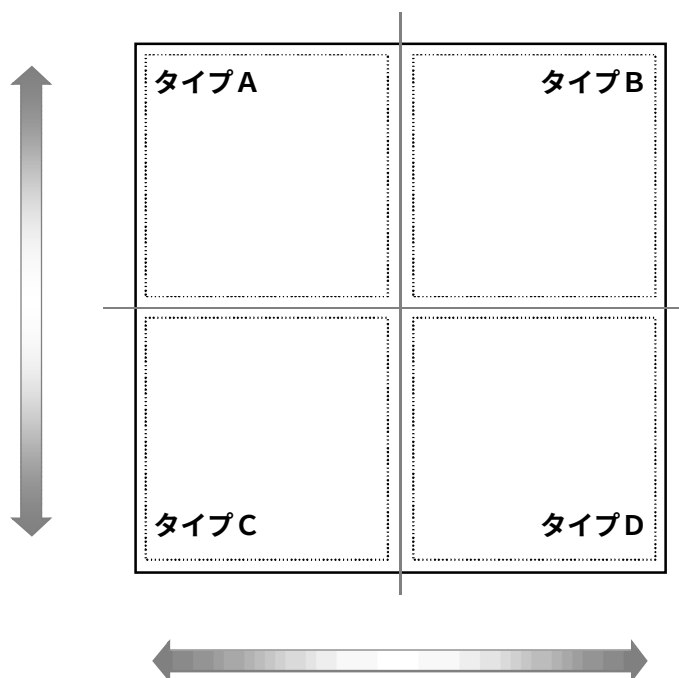
■満足度・重要度のベスト3とワースト3■

満 足 度		順位	重 要 度	
施策名	得点		得点	施策名
(6) 地域と市民の元気づくり	0.11	第1位	1.62	(14)必要な医療サービスが受けられる
(11)健康で暮らせる環境づくり	0.09	第2位	1.51	(13)安心して暮らせる生活環境づくり
(8) 安心して子育てできる環境づくり	0.07	第3位	1.50	(8) 安心して子育てできる環境づくり
(4) 市の魅力の向上と発信	-0.11	第12位	1.04	(6) 地域と市民の元気づくり
(3) 「ひと」と「しごと」の好循環の構築	-0.11	第13位	0.95	(5) 定住・移住の促進
(10)結婚への機会づくり	-0.16	最下位	0.63	(10)結婚への機会づくり

(2) ポートフォリオ分析による満足度・重要度の評価

各項目の満足度・重要度の得点の関係について、満足度・重要度をそれぞれ縦軸と横軸にとり、得点の平均値を境界として、4つの領域に区分したプロット図を作成し、今後の施策の方向性について分析しました。

施策は、全体的に満足度が低く、重要度が高い傾向があり、その中でも重要度および満足度が高い理由についての検証が必要なタイプBに特に分布しています。



◆タイプA

満足度は低い、重要度は高い

→ 今後の重点課題として検討が必要なタイプ。

◆タイプB

満足度は高く、重要度も高い

→ 事業の継続実施、もしくは施策展開について検討が必要なタイプ。

◆タイプC

満足度は低く、重要度も低い

→ 全体に比べ、重要度および満足度が低い理由についての検証が必要なタイプ。施策の縮小や廃止などを含めた検討が必要。

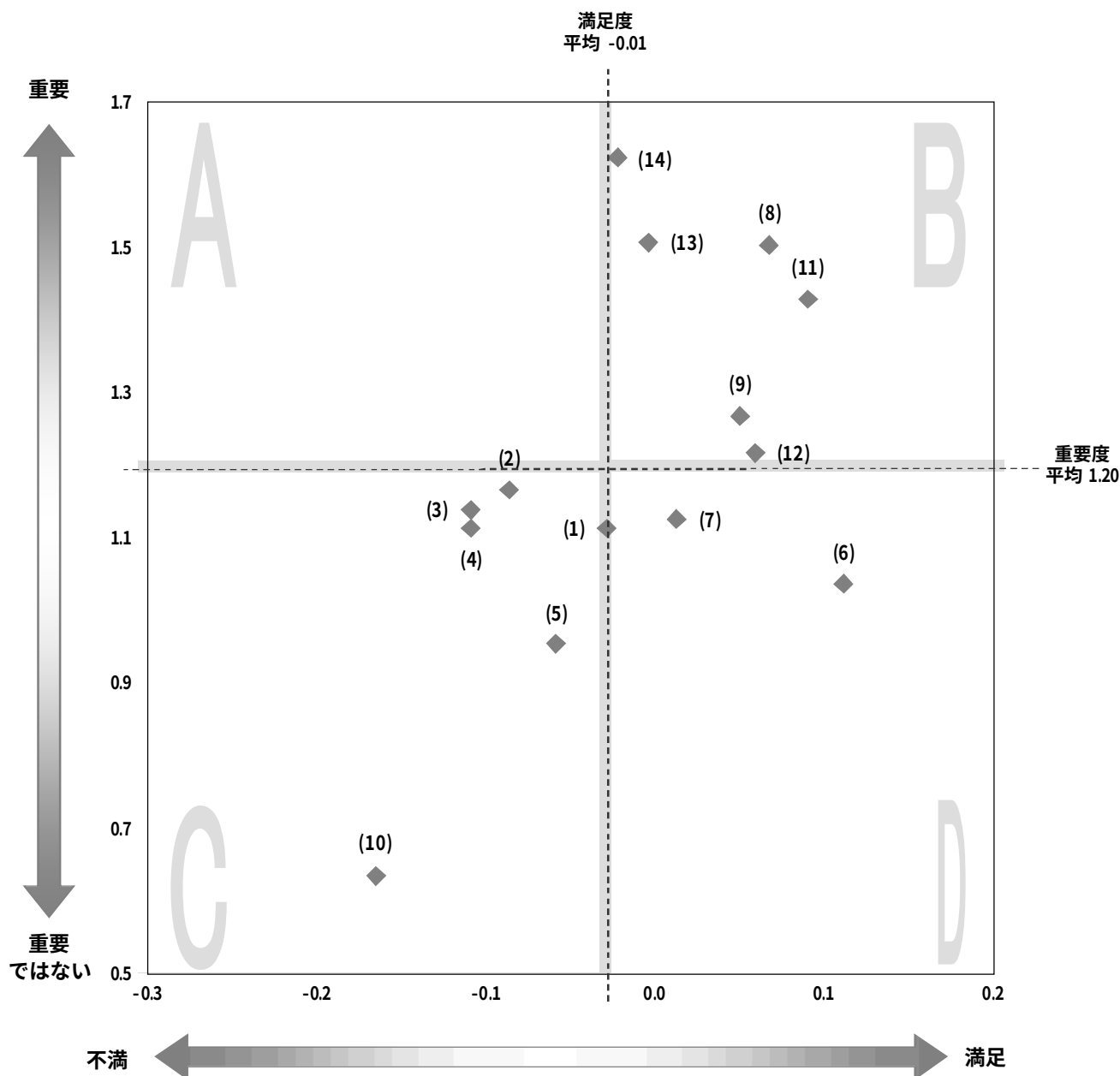
◆タイプD

満足度は高い、重要度は低い

→ これまでの施策が充実した結果、満足度が高くなったものが含まれていると考えられるタイプ。ただし、施策が過剰になっていないか検討が必要。

●施策のポートフォリオ分析（N = 792）

満足度は高く、重要度も高い施策（タイプB）は、『(8) 安心して子育てできる環境づくり』『(9) 子どもの心に寄り添い、個々の力を引き出し、伸ばす』『(11)健康で暮らせる環境づくり』『(12)支え合いにより地域で暮らせる仕組みづくり』『(13)安心して暮らせる生活環境づくり』『(14)必要な医療サービスが受けられる』となっています。



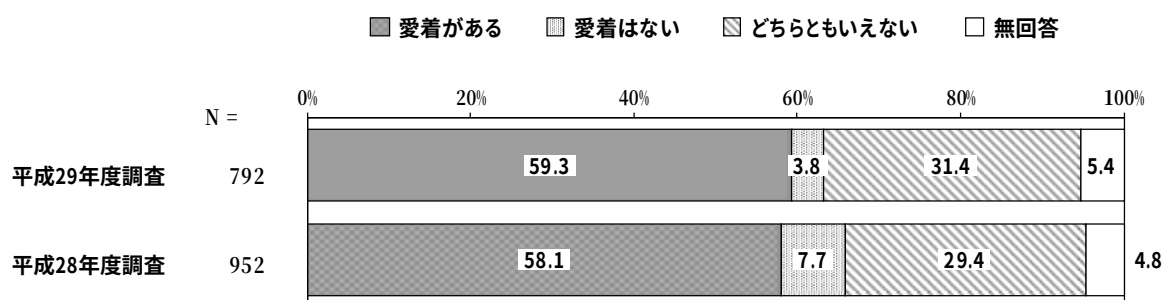
項目	
(1) 企業の誘致・拡張と活動の支援	(8) 安心して子育てできる環境づくり
(2) 地域産業の活力づくり	(9) 子どもの心に寄り添い、個々の力を引き出し、伸ばす
(3) 「ひと」と「しごと」の好循環の構築	(10)結婚への機会づくり
(4) 市の魅力の向上と発信	(11)健康で暮らせる環境づくり
(5) 定住・移住の促進	(12)支え合いにより地域で暮らせる仕組みづくり
(6) 地域と市民の元気づくり	(13)安心して暮らせる生活環境づくり
(7) 子どもたちのふるさとを愛する心を育む	(14)必要な医療サービスが受けられる

(4) 可児市のイメージについて

問 12 可児市に愛着はありますか。

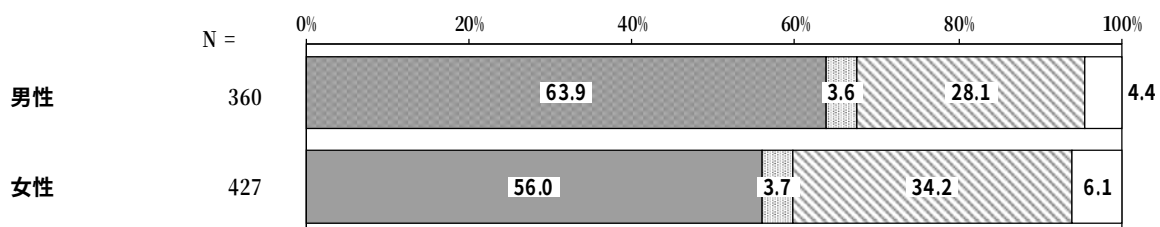
「愛着がある」の割合が 59.3%と最も高く、次いで「どちらともいえない」の割合が 31.4%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



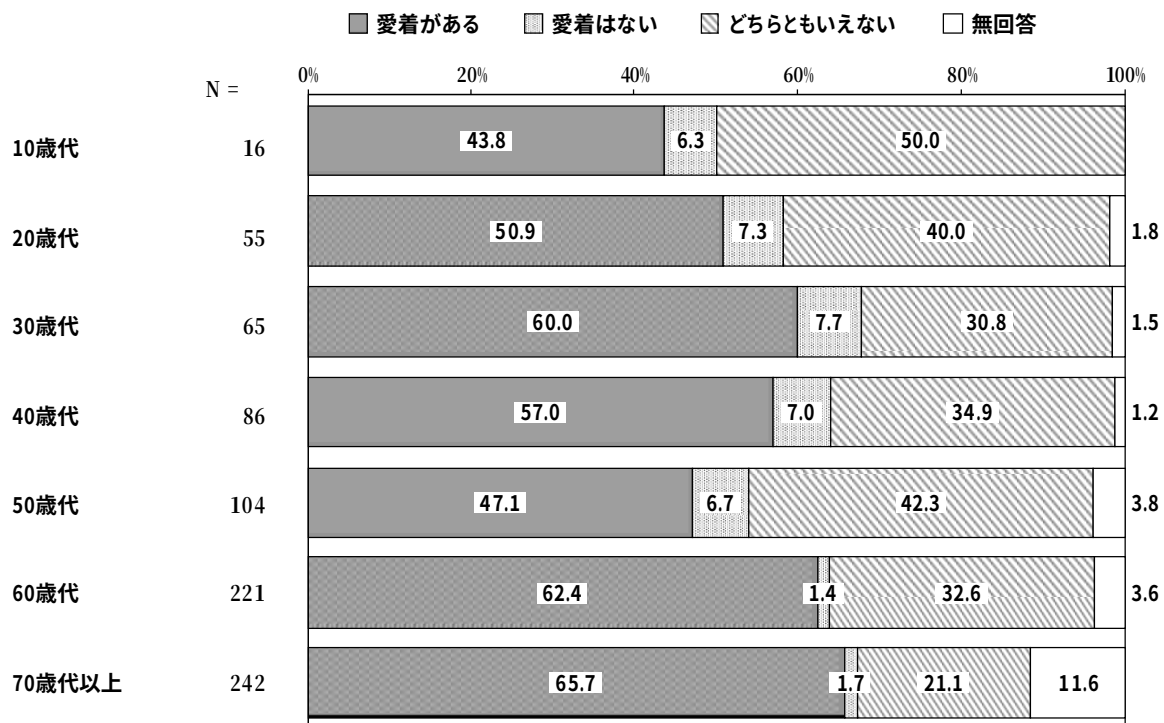
【性 別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「愛着がある」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「どちらともいえない」の割合が高くなっています。



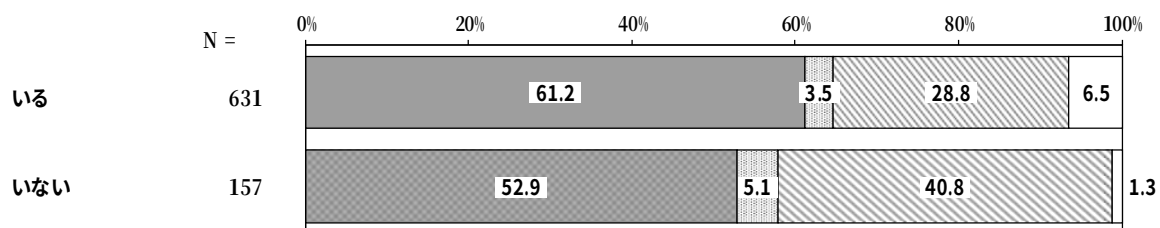
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、30 歳代、60 歳代、70 歳代以上で「愛着がある」の割合が高く、6 割以上となっています。



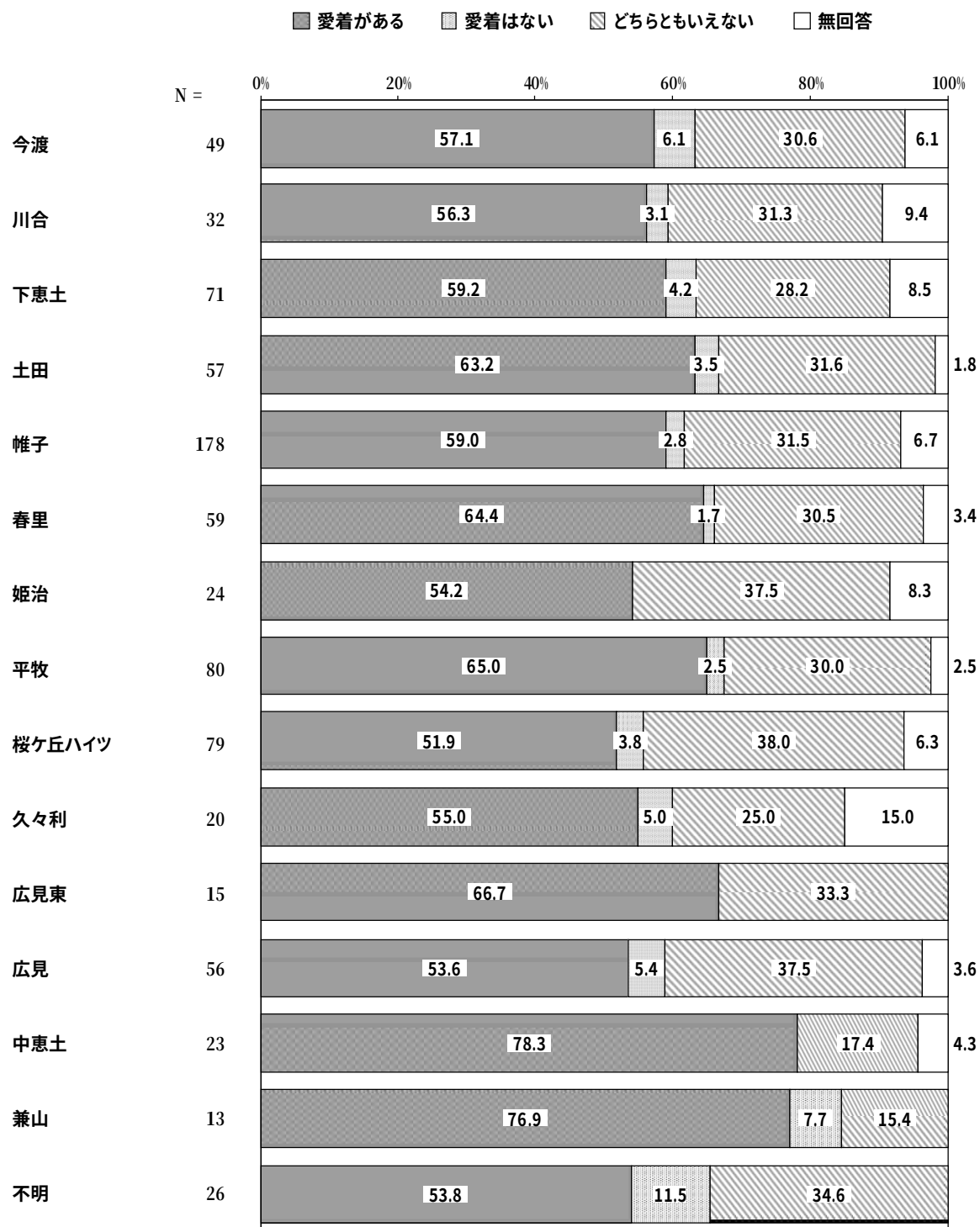
【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、子どもがいる人に比べ、子どもがいない人で「どちらともいえない」の割合が高く、4 割を超えています。



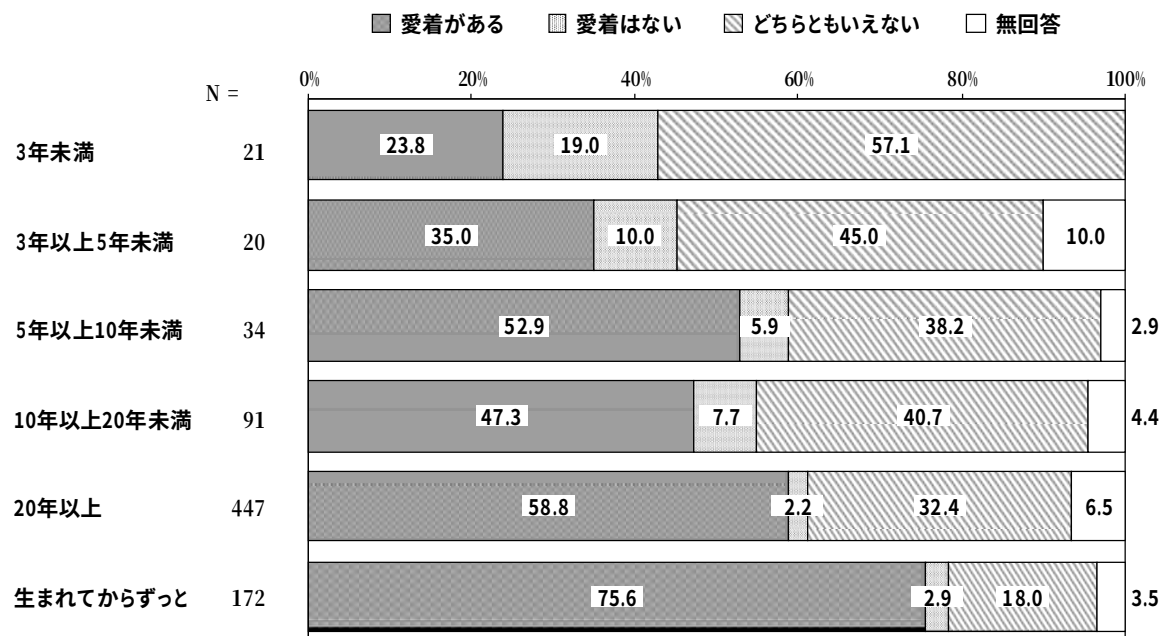
【居住地区別】

居住地区別でみると、中恵土、兼山で、「愛着がある」の割合が高く、7割を超えています。また、桜ヶ丘ハイツで「愛着がある」の割合が最も低く、約5割となっています。



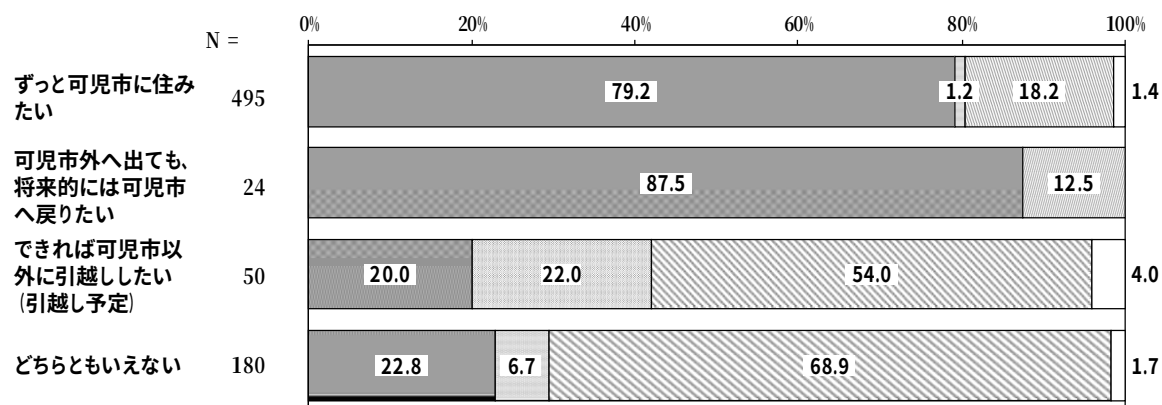
【居住年数別】

居住年数別でみると、居住年数が長くなるにつれ「愛着がある」の割合が高くなる傾向がみられ、生まれてからずっとで7割台半ばとなっています。



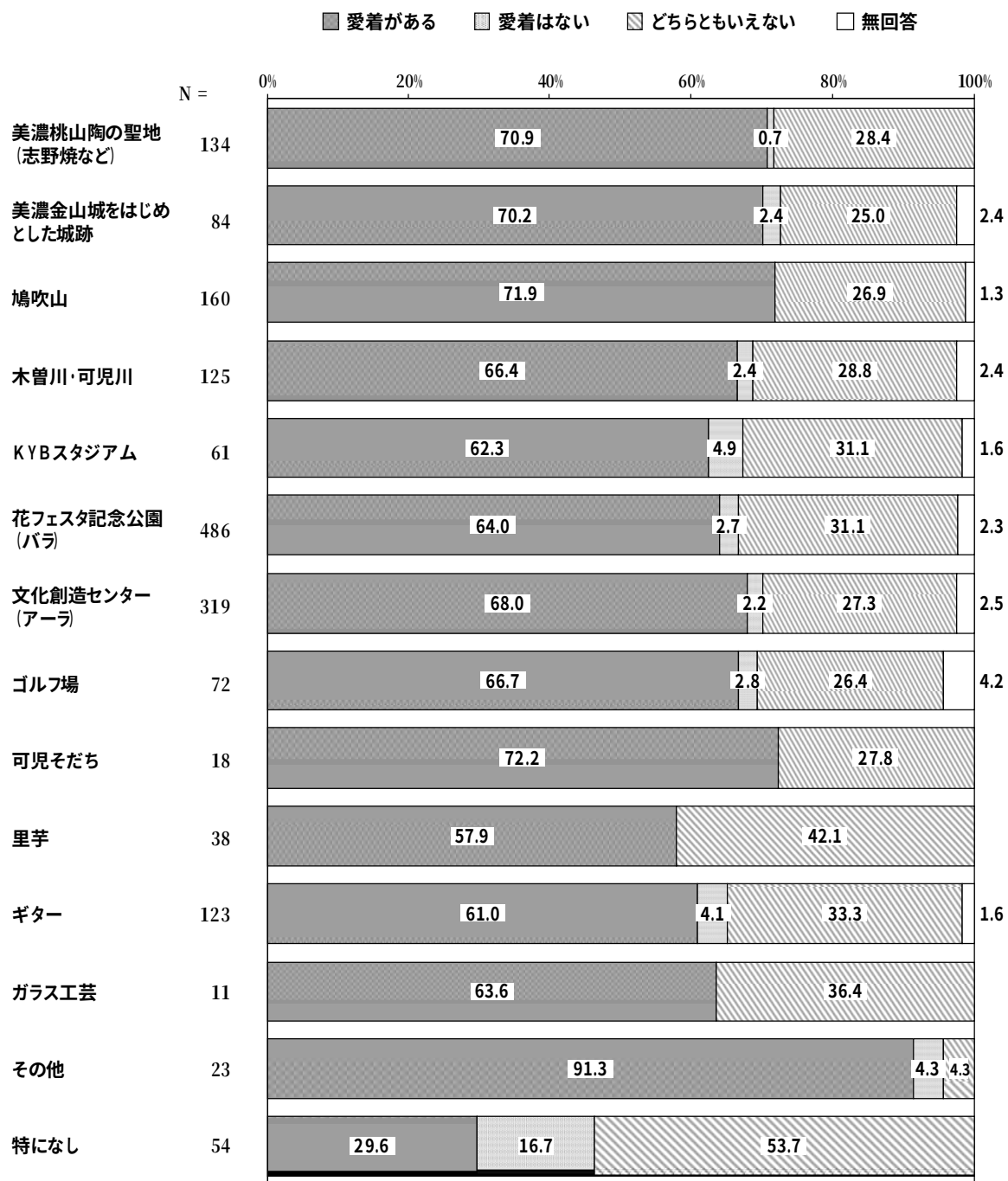
【可児市への定住意向別】

可児市への定住意向別でみると、他に比べ、可児市外へ出て、将来的には可児市へ戻りたいで「愛着がある」の割合が高く、8割台半ばとなっています。



【自慢できる観光資源別】

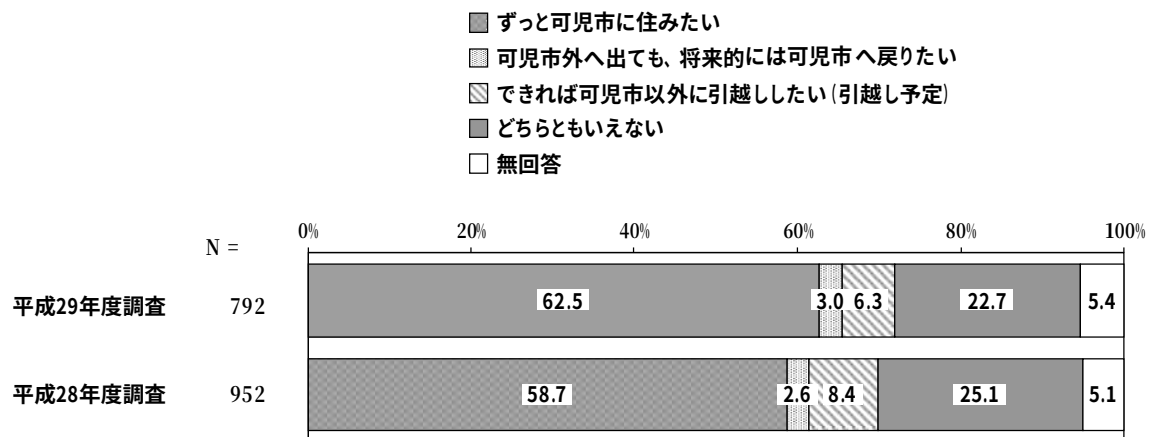
自慢できる観光資源別でみると、他に比べ、美濃桃山陶の聖地（志野焼など）、美濃金山城をはじめとした城跡、鳩吹山、可児そだちで「愛着がある」の割合が高く、7割を超えています。



問 13 あなたは、可児市に今後も住み続けようと思いますか。(○は1つだけ)

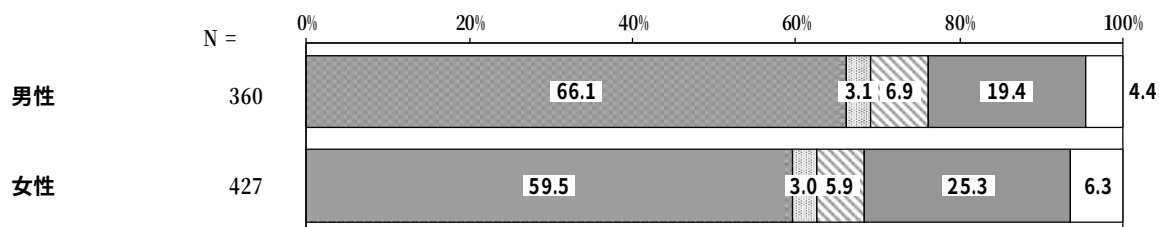
「ずっと可児市に住みたい」の割合が 62.5%と最も高く、次いで「どちらともいえない」の割合が 22.7%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



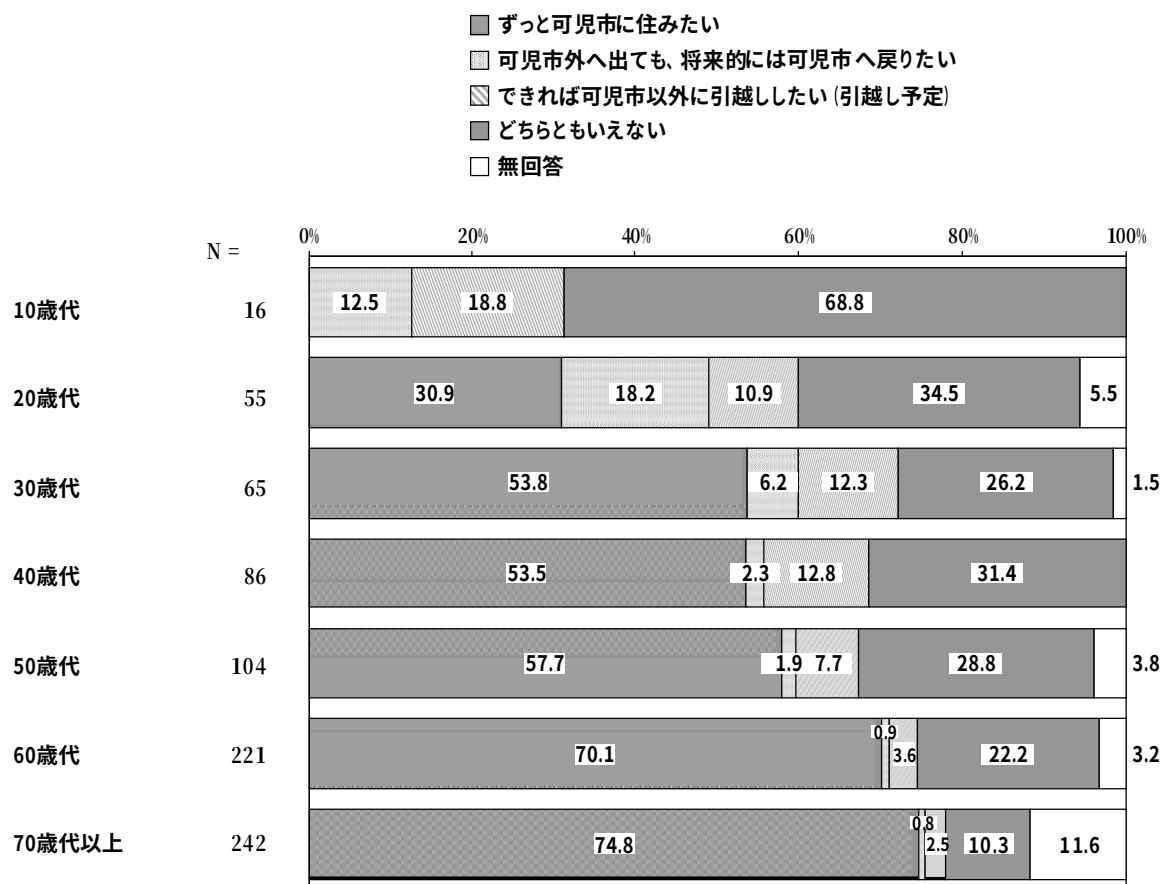
【性 別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「ずっと可児市に住みたい」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「どちらともいえない」の割合が高くなっています。



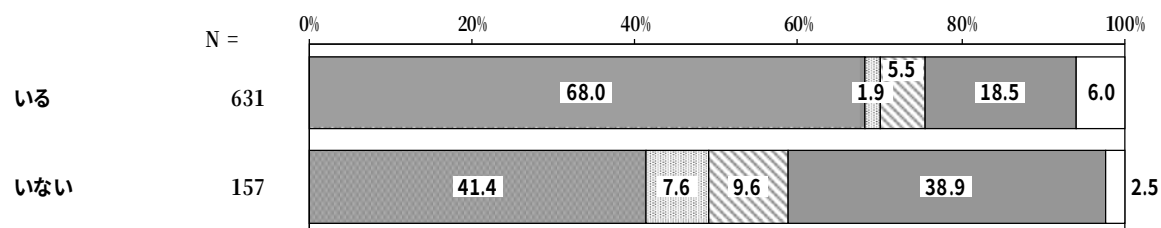
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、70 歳代以上で「ずっと可児市に住みたい」の割合が高く、7 割台半ばとなっています。また、10 歳代で「できれば可児市以外に引越したい(引越し予定)」の割合が高く、約 2 割となっています。



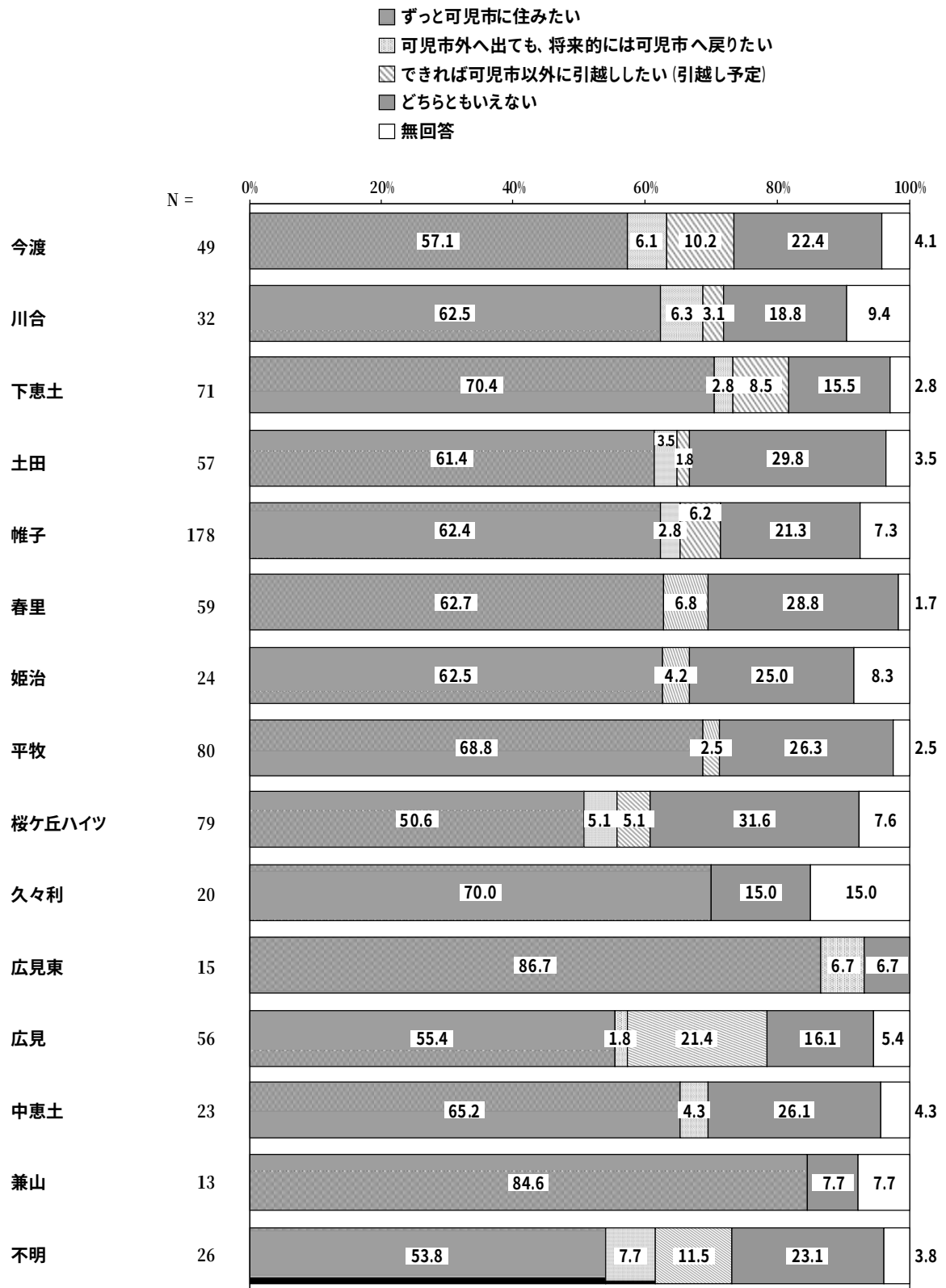
【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で「ずっと可児市に住みたい」の割合が高く、約 7 割となっています。また、子どもがいる人に比べ、子どもがいない人で「可児市外へ出ても、将来的には可児市へ戻りたい」「どちらともいえない」の割合が高くなっています。



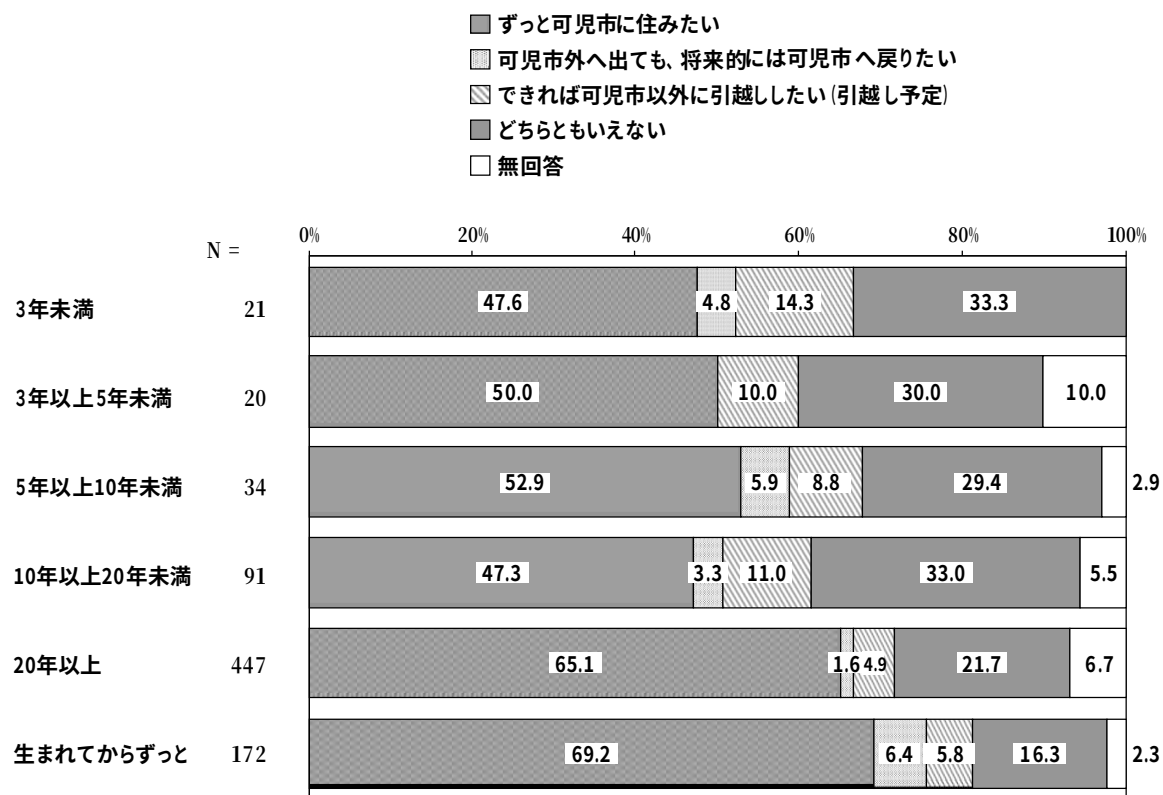
【居住地区別】

居住地区別でみると、広見東、兼山で、「ずっと可児市に住みたい」の割合が高く、8割台半ばとなっています。また、桜ヶ丘ハイツで「ずっと可児市に住みたい」の割合が最も低く、約5割となっています。



【居住年数別】

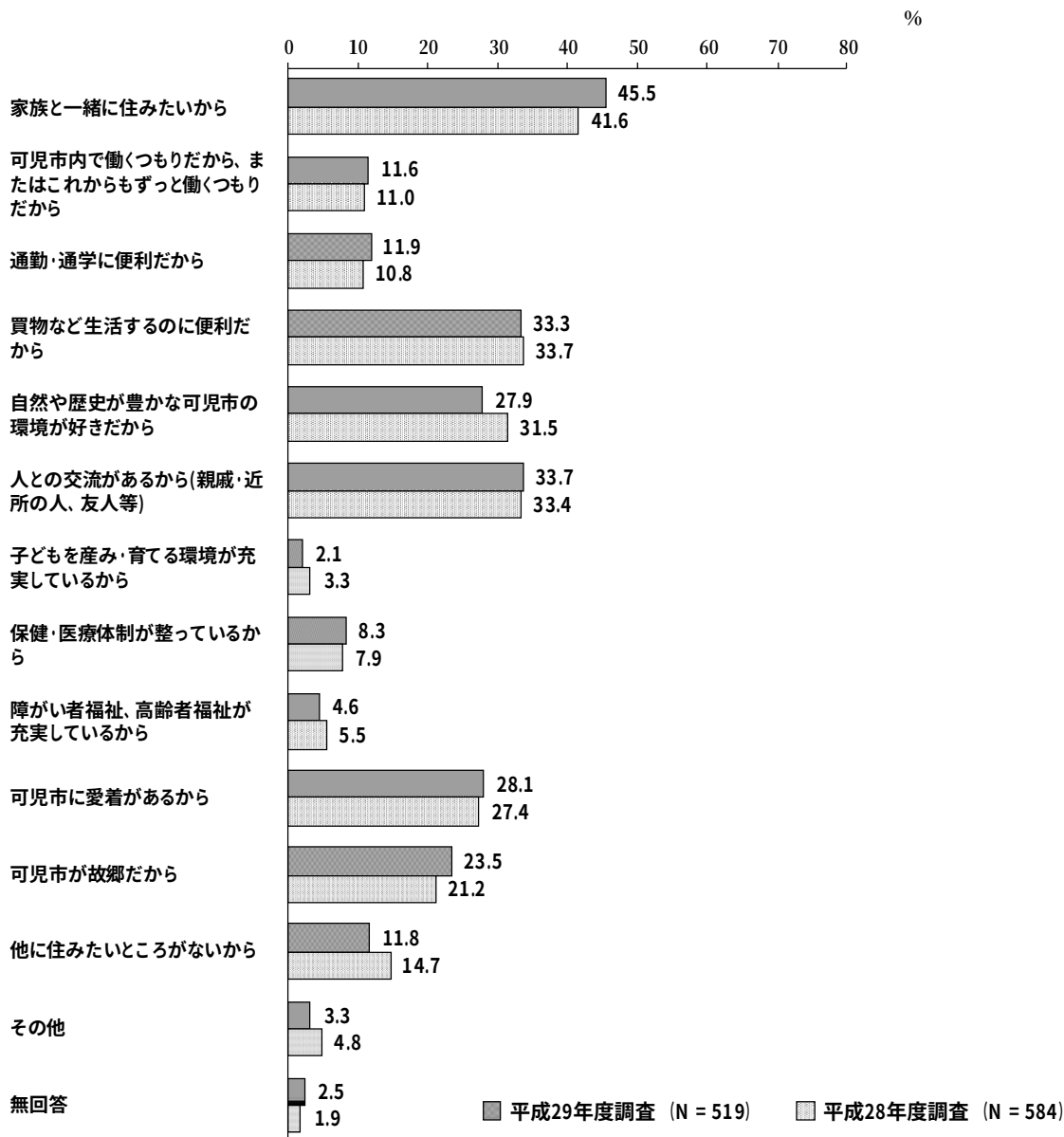
居住年数別でみると、他に比べ、20年以上、生まれてからずっとで「ずっと可児市に住みたい」の割合が高く、6割を超えています。



問 14 問 13 で 1 または 2 (ずっと可児市に住みたい 可児市外に出ても、将来的には可児市へ戻りたい)とお答えになった方は、その理由を次の中から「3つまで」選んで番号に○をつけてください。

「家族と一緒に住みたいから」の割合が 45.5%と最も高く、次いで「人との交流があるから(親戚・近所の人、友人等)」の割合が 33.7%、「買物など生活するのに便利だから」の割合が 33.3%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【性 別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「家族と一緒に住みたいから」「買物など生活するのに便利だから」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	家族と一緒に住みたいから	可児市内で働くつもりだから、またはこれからずっと働くつもりだから	通勤・通学に便利だから	買物など生活するのに便利だから	自然や歴史が豊かな可児市の環境が好きだから	人との交流があるから(親戚・近所の人、友人等)	子どもを産み・育てる環境が充実しているから	保健・医療体制が整っているから	障がい者福祉、高齢者福祉が充実しているから	可児市に愛着があるから	可児市が故郷だから	他に住みたいところがないから	その他	無回答
男性	249	42.6	11.6	14.1	30.5	30.1	34.1	0.4	7.2	4.4	27.7	25.7	14.1	4.0	1.6
女性	267	48.3	11.2	9.7	36.0	26.2	33.0	3.7	9.0	4.9	28.8	21.3	9.4	2.6	3.4

【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、20 歳代で「家族と一緒に住みたいから」「可児市が故郷だから」の割合が高くなっています。また、30 歳代、40 歳代、50 歳代で「可児市内で働くつもりだから、またはこれからずっと働くつもりだから」の割合が、30 歳代で「通勤・通学に便利だから」の割合が、60 歳代、70 歳代以上で「人との交流があるから(親戚・近所の人、友人等)」高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	家族と一緒に住みたいから	可児市内で働くつもりだから、またはこれからずっと働くつもりだから	通勤・通学に便利だから	買物など生活するのに便利だから	自然や歴史が豊かな可児市の環境が好きだから	人との交流があるから(親戚・近所の人、友人等)	子どもを産み・育てる環境が充実しているから	保健・医療体制が整っているから	障がい者福祉、高齢者福祉が充実しているから	可児市に愛着があるから	可児市が故郷だから	他に住みたいところがないから	その他	無回答
10 歳代	2	50.0	—	—	—	—	50.0	—	—	—	100.0	100.0	—	—	—
20 歳代	27	66.7	18.5	29.6	7.4	18.5	29.6	7.4	—	3.7	25.9	51.9	—	—	3.7
30 歳代	39	51.3	28.2	35.9	30.8	2.6	10.3	12.8	—	—	23.1	28.2	12.8	2.6	—
40 歳代	48	47.9	27.1	18.8	29.2	33.3	29.2	2.1	2.1	2.1	20.8	35.4	8.3	6.3	—
50 歳代	62	56.5	22.6	17.7	33.9	14.5	27.4	1.6	4.8	4.8	21.0	22.6	11.3	4.8	1.6
60 歳代	157	45.2	8.9	7.6	33.8	38.2	38.9	0.6	7.0	5.7	27.4	20.4	12.1	1.9	1.9
70 歳代以上	183	36.6	1.6	3.8	38.3	29.5	38.3	0.5	15.3	5.5	33.9	17.5	14.2	3.8	4.4

【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で「家族と一緒に住みたいから」「自然や歴史が豊かな可児市の環境が好きだから」「可児市に愛着があるから」の割合が高くなっています。また、子どもいるの人に比べ、子どもがいない人で「可児市内で働くつもりだから、またはこれからもずっと働くつもりだから」「通勤・通学に便利だから」「可児市が故郷だから」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	家族と一緒に住みたいから	可児市内でも働くつもりだから、またはこれからもずっと働くつもりだから	通勤・通学に便利だから	買物など生活するのに便利だから	自然や歴史が豊かな可児市の環境が好きだから	人との交流があるから(親戚・近所の人、友人等)	子どもを産み・育てる環境が充実しているから	保健・医療体制が整っているから	障がい者福祉、高齢者福祉が充実しているから	可児市に愛着があるから	可児市が故郷だから	他に住みたいところがないから	その他	無回答
いる	441	47.2	10.7	10.7	32.7	28.8	33.8	2.3	8.2	4.3	29.0	21.5	11.6	3.4	2.7
いない	77	35.1	16.9	19.5	36.4	23.4	32.5	1.3	9.1	6.5	23.4	35.1	13.0	2.6	1.3

【居住地区別】

居住地区別でみると、今渡で「買物など生活するのに便利だから」の割合が高くなっています。また、川合、中恵土、兼山で「家族と一緒に住みたいから」の割合がとくに高くなっています。そのほか、土田、姫治、広見で「可見市が故郷だから」、今渡、春里、兼山で「人との交流があるから(親戚・近所の人、友人等)」、桜ヶ丘ハイツで「自然や歴史が豊かな可見市の環境が好きだから」がそれぞれとくに高くなっています。

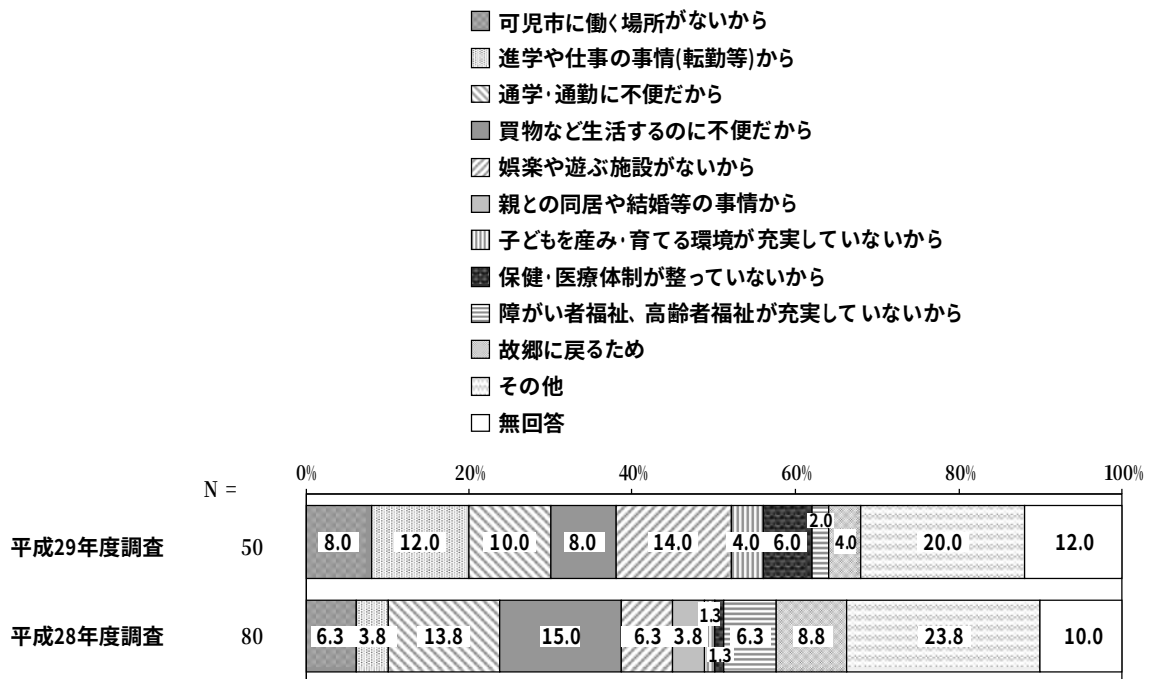
単位：％

区分	有効回答数(件)	家族と一緒に住みたいから	可見市内で働くつもりだから、またはこれからずっと働くつもりだから	通勤・通学に便利だから	買物など生活するのに便利だから	自然や歴史が豊かな可見市の環境が好きだから	人との交流があるから(親戚・近所の人、友人等)	子どもを産み・育てる環境が充実しているから	保健・医療体制が整っているから	障がい者福祉、高齢者福祉が充実しているから	可見市に愛着があるから	可見市が故郷だから	他に住みたいところがないから	その他	無回答
今渡	31	35.5	12.9	19.4	74.2	22.6	48.4	3.2	12.9	9.7	19.4	22.6	3.2	—	—
川合	22	63.6	13.6	18.2	45.5	4.5	18.2	4.5	—	4.5	22.7	22.7	4.5	4.5	4.5
下恵土	52	38.5	13.5	11.5	55.8	19.2	28.8	1.9	7.7	—	34.6	23.1	1.9	5.8	5.8
土田	37	59.5	5.4	13.5	27.0	21.6	32.4	5.4	5.4	5.4	27.0	45.9	10.8	2.7	—
帷子	116	41.4	6.0	8.6	30.2	37.9	33.6	1.7	9.5	3.4	31.9	10.3	19.8	3.4	3.4
春里	37	54.1	13.5	5.4	13.5	35.1	51.4	2.7	2.7	2.7	24.3	32.4	10.8	2.7	5.4
姫治	15	40.0	6.7	20.0	6.7	6.7	33.3	—	—	—	33.3	46.7	20.0	13.3	—
平牧	55	54.5	14.5	7.3	18.2	30.9	30.9	—	12.7	10.9	30.9	18.2	9.1	1.8	—
桜ヶ丘ハイツ	44	31.8	—	11.4	29.5	59.1	36.4	2.3	11.4	4.5	25.0	9.1	18.2	4.5	—
久々利	14	42.9	14.3	7.1	7.1	42.9	28.6	—	—	7.1	35.7	28.6	14.3	—	—
広見東	14	42.9	28.6	21.4	14.3	7.1	21.4	—	—	—	14.3	35.7	14.3	7.1	14.3
広見	32	43.8	21.9	3.1	37.5	9.4	34.4	3.1	15.6	3.1	31.3	43.8	—	3.1	—
中恵土	16	62.5	25.0	25.0	62.5	12.5	37.5	—	6.3	—	12.5	31.3	6.3	—	—
兼山	11	63.6	36.4	9.1	36.4	9.1	45.5	—	—	—	36.4	27.3	—	—	—
不明	16	25.0	12.5	31.3	25.0	31.3	18.8	6.3	12.5	12.5	18.8	18.8	37.5	—	6.3

問 15 問 13 で 3（できれば可児市以外に引越したい(引越し予定)）とお答えになった方は、その理由を次の中から「1つ」選んで番号に○をつけて下さい。

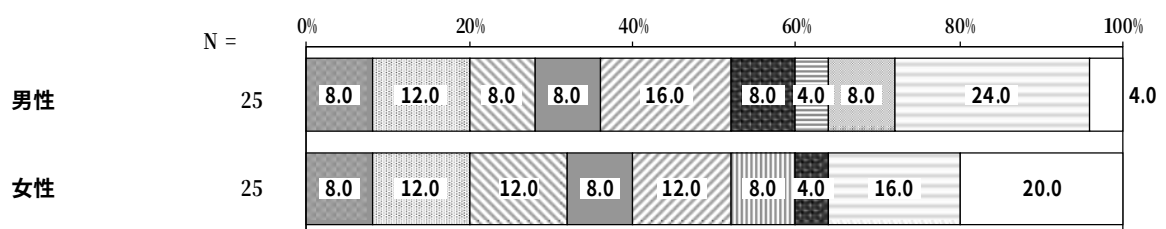
「娯楽や遊ぶ施設がないから」の割合が 14.0%と最も高く、次いで「進学や仕事の事情(転勤等)から」の割合が 12.0%、「通学・通勤に不便だから」の割合が 10.0%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、「進学や仕事の事情(転勤等)から」「娯楽や遊ぶ施設がないから」の割合が増加しています。一方、「買物など生活するのに不便だから」の割合が減少しています。



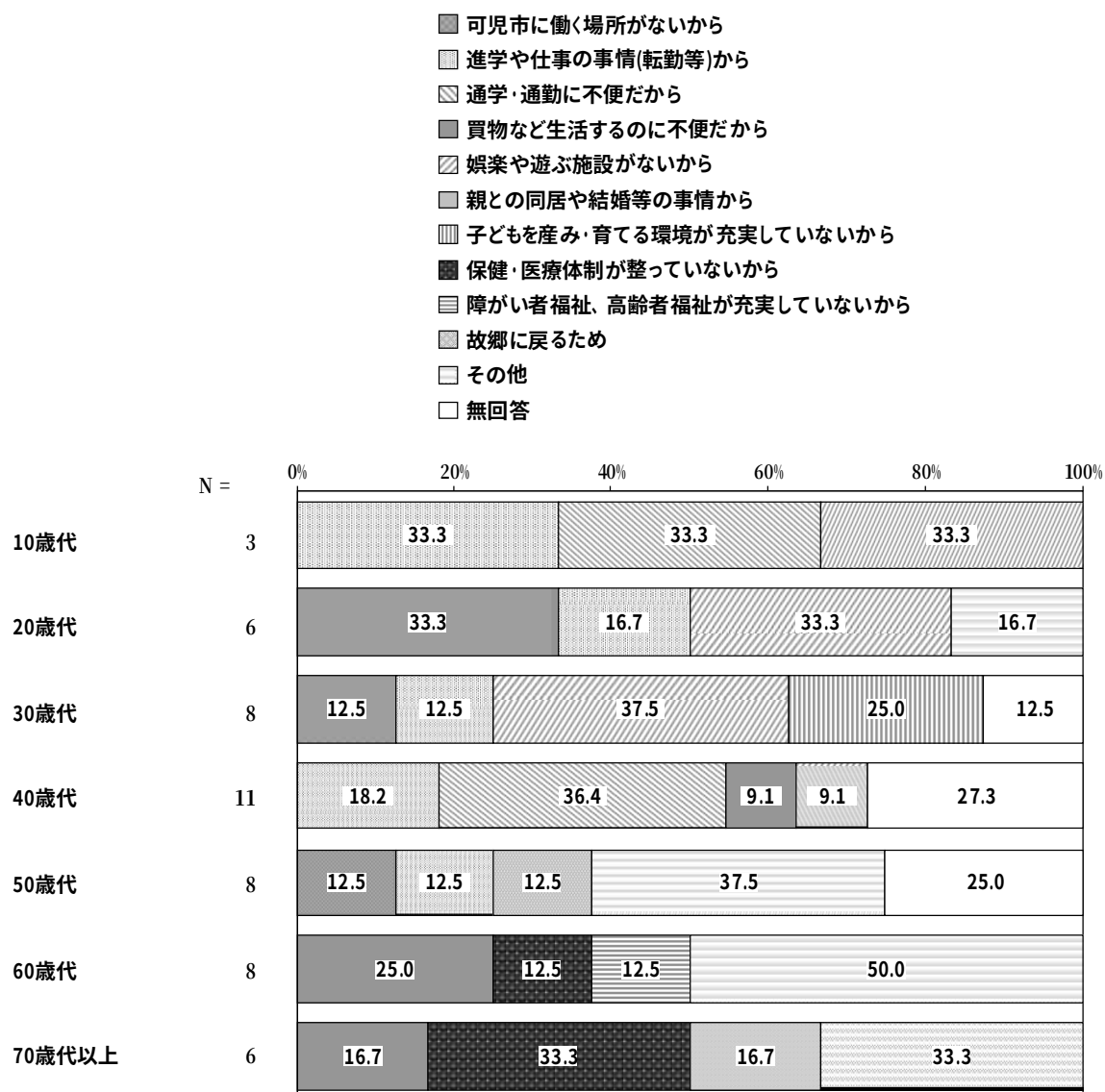
【性 別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「故郷に戻るため」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「子どもを産み・育てる環境が充実していないから」の割合が高くなっています。



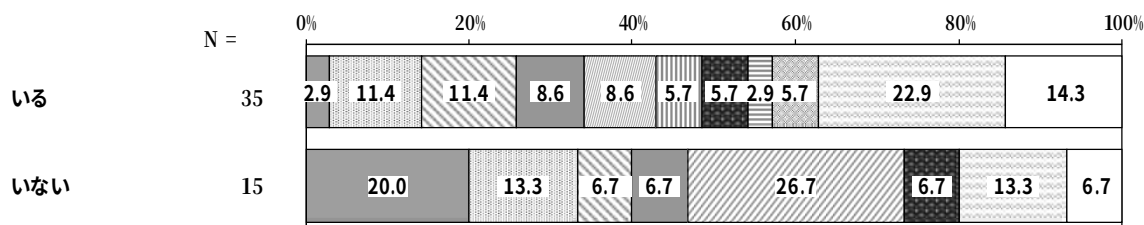
【年代別】

年代別でみると、有効回答数が少ないため、コメントはひかえます。



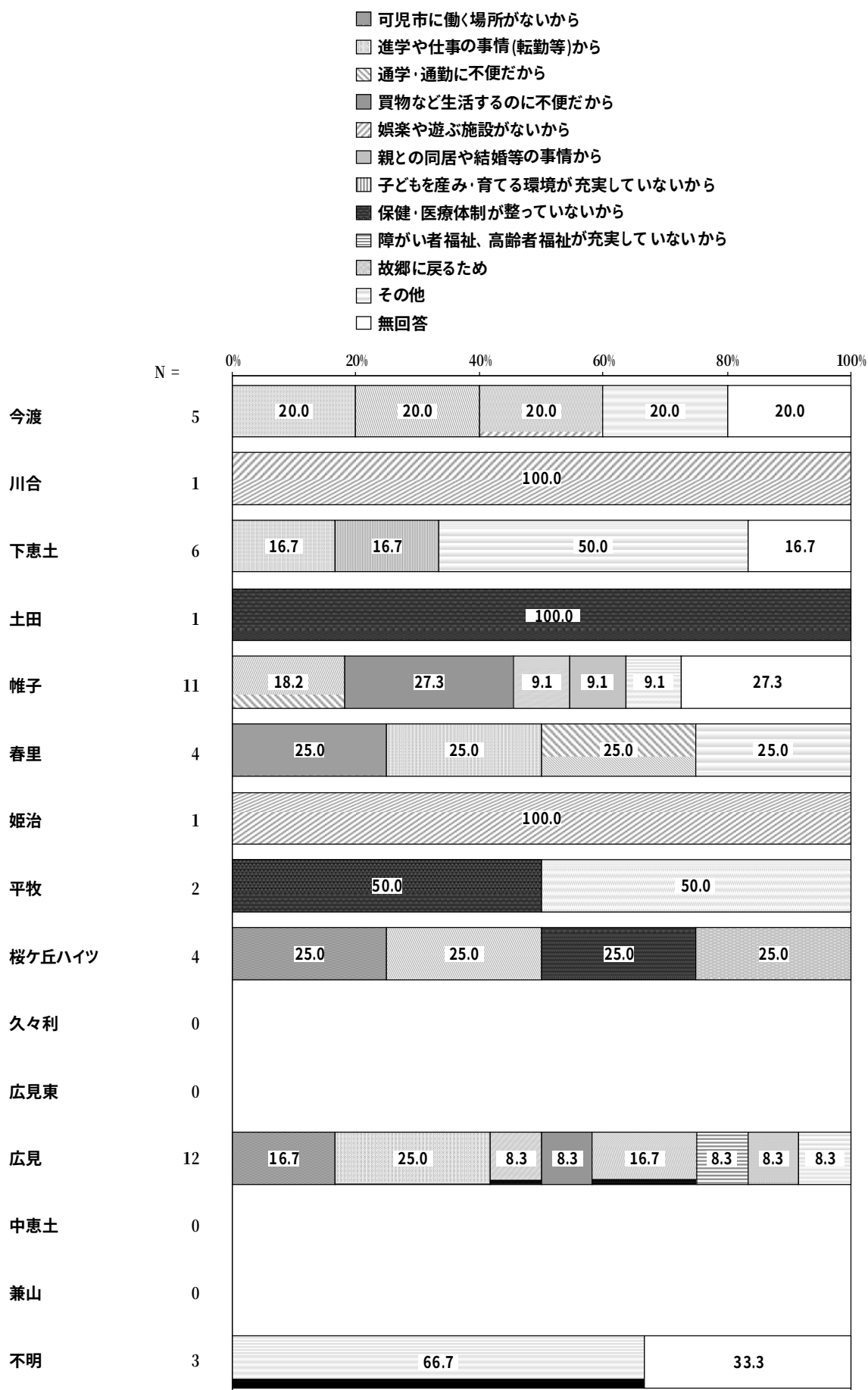
【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で「子どもを産み・育てる環境が充実していないから」「故郷に戻るため」の割合が高くなっています。また、子どもがいる人に比べ、子どもがいない人で「可児市に働く場所がないから」「娯楽や遊ぶ施設がないから」の割合が高くなっています。



【居住地区別】

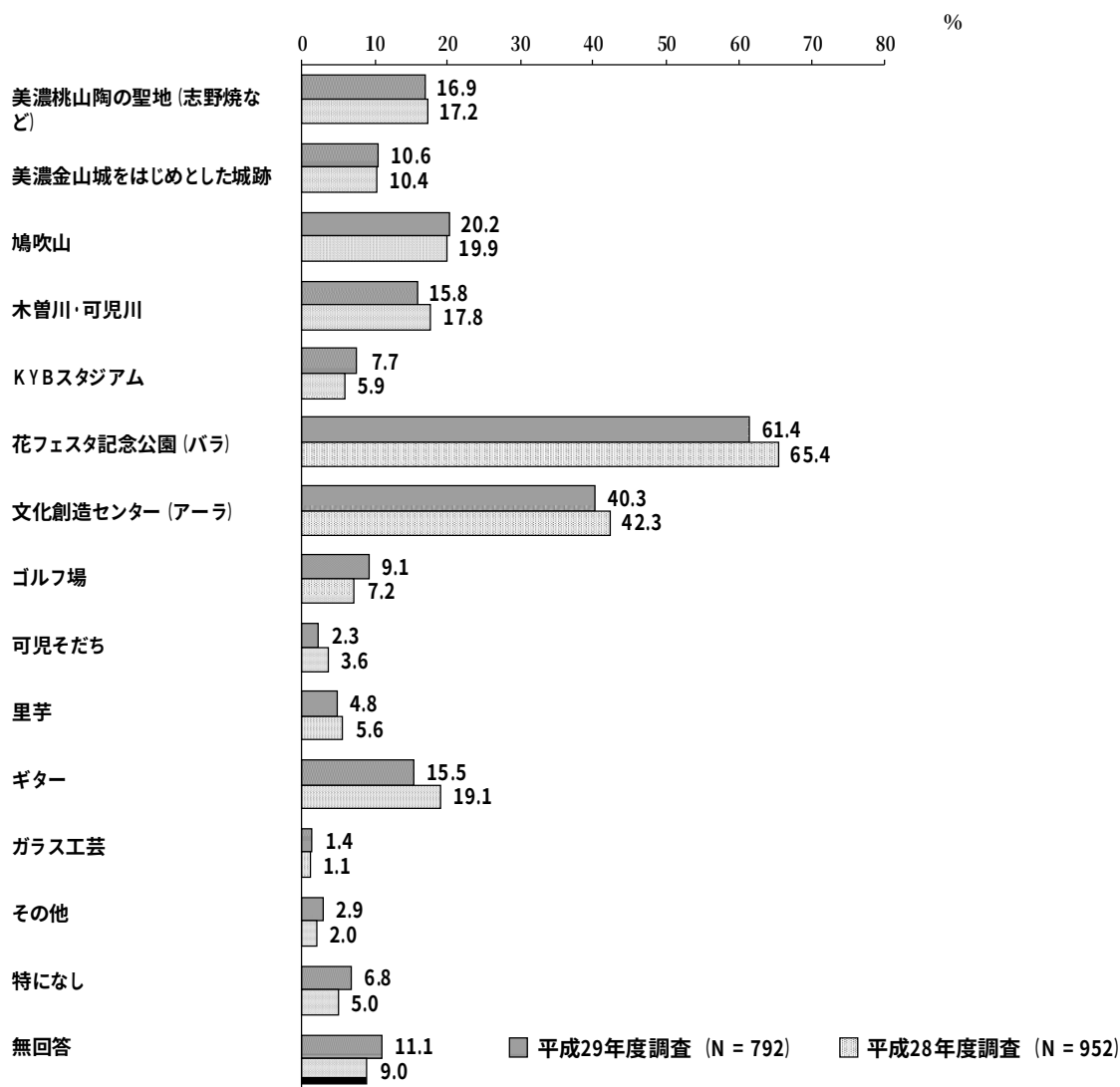
居住地区別でみると、有効回答数が少ないため、コメントはひかえます。



問 16 可児市の自慢できる地域資源（観光施設・特産品など）を次の中から3つまで選んでください。

「花フェスタ記念公園（バラ）」の割合が61.4%と最も高く、次いで「文化創造センター（ア－ラ）」の割合が40.3%、「鳩吹山」の割合が20.2%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【性 別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「美濃金山城をはじめとした城跡」「木曽川・可児川」「ゴルフ場」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「文化創造センター（アーラ）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	美濃桃山陶の聖地 (志野焼など)	美濃金山城をは じめとした城跡	鳩吹山	木曽川・可児川	KYBスタジアム	花フェスタ記念公 園（バラ）	文化創造センタ ー（アーラ）	ゴルフ場	可児そだち	里芋	ギター	ガラス工芸	その他	特になし	無回答
男性	360	16.7	13.3	22.5	20.0	8.9	59.4	35.8	12.8	3.1	3.9	13.1	1.1	3.6	6.9	8.9
女性	427	17.3	8.2	18.5	12.2	6.3	62.8	44.0	6.1	1.6	5.6	17.8	1.6	2.3	6.6	13.1

【年代別】

年代別でみると、すべての年代で「花フェスタ記念公園（バラ）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	美濃桃山陶の聖地 (志野焼など)	美濃金山城をは じめとした城跡	鳩吹山	木曽川・可児川	KYBスタジアム	花フェスタ記念公 園（バラ）	文化創造センタ ー（アーラ）	ゴルフ場	可児そだち	里芋	ギター	ガラス工芸	その他	特になし	無回答
10 歳代	16	—	6.3	12.5	12.5	25.0	56.3	50.0	—	—	6.3	18.8	—	12.5	12.5	12.5
20 歳代	55	16.4	5.5	9.1	7.3	9.1	65.5	40.0	1.8	—	5.5	18.2	3.6	3.6	9.1	7.3
30 歳代	65	4.6	4.6	15.4	15.4	10.8	64.6	36.9	4.6	1.5	7.7	23.1	3.1	6.2	6.2	6.2
40 歳代	86	4.7	5.8	16.3	7.0	15.1	62.8	45.3	7.0	1.2	4.7	29.1	—	4.7	7.0	8.1
50 歳代	104	14.4	13.5	15.4	10.6	6.7	57.7	39.4	6.7	2.9	6.7	22.1	1.0	1.9	8.7	12.5
60 歳代	221	19.0	14.0	23.1	18.6	3.2	63.8	37.6	13.1	1.8	3.6	12.2	2.7	2.3	8.1	9.5
70 歳代 以上	242	25.2	10.7	25.2	20.7	7.4	59.1	41.3	10.7	3.7	4.1	8.3	—	1.7	3.7	15.3

【居住地区別】

居住地区別でみると、兼山を除く地区で「花フェスタ記念公園（バラ）」の割合が高くなっています。また、兼山で「美濃金山城をはじめとした城跡」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	美濃桃山陶の聖地（志野焼など）	美濃金山城をはじめとした城跡	鳩吹山	木曽川・可児川	KYBスタジアム	花フェスタ記念公園（バラ）	文化創造センター（アーラ）	ゴルフ場	可児そだち	里芋	ギター	ガラス工芸	その他	特になし	無回答
今渡	49	12.2	4.1	20.4	20.4	10.2	46.9	38.8	8.2	4.1	6.1	22.4	—	2.0	4.1	18.4
川合	32	25.0	6.3	6.3	12.5	6.3	62.5	50.0	3.1	—	12.5	15.6	—	—	6.3	18.8
下恵土	71	12.7	7.0	16.9	19.7	2.8	62.0	52.1	8.5	1.4	8.5	11.3	1.4	2.8	2.8	12.7
土田	57	17.5	5.3	33.3	17.5	14.0	54.4	42.1	1.8	—	5.3	7.0	—	7.0	8.8	10.5
帷子	178	12.9	10.7	32.6	20.8	7.9	59.6	38.2	5.1	2.2	3.9	14.6	2.2	2.8	7.9	11.2
春里	59	13.6	10.2	27.1	15.3	13.6	64.4	27.1	10.2	—	1.7	16.9	3.4	1.7	5.1	11.9
姫治	24	16.7	20.8	16.7	12.5	16.7	62.5	37.5	8.3	4.2	—	16.7	—	—	4.2	8.3
平牧	80	22.5	8.8	8.8	16.3	5.0	76.3	40.0	11.3	2.5	2.5	12.5	1.3	1.3	8.8	7.5
桜ヶ丘ハイツ	79	19.0	10.1	8.9	8.9	1.3	68.4	43.0	15.2	—	8.9	27.8	—	2.5	6.3	11.4
久々利	20	45.0	25.0	5.0	10.0	—	65.0	25.0	30.0	—	—	5.0	—	5.0	5.0	15.0
広見東	15	26.7	—	20.0	26.7	6.7	66.7	60.0	20.0	6.7	—	—	—	6.7	6.7	—
広見	56	23.2	21.4	14.3	10.7	7.1	55.4	41.1	14.3	5.4	3.6	16.1	1.8	1.8	8.9	3.6
中恵土	23	13.0	—	21.7	4.3	8.7	69.6	26.1	4.3	8.7	13.0	21.7	4.3	13.0	4.3	13.0
兼山	13	7.7	53.8	15.4	15.4	23.1	30.8	46.2	7.7	7.7	—	7.7	7.7	7.7	7.7	7.7
不明	26	11.5	3.8	15.4	7.7	3.8	57.7	42.3	7.7	3.8	—	19.2	—	—	7.7	15.4

【居住年数別】

居住年数別でみると、居住年数に関わらず「花フェスタ記念公園（バラ）」の割合が高くなっています。また、3年以上5年未満で「文化創造センター（アーラ）」の割合が高くなっています。

単位：％

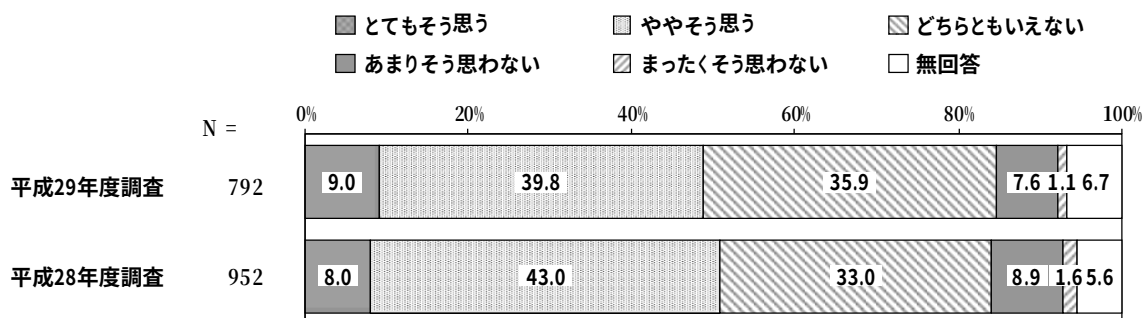
区分	有効回答数（件）	美濃桃山陶の聖地 （志野焼など）	美濃金山城をはじ めとした城跡	鳩吹山	木曾川・可児川	KYBスタジアム	花フェスタ記念公 園（バラ）	文化創造センタ ー（アーラ）	ゴルフ場	可児そだち	里芋	ギター	ガラス工芸	その他	特になし	無回答
3年未満	21	9.5	9.5	9.5	23.8	4.8	47.6	14.3	14.3	—	—	9.5	—	—	14.3	9.5
3年以上5 年未満	20	—	10.0	—	10.0	20.0	55.0	55.0	5.0	—	—	30.0	5.0	—	5.0	20.0
5年以上 10年未満	34	11.8	8.8	8.8	20.6	8.8	58.8	29.4	—	—	5.9	14.7	2.9	2.9	5.9	20.6
10年以上 20年未満	91	7.7	8.8	14.3	13.2	9.9	68.1	44.0	9.9	—	2.2	18.7	—	2.2	9.9	11.0
20年以上	447	19.9	9.6	23.9	16.1	6.9	64.0	43.0	8.9	2.2	4.9	13.9	1.3	2.2	5.4	11.4
生まれて からずっと	172	18.0	14.0	19.8	15.7	7.6	54.7	36.6	11.0	4.7	6.4	17.4	1.7	5.8	8.1	7.0

(5) 子育て環境について

問 17 可児市は、子育てしやすい環境だと思いますか。(○は1つだけ)

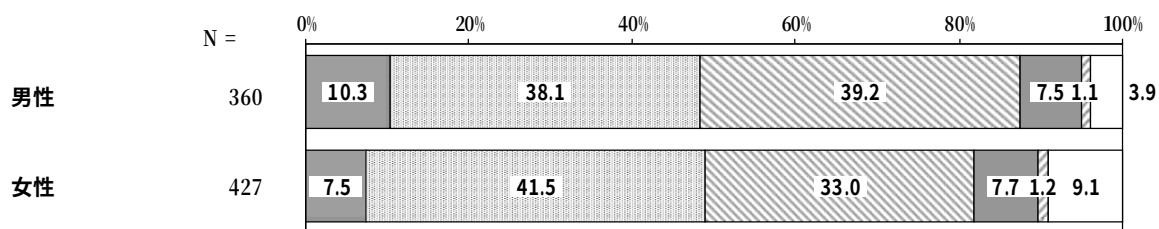
「とてもそう思う」と「ややそう思う」をあわせた“思う”割合が 48.8%、「あまりそう思わない」と「まったくそう思わない」をあわせた“思わない”割合が 8.7%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



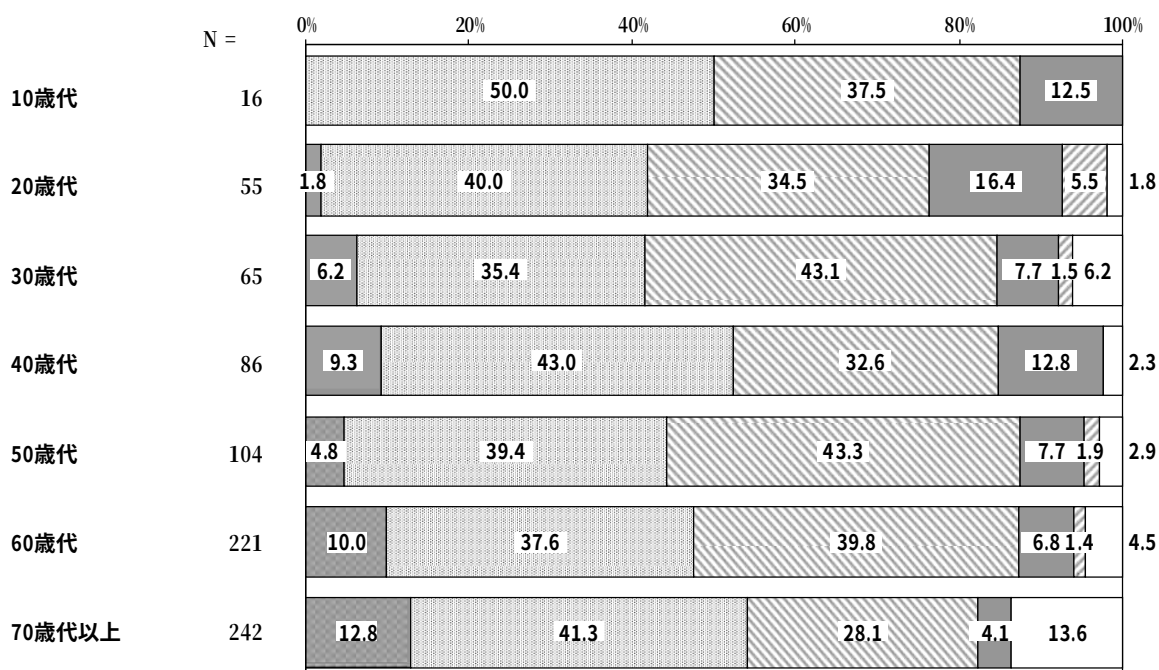
【性 別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「どちらともいえない」の割合が高くなっています。



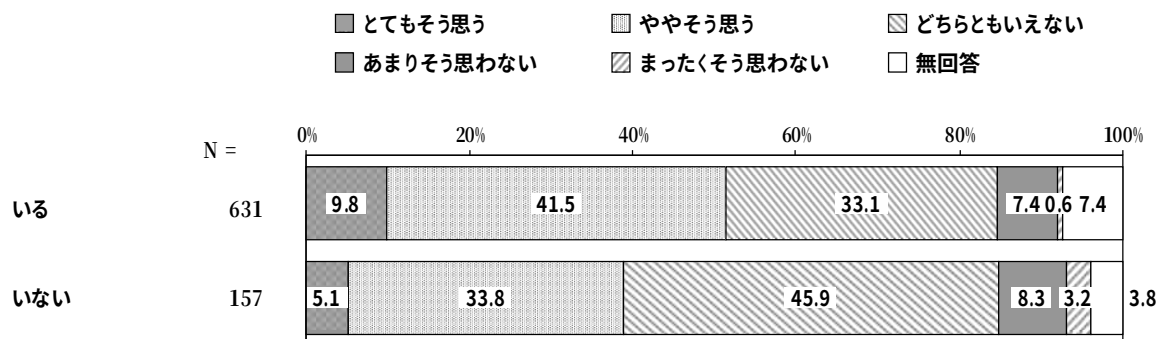
【年代別】

年代別でみると、他に比べ、10 歳代、40 歳代、70 歳代以上で“そう思う”の割合が高く、5 割以上となっています。また、20 歳代で“思わない”の割合が高く、約 2 割となっています。



【子どもの有無別】

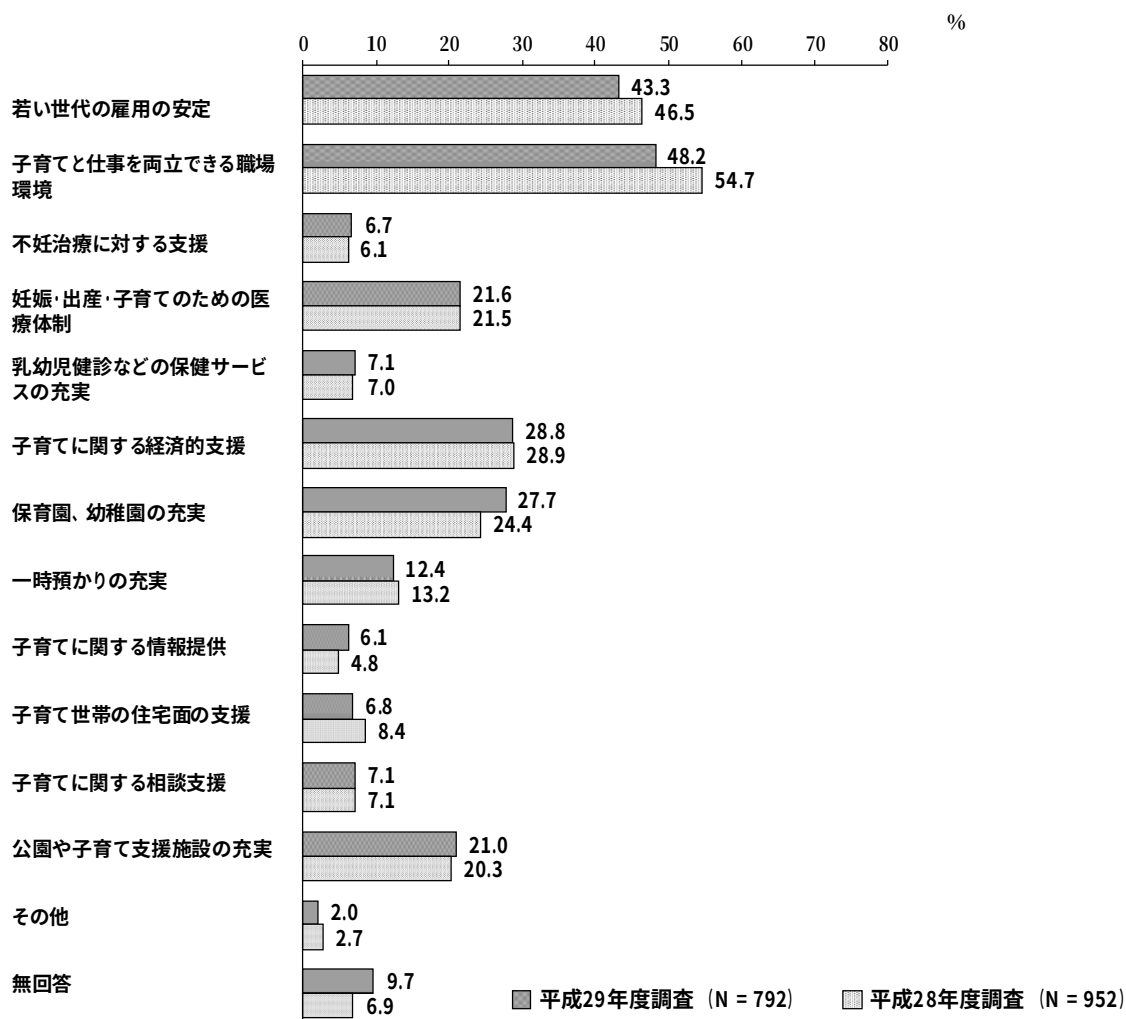
子どもの有無別でみると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で“そう思う”の割合が高く、約5割となっています。



問 18 妊娠・出産・子育てのために、市は今後どのようなことを重視した支援策に取り組むべきだと思いますか。次の中から選んでください。(○は3つまで)

「子育てと仕事を両立できる職場環境」の割合が48.2%と最も高く、次いで「若い世代の雇用の安定」の割合が43.3%、「子育てに関する経済的支援」の割合が28.8%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【性 別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「若い世代の雇用の安定」「子育てに関する経済的支援」「公園や子育て支援施設の充実」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「子育てと仕事を両立できる職場環境」「子育てに関する相談支援」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	若い世代の雇用の安定	子育てと仕事を両立できる職場環境	子育てと仕事に対する支援	妊娠・出産・子育てのための医療体制	乳幼児健診などの保健サービスの充実	子育てに関する経済的支援	保育園、幼稚園の充実	一時預かりの充実	子育てに関する情報提供	子育て世帯の住宅面の支援	子育てに関する相談支援	公園や子育て支援施設の充実	その他	無回答
男性	360	50.6	45.3	4.4	23.6	6.4	33.6	27.2	11.4	5.3	6.9	4.2	23.6	2.5	8.3
女性	427	37.2	51.1	8.7	19.9	7.7	24.6	27.9	13.3	6.8	6.8	9.6	18.3	1.6	10.8

【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、10 歳代、60 歳代、70 歳代以上で「若い世代の雇用の安定」の割合が高く、約5割となっています。また、20 歳代から 60 歳代で「子育てと仕事を両立できる職場環境」の割合が、10 歳代で「保育園、幼稚園の充実」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	若い世代の雇用の安定	子育てと仕事を両立できる職場環境	子育てと仕事に対する支援	妊娠・出産・子育てのための医療体制	乳幼児健診などの保健サービスの充実	子育てに関する経済的支援	保育園、幼稚園の充実	一時預かりの充実	子育てに関する情報提供	子育て世帯の住宅面の支援	子育てに関する相談支援	公園や子育て支援施設の充実	その他	無回答
10 歳代	16	50.0	37.5	12.5	18.8	18.8	37.5	50.0	6.3	6.3	—	—	18.8	—	6.3
20 歳代	55	36.4	54.5	9.1	14.5	12.7	40.0	23.6	16.4	7.3	10.9	10.9	14.5	1.8	7.3
30 歳代	65	24.6	46.2	18.5	27.7	10.8	36.9	26.2	13.8	7.7	16.9	7.7	24.6	1.5	4.6
40 歳代	86	31.4	51.2	15.1	23.3	5.8	45.3	19.8	16.3	2.3	7.0	8.1	24.4	3.5	3.5
50 歳代	104	40.4	52.9	6.7	29.8	4.8	24.0	33.7	15.4	7.7	3.8	12.5	20.2	1.0	5.8
60 歳代	221	49.8	49.8	4.1	22.2	7.7	27.1	29.9	13.1	5.4	5.9	5.9	22.2	2.7	6.3
70 歳代以上	242	49.2	43.8	2.1	17.4	5.0	21.5	26.0	8.3	6.6	5.8	5.0	19.4	1.7	18.2

【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で「公園や子育て支援施設の充実」の割合が高くなっています。また、子どもがいる人に比べ、子どもがいない人で「不妊治療に対する支援」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	定 若い世代の雇用の安定	子育てと仕事を両立できる職場環境	不妊治療に対する支援	妊娠・出産・子育てのための医療体制	乳幼児健診などの保健サービスの充実	子育てに関する経済的支援	保育園、幼稚園の充実	一時預かりの充実	子育てに関する情報提供	子育て世帯の住宅面の支援	子育てに関する相談支援	公園や子育て支援施設の充実	その他	無回答
いる	631	42.3	49.0	5.4	20.8	7.0	28.8	26.8	12.2	5.7	7.6	6.8	23.3	2.1	10.1
いない	157	47.1	45.9	12.1	24.8	7.6	28.7	31.2	13.4	7.6	3.8	8.3	12.1	1.9	7.0

【職業別】

職業別でみると、他に比べ、アルバイト・パートで「子育てと仕事を両立できる職場環境」の割合が高く、約6割となっています。また、学生で「保育園、幼稚園の充実」の割合、無職で「若い世代の雇用の安定」の割合が高くなっています。

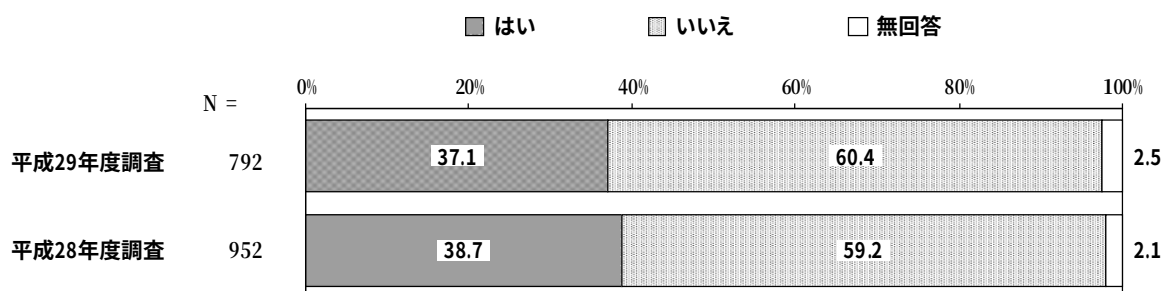
単位：％

区分	有効回答数（件）	若い世代の雇用の安定	子育てと仕事を両立できる職場環境	不妊治療に対する支援	妊娠・出産・子育てのための医療体制	乳幼児健診などの保健サービスの充実	子育てに関する経済的支援	保育園、幼稚園の充実	一時預かりの充実	子育てに関する情報提供	子育て世帯の住宅面の支援	子育てに関する相談支援	公園や子育て支援施設の充実	その他	無回答
正社員・正職員	174	36.2	45.4	9.2	28.7	8.0	36.8	32.8	14.9	2.3	6.9	6.3	23.0	2.3	5.2
アルバイト・パート	124	44.4	61.3	7.3	21.8	6.5	30.6	21.8	12.1	4.0	11.3	8.9	21.0	2.4	8.1
派遣社員	7	100.0	28.6	—	28.6	14.3	14.3	14.3	—	14.3	28.6	—	14.3	—	—
嘱託・契約社員	28	32.1	50.0	10.7	25.0	10.7	32.1	32.1	17.9	7.1	3.6	14.3	17.9	7.1	—
自営業主・家族従業員	55	36.4	43.6	9.1	16.4	1.8	20.0	25.5	27.3	9.1	9.1	12.7	21.8	3.6	10.9
内職	3	66.7	33.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	33.3	—	33.3
家事専業	121	39.7	51.2	7.4	24.8	8.3	26.4	24.8	8.3	7.4	7.4	9.9	20.7	0.8	9.1
学生	29	37.9	41.4	10.3	10.3	13.8	37.9	41.4	6.9	13.8	3.4	3.4	17.2	—	10.3
無職	230	51.7	43.9	2.6	18.3	5.7	25.2	26.5	9.1	7.0	3.9	3.9	22.2	1.7	13.9
その他	15	46.7	60.0	13.3	6.7	6.7	26.7	46.7	20.0	6.7	6.7	6.7	—	—	13.3

(6) 運動の推進について

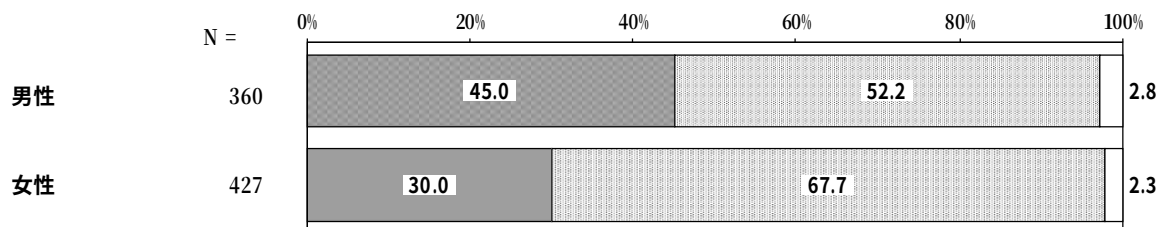
問 19 可児市では、1 回 30 分週 2 回のウォーキングを推奨する歩こう可児 302 運動や 1 人の市民が少なくとも 1 つのスポーツに親しむ一市民スポーツを推進しています。
あなたは、30 分以上の運動を週 2 回以上、1 年以上続けていますか。

「はい」の割合が 37.1%、「いいえ」の割合が 60.4%となっています。
平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



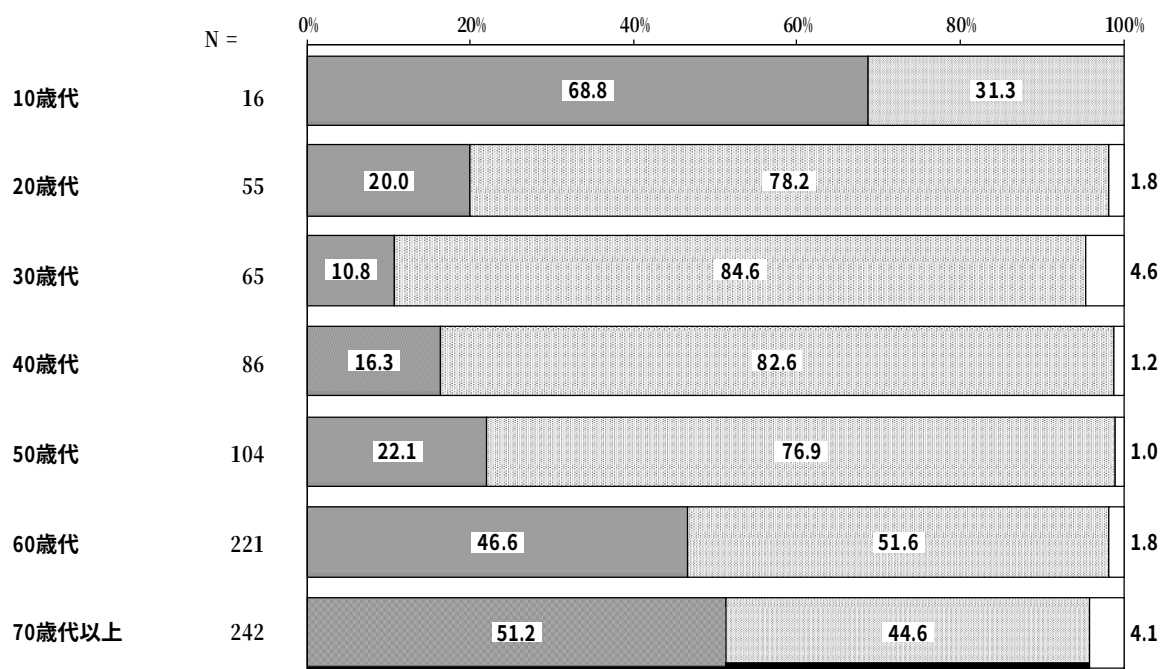
【性 別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「はい」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「いいえ」の割合が高くなっています。



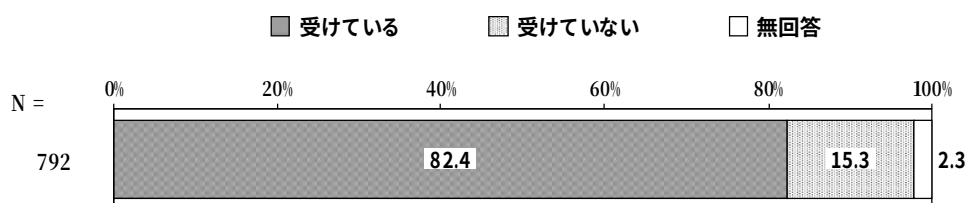
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、10 歳代で「はい」の割合が高く、約 7 割となっています。また、30 歳代、40 歳代で「いいえ」の割合が高く、8 割を超えています。



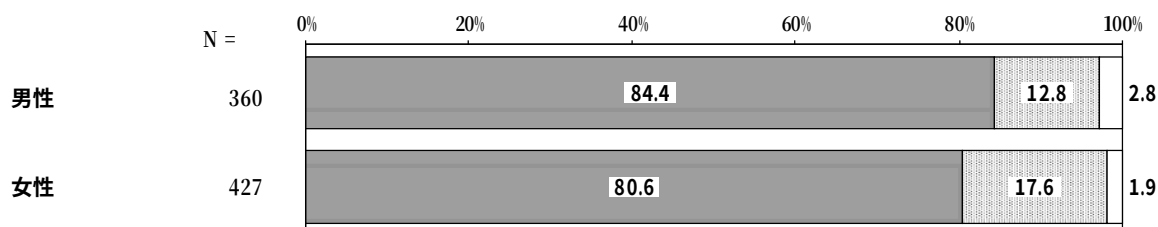
問 20 あなたは、定期的に健康診査を受けていますか。

「受けている」の割合が 82.4%、「受けていない」の割合が 15.3%となっています。



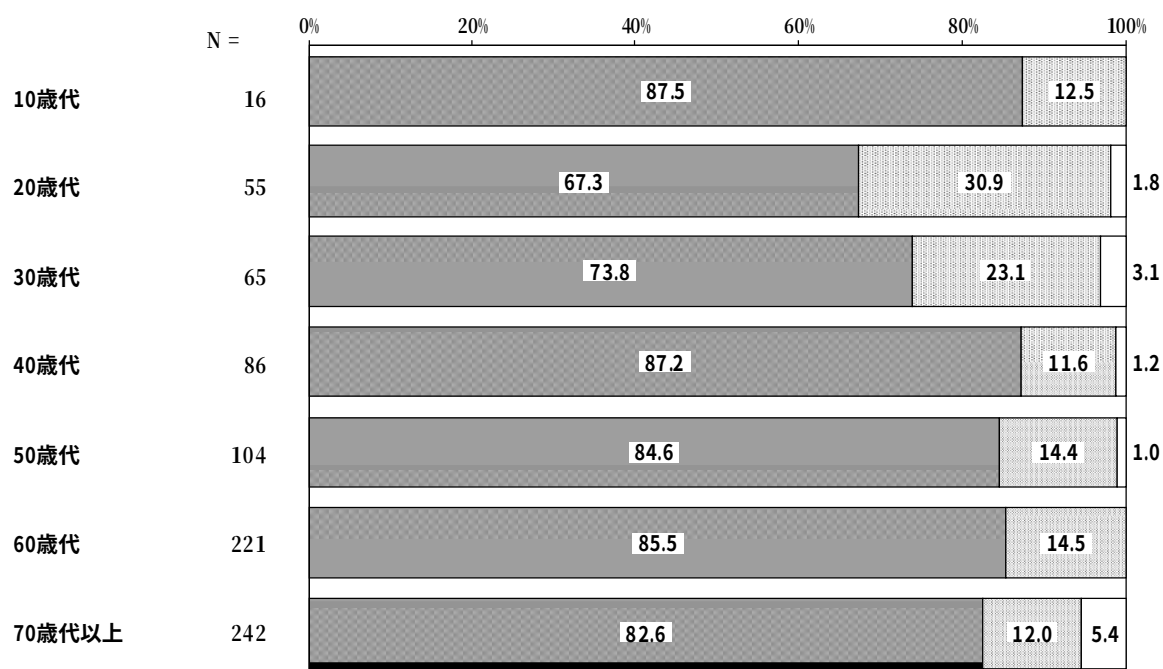
【性 別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



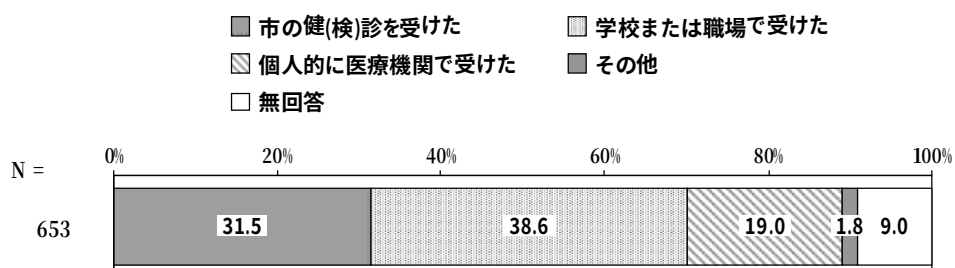
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、20 歳代で「受けている」の割合が低く、6 割台半ばとなっています。



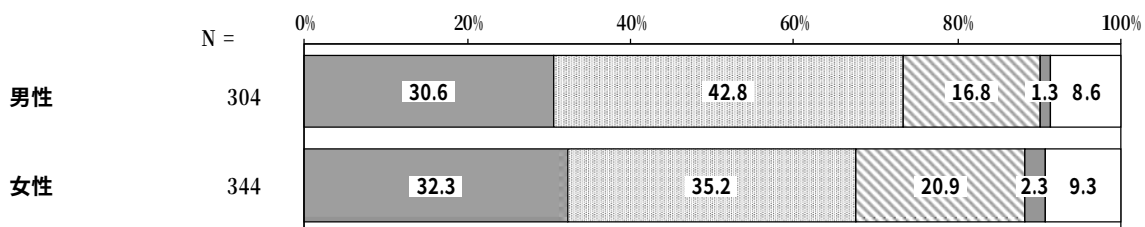
1. 受けている

「学校または職場で受けた」の割合が38.6%と最も高く、次いで「市の健(検)診を受けた」の割合が31.5%、「個人的に医療機関で受けた」の割合が19.0%となっています。



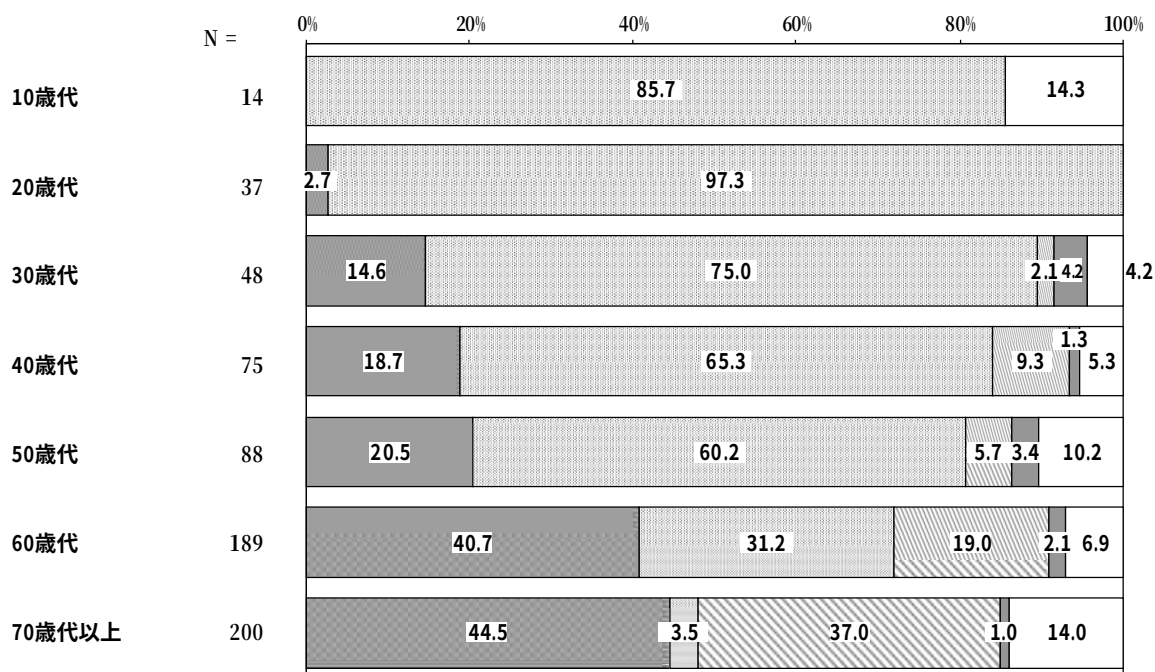
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「学校または職場で受けた」の割合が高くなっています。



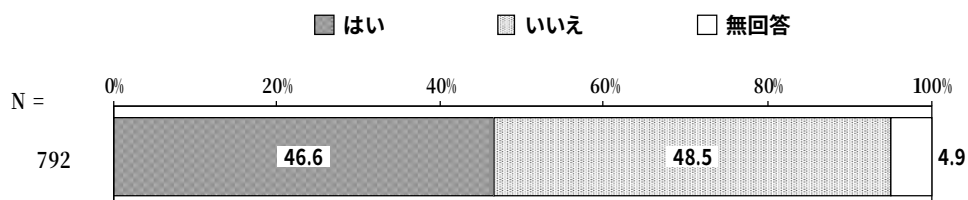
【年代別】

年代別でみると、年代が高くなるにつれ「市の健(検)診を受けた」「個人的に医療機関で受けた」の割合が高くなっています。



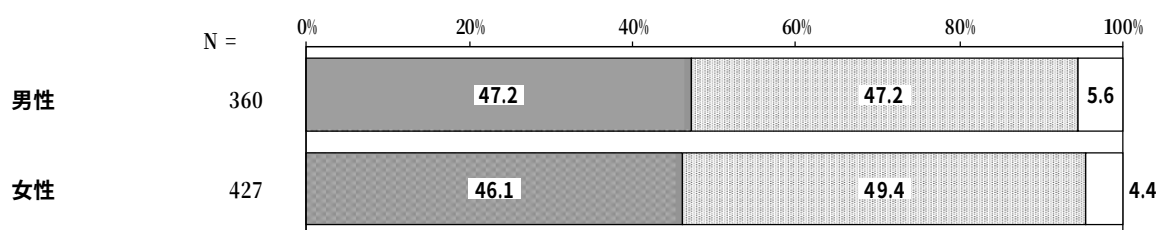
問 21 家庭で防災に関する取り組みをしていますか。

「はい」の割合が46.6%、「いいえ」の割合が48.5%となっています。



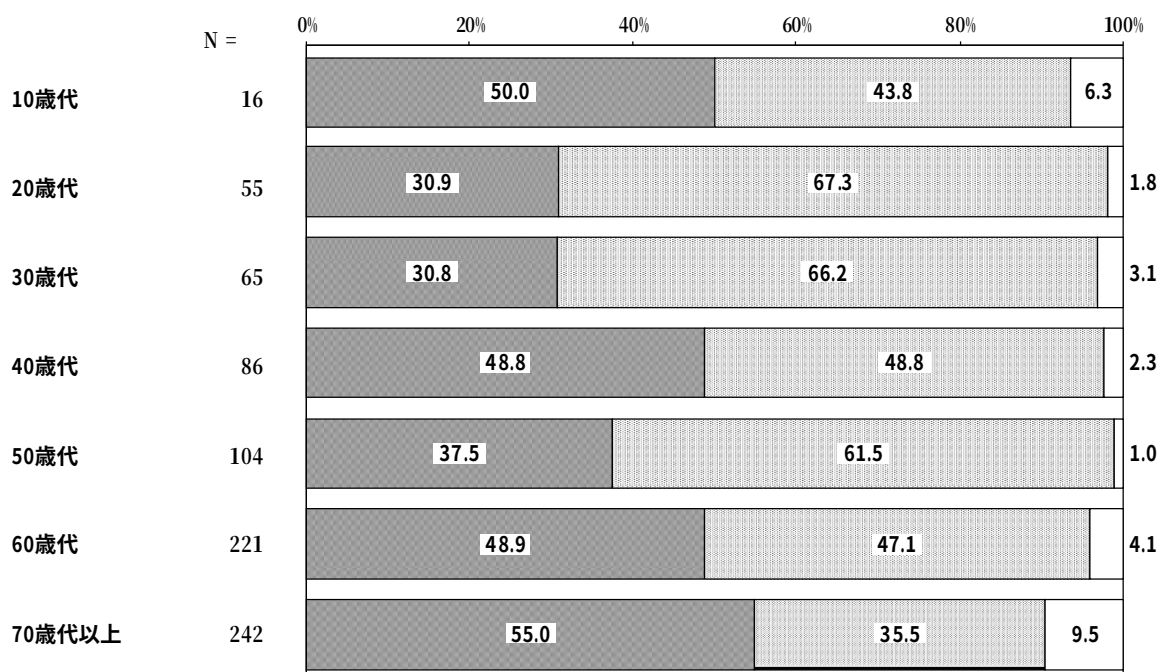
【性 別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、70歳代以上で「はい」の割合が高くなっており、5割台半ばとなっています。

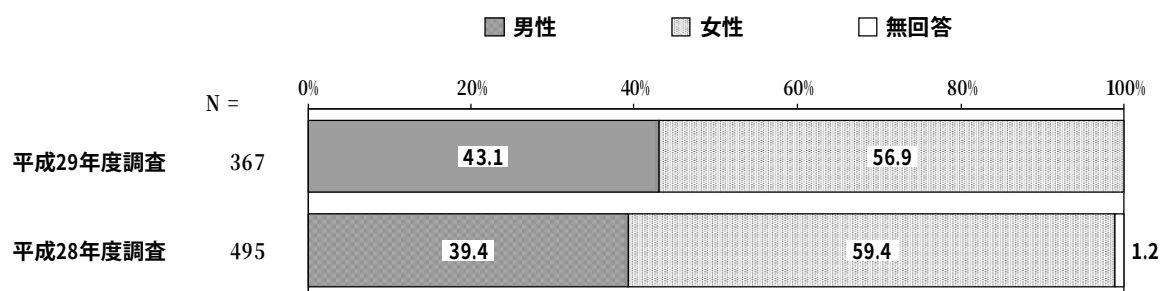


2 若年層

(1) 回答者属性

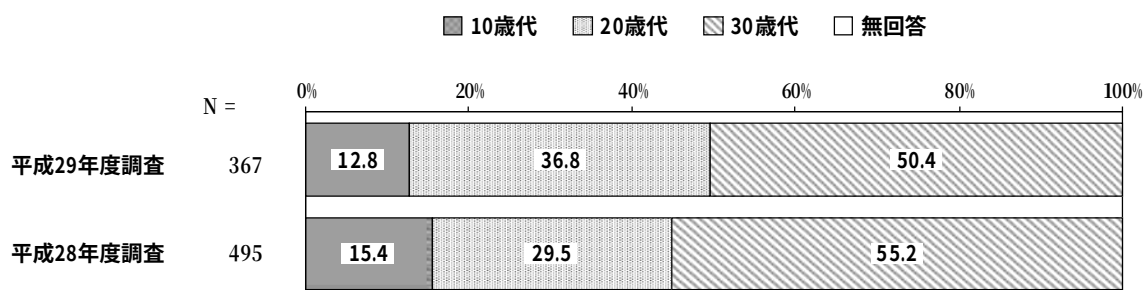
問1 あなたの性別はどちらですか。(○は1つだけ)

「男性」の割合が43.1%、「女性」の割合が56.9%となっています。
平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



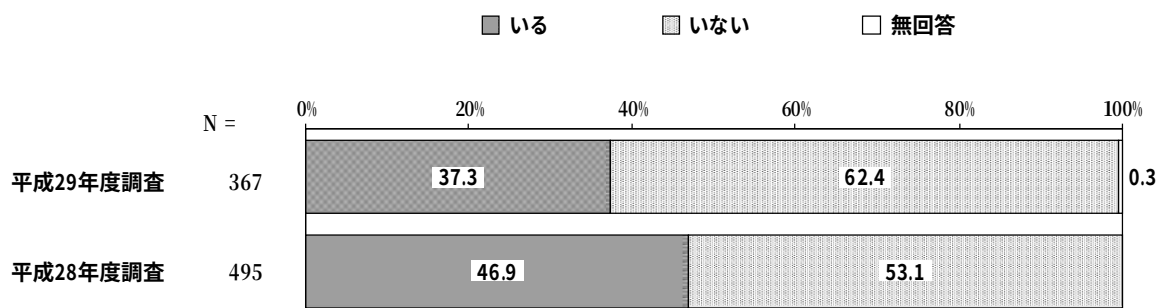
問2 あなたの年齢は、次のうちどれですか。(○は1つだけ)

「30歳代」の割合が50.4%と最も高く、次いで「20歳代」の割合が36.8%、「10歳代」の割合が12.8%となっています。



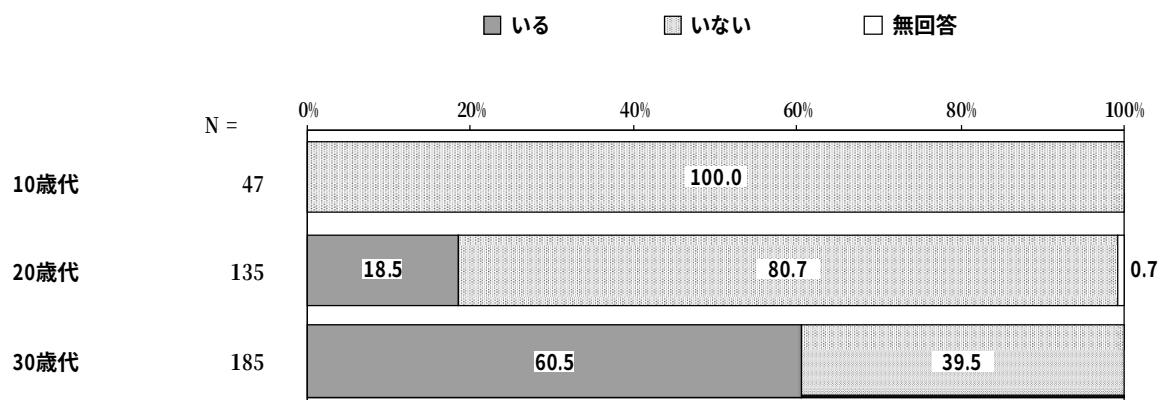
問3 あなたには、子どもはいますか。(いる場合は子どもの世代も選択して下さい。)

「いる」の割合が37.3%、「いない」の割合が62.4%となっています。
平成28年度調査と比較すると、「いない」の割合が増加しています。一方、「いる」の割合が減少しています。



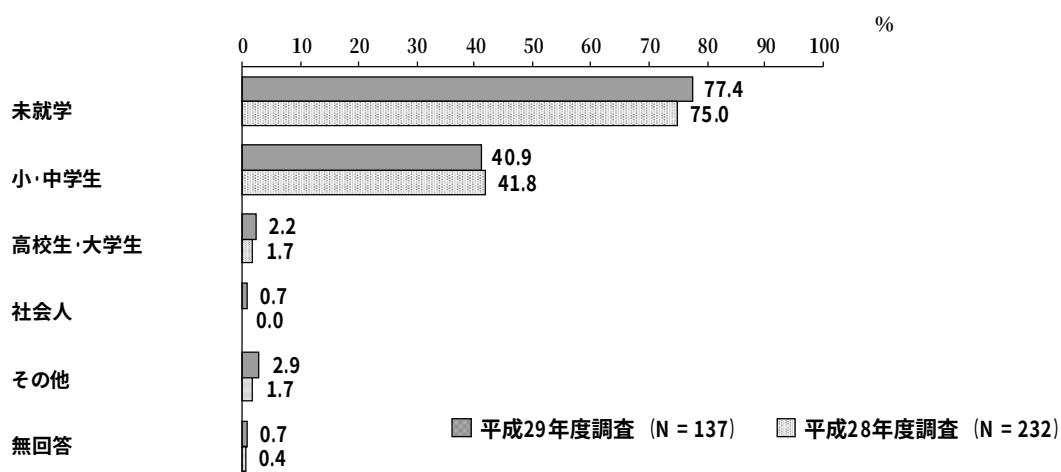
【年代別】

年代別でみると、年代が高くなるにつれ「いる」の割合が高くなっており、30歳代で約6割となっています。



子どもの世代

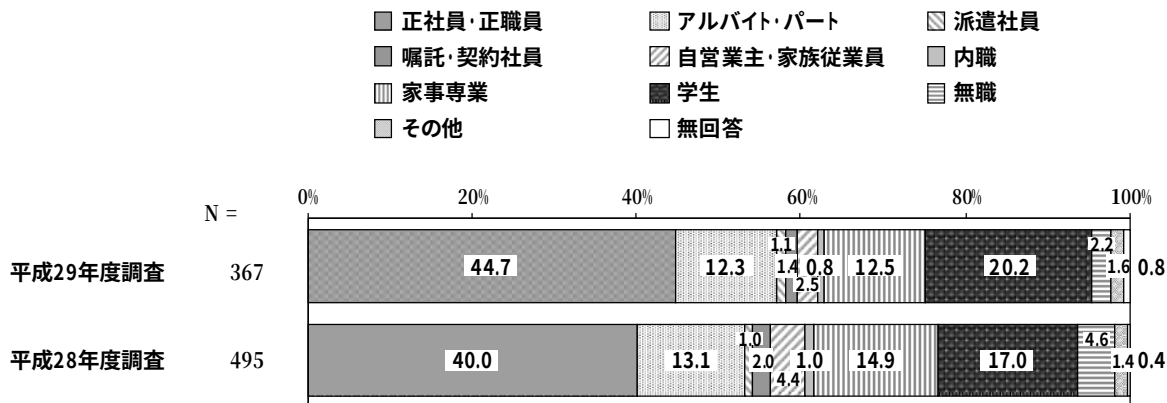
「未就学」の割合が77.4%と最も高く、次いで「小・中学生」の割合が40.9%となっています。



問4 あなたの職業は、次のうちどれですか。(○は1つだけ)

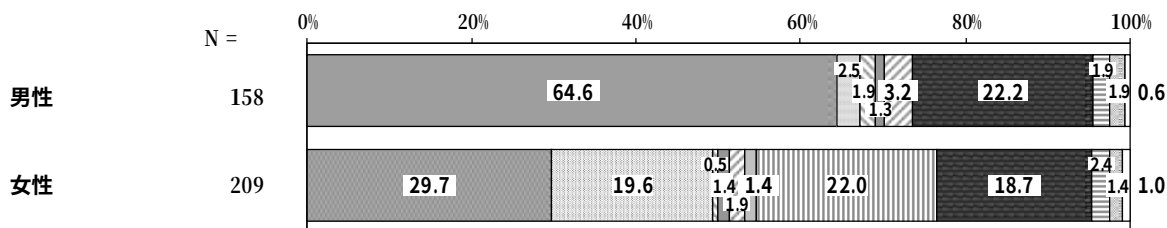
「正社員・正職員」の割合が44.7%と最も高く、次いで「学生」の割合が20.2%、「家事専業」の割合が12.5%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



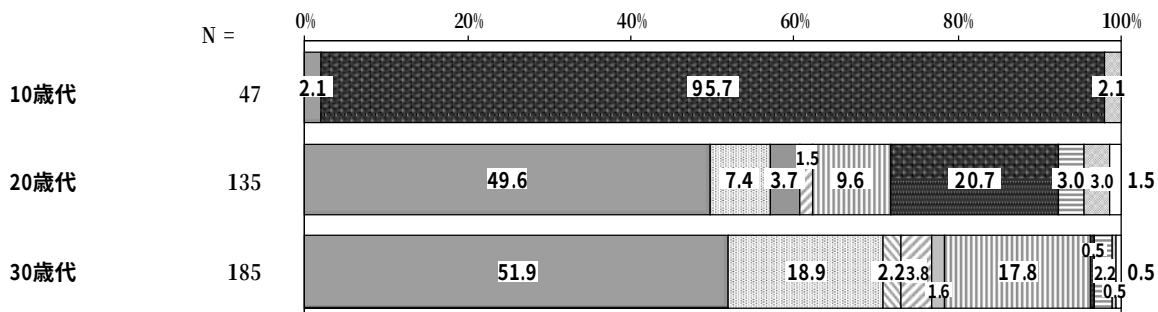
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「正社員・正職員」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「アルバイト・パート」「家事専業」の割合が高くなっています。



【年代別】

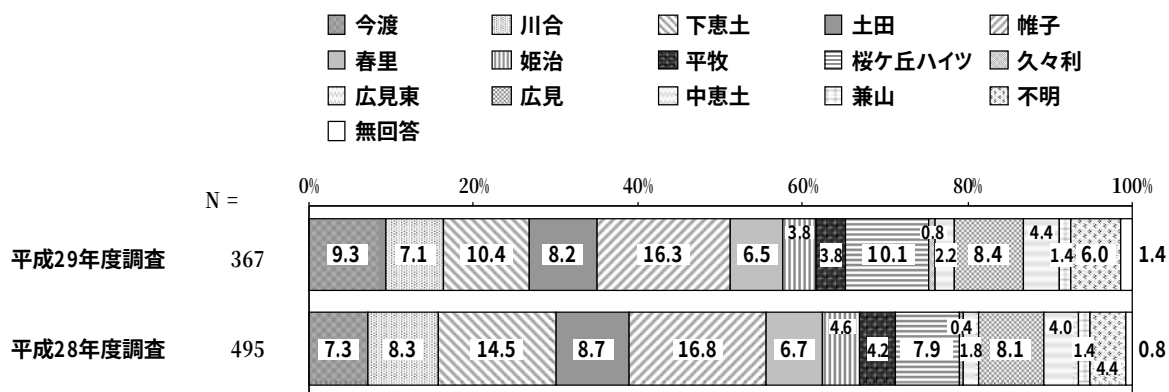
年代別でみると、年代が高くなるにつれ「アルバイト・パート」「家事専業」の割合が高くなっています。また、他の年代に比べ、10歳代で「学生」の割合が高く、9割台半ばとなっています。また、20歳代、30歳代で「正社員・正職員」の割合が高く、約5割となっています。



問5 あなたはどちらにお住まいですか。(自治連合会単位)

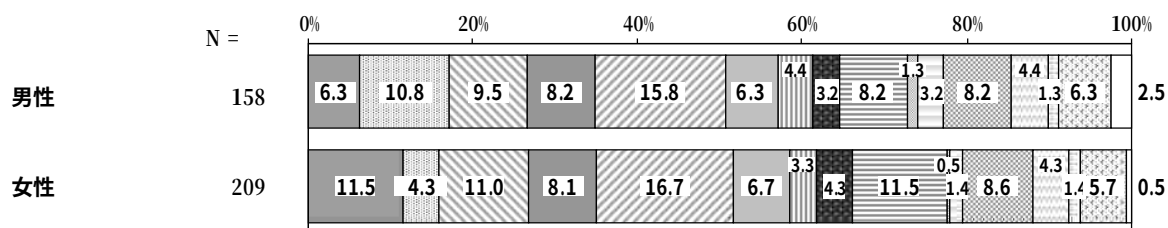
「帷子」の割合が16.3%と最も高く、次いで「下恵土」の割合が10.4%、「桜ヶ丘ハイツ」の割合が10.1%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



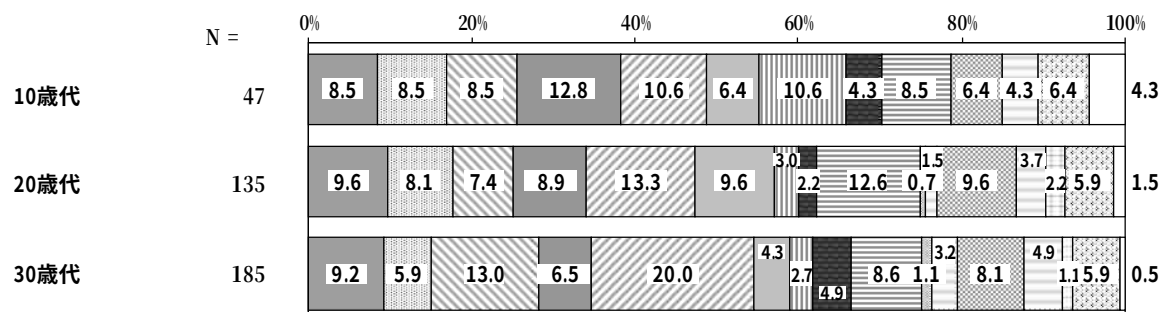
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「川合」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「今渡」の割合が高くなっています。



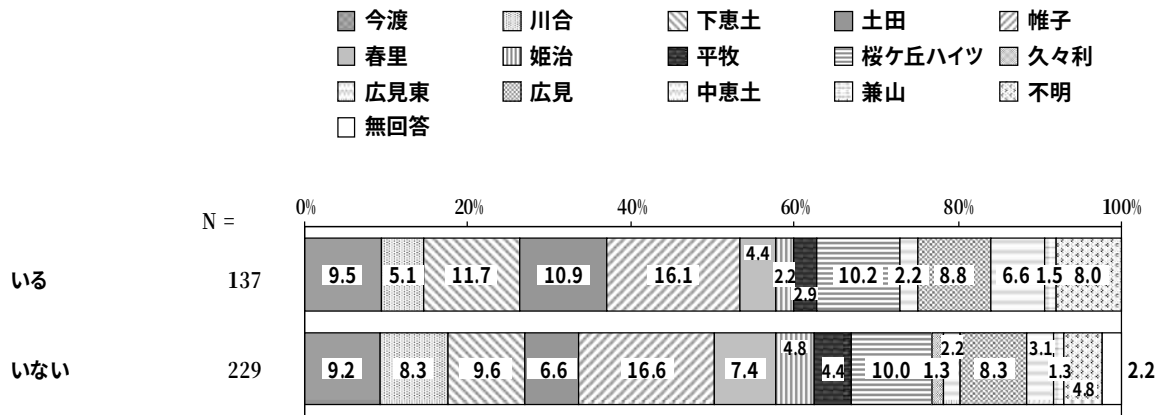
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、10歳代で「姫治」の割合が、30歳代で「帷子」の割合が高くなっています。



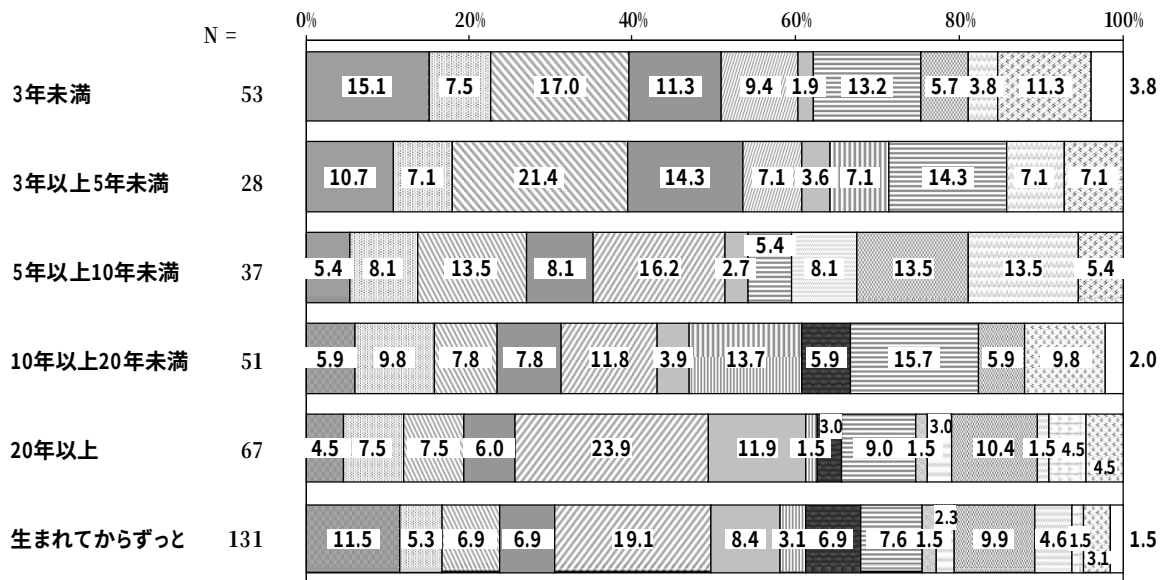
【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、大きな差異はみられません。



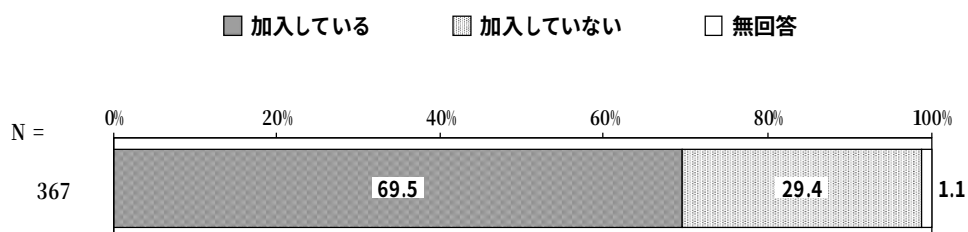
【居住年数別】

居住年数別でみると、生まれてからずっとを除き、居住年数が短くなるにつれ「今渡」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他に比べ、3年以上5年未満で「下恵土」の割合が、20年以上で「帷子」の割合が高く、2割を超えています。



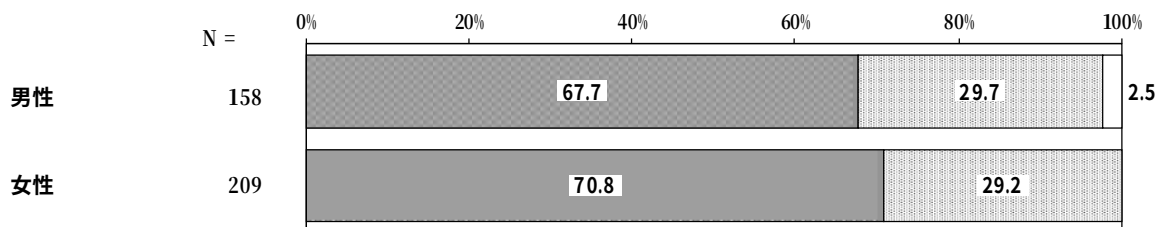
問6 あなたは、お住まいの地区の自治会に加入していますか。

「加入している」の割合が69.5%、「加入していない」の割合が29.4%となっています。



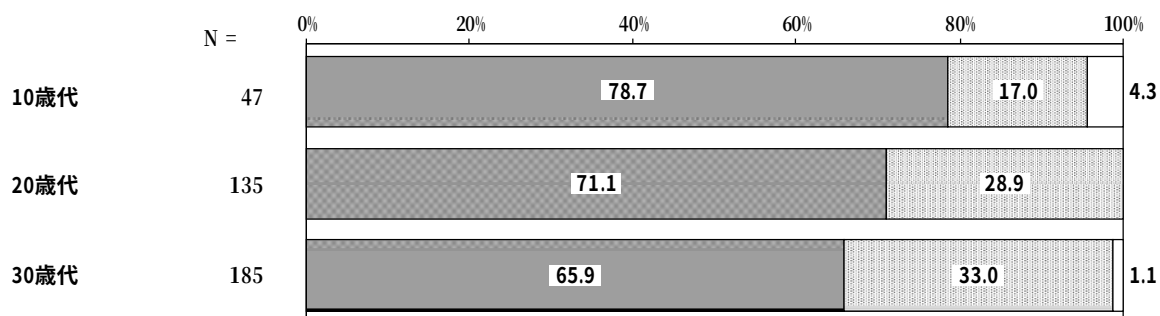
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



【年代別】

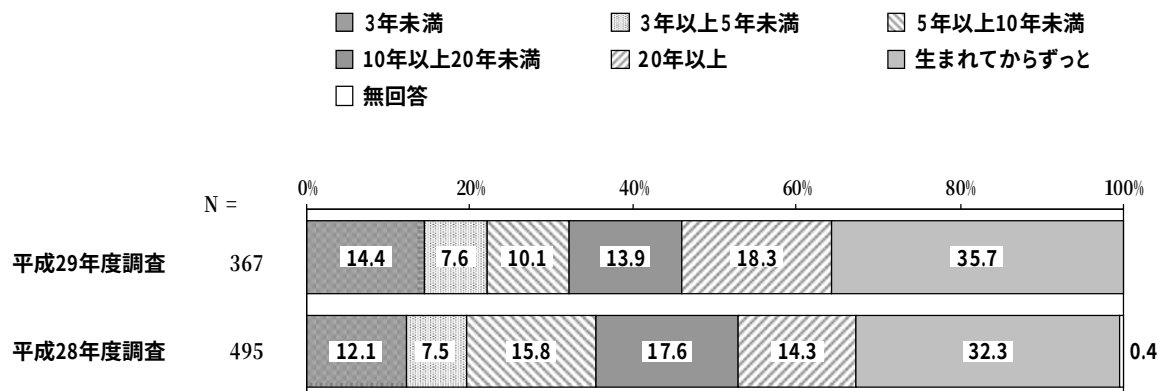
年代別でみると、年代が低くなるにつれ「加入している」の割合が高くなっています。



問7 あなたは、可児市(合併前の兼山町を含む)にお住まいになって何年ですか。

「生まれてからずっと」の割合が35.7%と最も高く、次いで「20年以上」の割合が18.3%、「3年未満」の割合が14.4%となっています。

平成28年度調査と比較すると、「5年以上10年未満」の割合が減少しています。

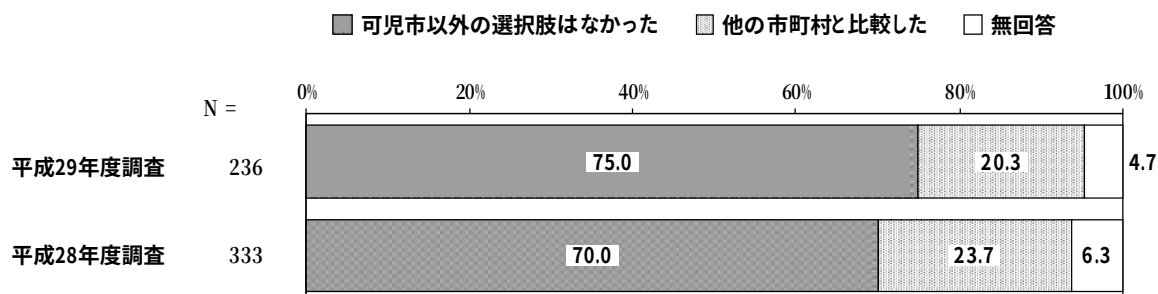


(2) 可児市への居住理由について

問8 どのように可児市を転居先には選ばれましたか。(○は1つだけ)

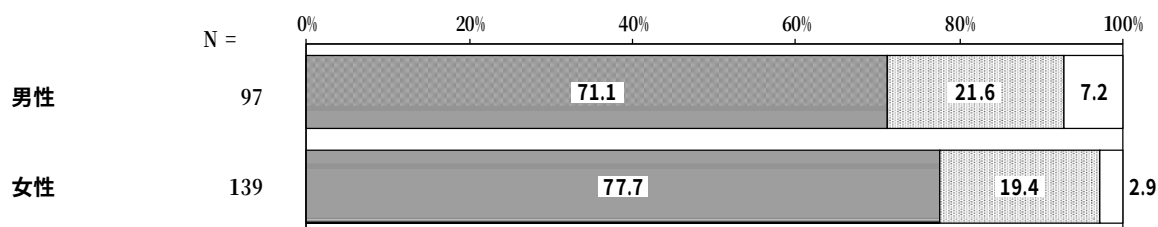
「可児市以外の選択肢はなかった」の割合が75.0%、「他の市町村と比較した」の割合が20.3%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



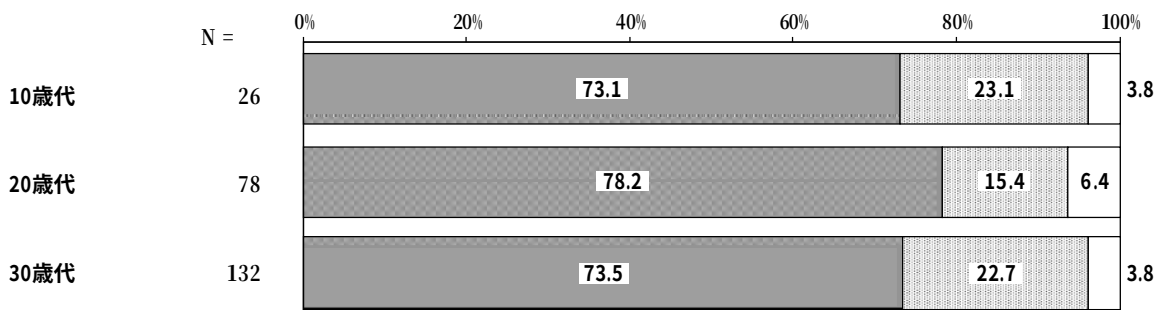
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「可児市以外の選択肢はなかった」の割合が高くなっています。



【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、20歳代で「可児市以外の選択肢はなかった」の割合が高く、約8割となっています。



<比較した市町村>

多治見市（15 件）
小牧市（4 件）
関市（2 件）
八百津町（1 件）
蒲郡市（1 件）
坂祝町（1 件）
大口町（1 件）

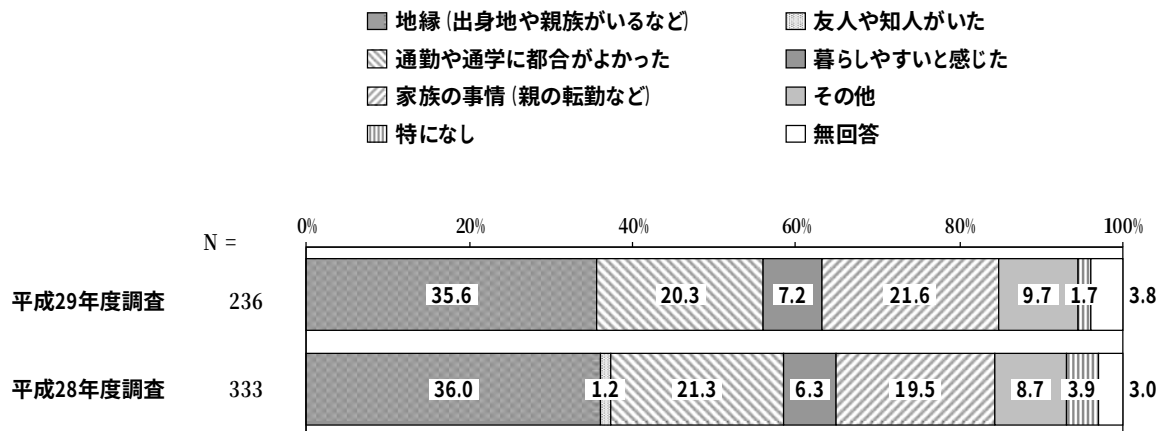
美濃加茂市（11 件）
各務原市（3 件）
土岐市（2 件）
尾張旭市（1 件）
岐阜市（1 件）
三重県（1 件）
中津川（1 件）

犬山市（7 件）
春日井市（3 件）
名古屋市（2 件）
豊田市（1 件）
御嵩町（1 件）
瑞浪市（1 件）
扶桑町（1 件）

問 9 可児市を選んだ理由は何ですか。（○は1つだけ）

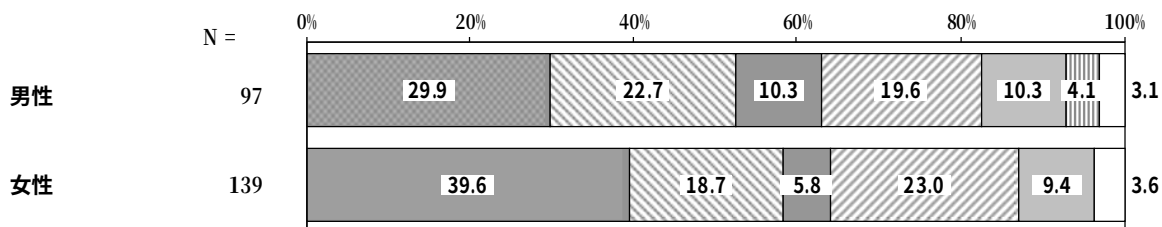
「地縁（出身地や親族がいるなど）」の割合が 35.6%と最も高く、次いで「家族の事情（親の転勤など）」の割合が 21.6%、「通勤や通学に都合がよかった」の割合が 20.3%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



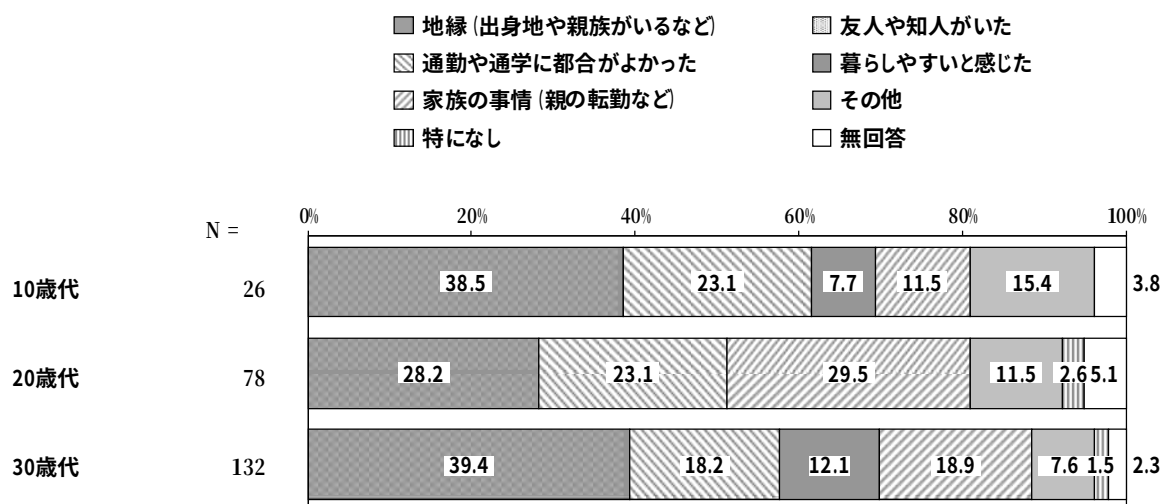
【性 別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「地縁（出身地や親族がいるなど）」の割合が高くなっています。



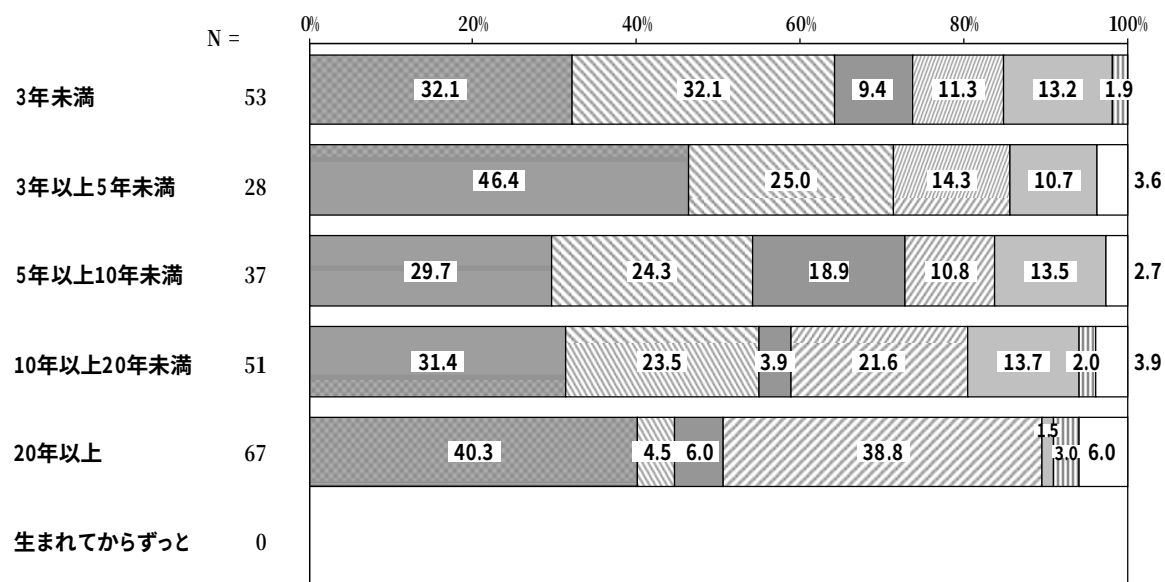
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、20歳代で「家族の事情（親の転勤など）」の割合が高く、約3割となっています。



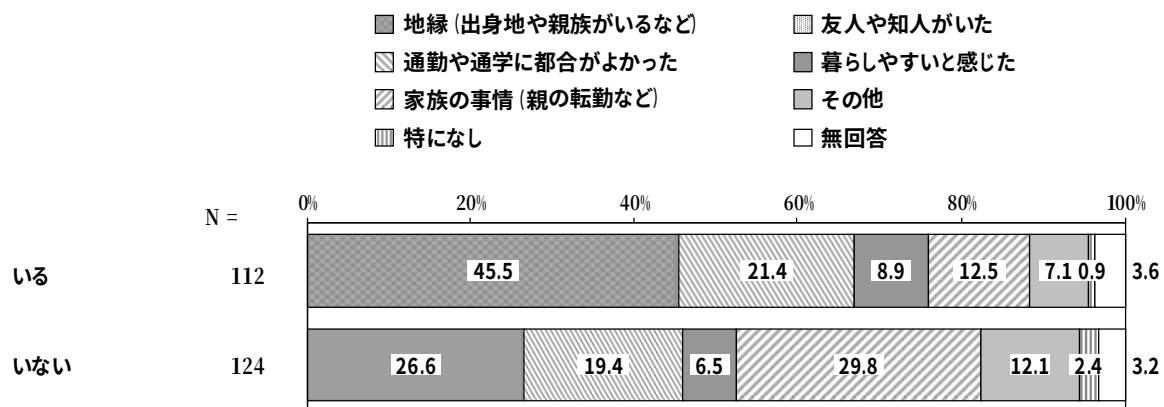
【居住年数別】

居住年数別でみると、他に比べ、3年以上5年未満で「地縁（出身地や親族がいるなど）」の割合が高く、4割台半ばとなっています。また、他に比べ、20年以上で「家族の事情（親の転勤など）」の割合が高く、3割を超えています。



【子どもの有無別】

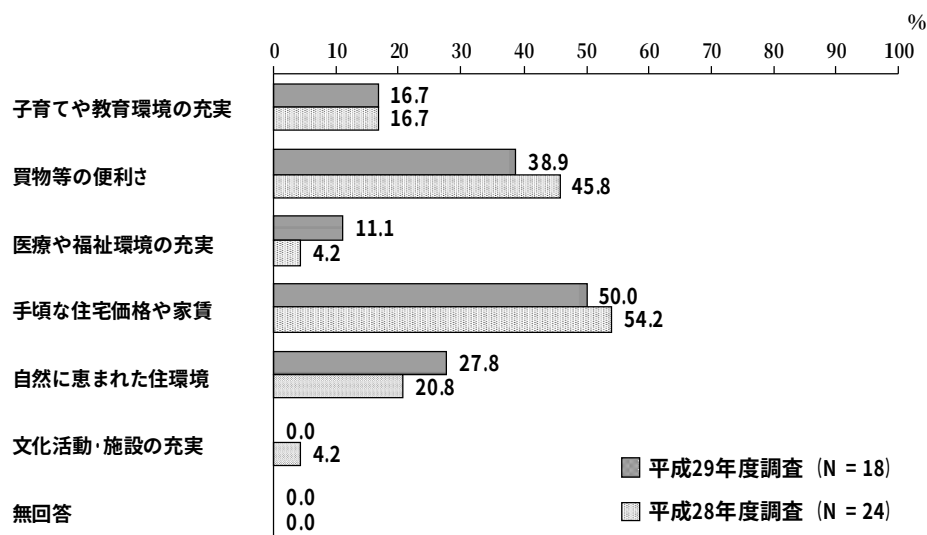
子どもの有無別でみると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で「地縁（出身地や親族がいるなど）」の割合が高く、4割台半ばとなっています。また、子どもがいる人に比べ、子どもがいない人で「家族の事情（親の転勤など）」の割合が高く、約3割となっています。



暮らしやすいと感じた理由

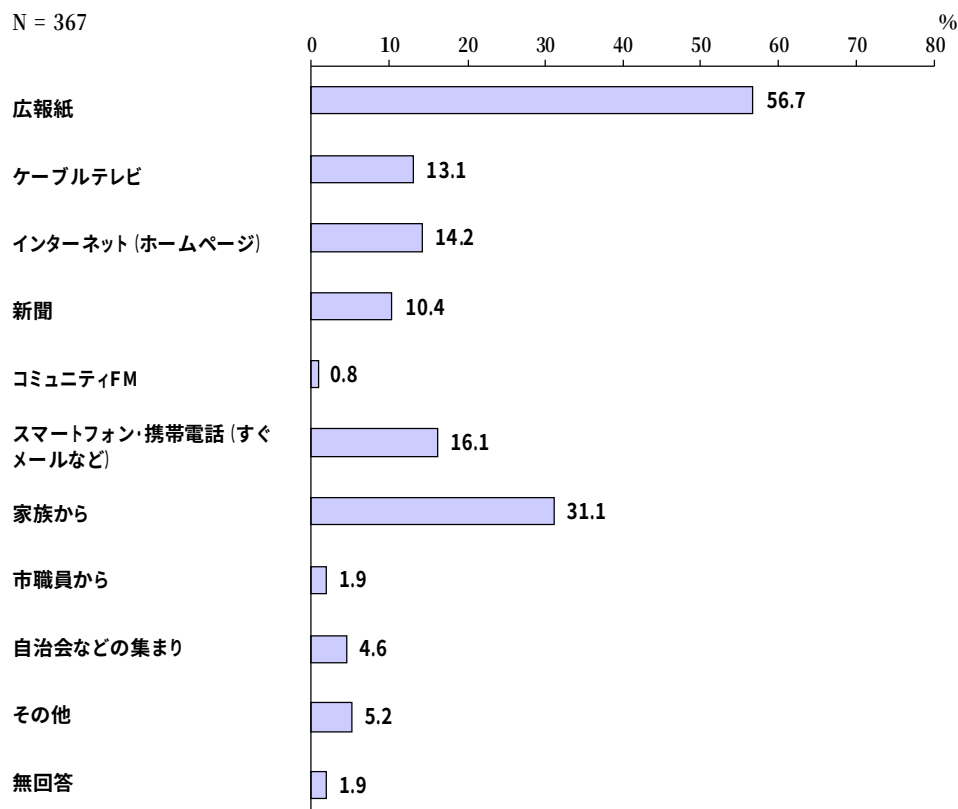
「手頃な住宅価格や家賃」の割合が 50.0%と最も高く、次いで「買物等の便利さ」の割合が 38.9%、「自然に恵まれた住環境」の割合が 27.8%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、「医療や福祉環境の充実」「自然に恵まれた住環境」の割合が増加しています。一方、「買物等の便利さ」の割合が減少しています。



問 10 あなたは日頃、市の情報をどのように収集していますか。

「広報紙」の割合が 56.7%と最も高く、次いで「家族から」の割合が 31.1%、「スマートフォン・携帯電話（すぐメールなど）」の割合が 16.1%となっています。



【性 別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「新聞」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「広報紙」「スマートフォン・携帯電話（すぐメールなど）」「家族から」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	広報紙	ケーブルテレビ	インターネット (ホームページ)	新聞	コミュニティFM	スマートフォン・携帯電話 (すぐメールなど)	家族から	市職員から	自治会などの集まり	その他	無回答
男性	158	49.4	12.0	15.2	13.3	1.3	11.4	27.8	1.3	5.1	4.4	3.2
女性	209	62.2	13.9	13.4	8.1	0.5	19.6	33.5	2.4	4.3	5.7	1.0

【年代別】

年代別でみると、年代が高くなるにつれ「広報紙」「インターネット（ホームページ）」「新聞」「スマートフォン・携帯電話（すぐメールなど）」「自治会などの集まり」の割合が高くなっています。また、年代が低くなるにつれ「家族から」の割合が高くなっています。

単位：％

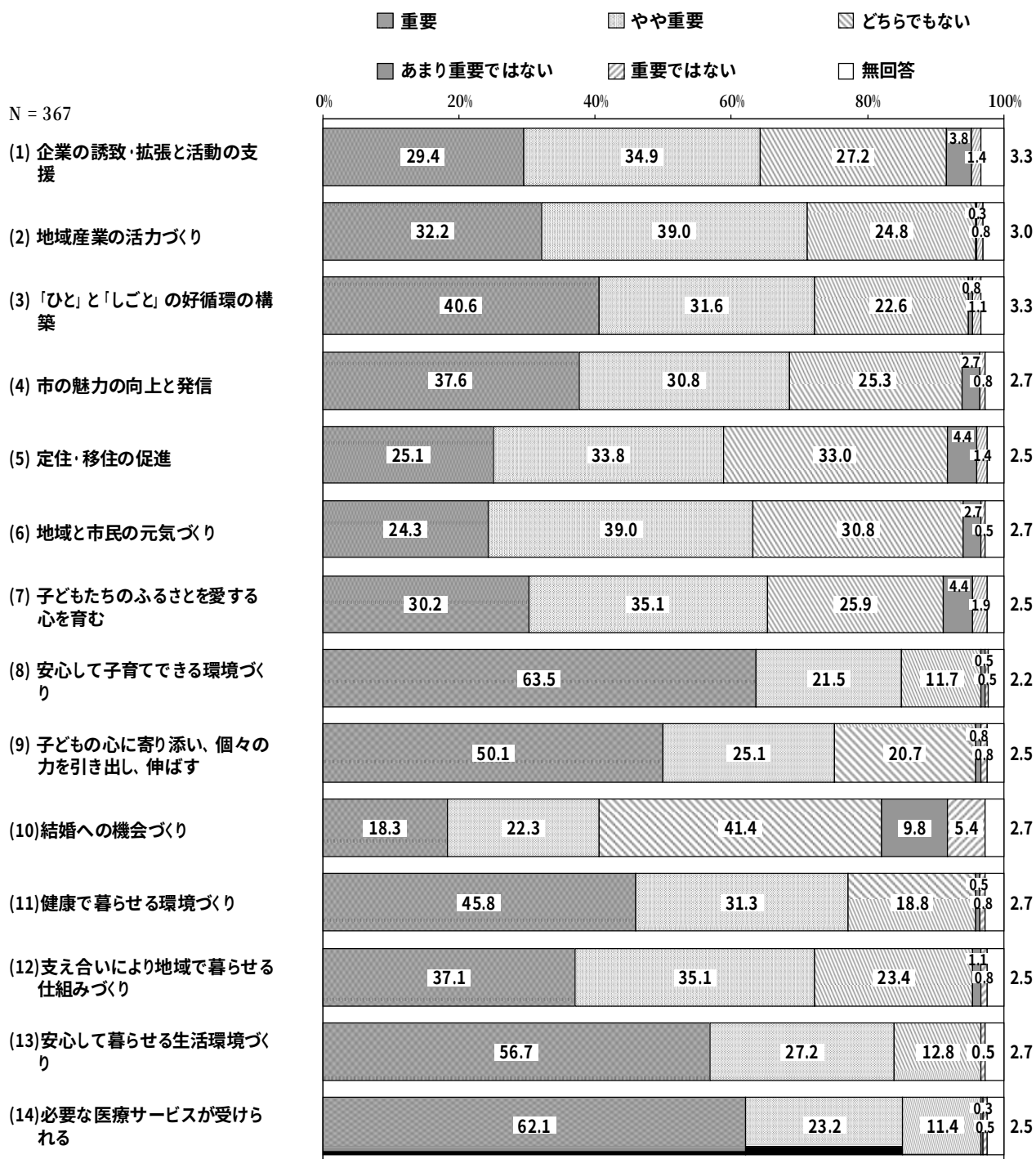
区分	有効回答数（件）	広報紙	ケーブルテレビ	インターネット（ホームページ）	新聞	コミュニティFM	スマートフォン・携帯電話（すぐメールなど）	家族から	市職員から	自治会などの集まり	その他	無回答
10 歳代	47	29.8	10.6	—	8.5	—	10.6	53.2	—	—	6.4	2.1
20 歳代	135	48.1	10.4	14.1	8.9	0.7	14.1	37.0	3.7	0.7	4.4	1.5
30 歳代	185	69.7	15.7	17.8	11.9	1.1	18.9	21.1	1.1	8.6	5.4	2.2

(3) 施策の重要度と満足度について

問 11 可児市総合戦略の各施策について、「重要度」と「満足度」をおたずねします。
5点満点で評価し、該当する数字を1つずつ○で囲んでください。

① 重要度

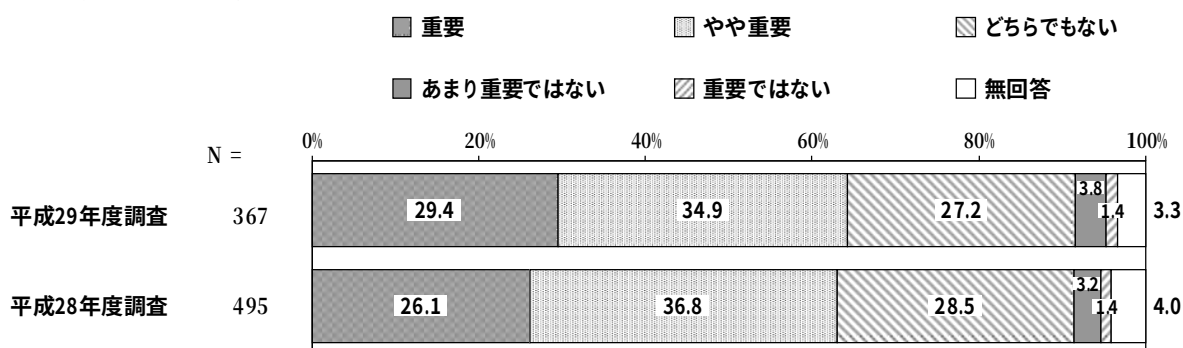
『安心して子育てできる環境づくり』『安心して暮らせる生活環境づくり』『必要な医療サービスが受けられる』で「重要」と「やや重要」をあわせた“重要”の割合が高くなっています。



（１）企業の誘致・拡張と活動の支援

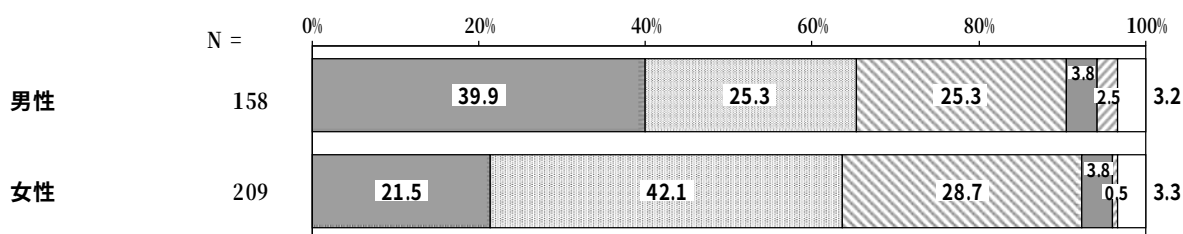
「重要ではない」と「あまり重要ではない」を合わせた“重要ではない”の割合が5.2%、「やや重要」と「重要」を合わせた“重要”の割合が64.3%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



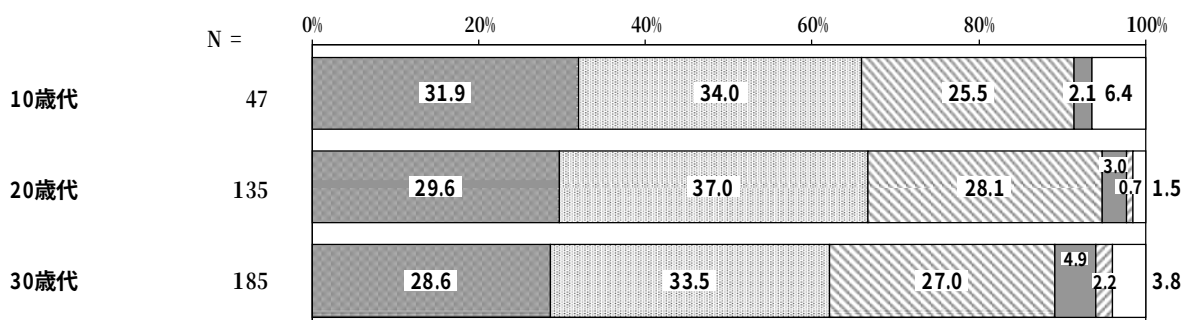
【性 別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「重要」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「やや重要」の割合が高くなっています。



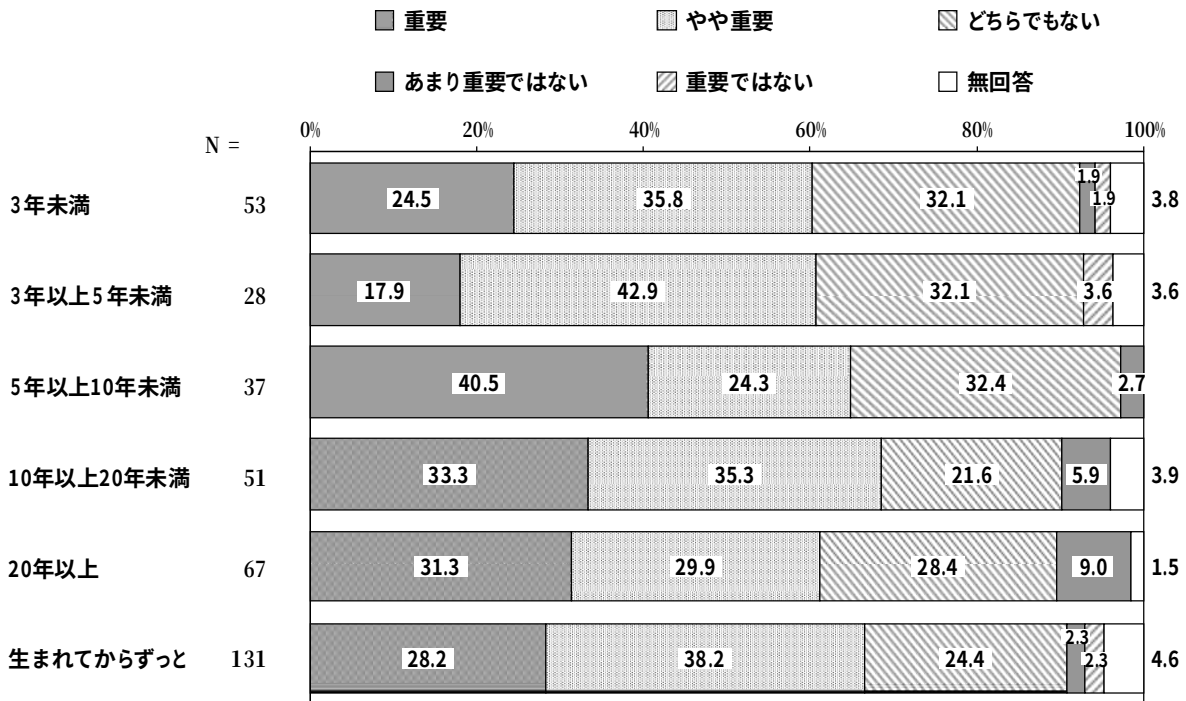
【年代別】

年代別でみると、大きな差異はみられません。



【居住年数別】

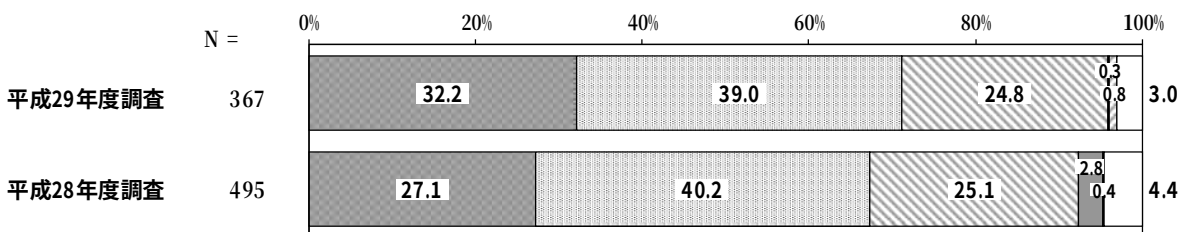
居住年数別でみると、他に比べ、10年以上20年未満で“重要”の割合が高く、約7割となっています。



(2) 地域産業の活力づくり

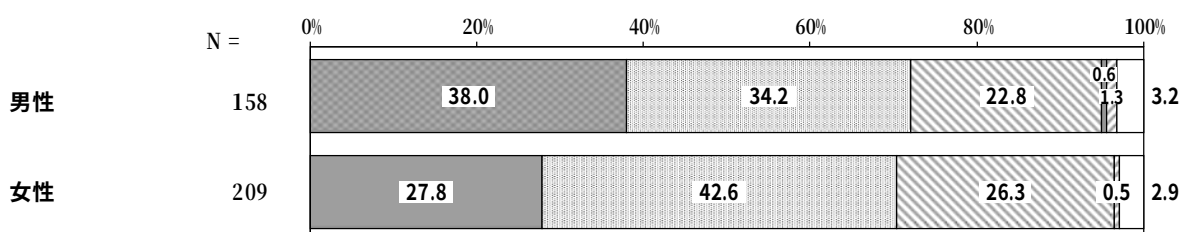
「重要ではない」と「あまり重要ではない」を合わせた“重要ではない”の割合が1.1%、「やや重要」と「重要」を合わせた“重要”の割合が71.2%となっています。

平成28年度調査と比較すると、「重要」の割合が増加しています。



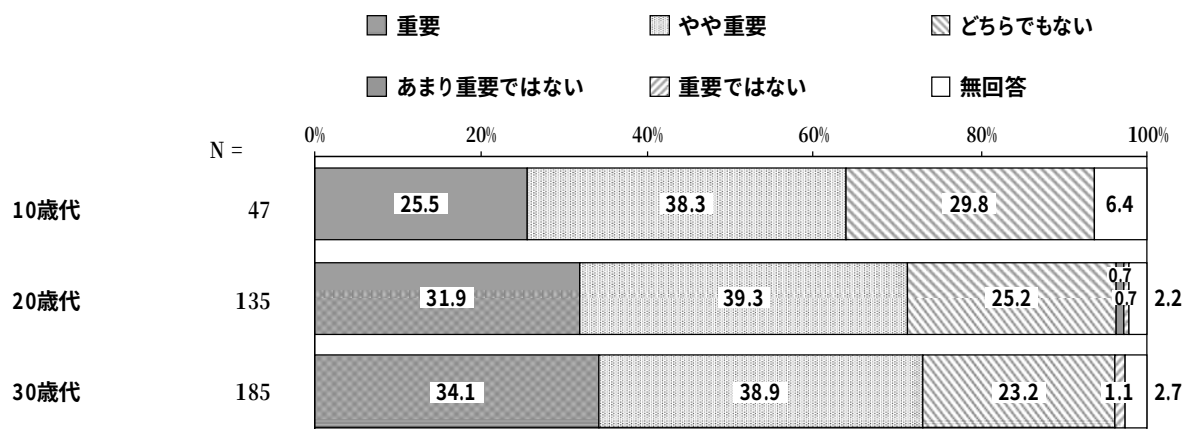
【性 別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「重要」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「やや重要」の割合が高くなっています。



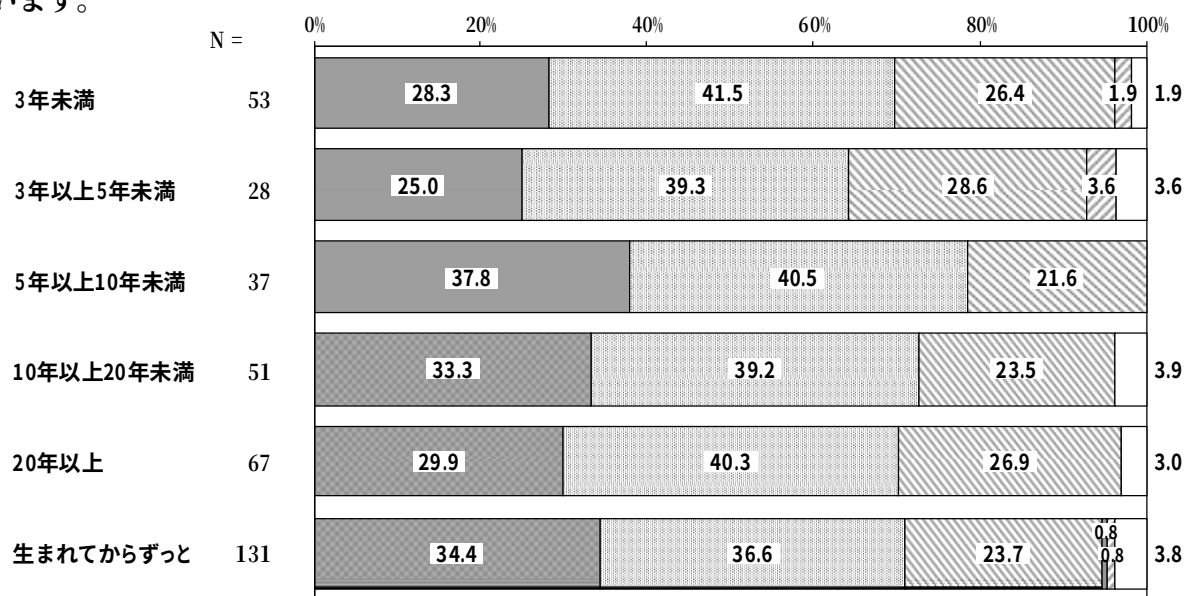
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、20 歳代、30 歳代で“重要”の割合が高く、7 割を超えています。



【居住年数別】

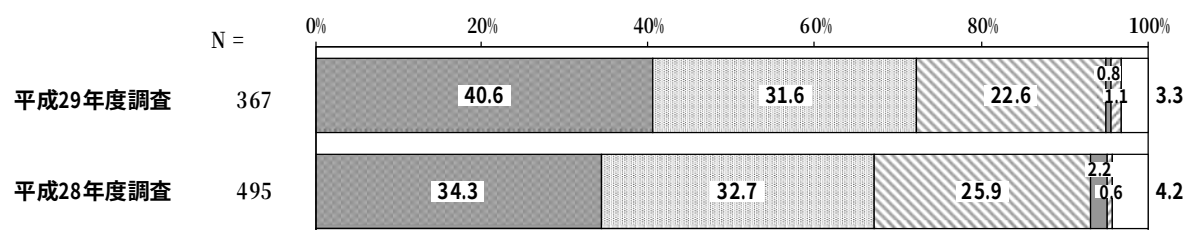
居住年数別でみると、他に比べ、5 年以上 10 年未満で“重要”の割合が高く、約 8 割となっています。



(3) 「ひと」と「しごと」の好循環の構築

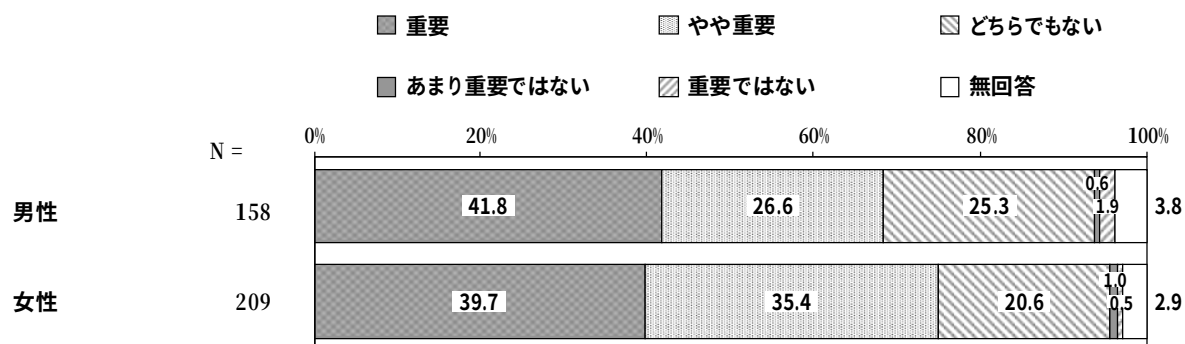
「重要ではない」と「あまり重要ではない」を合わせた“重要ではない”の割合が 1.9%、「やや重要」と「重要」を合わせた“重要”の割合が 72.2%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、「重要」の割合が増加しています。



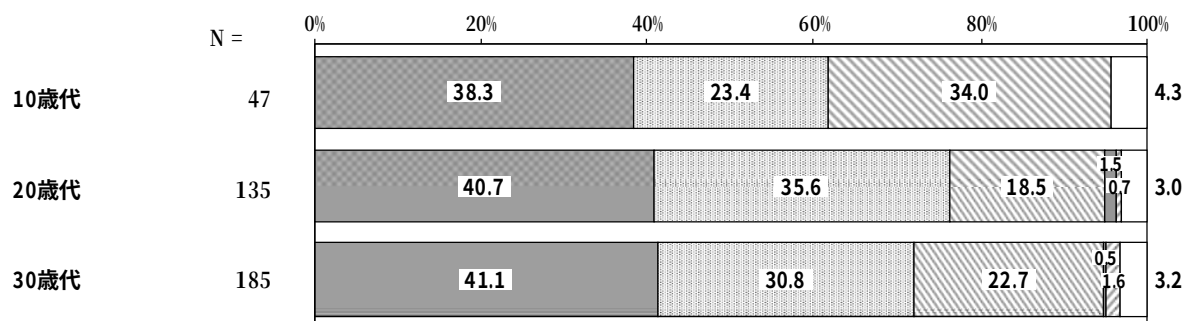
【性 別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「やや重要」の割合が高くなっています。



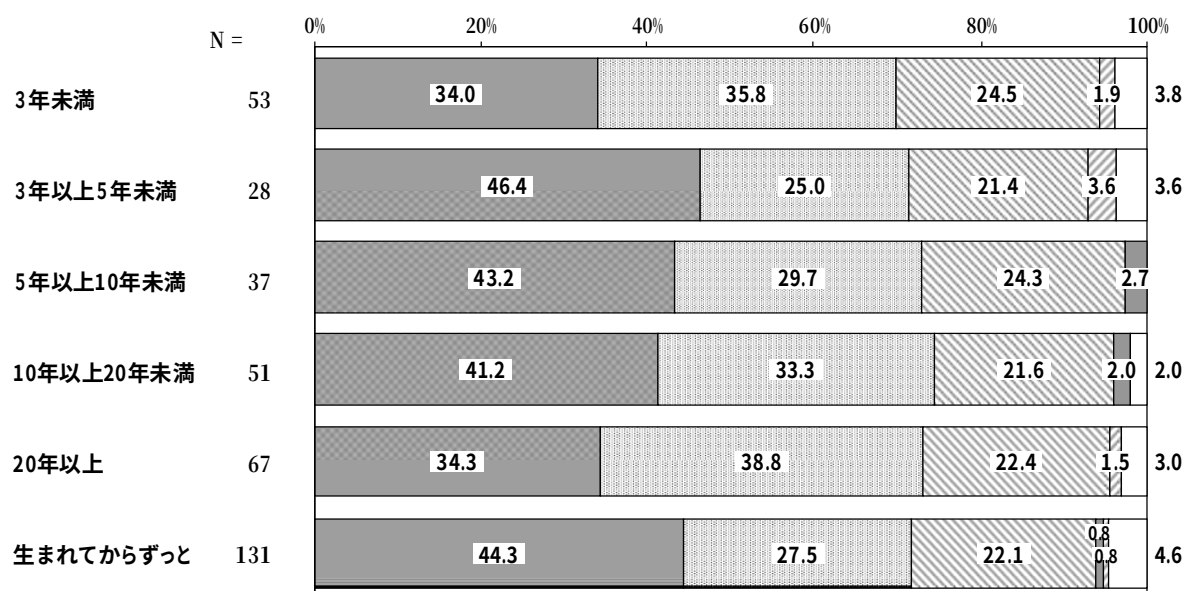
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、20歳代で“重要”の割合が高く、7割台半ばとなっています。



【居住年数別】

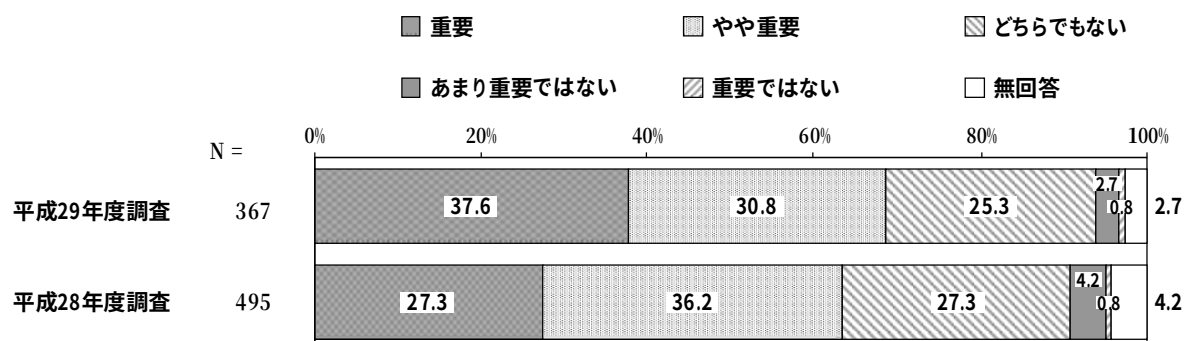
居住年数別でみると、他に比べ、3年未満、10年以上20年未満、20年以上で「やや重要」の割合が高くなっており、3割台半ばとなっています。



（４）市の魅力の向上と発信

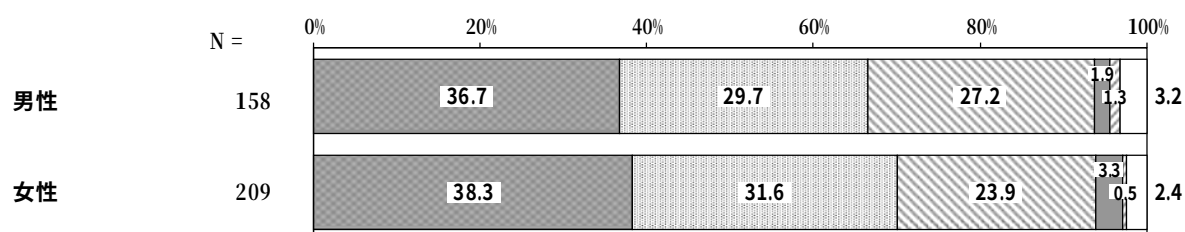
「重要ではない」と「あまり重要ではない」を合わせた“重要ではない”の割合が3.5%、「やや重要」と「重要」を合わせた“重要”の割合が68.4%となっています。

平成28年度調査と比較すると、「重要」の割合が増加しています。一方、「やや重要」の割合が減少しています。



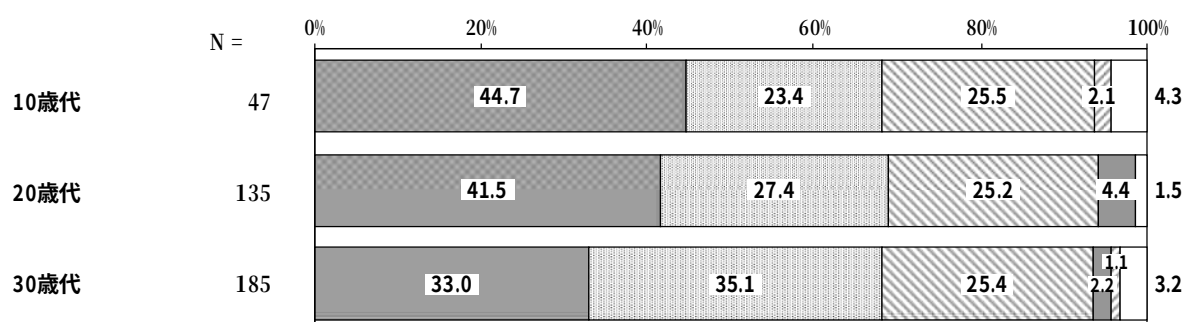
【性 別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



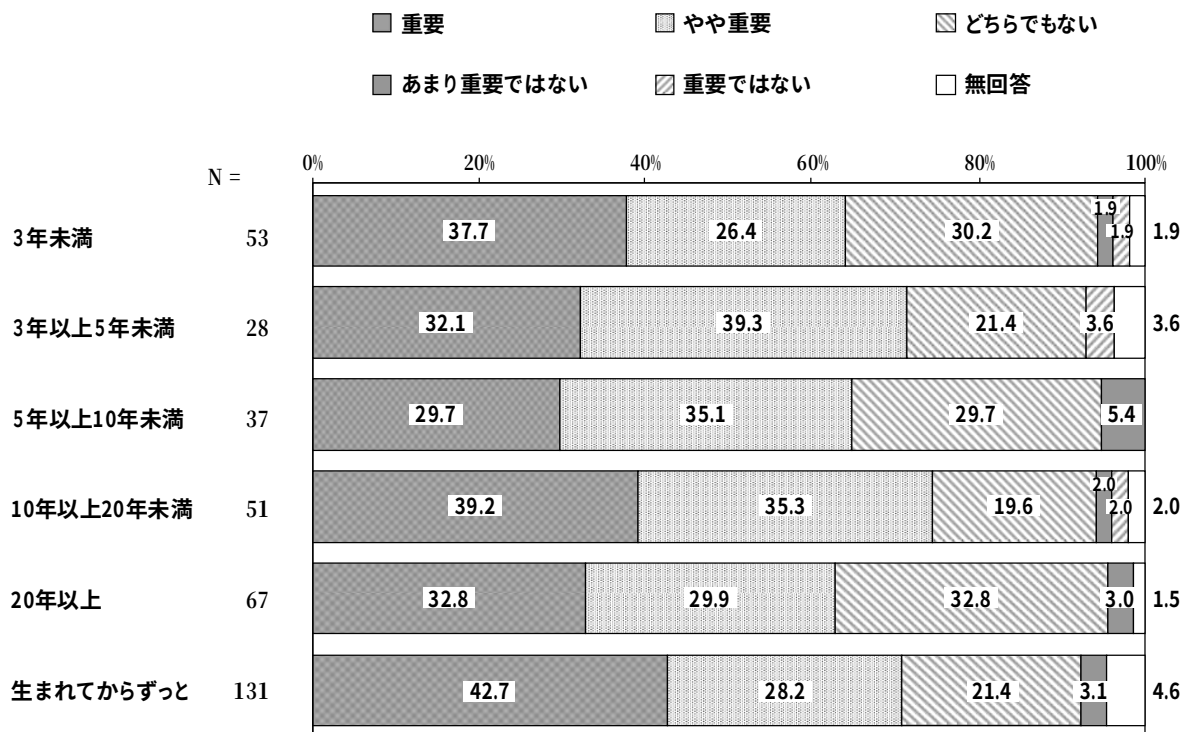
【年代別】

年代別でみると、年代が高くなるにつれ「やや重要」の割合が高くなっています。



【居住年数別】

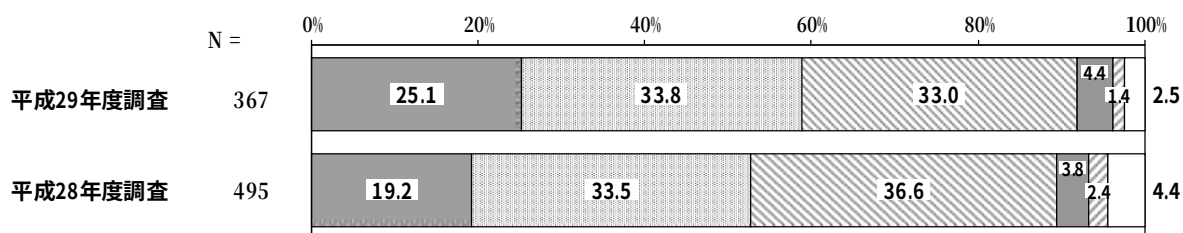
居住年数別でみると、他に比べ、3年以上5年未満、10年以上20年未満、生まれてからずっとで“重要”の割合が高く、7割を超えています。



(5) 定住・移住の促進

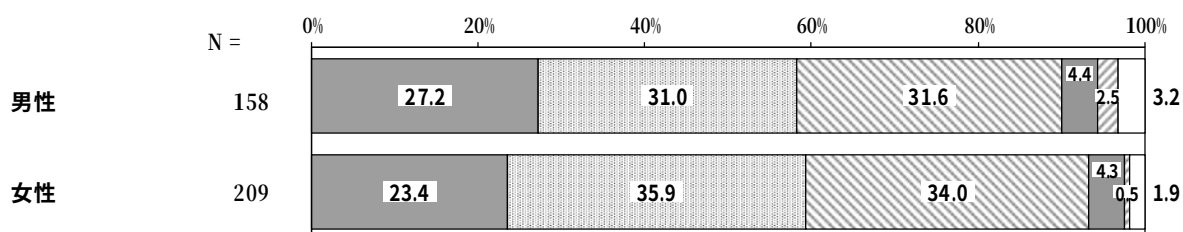
「重要ではない」と「あまり重要ではない」を合わせた“重要ではない”の割合が5.8%、「やや重要」と「重要」を合わせた“重要”の割合が58.9%となっています。

平成28年度調査と比較すると、「重要」の割合が増加しています。



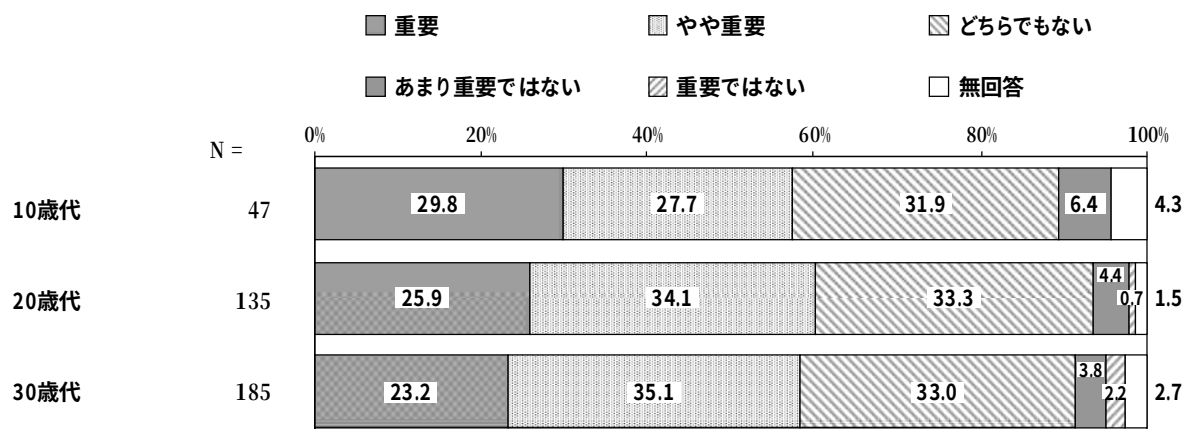
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



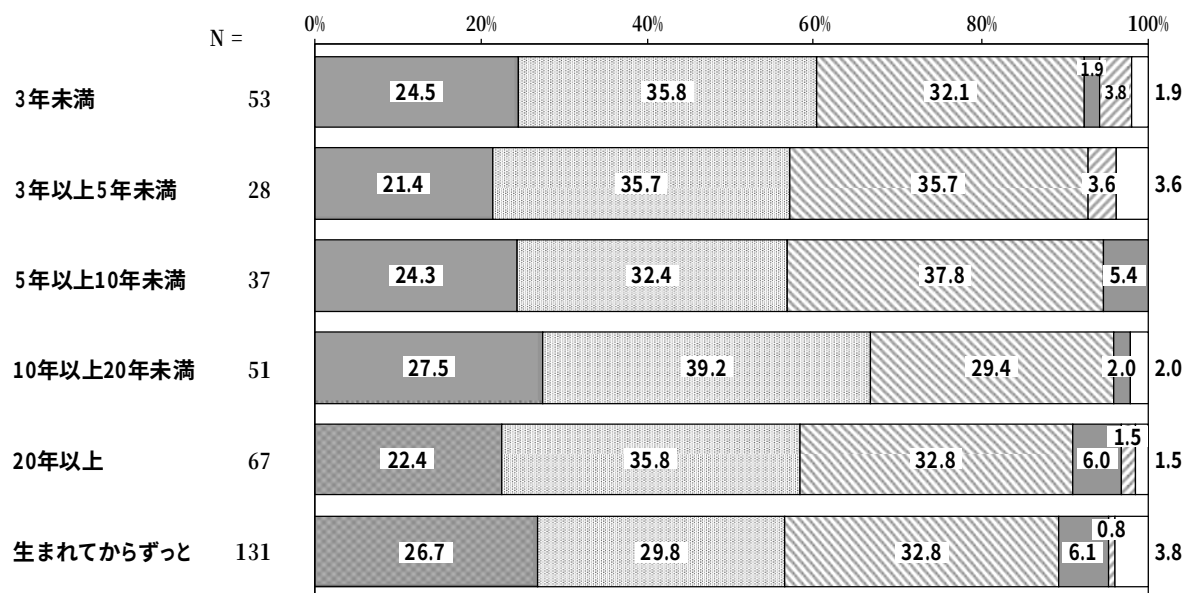
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、20 歳代、30 歳代で「やや重要」の割合が高く、3 割台半ばとなっています。



【居住年数別】

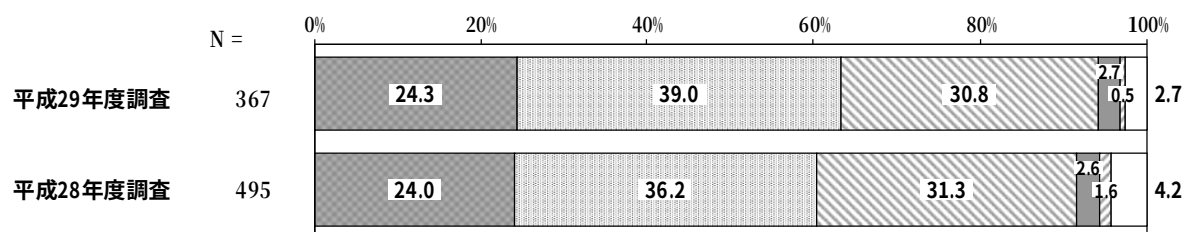
居住年数別でみると、他に比べ、3 年未満、10 年以上 20 年未満で“重要”の割合が高く、6 割を超えています。



(6) 地域と市民の元気づくり

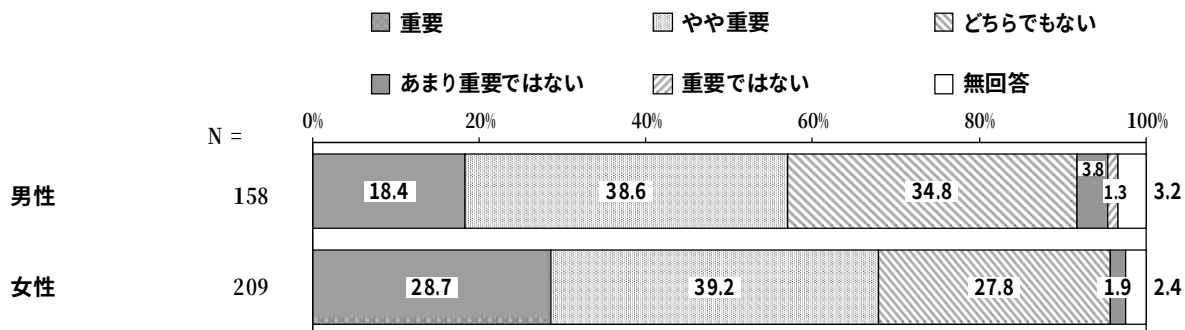
「重要ではない」と「あまり重要ではない」を合わせた“重要ではない”の割合が 3.2%、「やや重要」と「重要」を合わせた“重要”の割合が 63.3%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



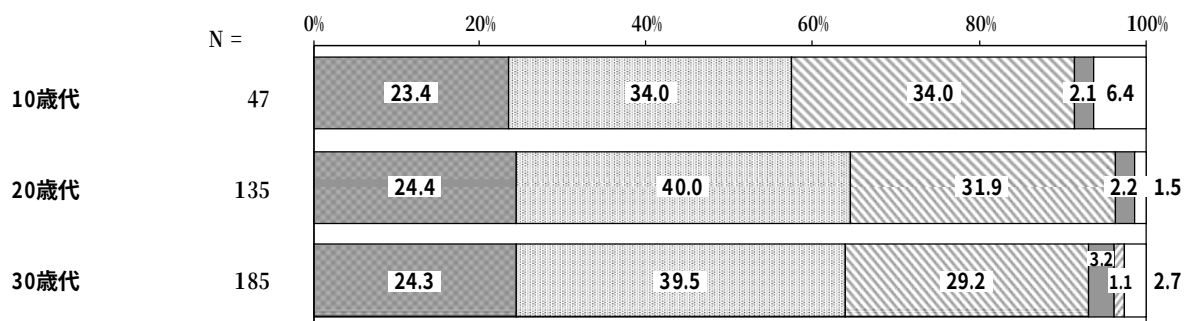
【性 別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「どちらでもない」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「重要」の割合が高くなっています。



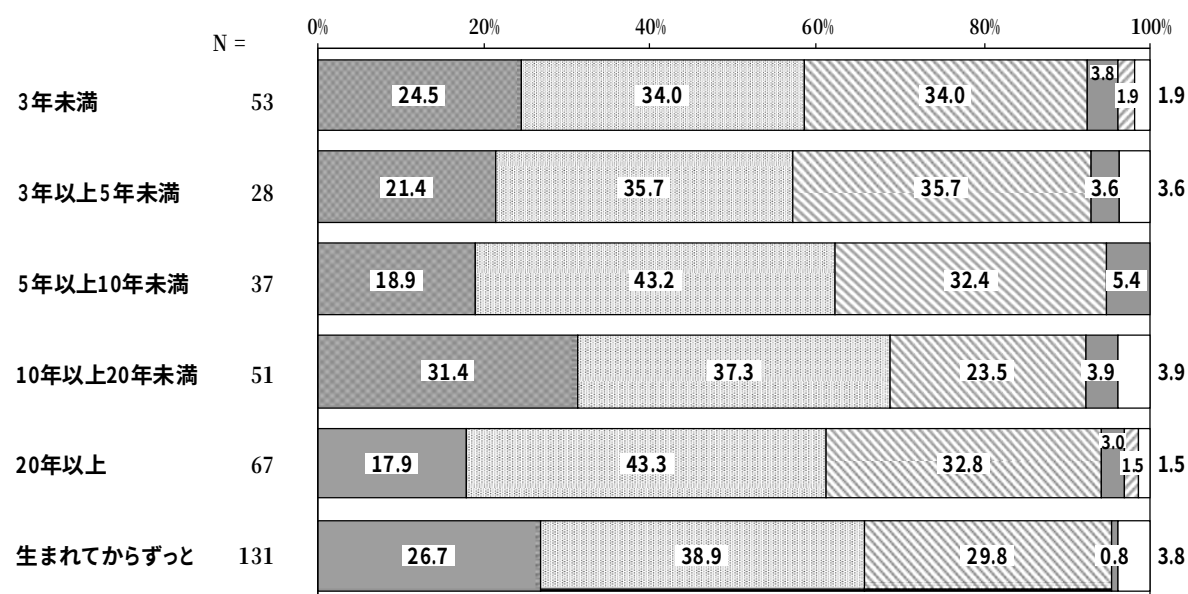
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、20 歳代、30 歳代で“重要”の割合が高く、6 割台半ばとなっています。



【居住年数別】

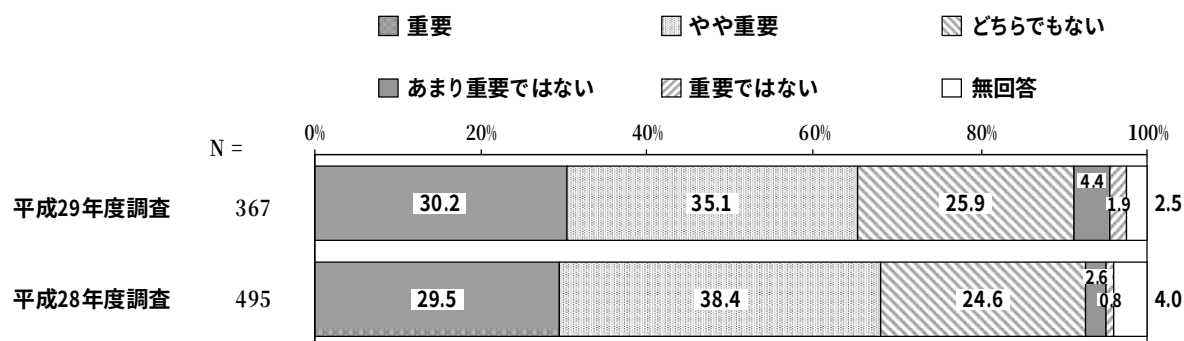
居住年数別でみると、他に比べ、10 年以上 20 年未満で“重要”の割合が高く、約 7 割となっています。



（７）子どもたちのふるさとを愛する心を育む

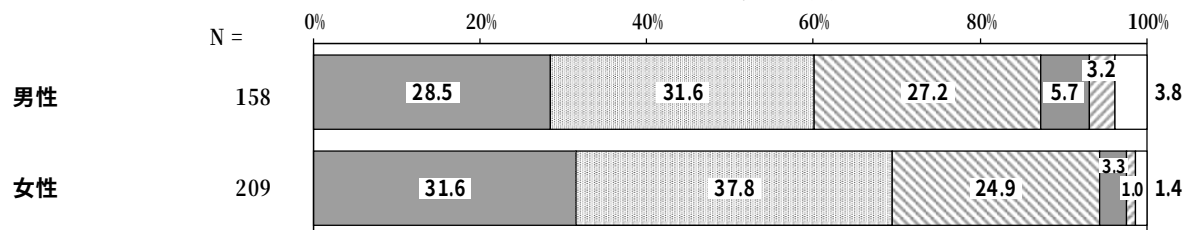
「重要ではない」と「あまり重要ではない」を合わせた“重要ではない”の割合が6.3%、「やや重要」と「重要」を合わせた“重要”の割合が65.3%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



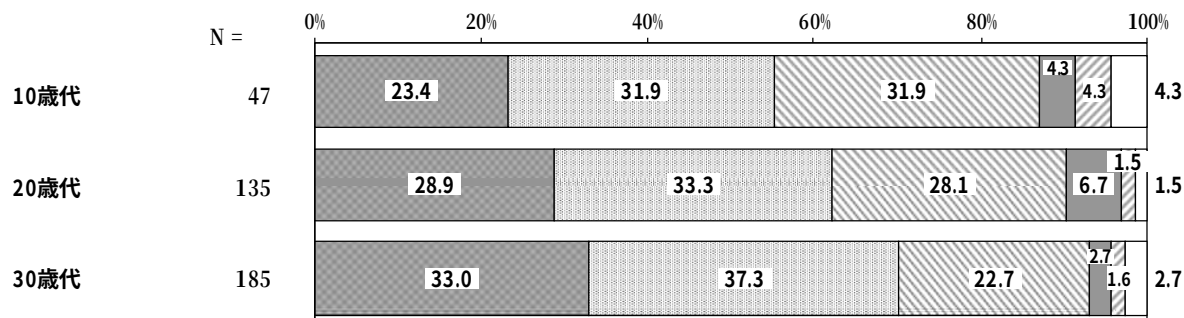
【性 別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「やや重要」の割合が高くなっています。



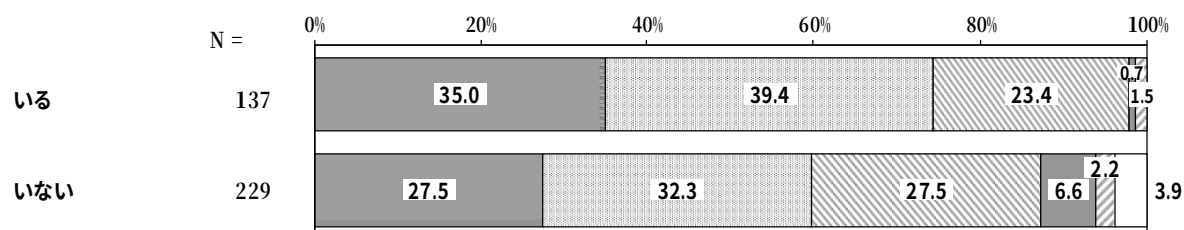
【年代別】

年代別でみると、年代が高くなるにつれ“重要”の割合が高くなっています。



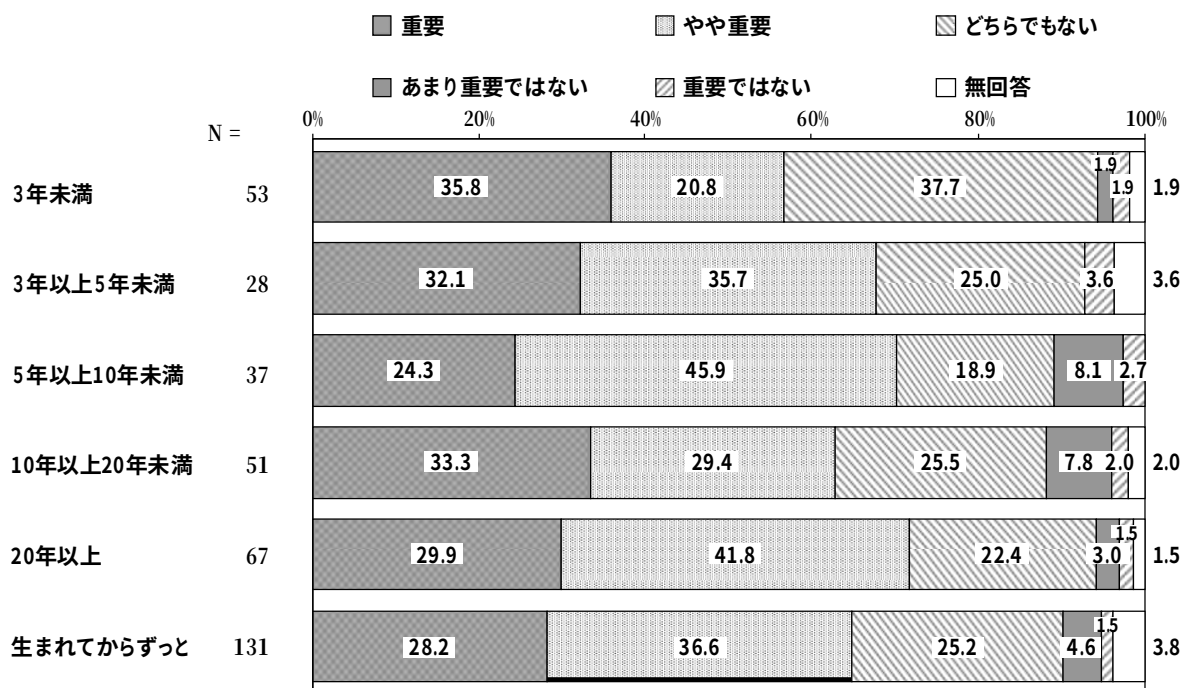
【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で“重要”の割合が高く、7割台半ばとなっています。



【居住年数別】

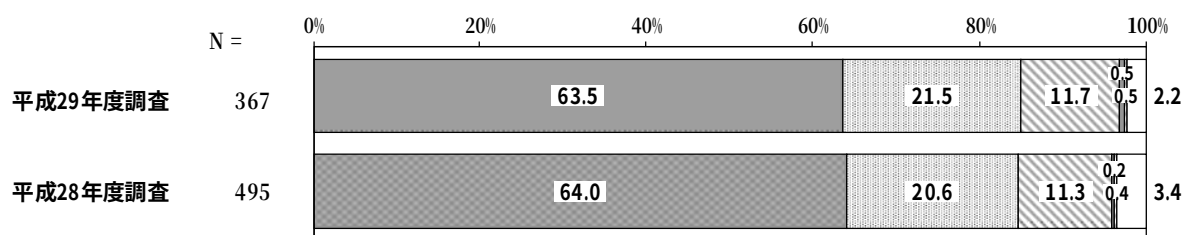
居住年数別でみると、他に比べ、20年以上で“重要”の割合が高く、7割を超えています。



(8) 安心して子育てできる環境づくり

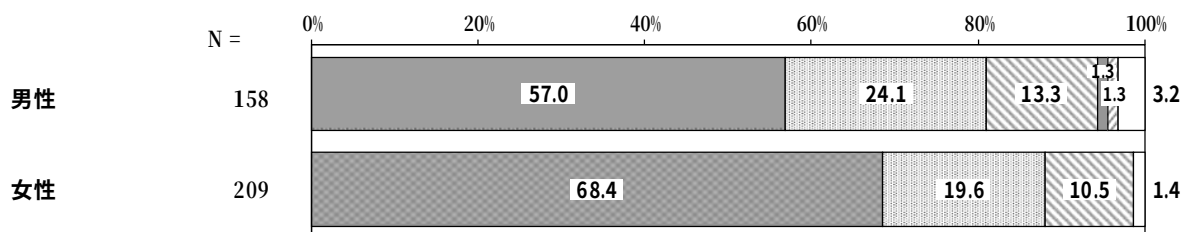
「重要ではない」と「あまり重要ではない」を合わせた“重要ではない”の割合が1.0%、「やや重要」と「重要」を合わせた“重要”の割合が85.0%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



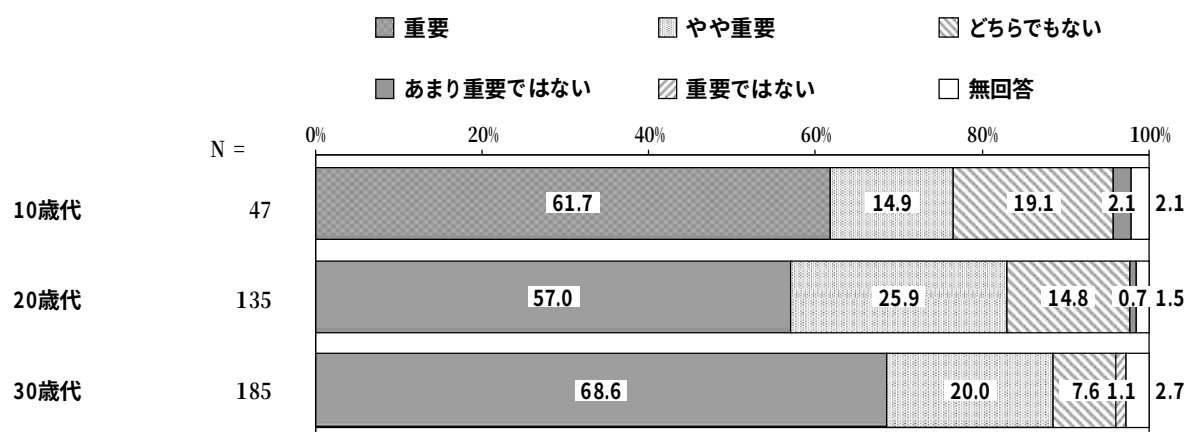
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「重要」の割合が高くなっています。



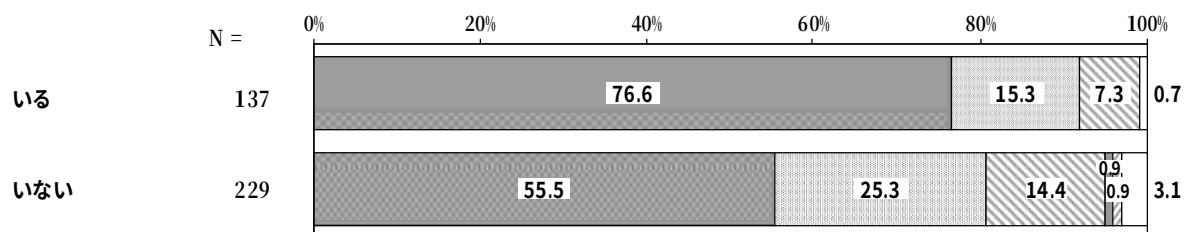
【年代別】

年代別でみると、年代が高くなるにつれ“重要”の割合が高くなっています。



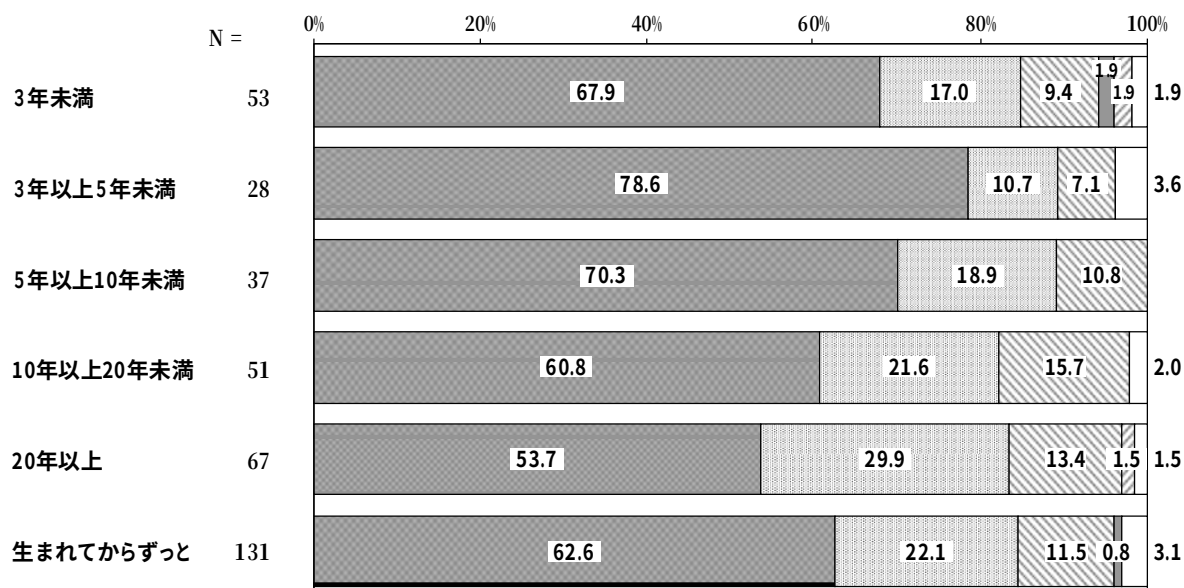
【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で“重要”の割合が高く、9割を超えています。



【居住年数別】

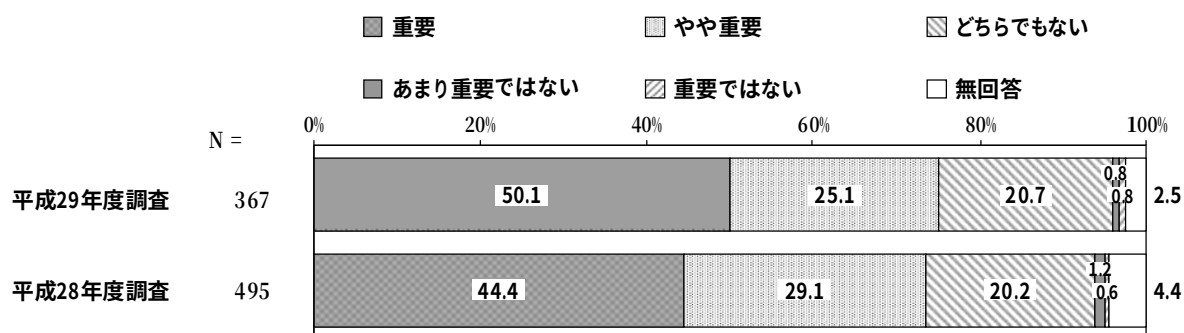
居住年数別でみると、他に比べ3年以上5年未満、5年以上10年未満で“重要”の割合が高く、約9割となっています。



（９）子どもの心に寄り添い、個々の力を引き出し、伸ばす

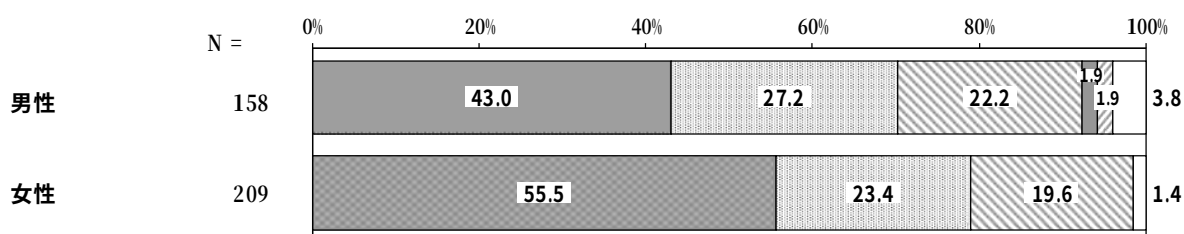
「重要ではない」と「あまり重要ではない」を合わせた“重要ではない”の割合が1.6%、「やや重要」と「重要」を合わせた“重要”の割合が75.2%となっています。

平成28年度調査と比較すると、「重要」の割合が増加しています。



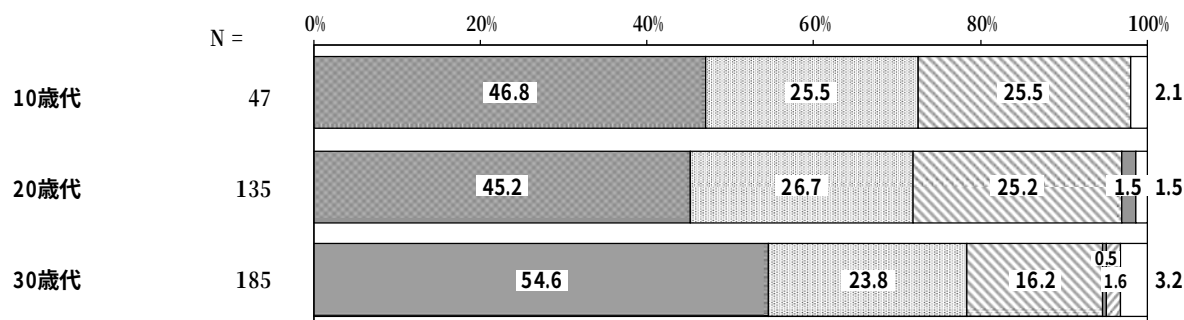
【性 別】

性別でみると、男性に比べ、女性で“重要”の割合が高く、約8割となっています。



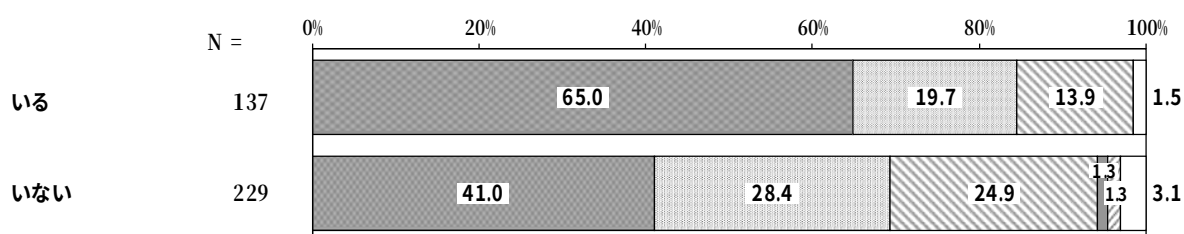
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、30歳代で“重要”の割合が高く、約8割となっています。



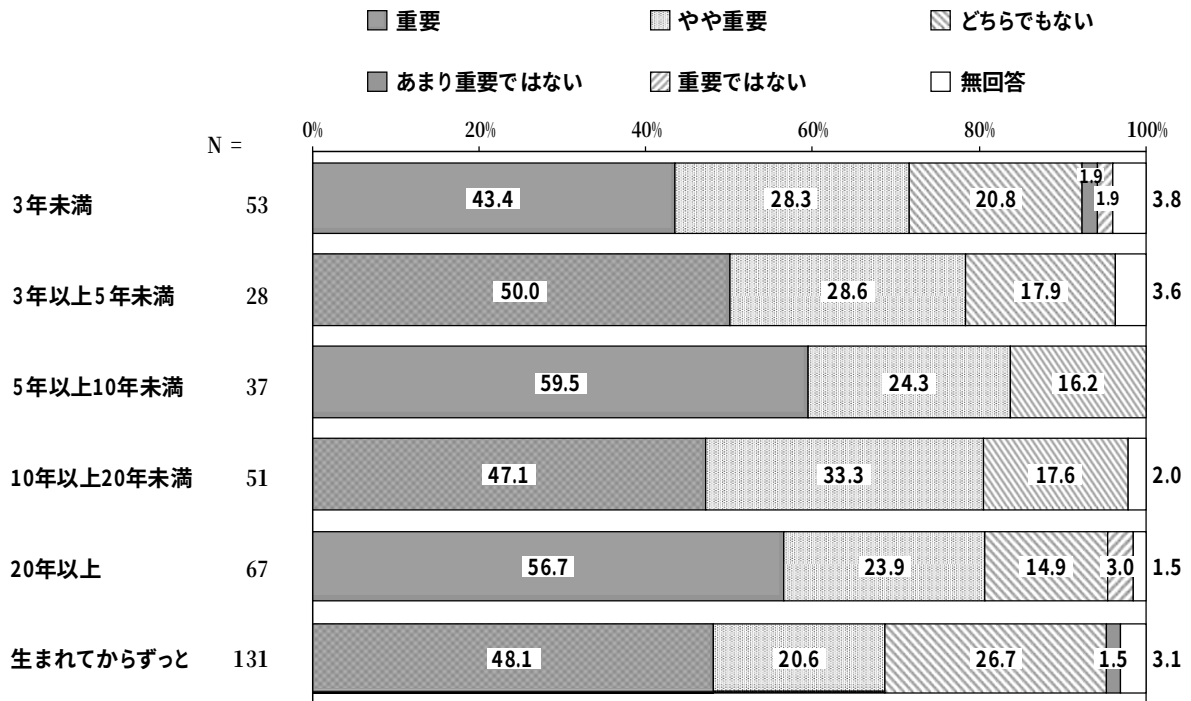
【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で“重要”の割合が高く、8割台半ばとなっています。



【居住年数別】

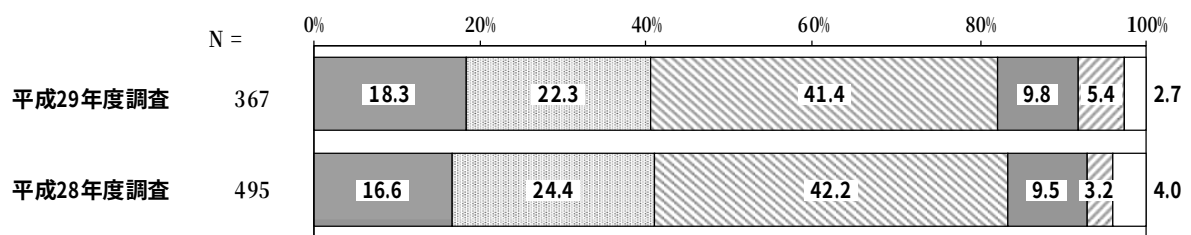
居住年数別でみると、他に比べ、5年以上10年未満、10年以上20年未満、20年以上で“重要”の割合が高く、8割を超えています。



（10）結婚への機会づくり

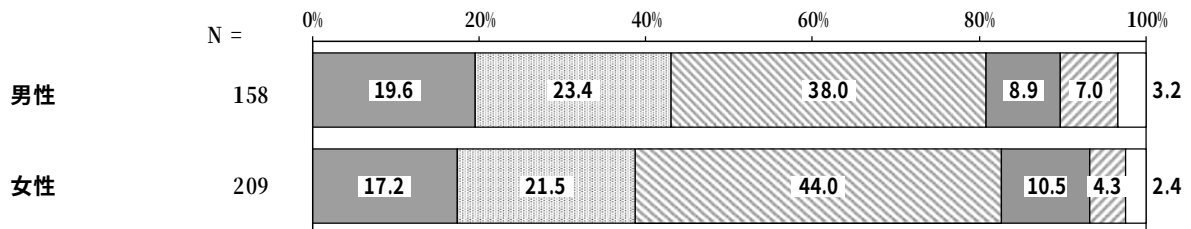
「重要ではない」と「あまり重要ではない」を合わせた“重要ではない”の割合が15.2%、「やや重要」と「重要」を合わせた“重要”の割合が40.6%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



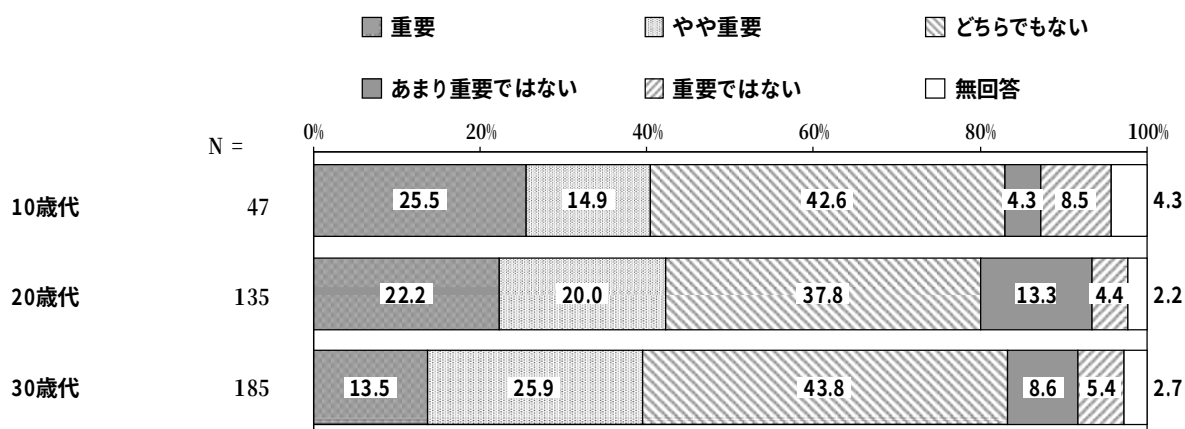
【性 別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「どちらでもない」の割合が高くなっています。



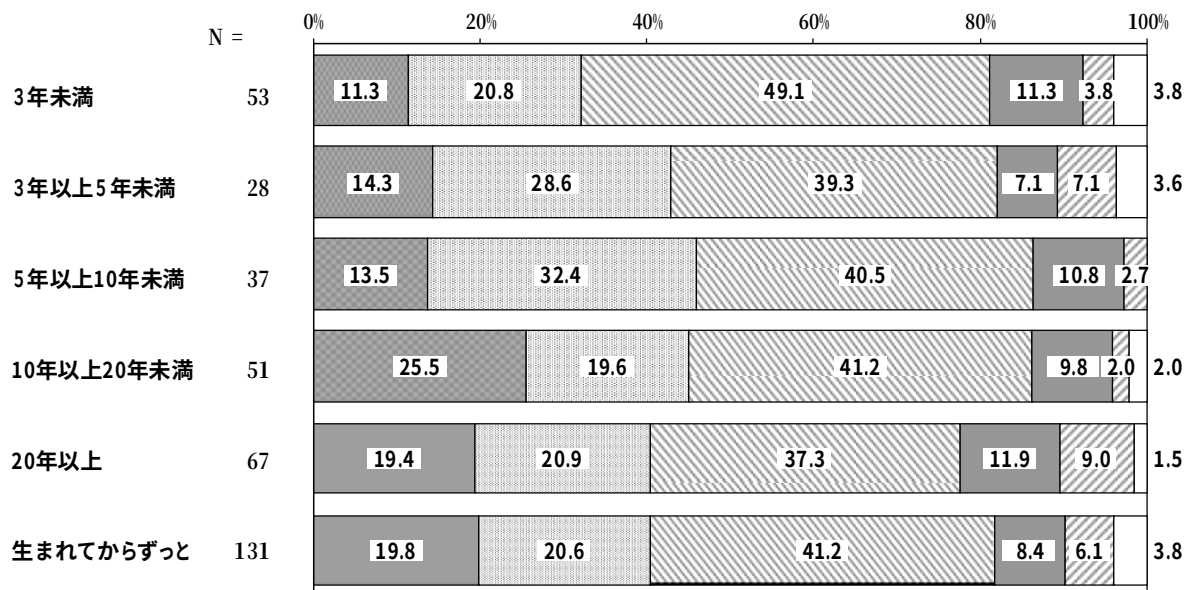
【年代別】

年代別でみると、年代が高くなるにつれ「やや重要」の割合が高くなっています。



【居住年数別】

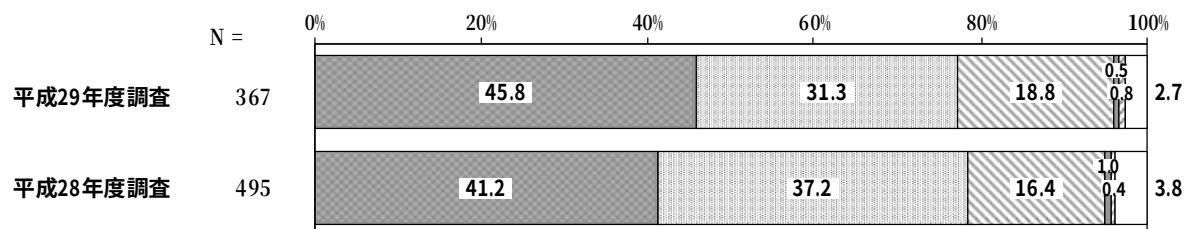
居住年数別でみると、他に比べ、3年未満で“重要”の割合が低く、約3割となっています。



(11) 健康で暮らせる環境づくり

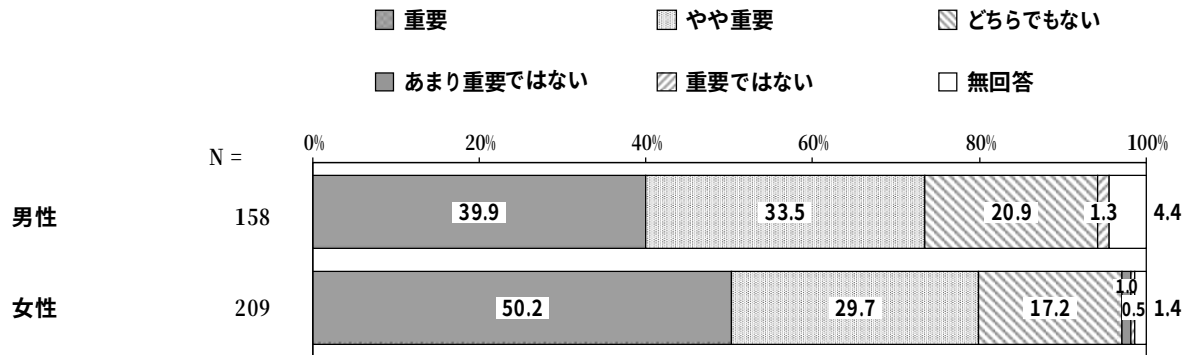
「重要ではない」と「あまり重要ではない」を合わせた“重要ではない”の割合が1.3%、「やや重要」と「重要」を合わせた“重要”の割合が77.1%となっています。

平成28年度調査と比較すると、「やや重要」の割合が減少しています。



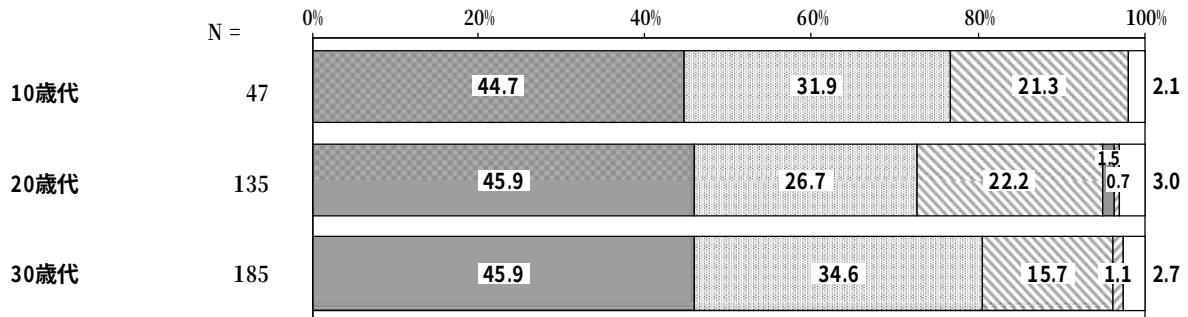
【性 別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「重要」の割合が高くなっています。



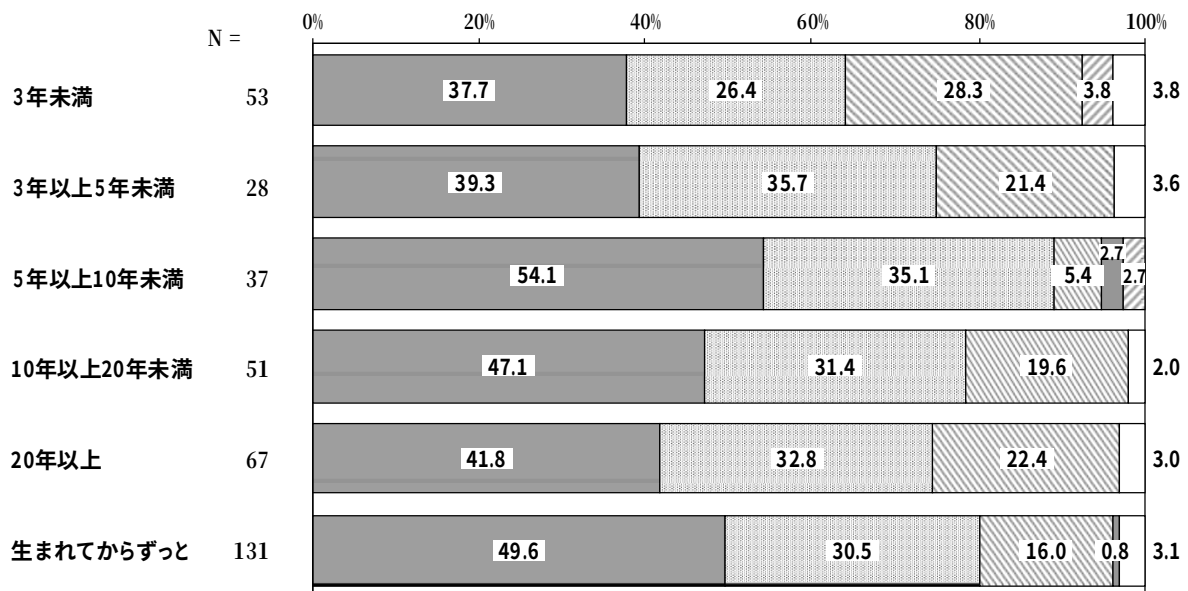
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、30歳代で“重要”の割合が高くなっており、約8割となっています。



【居住年数別】

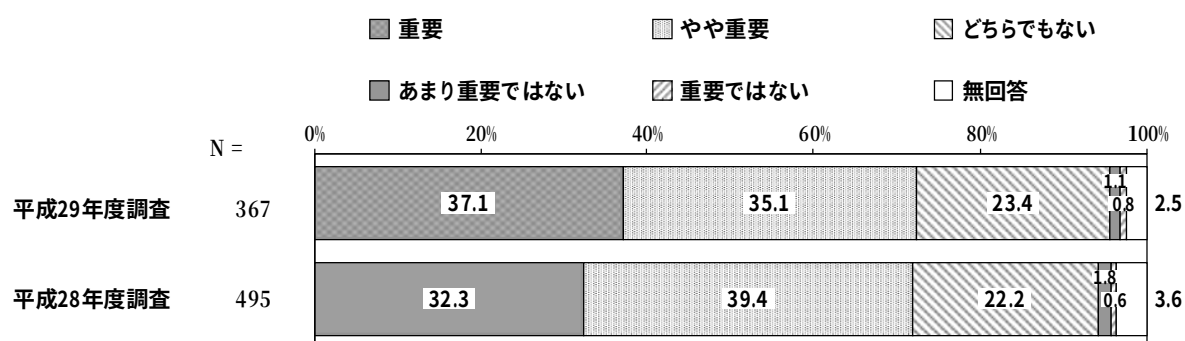
居住年数別でみると、他に比べ、5年以上10年未満で“重要”の割合が高く、約9割となっています。



（１２）支え合いにより地域で暮らせる仕組みづくり

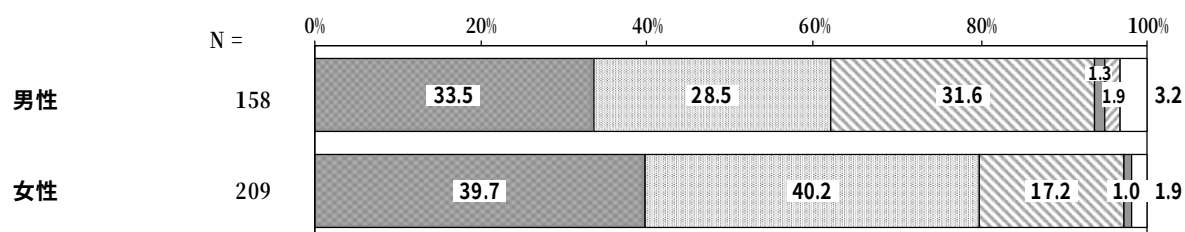
「重要ではない」と「あまり重要ではない」を合わせた“重要ではない”の割合が1.9%、「やや重要」と「重要」を合わせた“重要”の割合が72.2%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



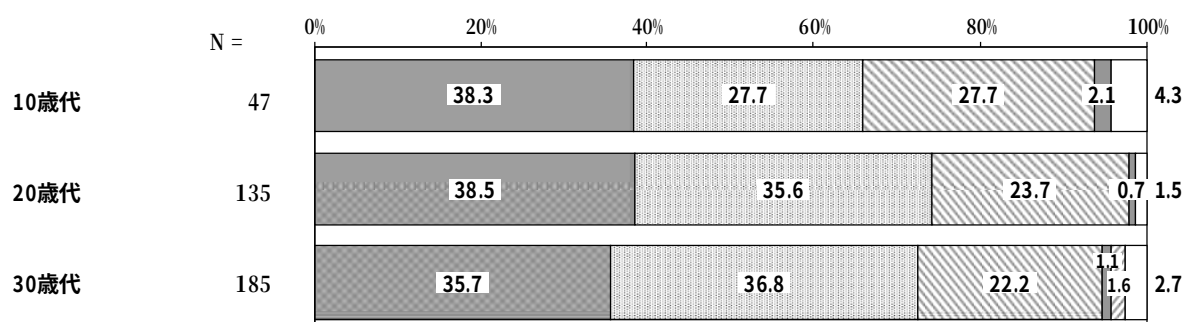
【性 別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「どちらでもない」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で“重要”の割合が高くなっています。



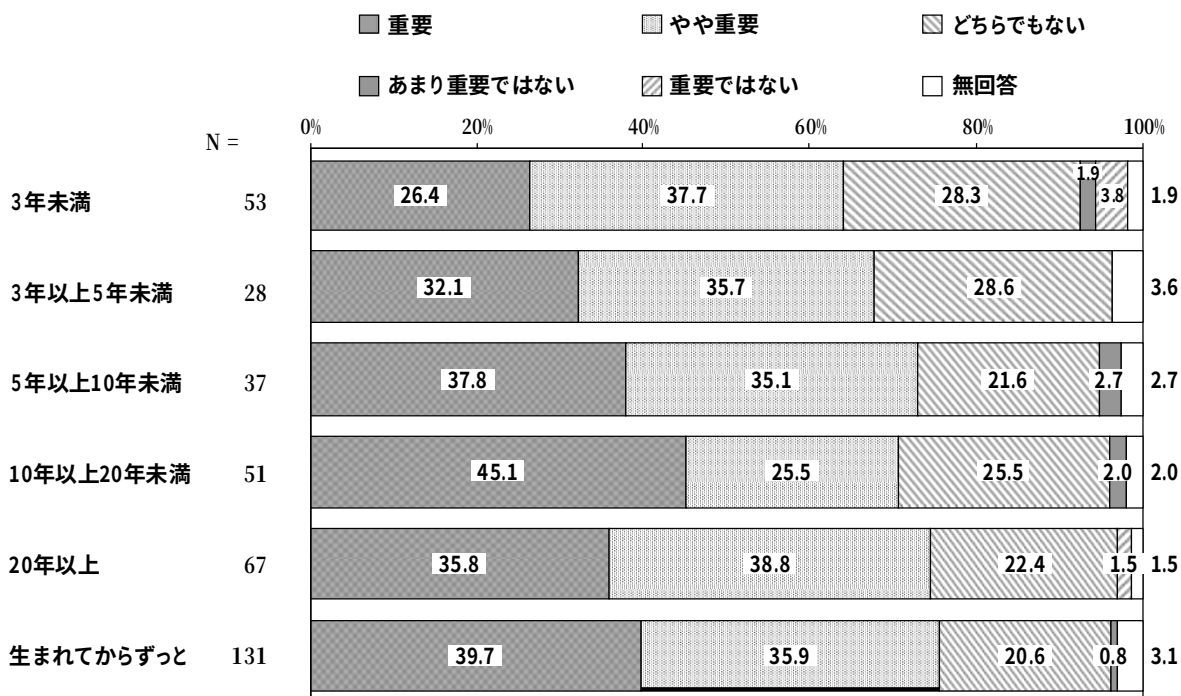
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、20歳代、30歳代で“重要”の割合が高く、7割を超えています。



【居住年数別】

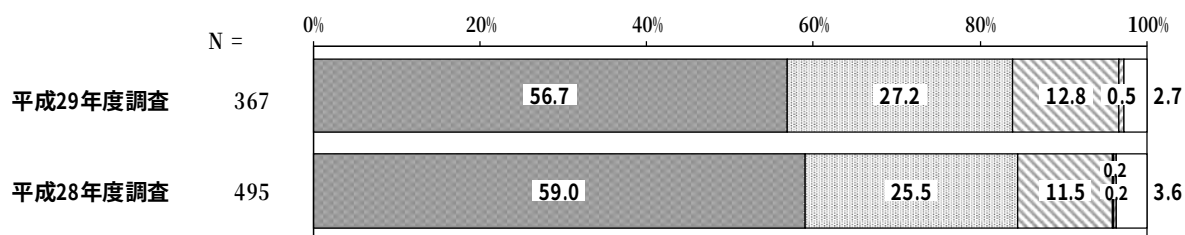
居住年数別でみると、他に比べ、20年以上、生まれてからずっとで“重要”の割合が高く、7割台半ばとなっています。



(13) 安心して暮らせる生活環境づくり

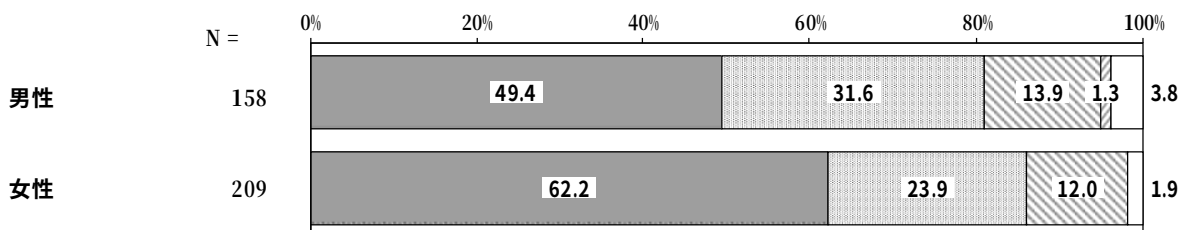
「重要ではない」と「あまり重要ではない」を合わせた“重要ではない”の割合が0.5%、「やや重要」と「重要」を合わせた“重要”の割合が83.9%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



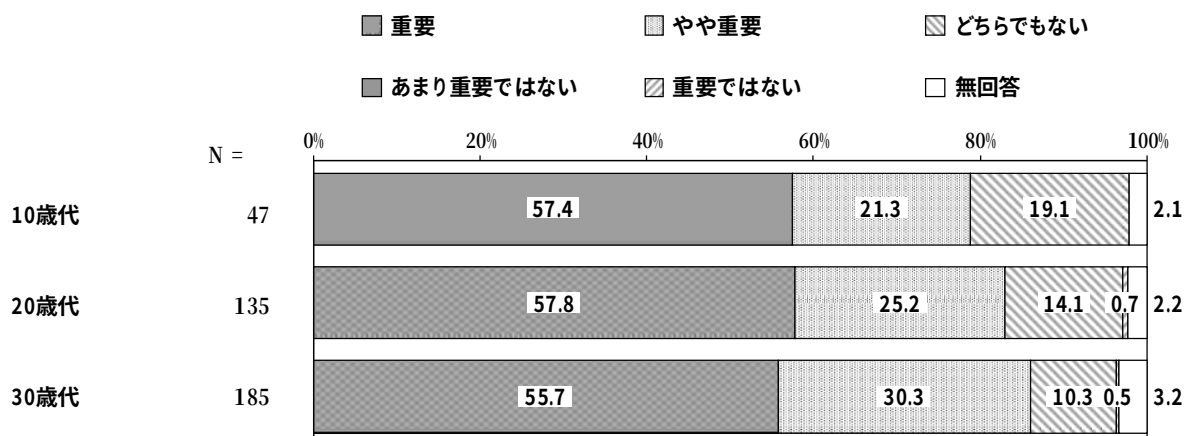
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で“重要”の割合が高くなっています。



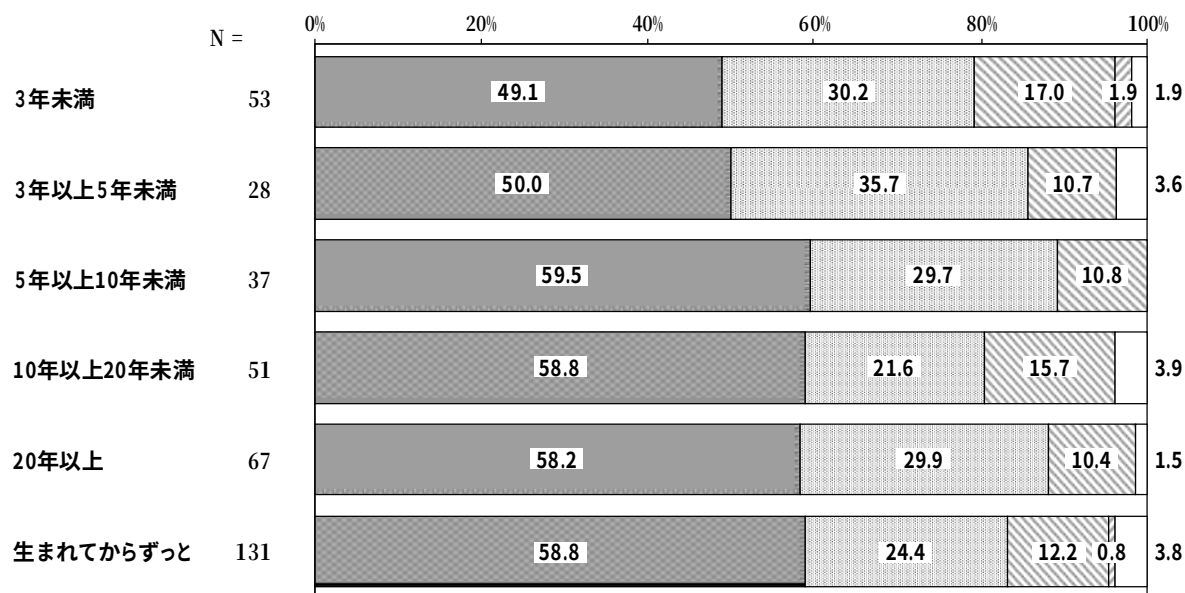
【年代別】

年代別でみると、年代が高くなるにつれ“重要”の割合が高くなっています。



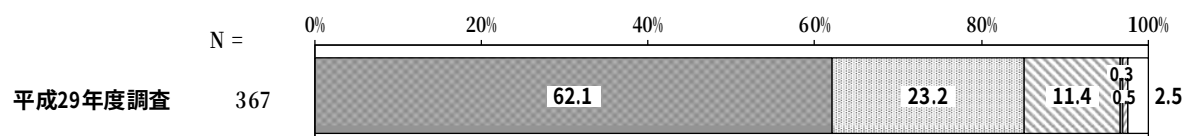
【居住年数別】

居住年数別でみると、他に比べ、5年以上10年未満、20年以上で“重要”の割合が高く、約9割となっています。



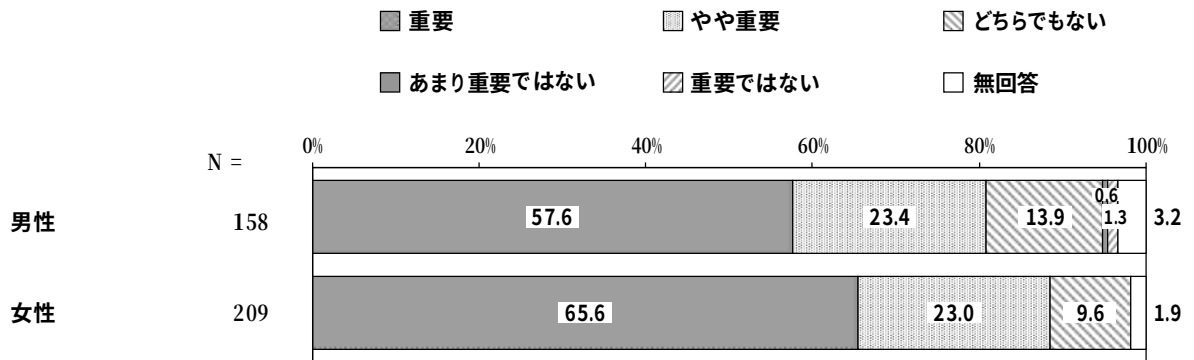
(14) 必要な医療サービスが受けられる

「重要ではない」と「あまり重要ではない」を合わせた“重要ではない”の割合が0.8%、「やや重要」と「重要」を合わせた“重要”の割合が85.3%となっています。



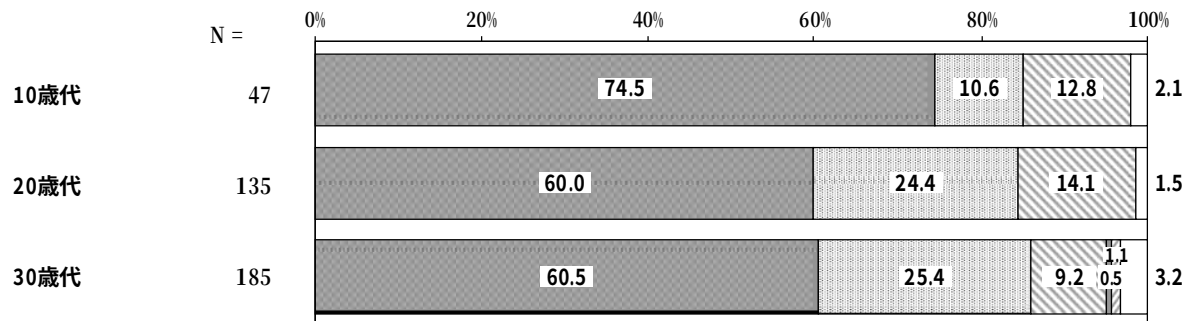
【性 別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「重要」の割合が高くなっています。



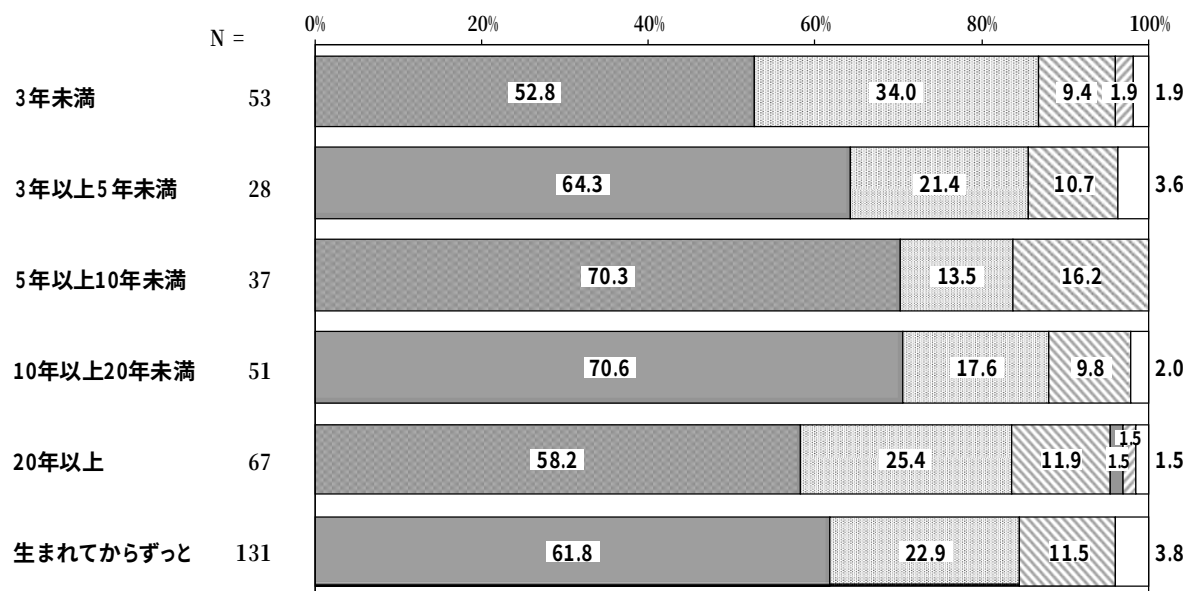
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、10 歳代で「重要」の割合が高く、7 割台半ばとなっています。



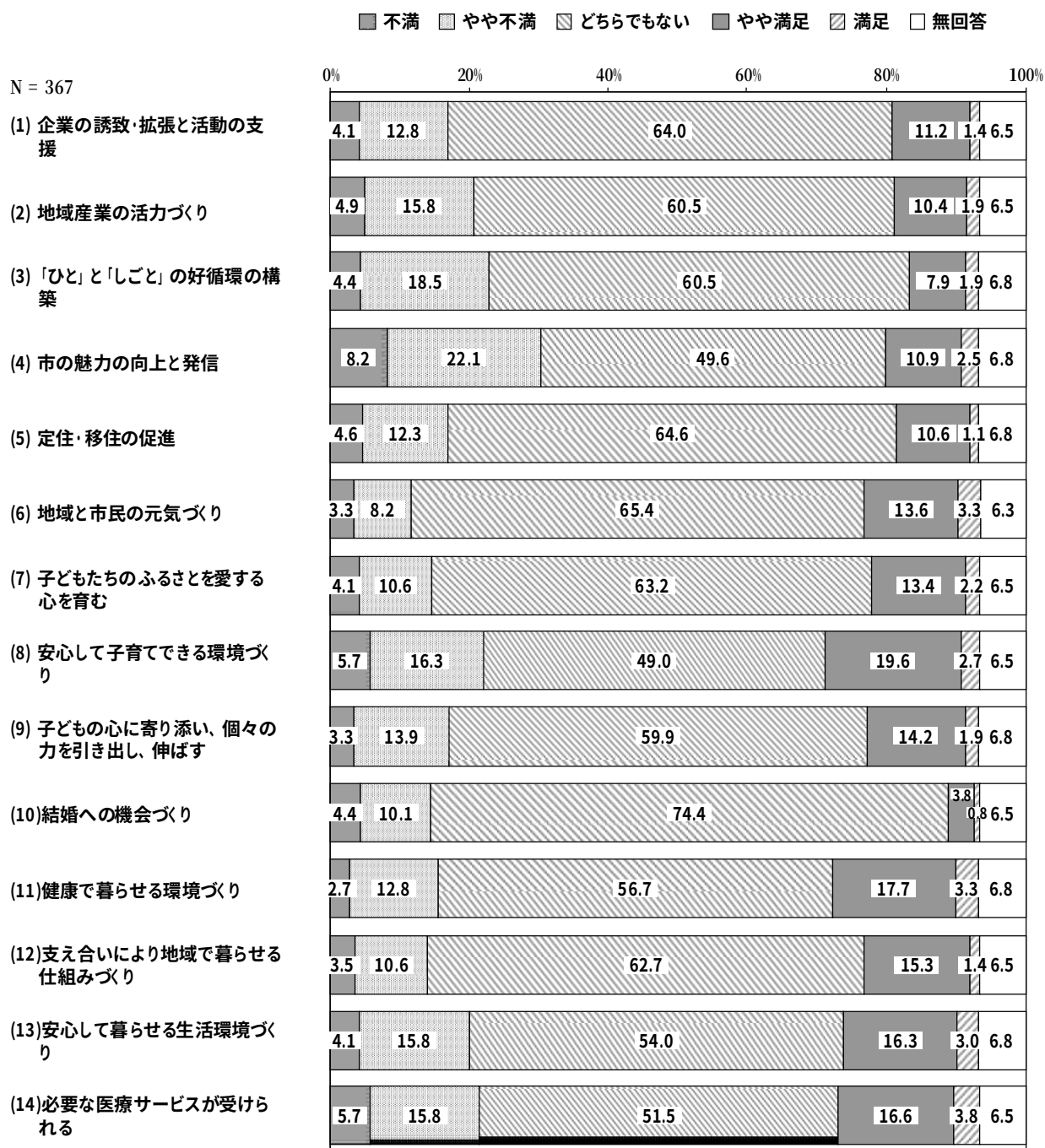
【居住年数別】

居住年数別でみると、他に比べ、5 年以上 10 年未満、10 年以上 20 年未満で「重要」の割合が高く、約 7 割となっています。



② 満足度

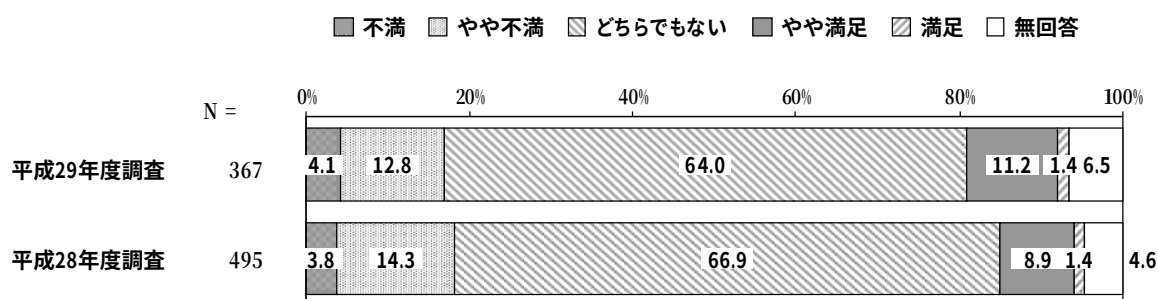
『安心して子育てできる環境づくり』『健康で暮らせる環境づくり』『必要な医療サービスが受けられる』で「満足」と「やや満足」をあわせた“満足”の割合が高くなっています。



（１）企業の誘致・拡張と活動の支援

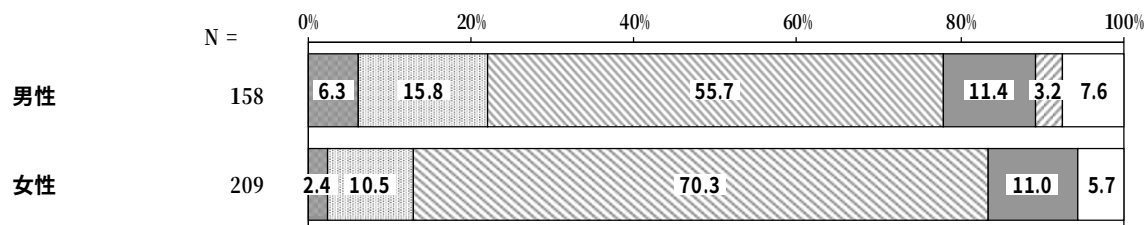
「不満」と「やや不満」を合わせた“不満”の割合が 16.9%、「やや満足」と「満足」を合わせた“満足”の割合が 12.6%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



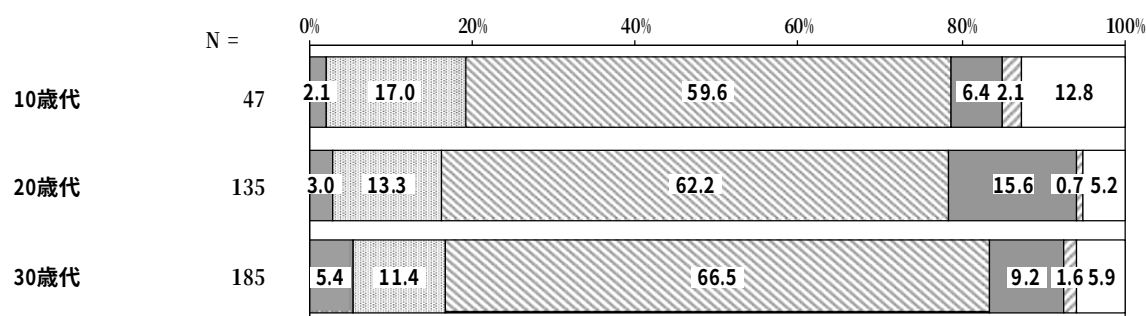
【性 別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「やや不満」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「どちらでもない」の割合が高くなっています。



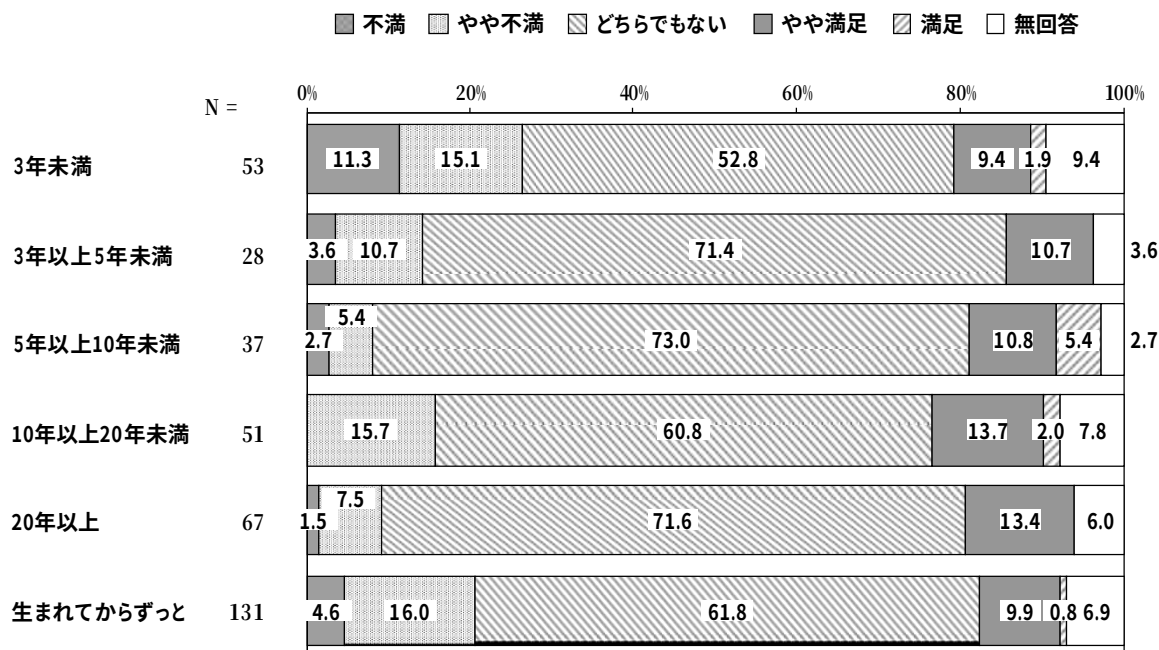
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、20 歳代で“満足”の割合が高く、1 割台半ばとなっています。



【居住年数別】

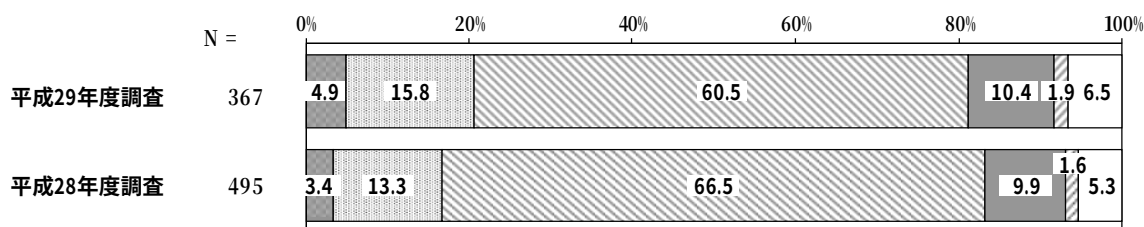
居住年数別でみると、他に比べ、5年以上10年未満、10年以上20年未満、20年以上で“満足”の割合が高く、1割台半ばとなっています。



(2) 地域産業の活力づくり

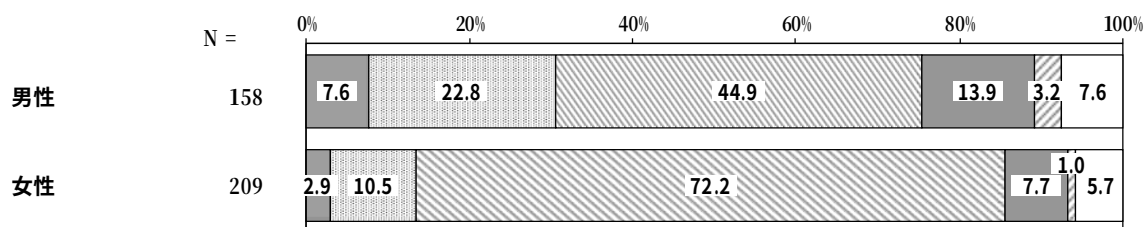
「不満」と「やや不満」を合わせた“不満”の割合が20.7%、「やや満足」と「満足」を合わせた“満足”の割合が12.3%となっています。

平成28年度調査と比較すると、「どちらでもない」の割合が減少しています。



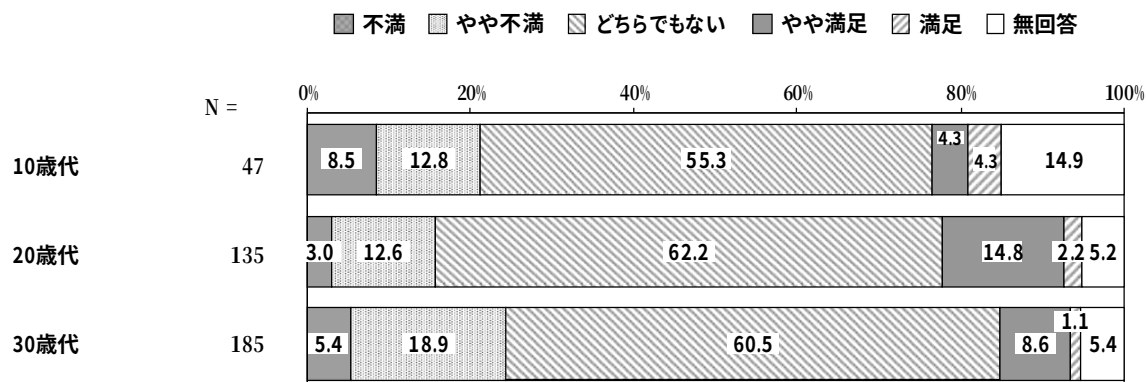
【性 別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「やや不満」「やや満足」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「どちらでもない」の割合が高くなっています。



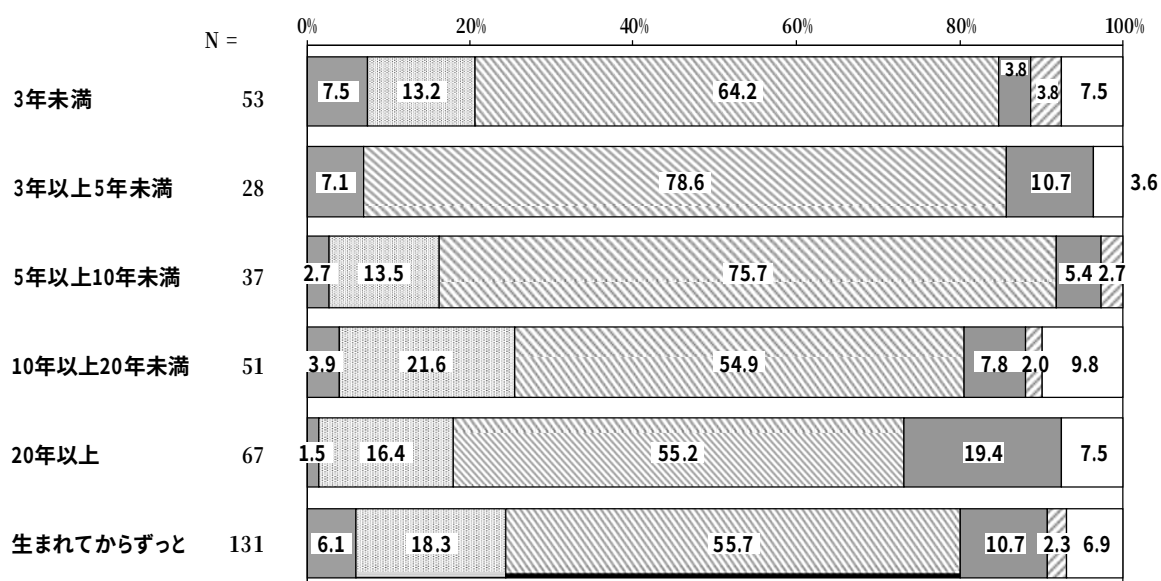
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、20 歳代で“満足”の割合が高く、1 割台半ばとなっています。



【居住年数別】

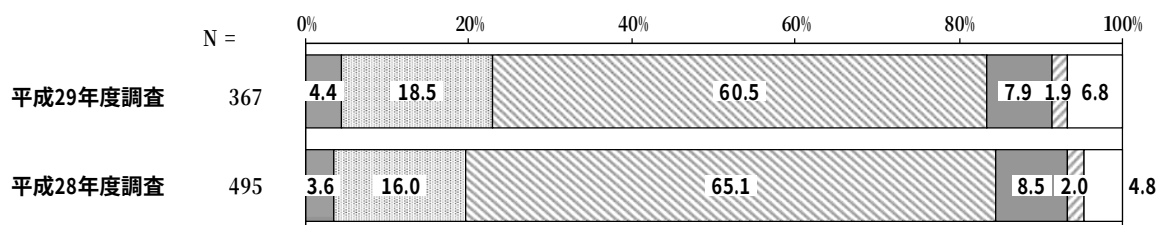
居住年数別でみると、他に比べ、20 年以上で“満足”の割合が高く、約 2 割となっています。



(3) 「ひと」と「しごと」の好循環の構築

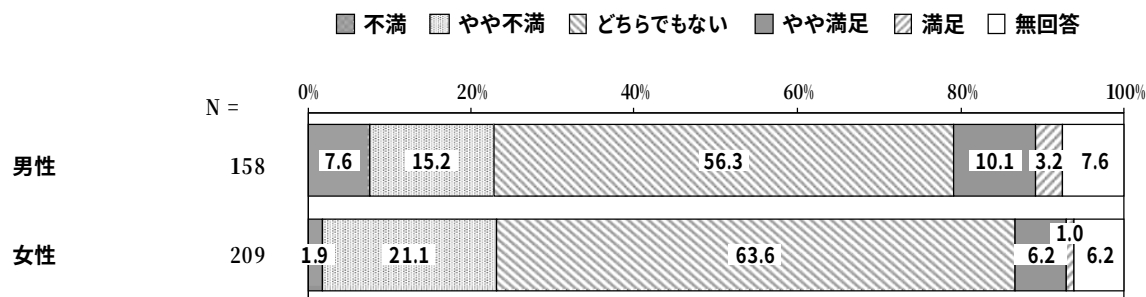
「不満」と「やや不満」を合わせた“不満”の割合が 22.9%、「やや満足」と「満足」を合わせた“満足”の割合が 9.8%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



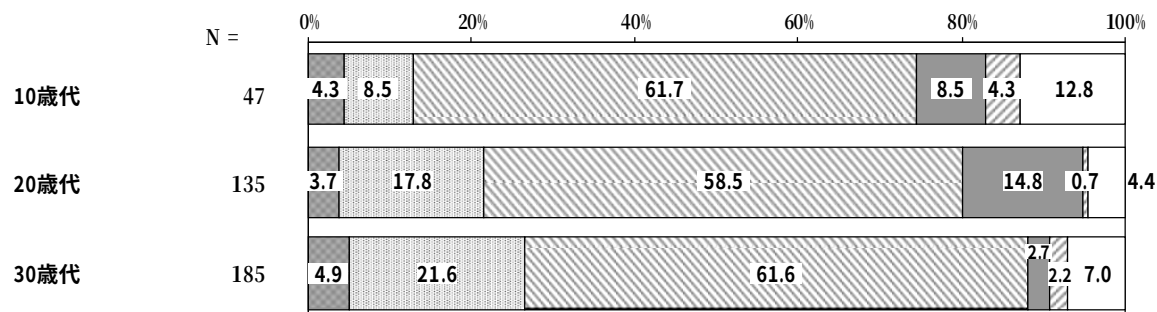
【性 別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「不満」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「やや不満」「どちらでもない」の割合が高くなっています。



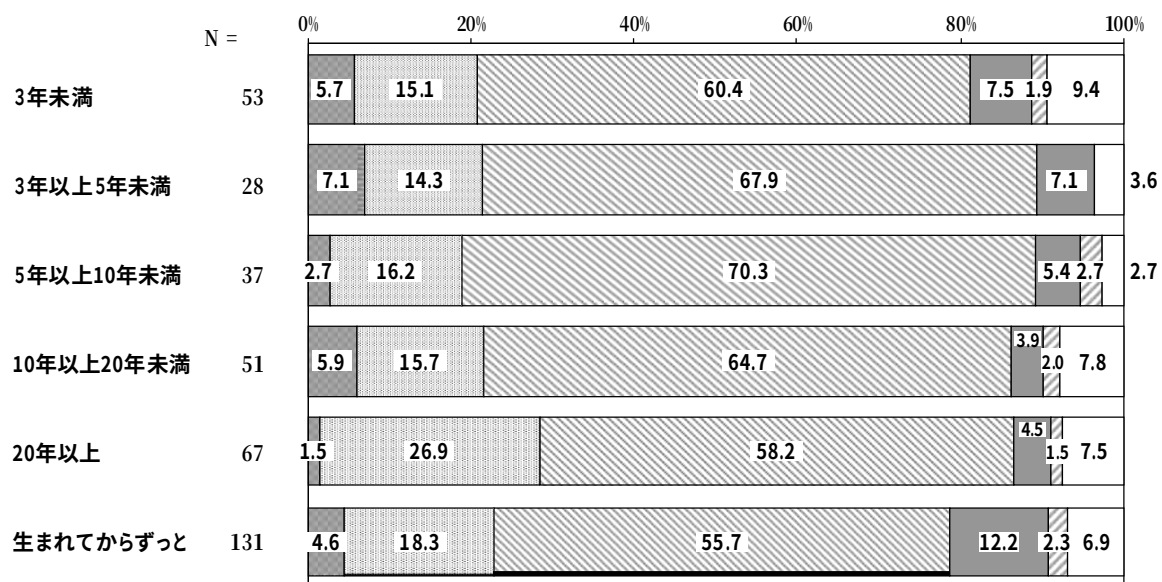
【年代別】

年代別でみると、年代が高くなるにつれ“不満”の割合が高くなっています。



【居住年数別】

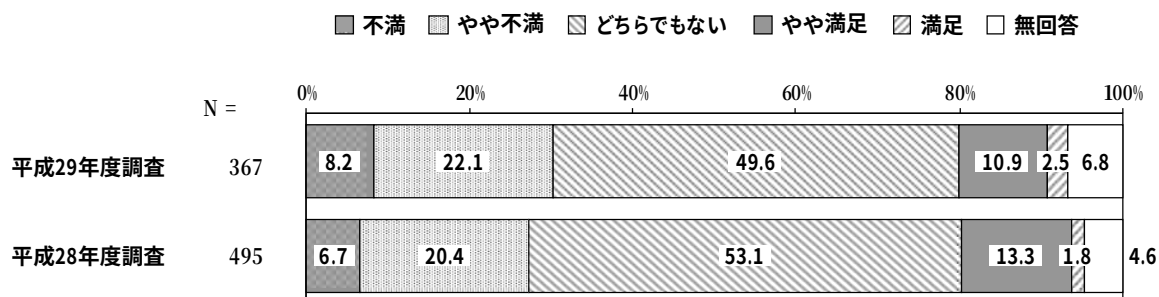
居住年数別でみると、他に比べ、20年以上で“不満”の割合が高く、約3割となっています。



（４）市の魅力の向上と発信

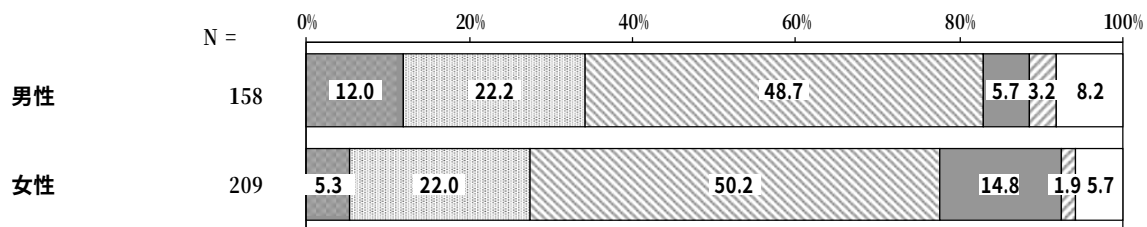
「不満」と「やや不満」を合わせた“不満”の割合が 30.3%、「やや満足」と「満足」を合わせた“満足”の割合が 13.4%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



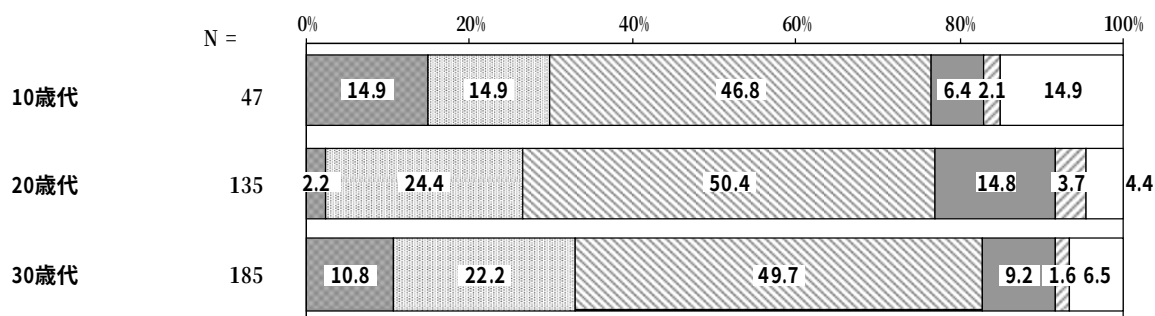
【性 別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「不満」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「やや満足」の割合が高くなっています。



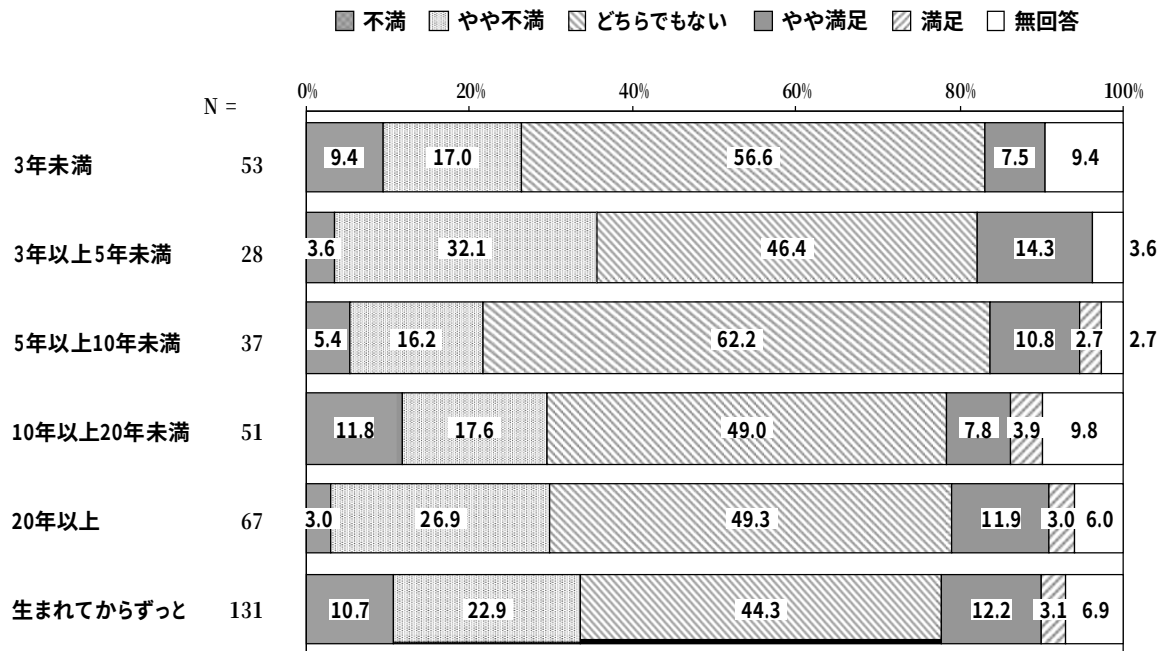
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、20 歳代で“満足”の割合が高く、約 2 割となっています。



【居住年数別】

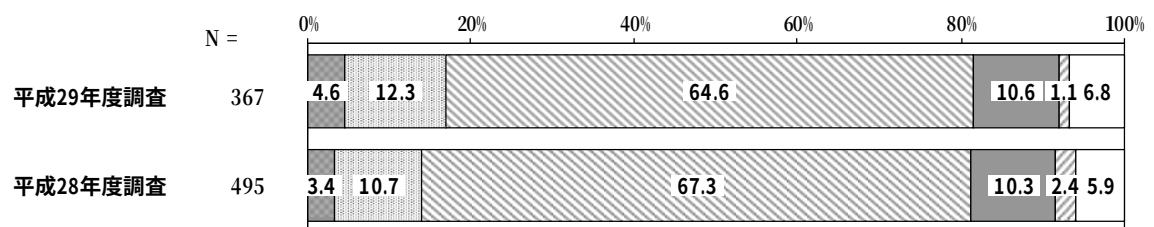
居住年数別でみると、他に比べ、3年以上5年未満、生まれてからずっとで“不満”の割合が高く、3割台半ばとなっています。



(5) 定住・移住の促進

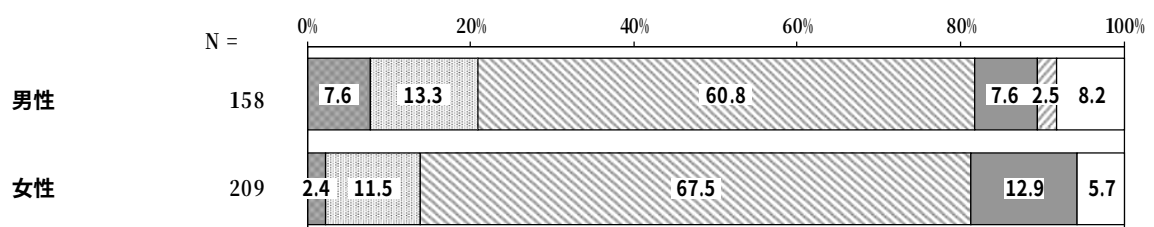
「不満」と「やや不満」を合わせた“不満”の割合が16.9%、「やや満足」と「満足」を合わせた“満足”の割合が11.7%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



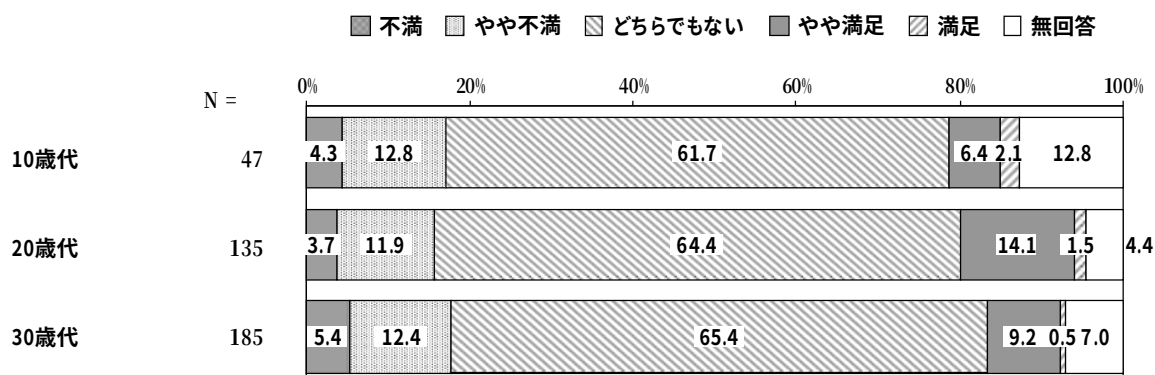
【性 別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「不満」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「どちらでもない」「やや満足」の割合が高くなっています。



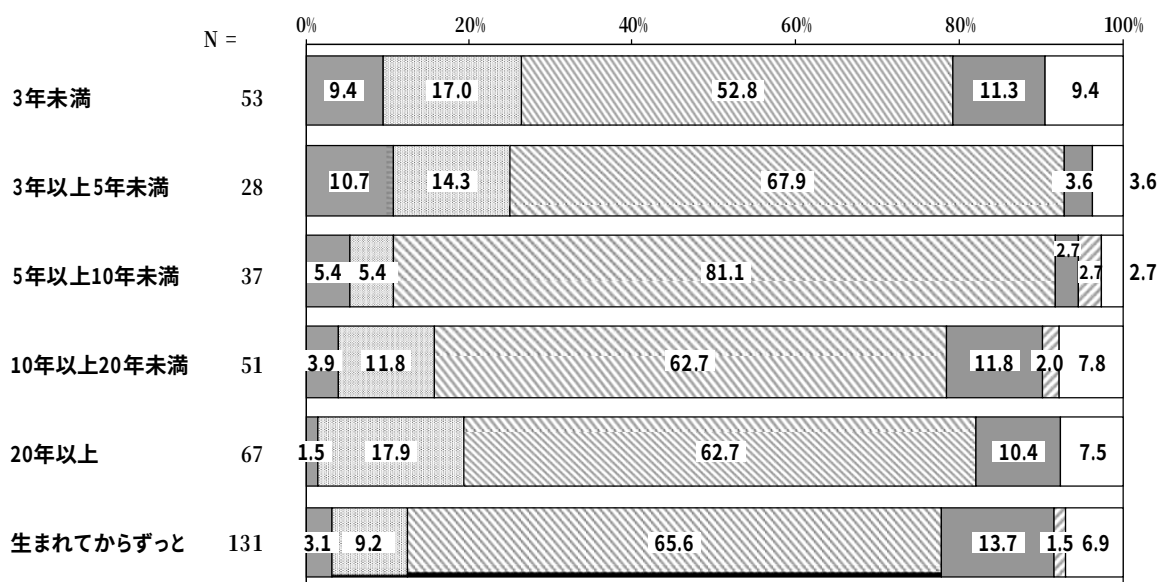
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、20歳代で“満足”の割合が高く、1割台半ばとなっています。



【居住年数別】

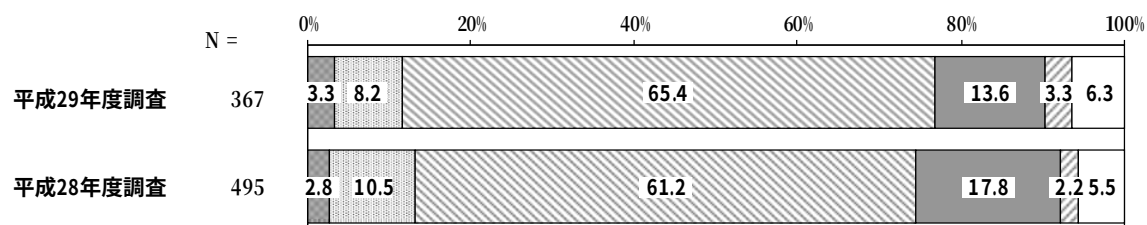
居住年数別でみると、他に比べ、3年未満、3年以上5年未満で“不満”の割合が高く、2割台半ばとなっています。



（6）地域と市民の元気づくり

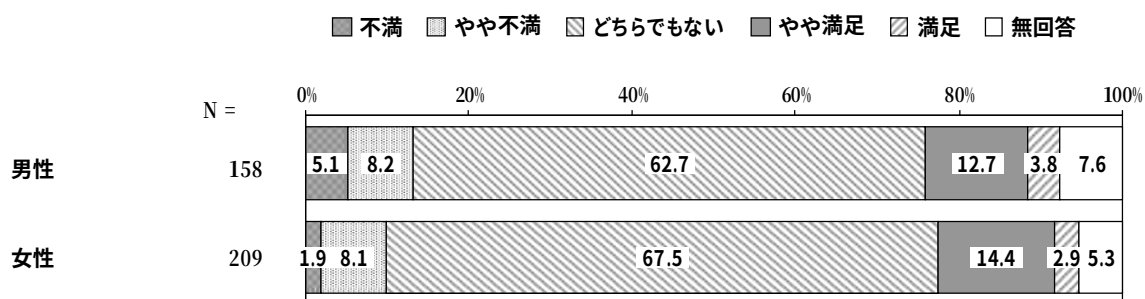
「不満」と「やや不満」を合わせた“不満”の割合が11.5%、「やや満足」と「満足」を合わせた“満足”の割合が16.9%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



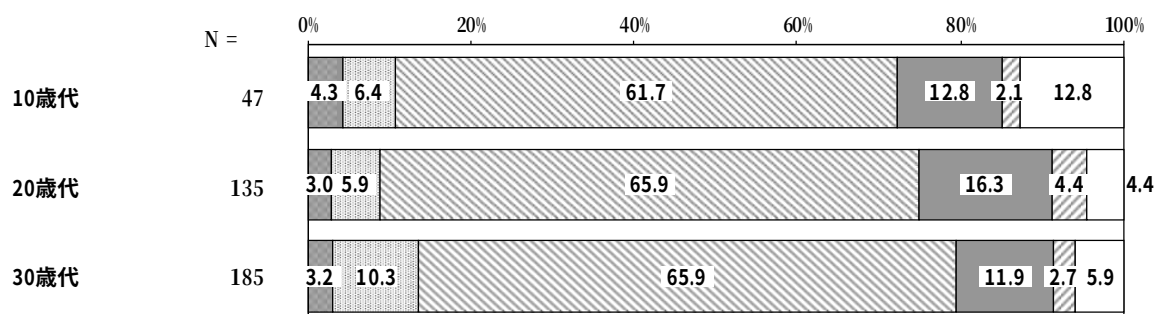
【性 別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



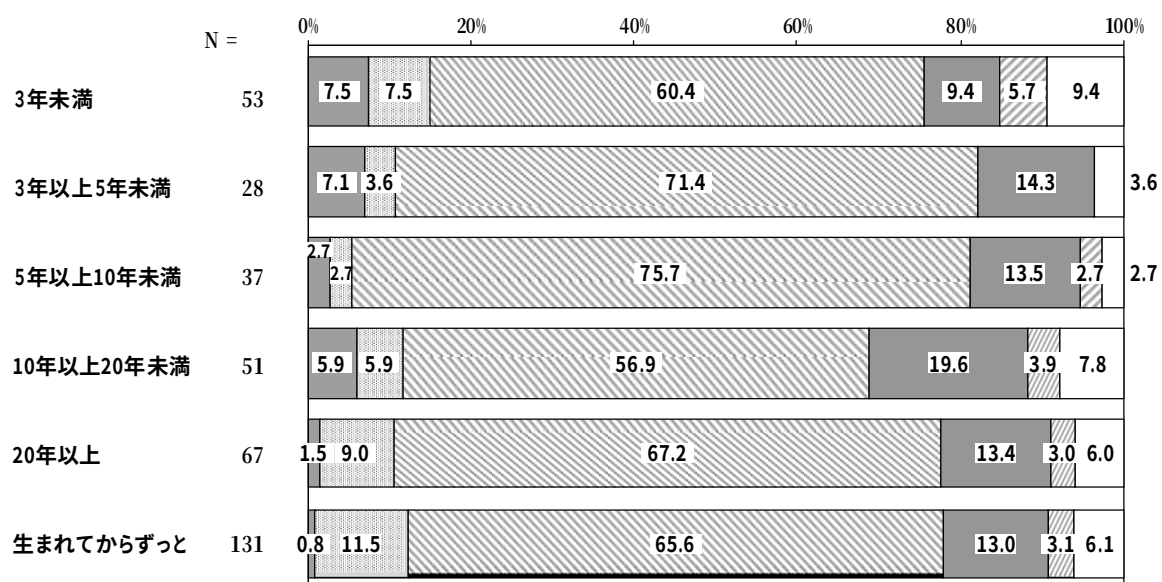
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、20 歳代で“満足”の割合が高くなっており、約2割となっています。



【居住年数別】

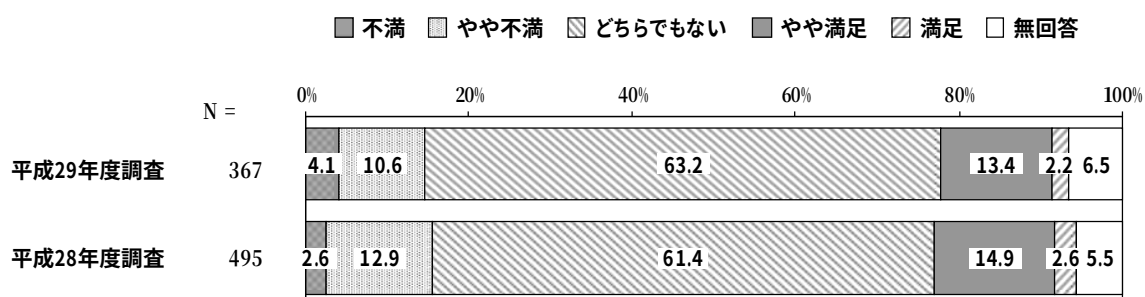
居住年数別でみると、他に比べ、10 年以上 20 年未満で“満足”の割合が高く、2割台半ばとなっています。



（７）子どもたちのふるさとを愛する心を育む

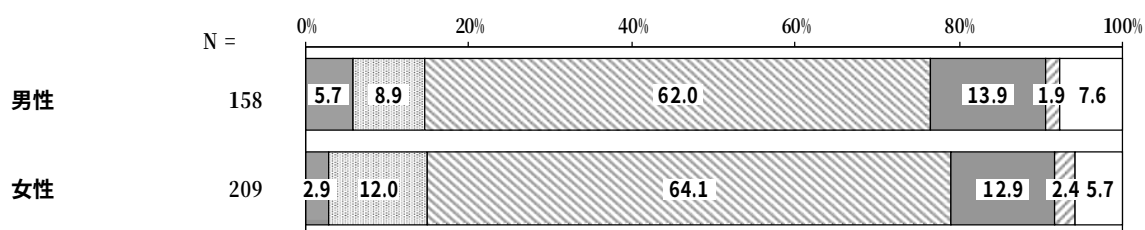
「不満」と「やや不満」を合わせた“不満”の割合が 14.7%、「やや満足」と「満足」を合わせた“満足”の割合が 15.6%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



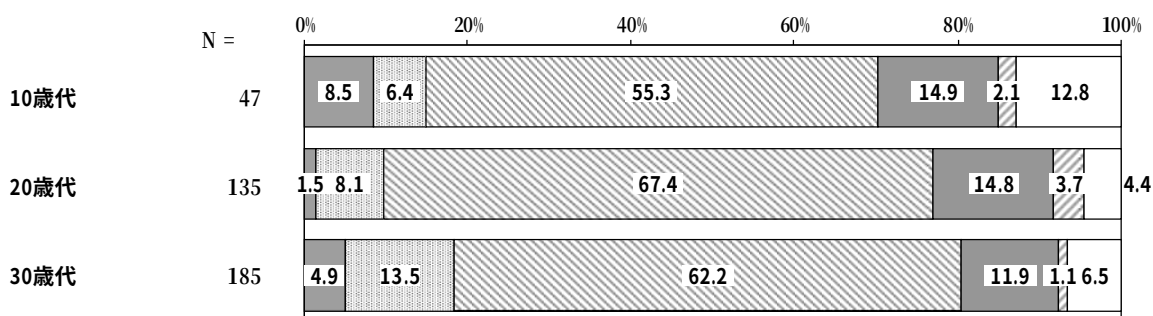
【性 別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



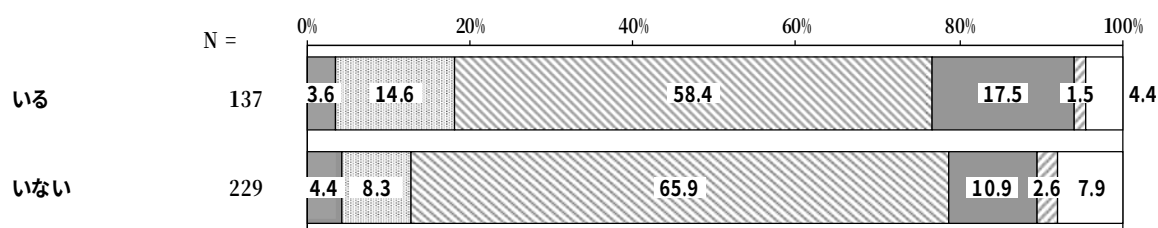
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、20 歳代で“満足”の割合が高く、約 2 割となっています。また、30 歳代で“不満”の割合が高く、約 2 割となっています。



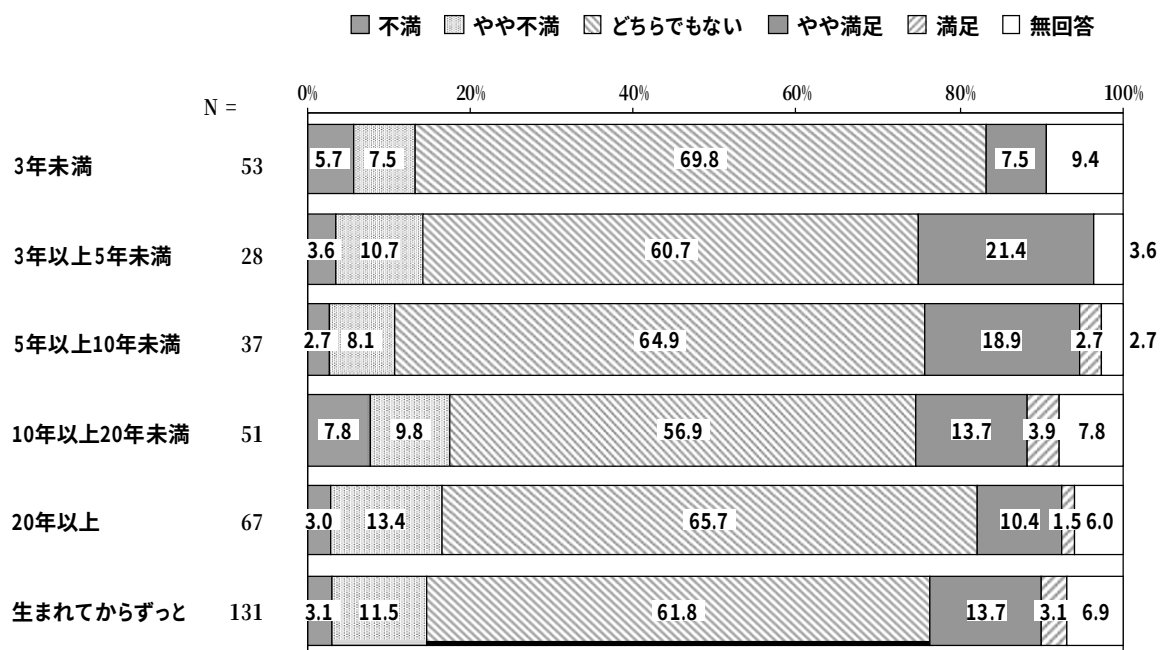
【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で“不満”とともに“満足”の割合が高くなっています。



【居住年数別】

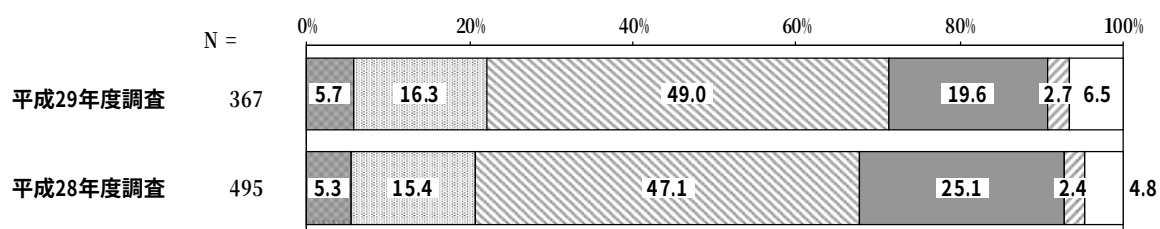
居住年数別でみると、他に比べ、3年以上5年未満、5年以上10年未満で“満足”の割合が高く、2割を超えています。



（8）安心して子育てできる環境づくり

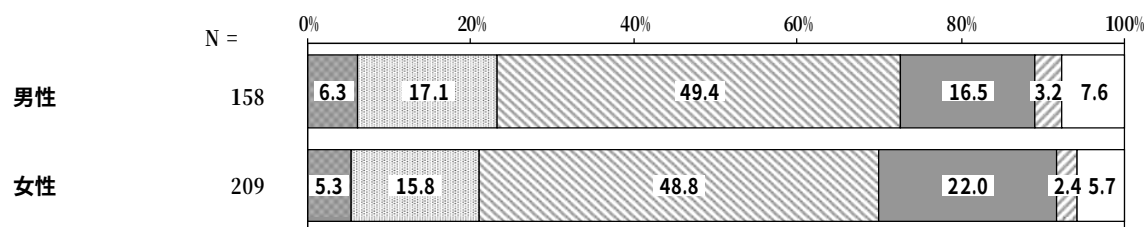
「不満」と「やや不満」を合わせた“不満”の割合が22.0%、「やや満足」と「満足」を合わせた“満足”の割合が22.3%となっています。

平成28年度調査と比較すると、「やや満足」の割合が減少しています。



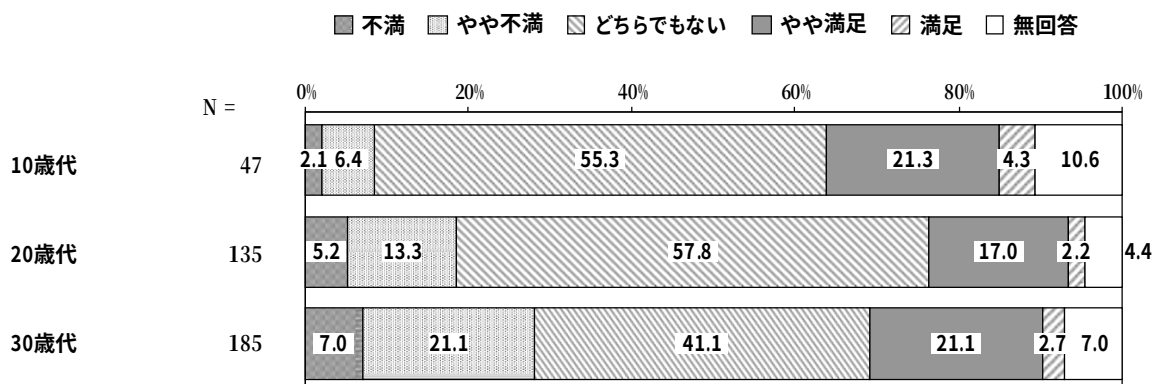
【性 別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「やや満足」の割合が高くなっています。



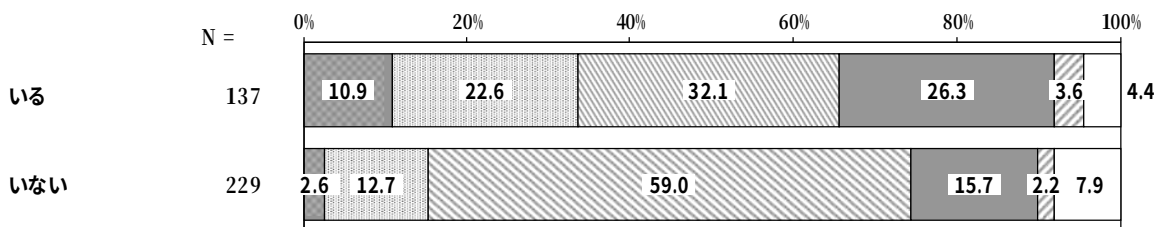
【年代別】

年代別でみると、年代が高くなるにつれ“不満”の割合が高くなっています。



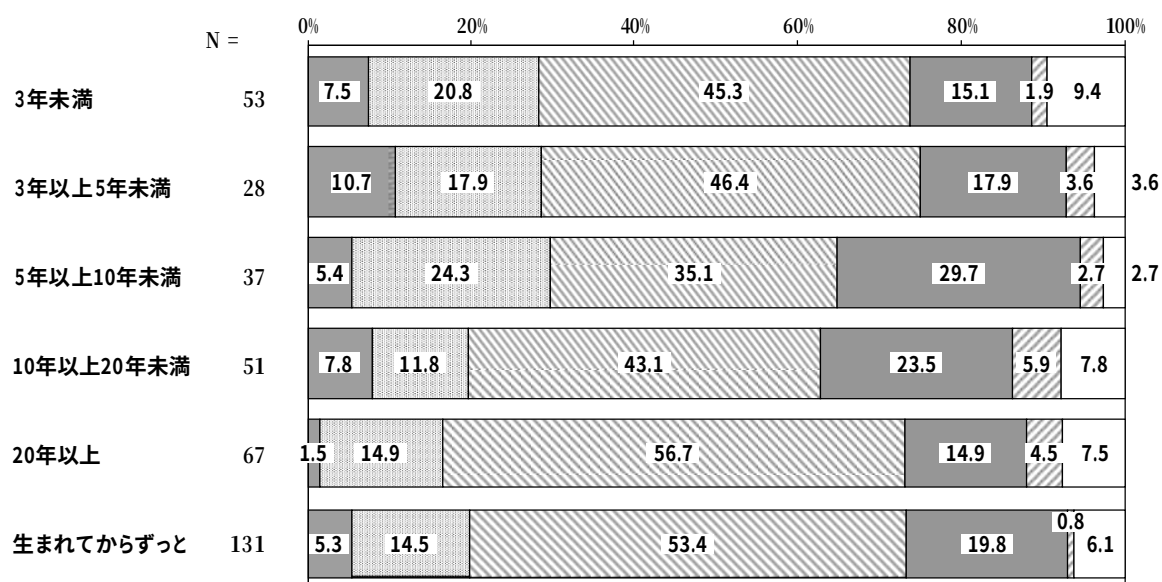
【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で“不満”とともに“満足”の割合が高くなっています。



【居住年数別】

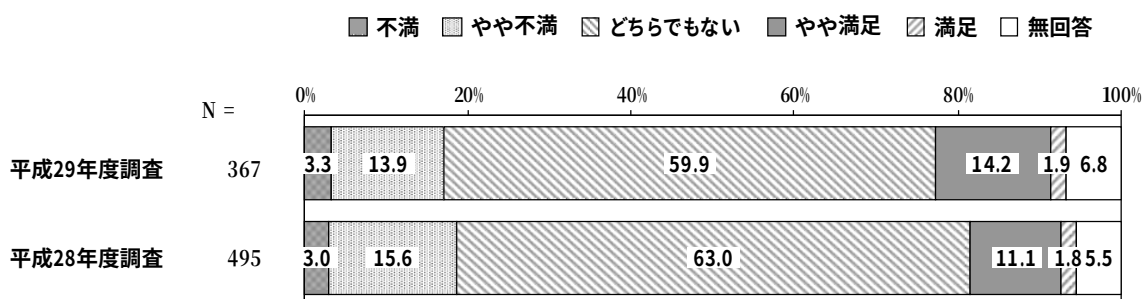
居住年数別でみると、他に比べ、5年以上10年未満で“満足”の割合が高く、3割を超えています。



（９）子どもの心に寄り添い、個々の力を引き出し、伸ばす

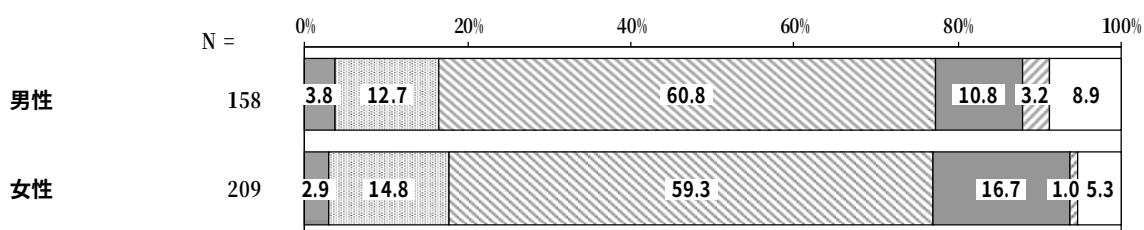
「不満」と「やや不満」を合わせた“不満”の割合が 17.2%、「やや満足」と「満足」を合わせた“満足”の割合が 16.1%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



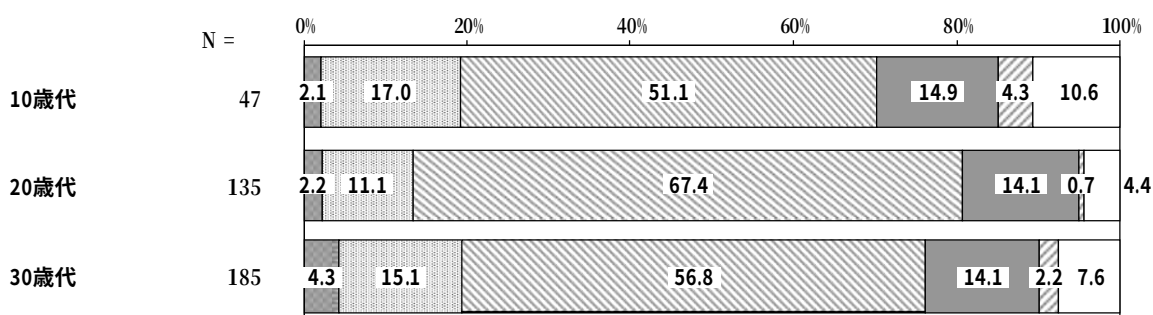
【性 別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「やや満足」の割合が高くなっています。



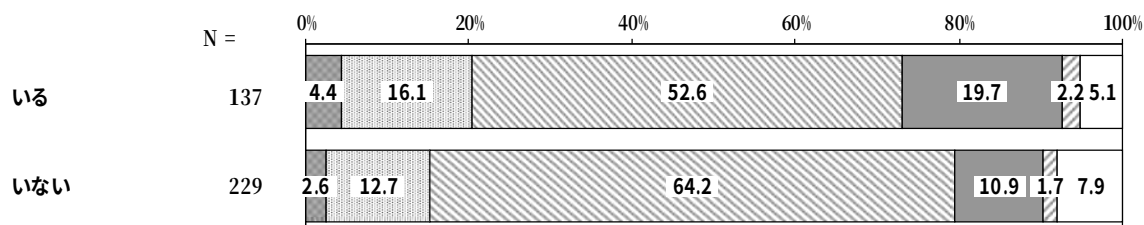
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、10 歳代、30 歳代で“不満”の割合が高く、約 2 割となっています。



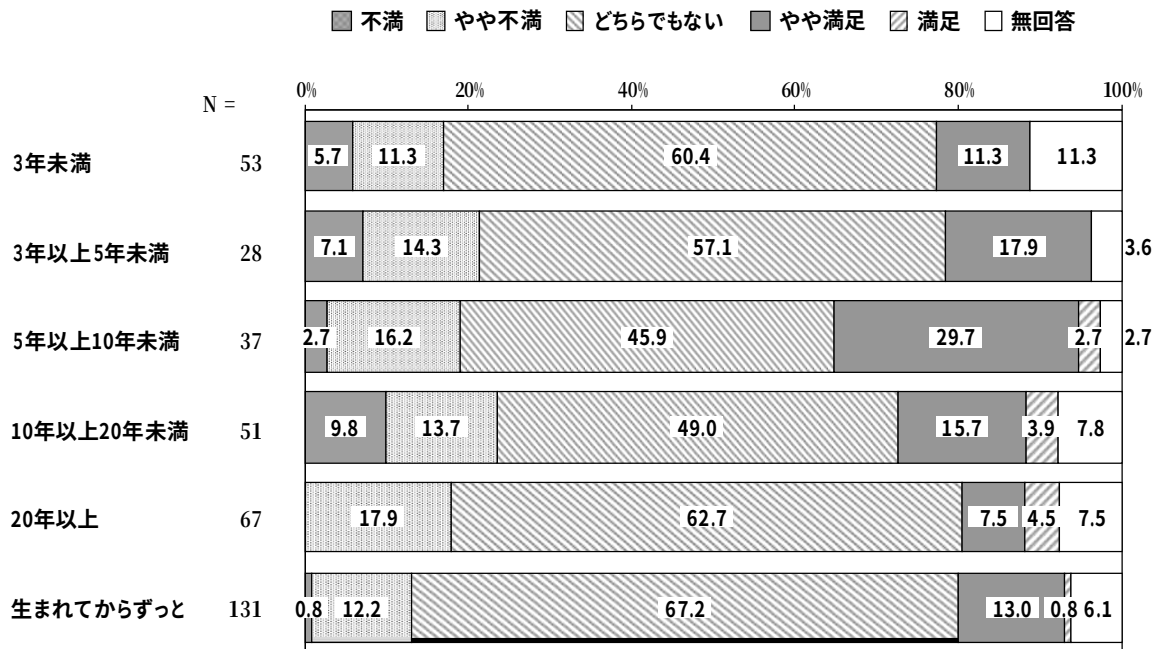
【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で“不満”とともに“満足”の割合が高くなっています。



【居住年数別】

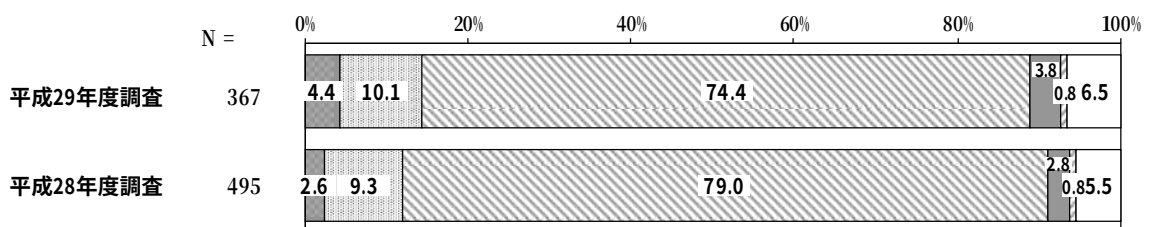
居住年数別でみると、他に比べ、5年以上10年未満で“満足”の割合が高く、3割を超えています。



（10）結婚への機会づくり

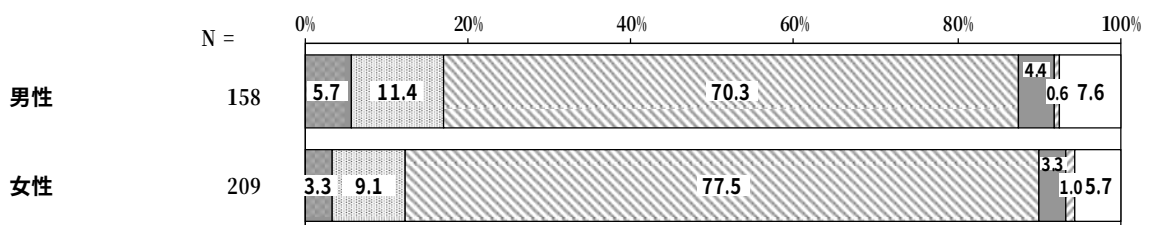
「不満」と「やや不満」を合わせた“不満”の割合が14.5%、「やや満足」と「満足」を合わせた“満足”の割合が4.6%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



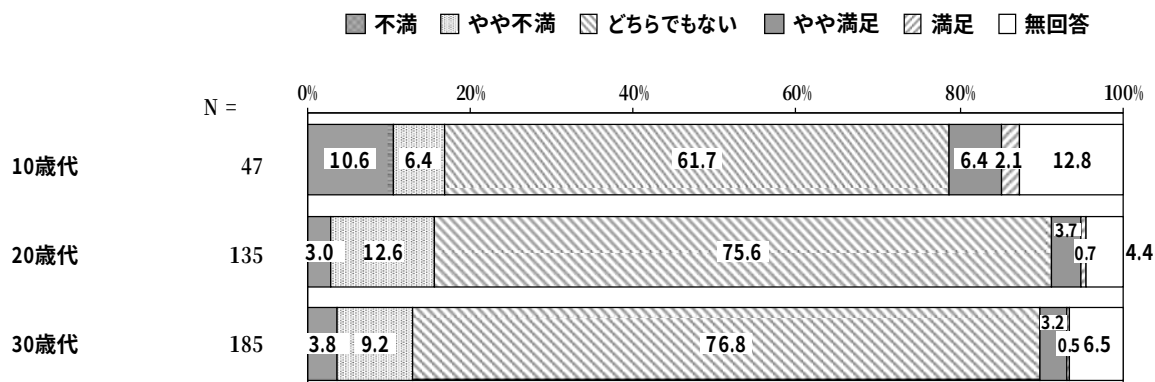
【性 別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「どちらでもない」の割合が高くなっています。



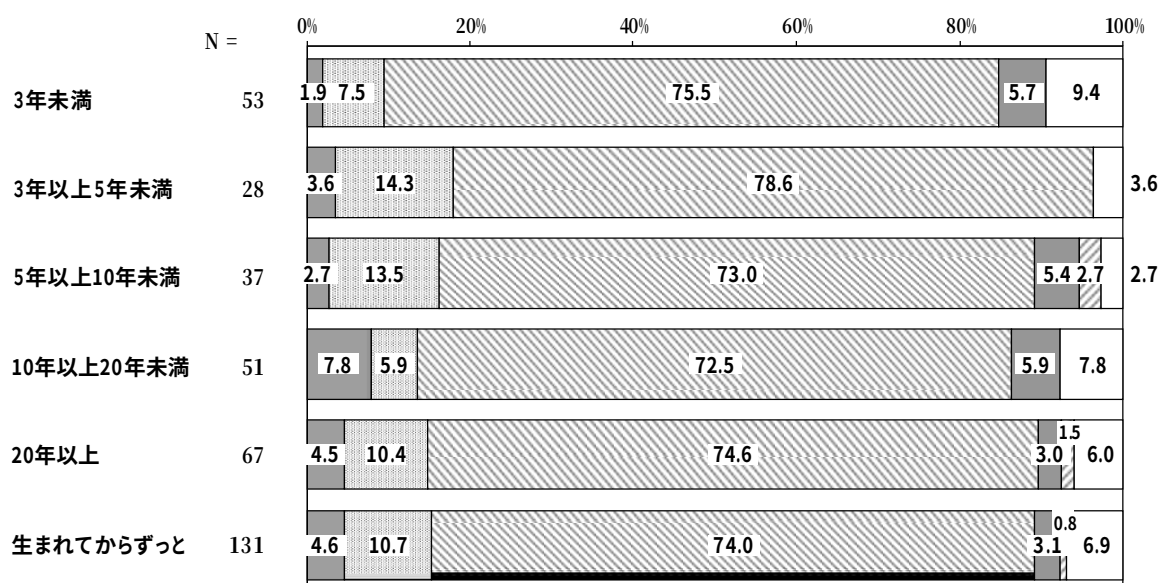
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、20 歳代、30 歳代で「どちらでもない」の割合が高く、7 割台半ばとなっています。



【居住年数別】

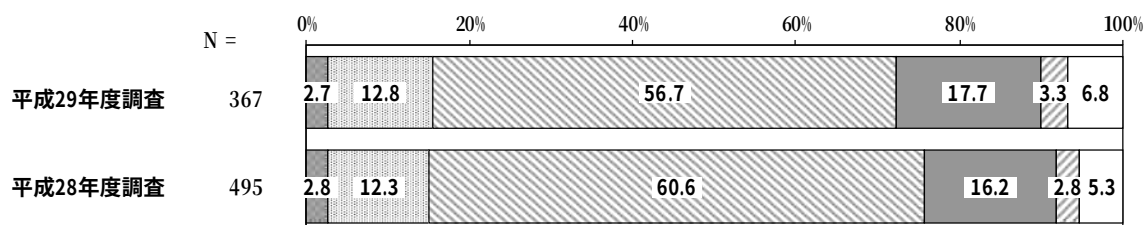
居住年数別でみると、他に比べ、3 年未満で“ 不満 ”の割合が低く、1 割未満となっています。



（1 1）健康で暮らせる環境づくり

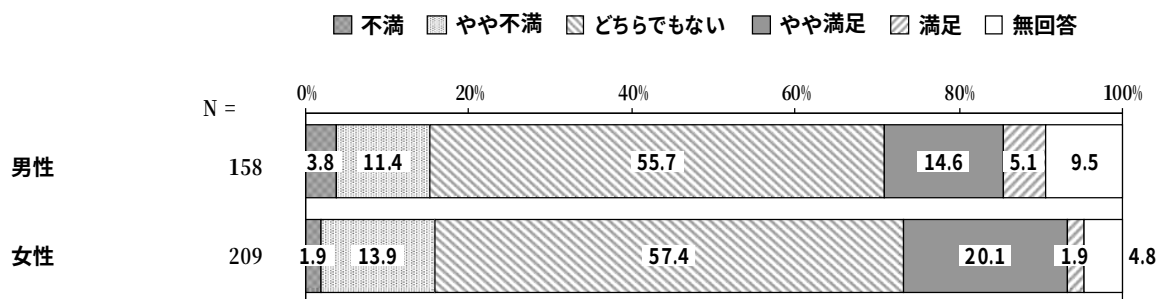
「不満」と「やや不満」を合わせた“ 不満 ”の割合が 15.5%、「やや満足」と「満足」を合わせた“ 満足 ”の割合が 21.0%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



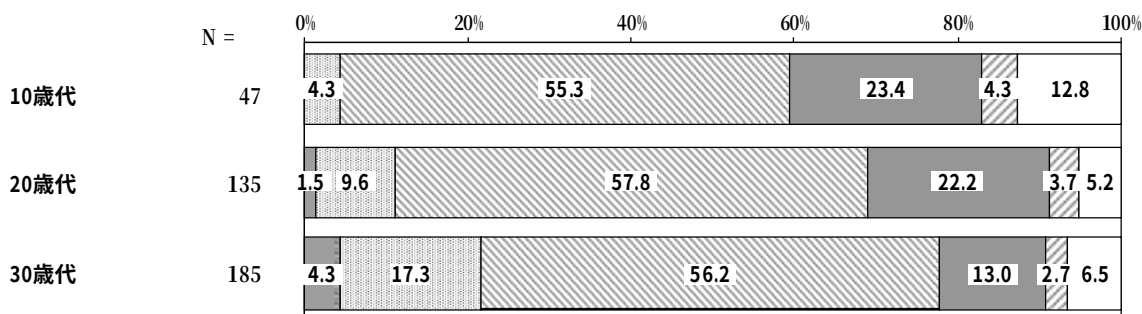
【性 別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「やや満足」の割合が高くなっています。



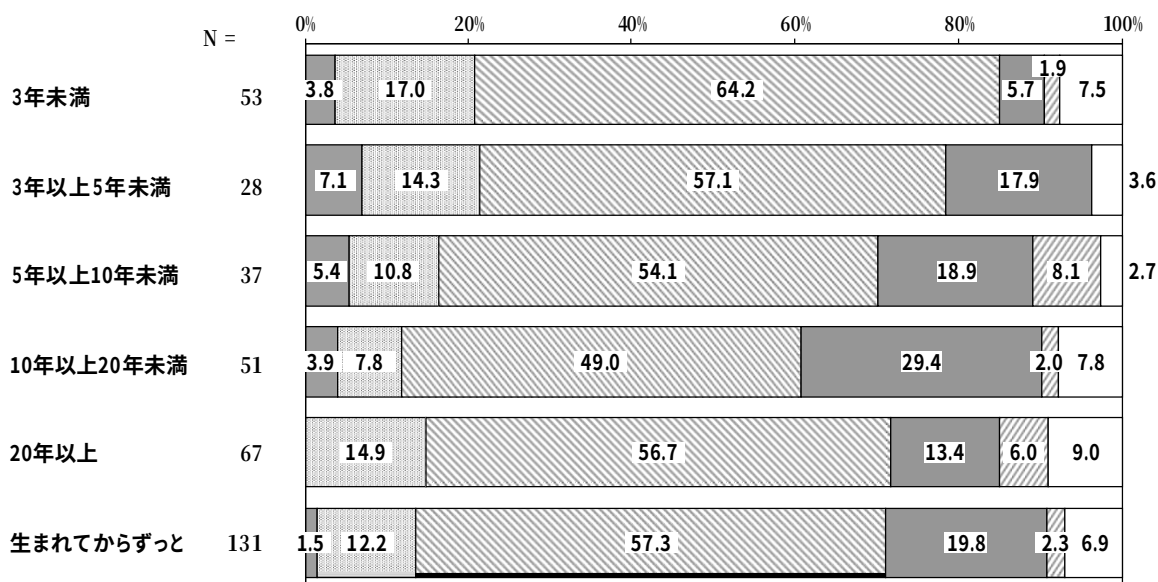
【年代別】

年代別でみると、年代が高くなるにつれ“不満”の割合が高くなっています。



【居住年数別】

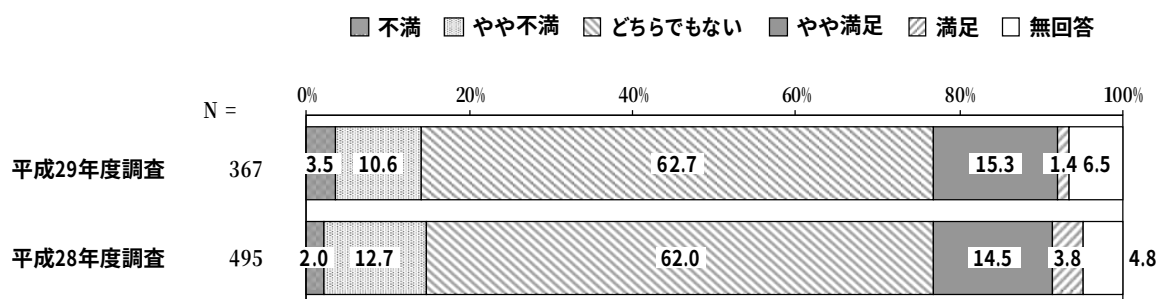
居住年数別でみると、他に比べ、10年以上20年未満で“満足”の割合が高く、3割を超えています。



（１２）支え合いにより地域で暮らせる仕組みづくり

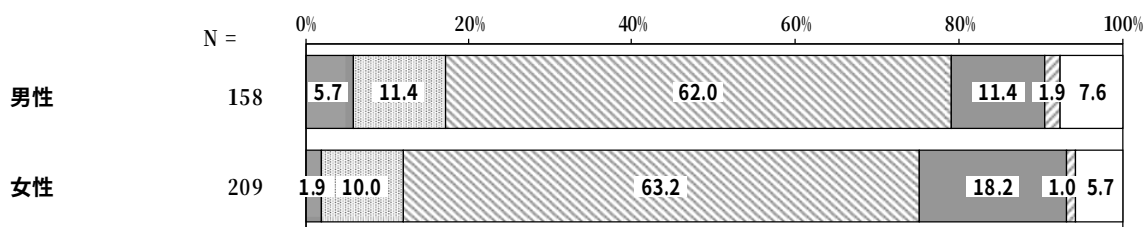
「不満」と「やや不満」を合わせた“不満”の割合が 14.1%、「やや満足」と「満足」を合わせた“満足”の割合が 16.7%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



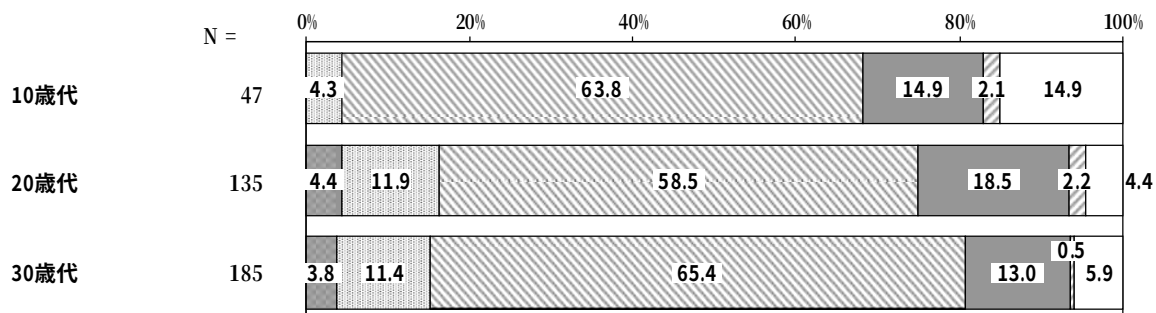
【性 別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「やや満足」の割合が高くなっています。



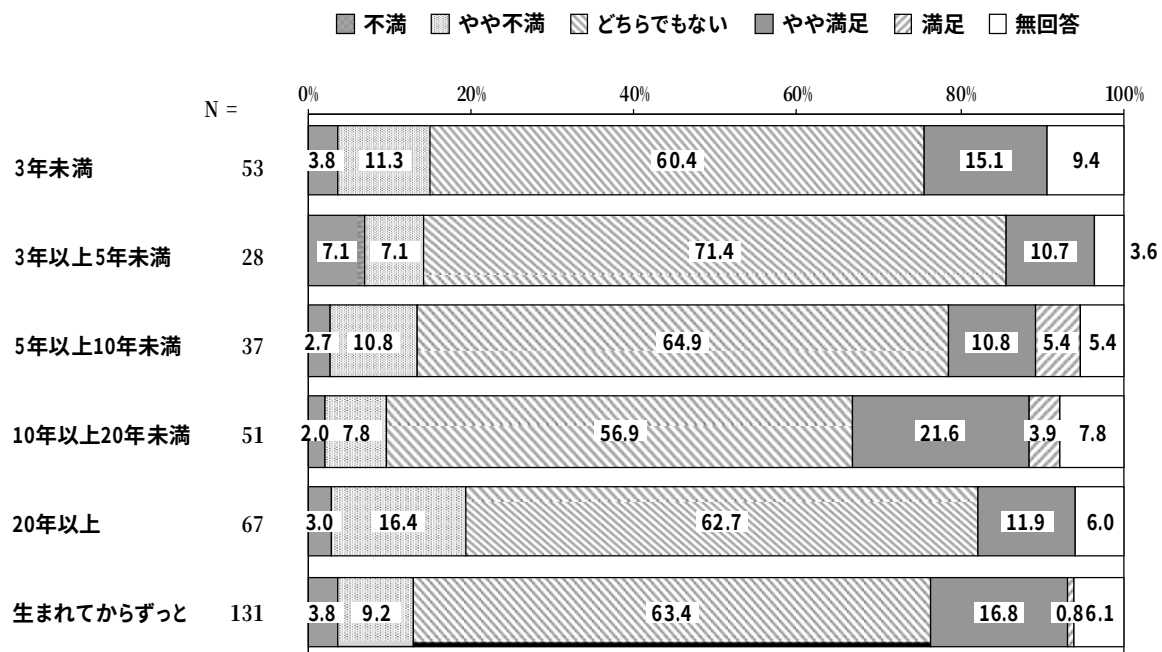
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、20 歳代で“満足”の割合が高く、約 2 割となっています。



【居住年数別】

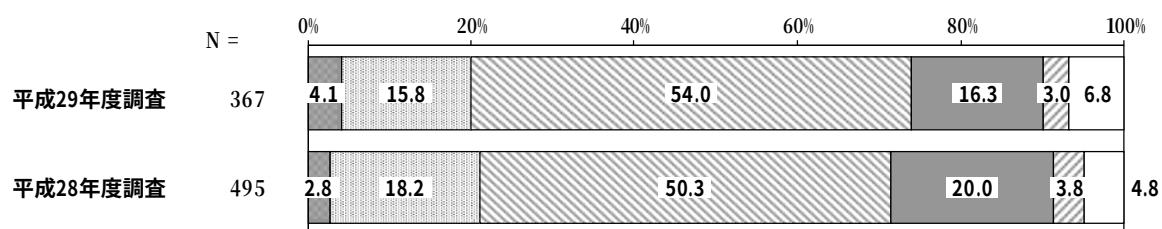
居住年数別でみると、他に比べ、10年以上20年未満で“満足”の割合が高く、2割台半ばとなっています。



(13) 安心して暮らせる生活環境づくり

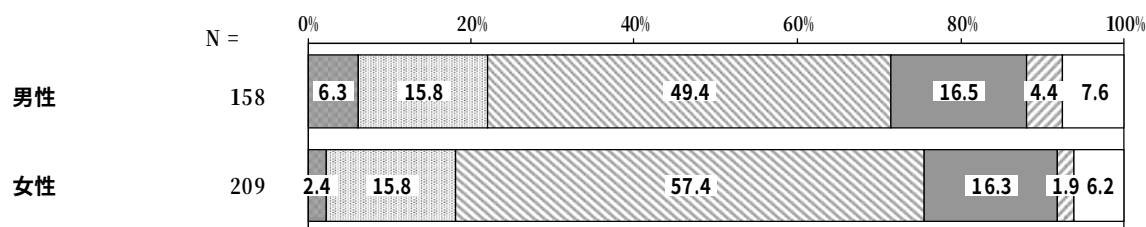
「不満」と「やや不満」を合わせた“不満”の割合が19.9%、「やや満足」と「満足」を合わせた“満足”の割合が19.3%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



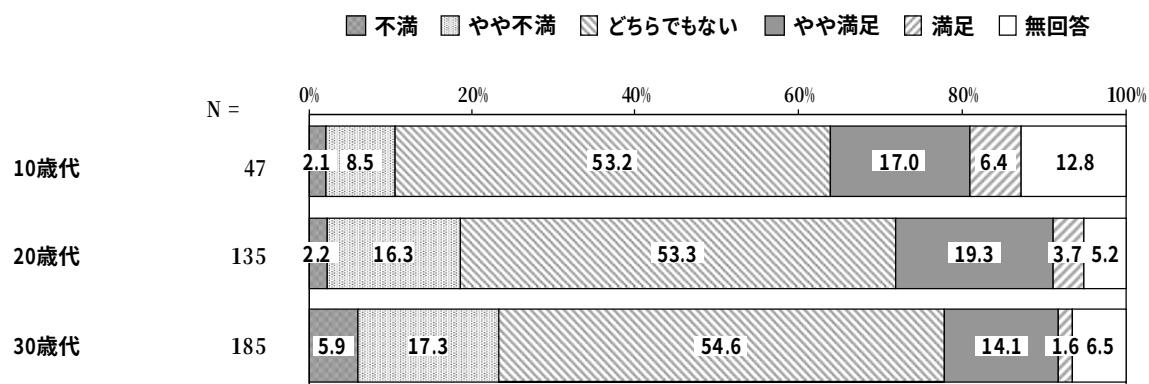
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「どちらでもない」の割合が高くなっています。



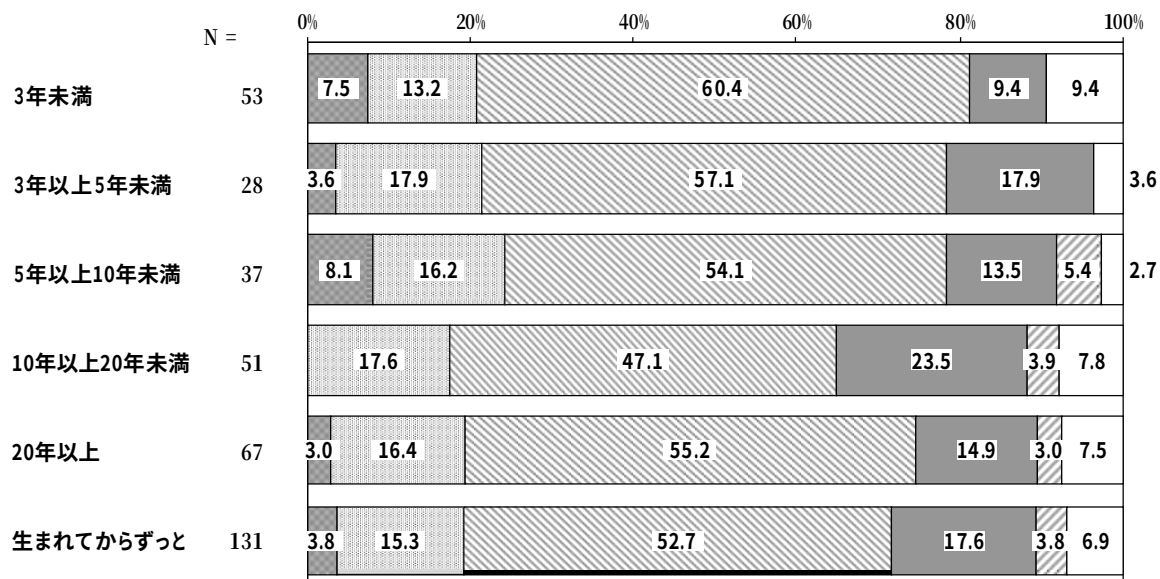
【年代別】

年代別でみると、年代が高くなるにつれ“不満”の割合が高くなっています。



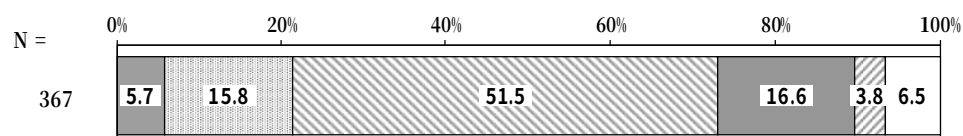
【居住年数別】

居住年数別でみると、他に比べ、10年以上20年未満で“満足”の割合が高く、2割台半ばとなっています。



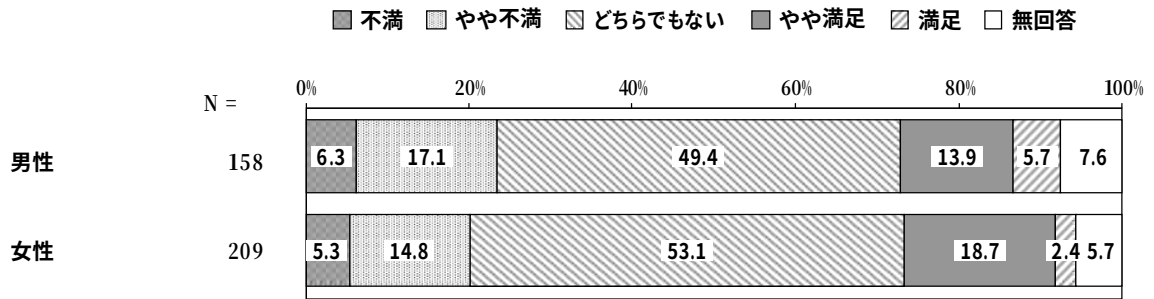
（１４）必要な医療サービスが受けられる

「不満」と「やや不満」を合わせた“不満”の割合が21.5%、「やや満足」と「満足」を合わせた“満足”の割合が20.4%となっています。



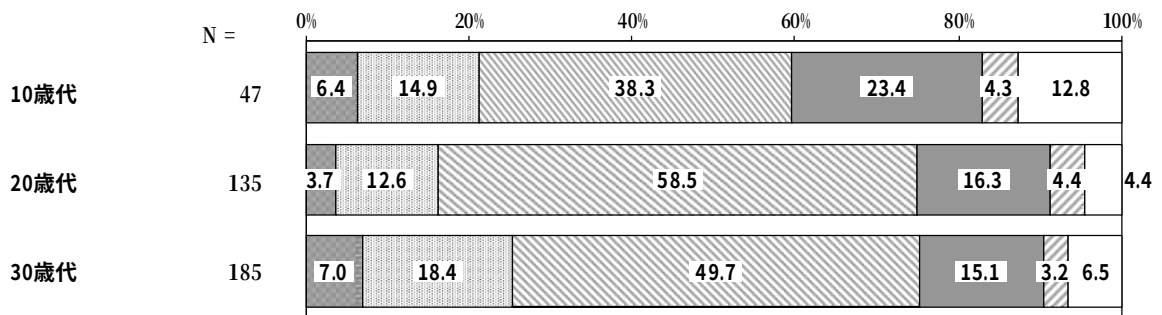
【性 別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



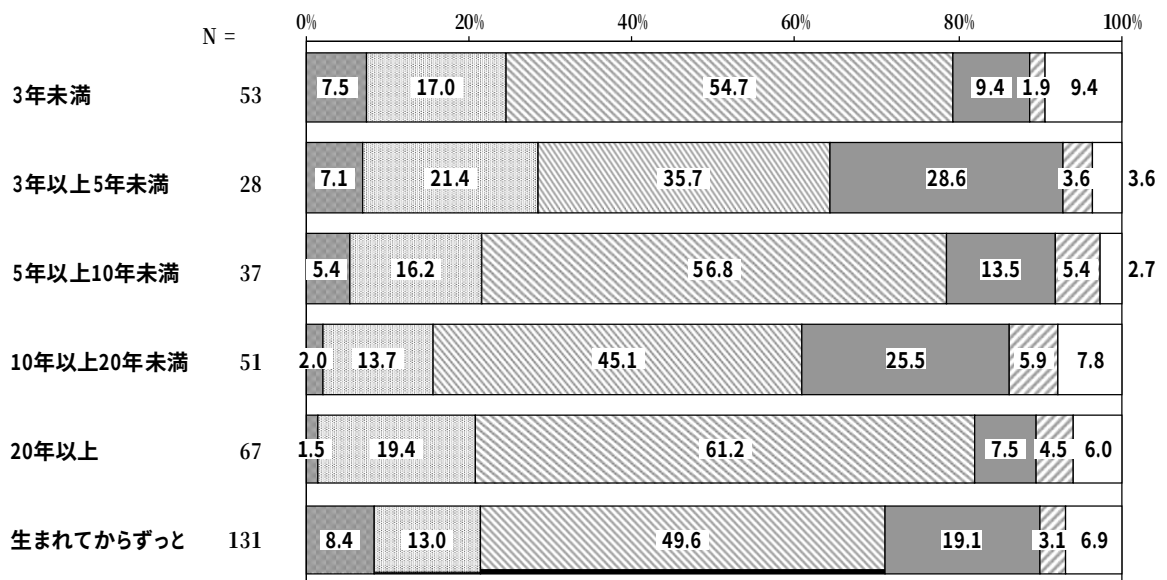
【年代別】

年代別でみると、年代が低くなるにつれ“満足”の割合が高くなっています。



【居住年数別】

居住年数別でみると、他に比べ、3年以上5年未満、10年以上20年未満で“満足”の割合が高く、3割を超えています。



【ポートフォリオによる分析】

(1) 満足度・今後の重要性の得点化

14 項目の質問項目について、「満足度」と「重要度」を 5 つの選択肢の中から回答してもらい、下記の手順で得点化し、分析を行いました。

■満足度・今後の重要性の得点化の手順■

満足度		得点		重要度		得点
不満		-2 点		重要ではない	→	-2 点
やや不満	→	-1 点		あまり重要ではない	→	-1 点
どちらでもない	→	0 点		どちらでもない	→	0 点
やや満足	→	1 点		やや重要	→	1 点
満足	→	2 点		重要	→	2 点
無回答	→	計算対象外		無回答	→	計算対象外

■得点の算出式■

2点×「満足(重要)」の回答数

+1点×「やや満足(やや重要)」の回答数

+0点×「どちらでもない」の回答数

−1点×「やや不満(あまり重要ではない)」の回答数

−2点×「不満(重要ではない)」の回答数／無回答を除く回答数

算出された満足度・重要度の得点をもとに、各施策の満足度・重要度別に順位付けを行いました。

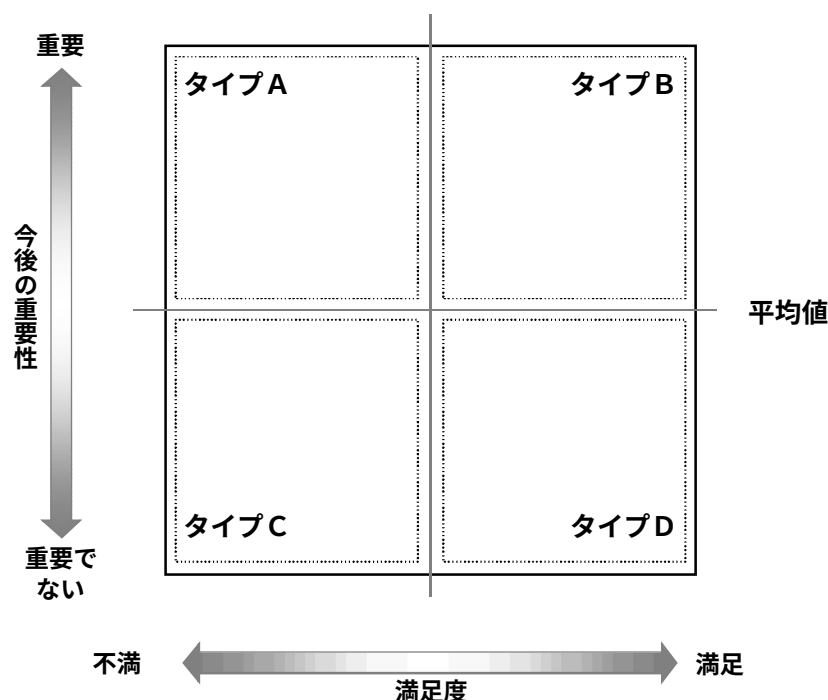
■満足度・重要度のベスト3とワースト3■

満 足 度		順位	重 要 度	
施策名	得点		得点	施策名
(11)健康で暮らせる環境づくり	0.06	第1位	1.50	(8) 安心して子育てできる環境づくり
(6) 地域と市民の元気づくり	0.06	第2位	1.50	(14)必要な医療サービスが受けられる
(12)支え合いにより地域で暮らせる仕組みづくり	0.00	第3位	1.43	(13)安心して暮らせる生活環境づくり
(10)結婚への機会づくり	-0.14	第12位	0.86	(6) 地域と市民の元気づくり
(3) 「ひと」と「しごと」の好循環の構築	-0.17	第13位	0.79	(5) 定住・移住の促進
(4) 市の魅力の向上と発信	-0.24	最下位	0.39	(10)結婚への機会づくり

(2) ポートフォリオ分析による満足度・重要度の評価

各項目の満足度・重要度の得点の関係について、満足度・重要度をそれぞれ縦軸と横軸にとり、得点の平均値を境界として、4つの領域に区分したプロット図を作成し、今後の施策の方向性について分析しました。

施策は、全体的に満足度が低く、重要度が高い傾向があり、その中でも重要度および満足度が高い理由についての検証が必要なタイプBに特に分布しています。



◆タイプA

満足度は低い、重要度は高い

→ 今後の重点課題として検討が必要なタイプ。

◆タイプB

満足度は高く、重要度も高い

→ 事業の継続実施、もしくは施策展開について検討が必要なタイプ。

◆タイプC

満足度は低く、重要度も低い

→ 全体に比べ、重要度および満足度が低い理由についての検証が必要なタイプ。施策の縮小や廃止などを含めた検討が必要。

◆タイプD

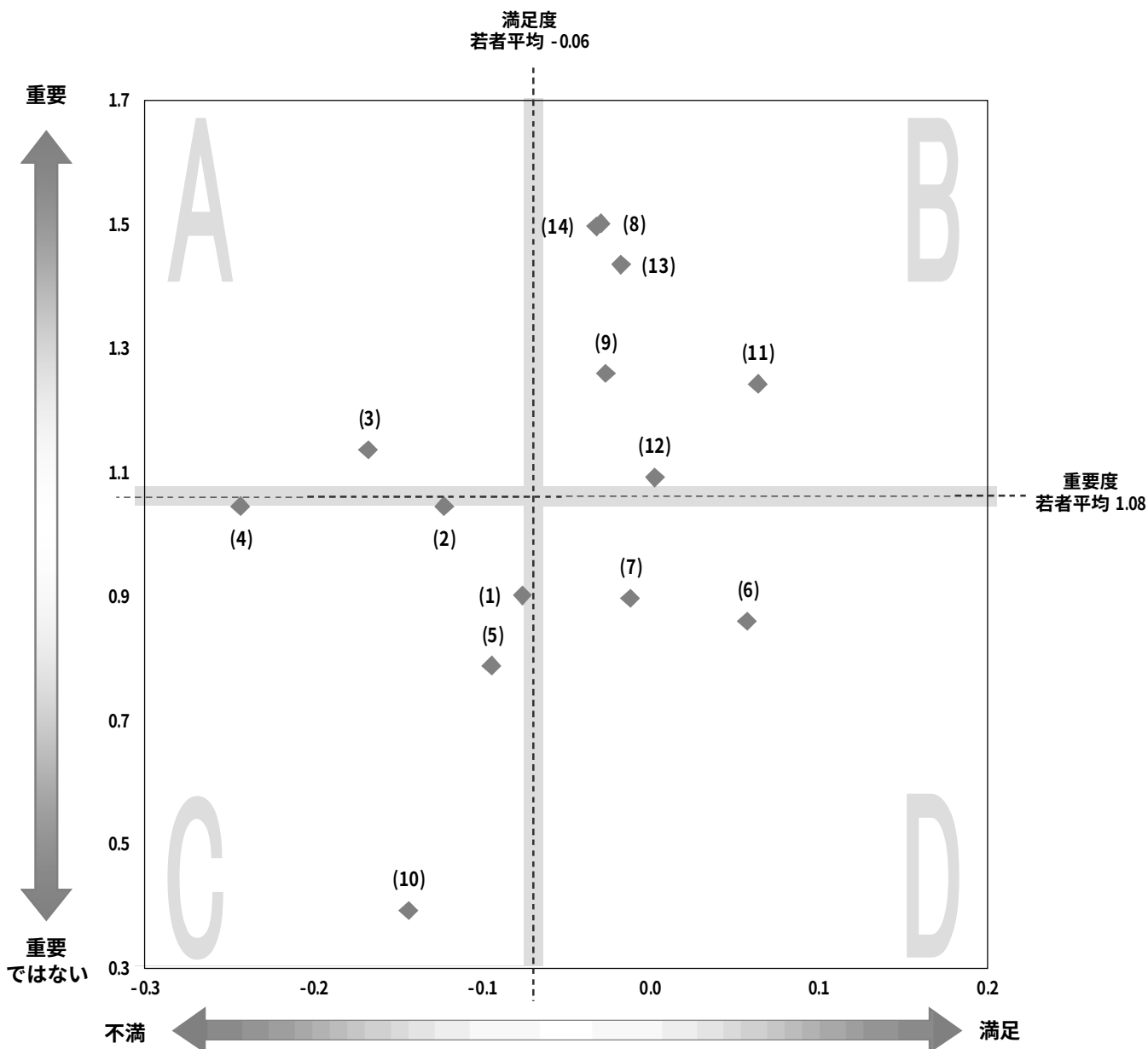
満足度は高い、重要度は低い

→ これまでの施策が充実した結果、満足度が高くなったものが含まれていると考えられるタイプ。ただし、施策が過剰になっていないか検討が必要。

●施策のポートフォリオ分析（N = 367）

満足度は低い、重要度は高い施策（タイプA）は、『(3) 「ひと」と「しごと」の好循環の構築』となっています。

また、満足度は高く、重要度も高い施策（タイプB）は、『(8) 安心して子育てできる環境づくり』『(9) 子どもの心に寄り添い、個々の力を引き出し、伸ばす』『(11)健康で暮らせる環境づくり』『(12)支え合いにより地域で暮らせる仕組みづくり』『(13)安心して暮らせる生活環境づくり』『(14)必要な医療サービスが受けられる』となっています。

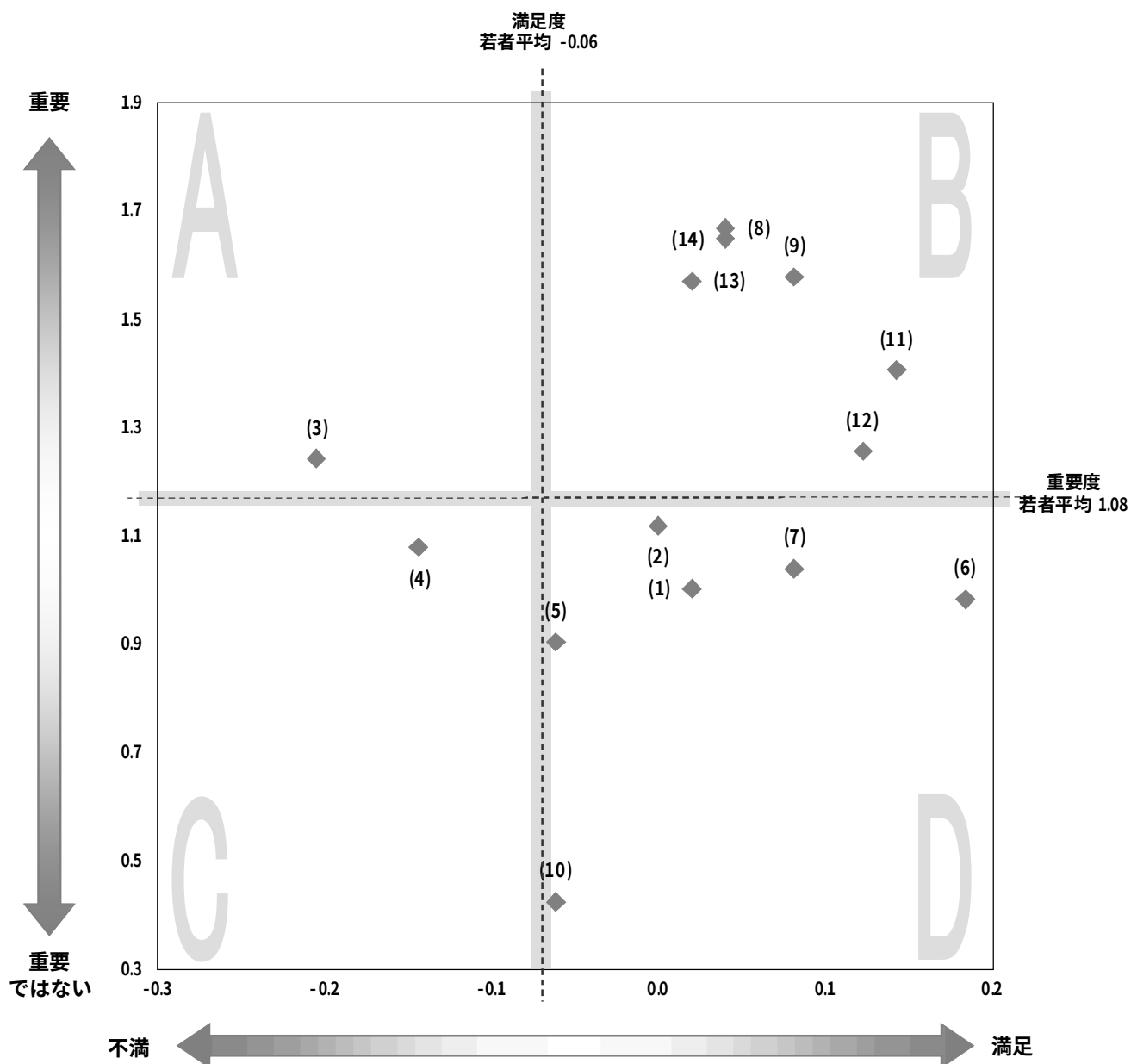


項目	
(1) 企業の誘致・拡張と活動の支援	(8) 安心して子育てできる環境づくり
(2) 地域産業の活力づくり	(9) 子どもの心に寄り添い、個々の力を引き出し、伸ばす
(3) 「ひと」と「しごと」の好循環の構築	(10)結婚への機会づくり
(4) 市の魅力の向上と発信	(11)健康で暮らせる環境づくり
(5) 定住・移住の促進	(12)支え合いにより地域で暮らせる仕組みづくり
(6) 地域と市民の元気づくり	(13)安心して暮らせる生活環境づくり
(7) 子どもたちのふるさとを愛する心を育む	(14)必要な医療サービスが受けられる

【問13 ずっと可児市に住みたいと答えた人のみ】(N = 52)

若者平均に比べ、満足度は低い、重要度は高い施策(タイプA)は、『(3)「ひと」と「しごと」の好循環の構築』となっています。

また、満足度は高く、重要度も高い施策(タイプB)は、『(1)安心して子育てできる環境づくり』『(9)子どもの心に寄り添い、個々の力を引き出し、伸ばす』『(11)健康で暮らせる環境づくり』『(12)支え合いにより地域で暮らせる仕組みづくり』『(13)安心して暮らせる生活環境づくり』『(14)必要な医療サービスが受けられる』となっています。

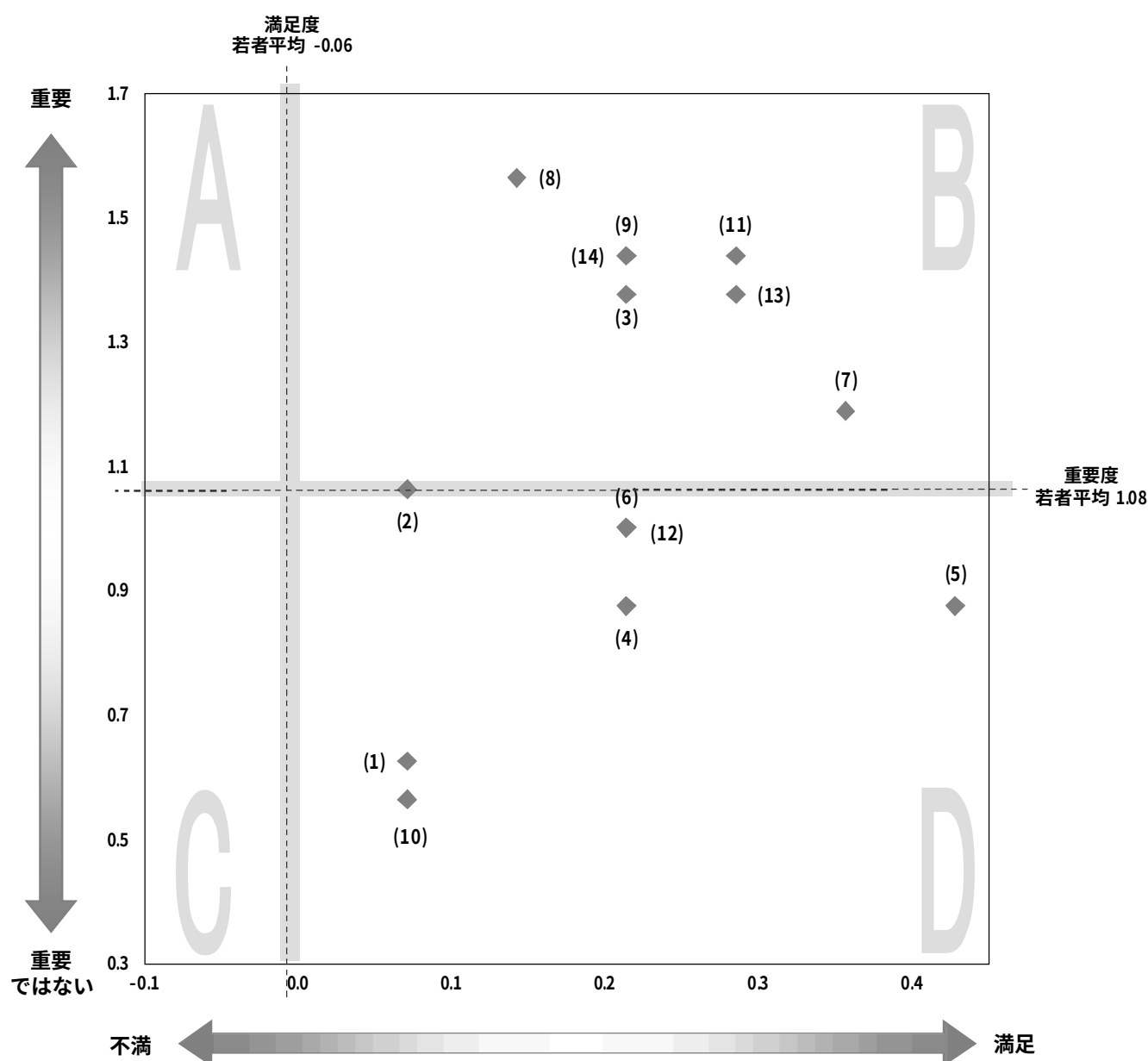


項目	
(1) 企業の誘致・拡張と活動の支援	(8) 安心して子育てできる環境づくり
(2) 地域産業の活力づくり	(9) 子どもの心に寄り添い、個々の力を引き出し、伸ばす
(3) 「ひと」と「しごと」の好循環の構築	(10) 結婚への機会づくり
(4) 市の魅力の向上と発信	(11) 健康で暮らせる環境づくり
(5) 定住・移住の促進	(12) 支え合いにより地域で暮らせる仕組みづくり
(6) 地域と市民の元気づくり	(13) 安心して暮らせる生活環境づくり
(7) 子どもたちのふるさとを愛する心を育む	(14) 必要な医療サービスが受けられる

【問13 可児市外へ出ても、将来的には可児市へ戻りたいのみ】(N = 16)

若者平均に比べ、満足度は低いが、重要度は高い施策(タイプA)は、ありません。

また、満足度は高く、重要度も高い施策(タイプB)は、『(3)「ひと」と「しごと」の好循環の構築』『(7)子どもたちのふるさとを愛する心を育む』『(8)安心して子育てできる環境づくり』『(9)子どもの心に寄り添い、個々の力を引き出し、伸ばす』『(11)健康で暮らせる環境づくり』『(13)安心して暮らせる生活環境づくり』『(14)必要な医療サービスが受けられる』となっています。

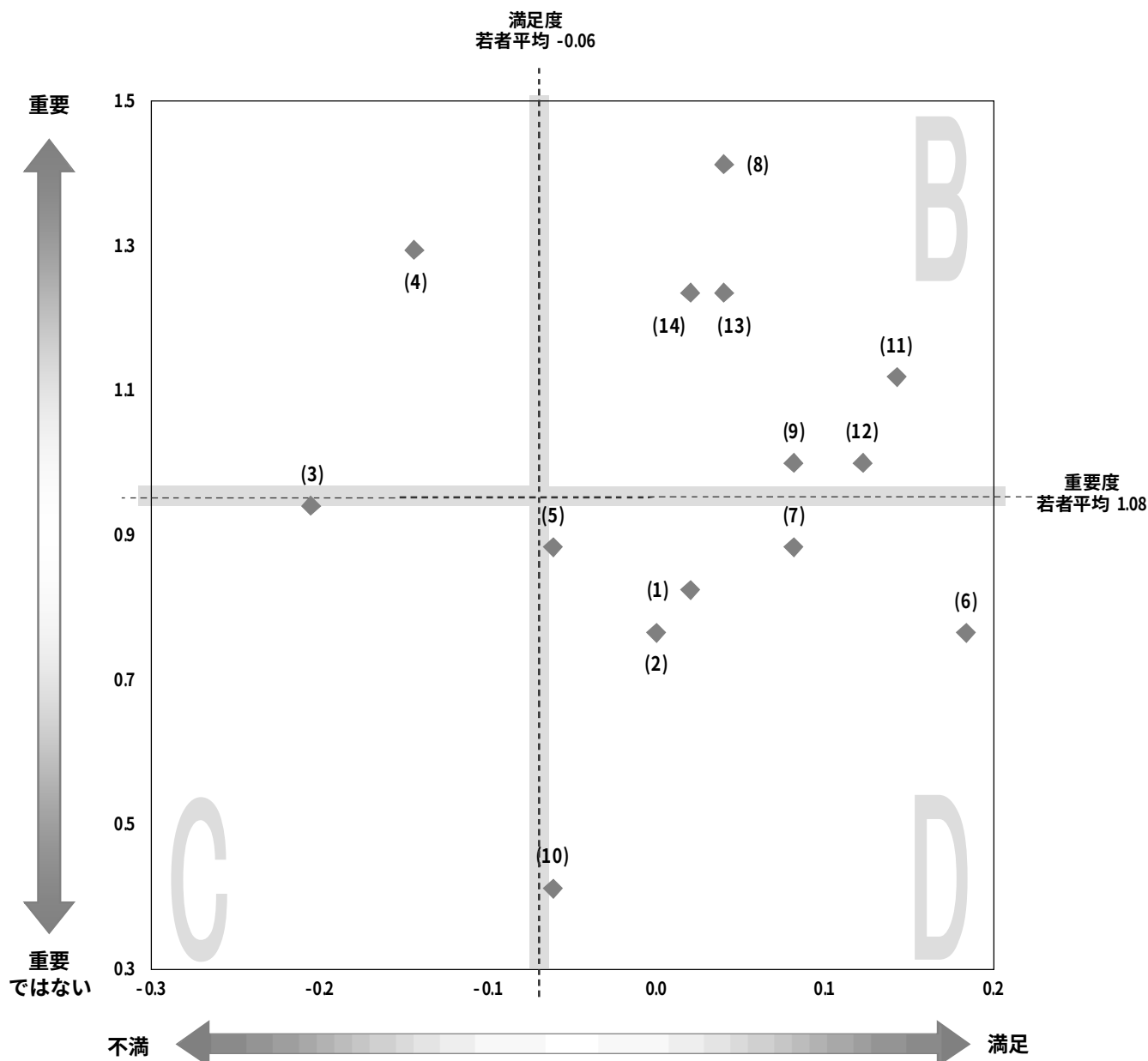


項目	
(1) 企業の誘致・拡張と活動の支援	(8) 安心して子育てできる環境づくり
(2) 地域産業の活力づくり	(9) 子どもの心に寄り添い、個々の力を引き出し、伸ばす
(3) 「ひと」と「しごと」の好循環の構築	(10) 結婚への機会づくり
(4) 市の魅力の向上と発信	(11) 健康で暮らせる環境づくり
(5) 定住・移住の促進	(12) 支え合いにより地域で暮らせる仕組みづくり
(6) 地域と市民の元気づくり	(13) 安心して暮らせる生活環境づくり
(7) 子どもたちのふるさとを愛する心を育む	(14) 必要な医療サービスが受けられる

【問13 できれば可児市以外に引越したい（引越し予定）】（N = 17）

満足度は低い、重要度は高い施策（タイプA）は、『(4) 市の魅力の向上と発信』となっています。

また、満足度は高く、重要度も高い施策（タイプB）は、『(8) 安心して子育てできる環境づくり』『(9) 子どもの心に寄り添い、個々の力を引き出し、伸ばす』『(11)健康で暮らせる環境づくり』『(12)支え合いにより地域で暮らせる仕組みづくり』『(13)安心して暮らせる生活環境づくり』『(14)必要な医療サービスが受けられる』となっています。



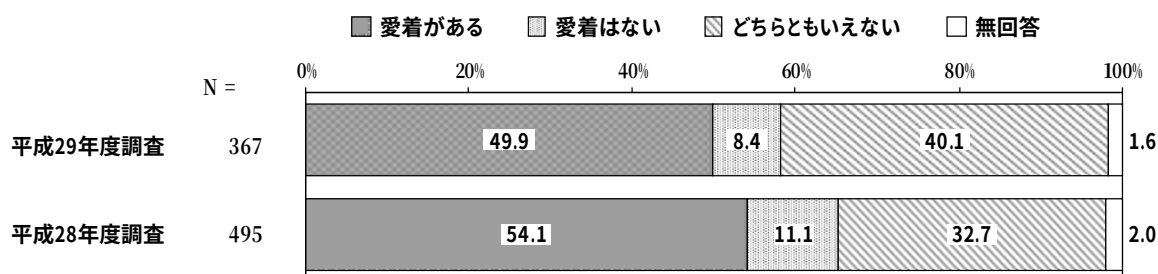
項目	
(1) 企業の誘致・拡張と活動の支援	(8) 安心して子育てできる環境づくり
(2) 地域産業の活力づくり	(9) 子どもの心に寄り添い、個々の力を引き出し、伸ばす
(3) 「ひと」と「しごと」の好循環の構築	(10)結婚への機会づくり
(4) 市の魅力の向上と発信	(11)健康で暮らせる環境づくり
(5) 定住・移住の促進	(12)支え合いにより地域で暮らせる仕組みづくり
(6) 地域と市民の元気づくり	(13)安心して暮らせる生活環境づくり
(7) 子どもたちのふるさとを愛する心を育む	(14)必要な医療サービスが受けられる

（４）可児市のイメージについて

問 12 可児市に愛着はありますか。

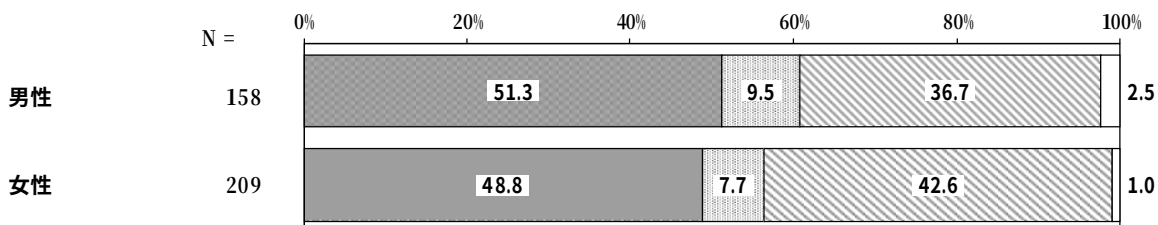
「愛着がある」の割合が 49.9%と最も高く、次いで「どちらともいえない」の割合が 40.1%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、「どちらともいえない」の割合が増加しています。



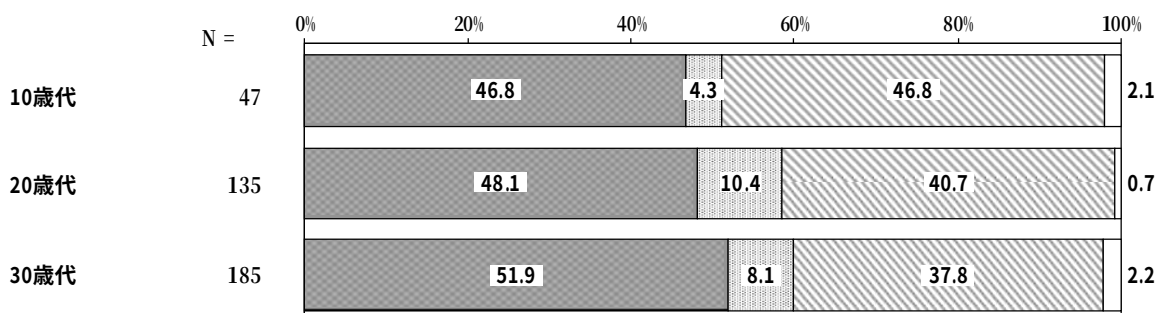
【性 別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「どちらともいえない」の割合が高くなっています。



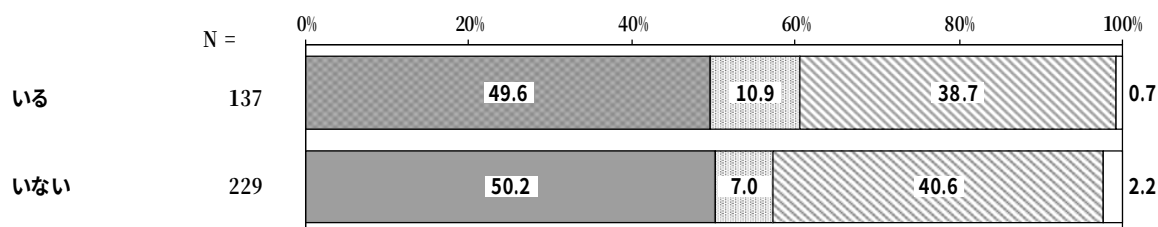
【年代別】

年代別でみると、年代が高くなるにつれ「愛着がある」の割合が高くなっています。



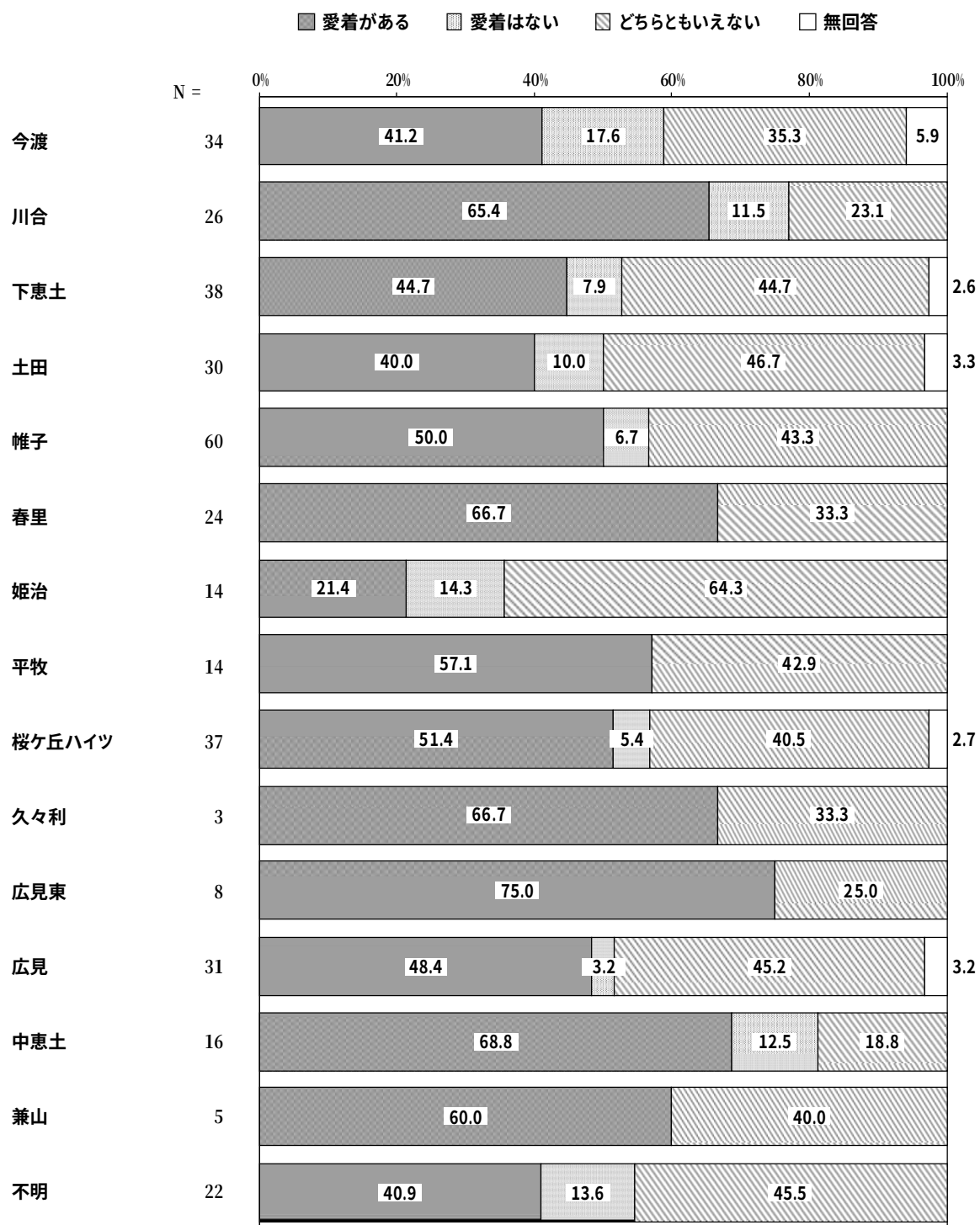
【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、大きな差異はみられません。



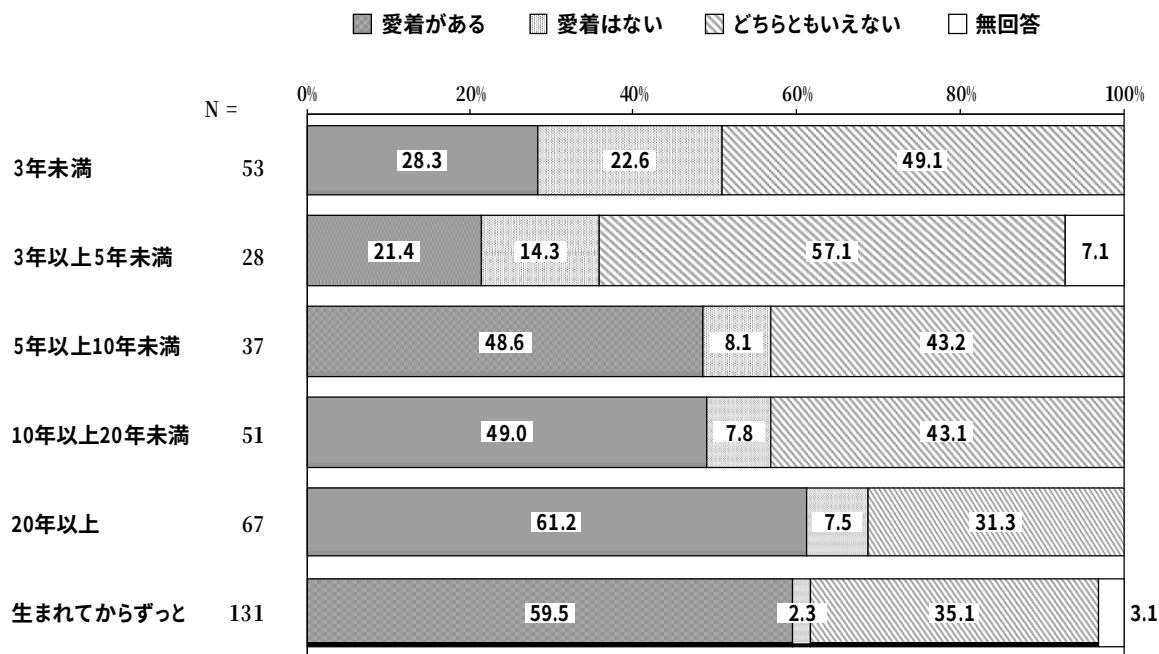
【居住地区別】

居住地区別でみると、川合、春里、中恵土で、「愛着がある」の割合が高く、6割台半ばとなっています。



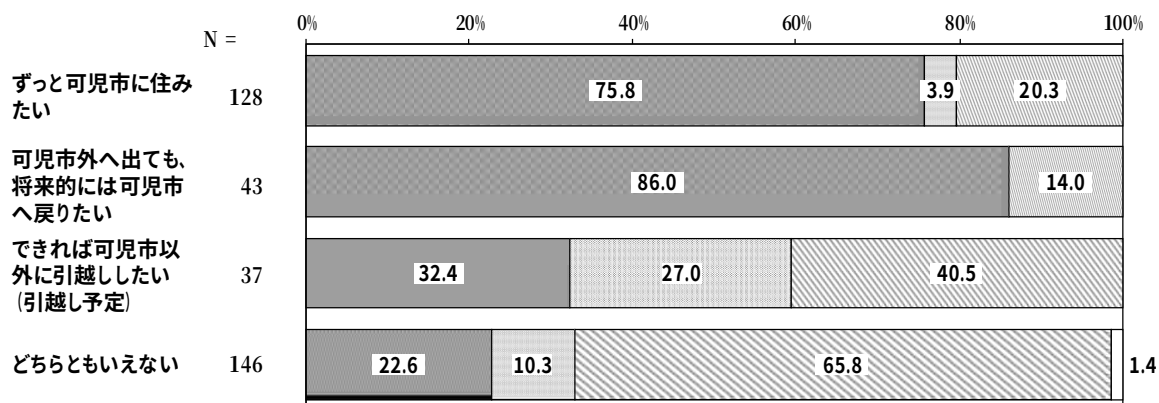
【居住年数別】

居住年数別でみると、他に比べ、20年以上、生まれてからずっとで「愛着がある」の割合が高く、約6割となっています。



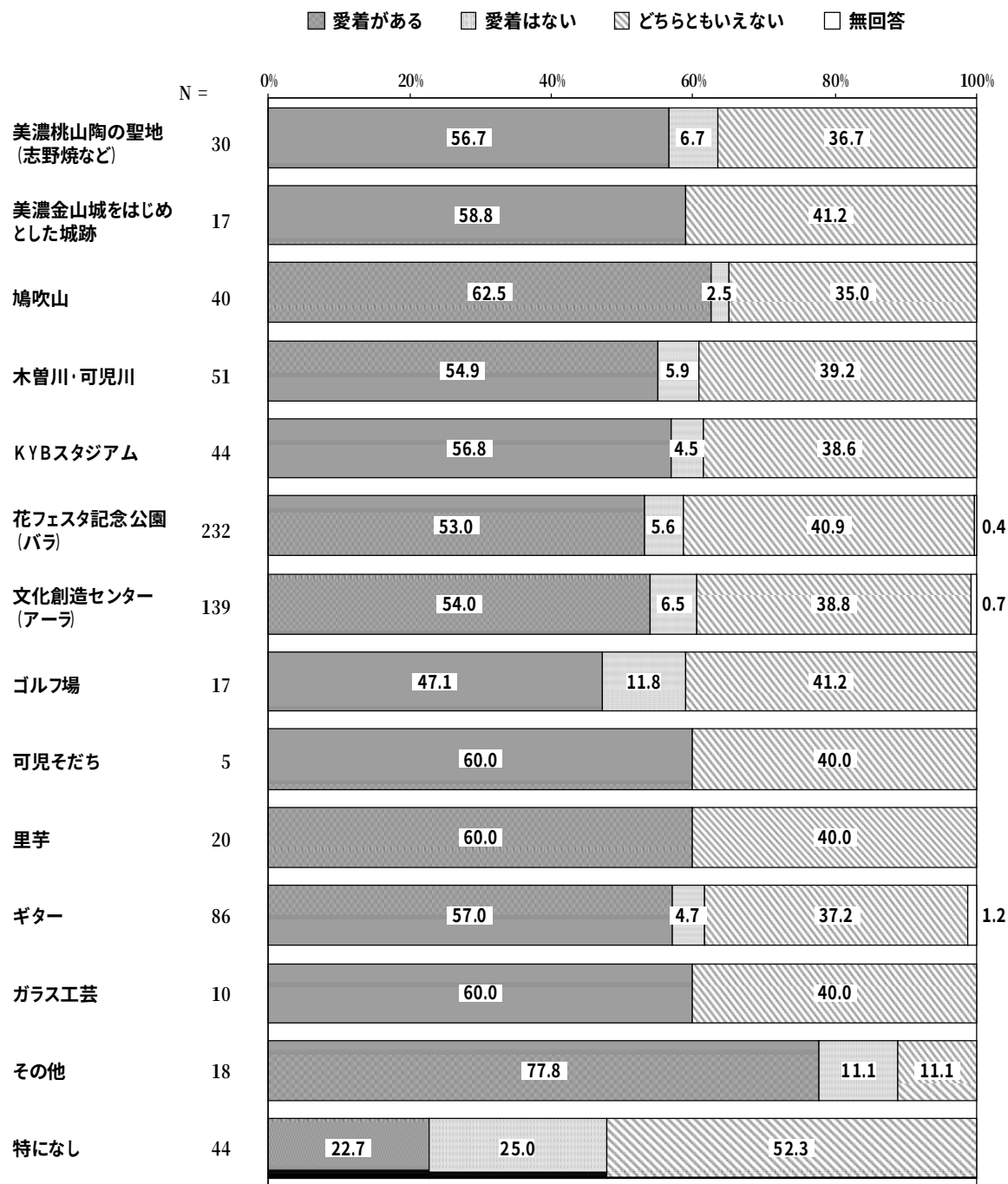
【可児市への定住意向別】

可児市への定住意向別でみると、他に比べ、可児市外へ出ても、将来的には可児市へ戻りたいで「愛着がある」の割合が高く、8割台半ばとなっています。



【自慢できる観光資源別】

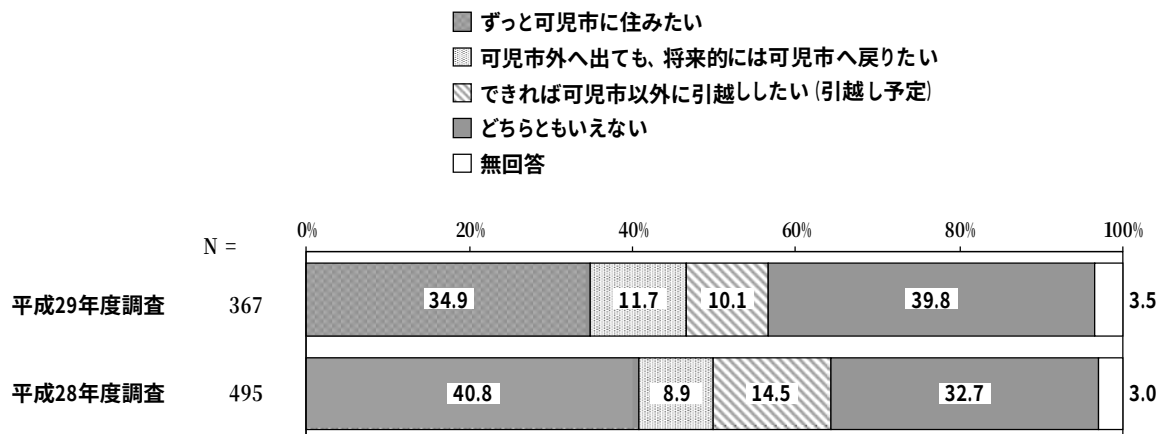
自慢できる観光資源別でみると、他に比べ、鳩吹山、里芋、ガラス工芸で「愛着がある」の割合が高く、約6割となっています。



問 13 あなたは、可児市に今後も住み続けようと思いますか。(○は1つだけ)

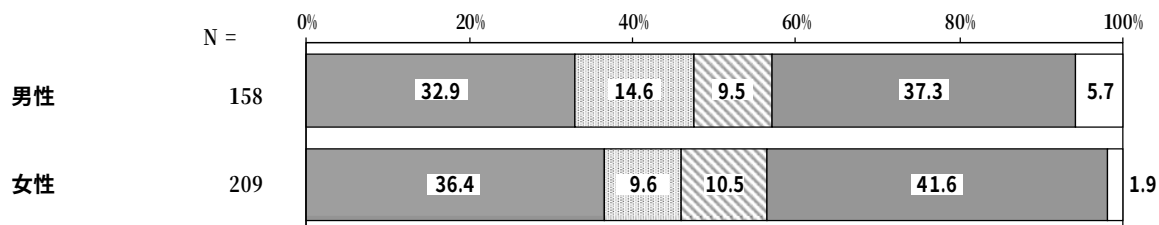
「どちらともいえない」の割合が 39.8%と最も高く、次いで「ずっと可児市に住みたい」の割合が 34.9%、「可児市外へ出て、将来的には可児市へ戻りたい」の割合が 11.7%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、「どちらともいえない」の割合が増加しています。一方、「ずっと可児市に住みたい」の割合が減少しています。



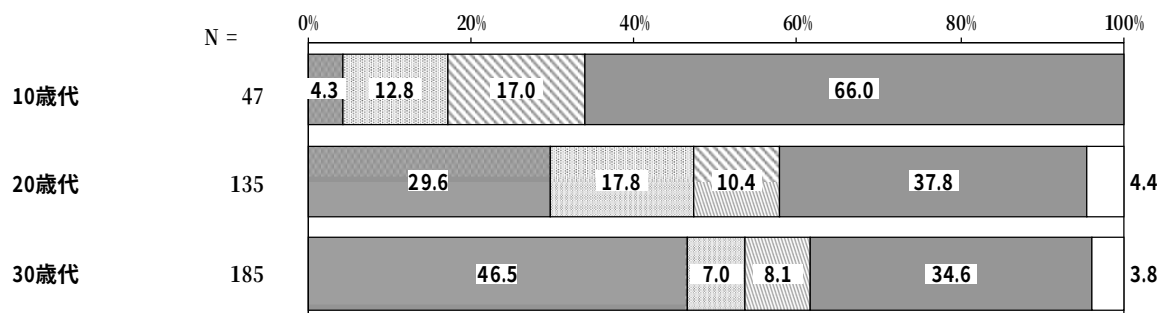
【性 別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「可児市外へ出て、将来的には可児市へ戻りたい」の割合が高くなっています。



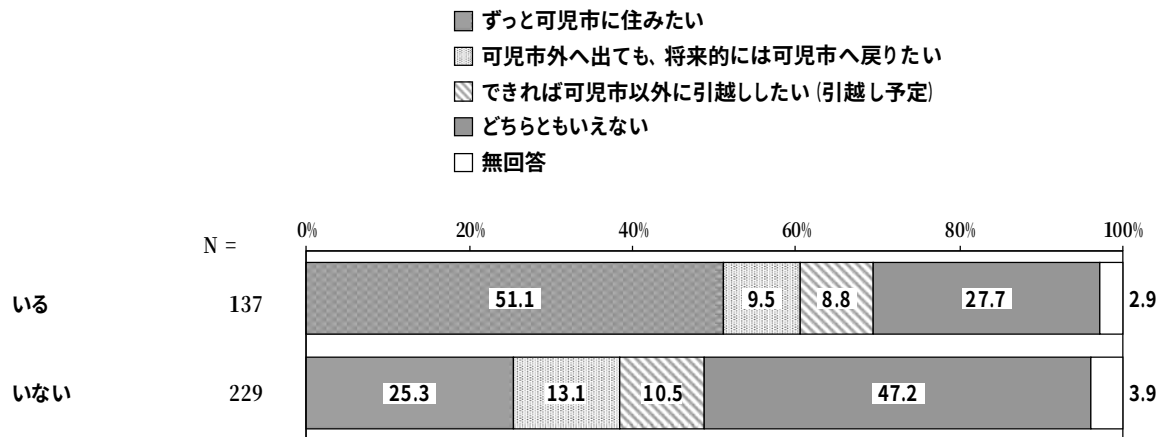
【年代別】

年代別でみると、年代が高くなるにつれ「ずっと可児市に住みたい」の割合が高く、30 歳代で 4 割台半ばとなっています。



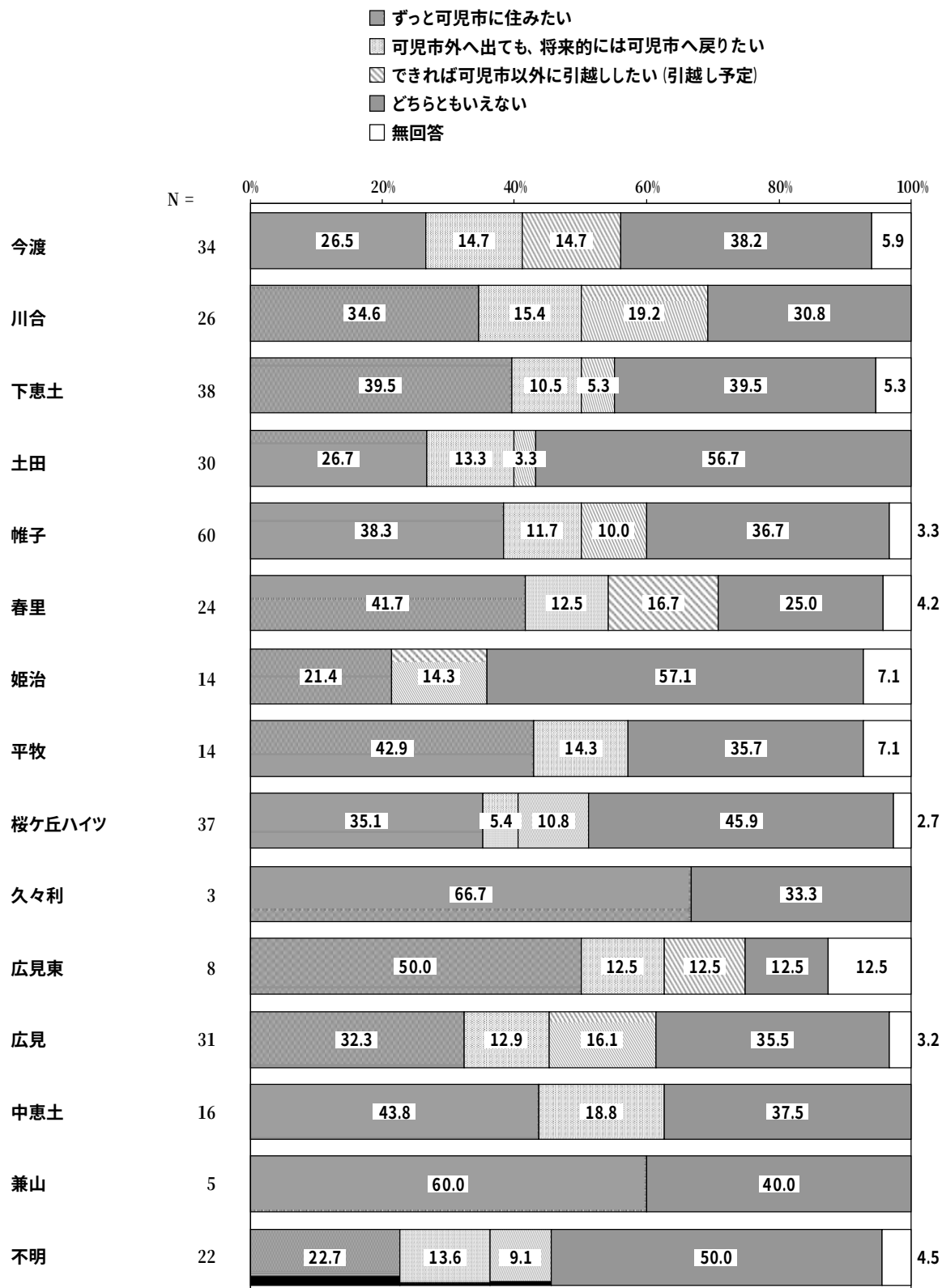
【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で「ずっと可児市に住みたい」の割合が高く、約5割となっています。また、子どもがいる人に比べ、子どもがいない人で「どちらともいえない」の割合が高く、4割台半ばとなっています。



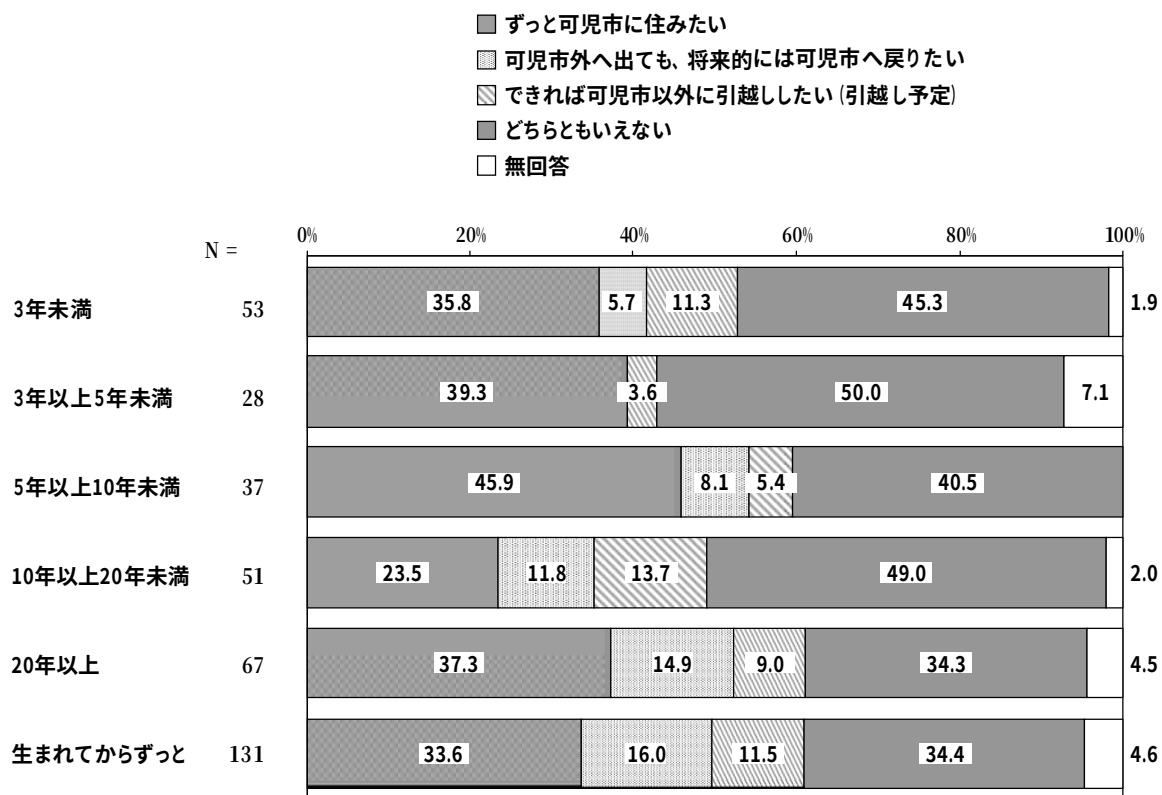
【居住地区別】

居住地区別でみると、他と比べて、春里、平牧、中恵土で「ずっと可児市に住みたい」の割合が高くなっています。



【居住年数別】

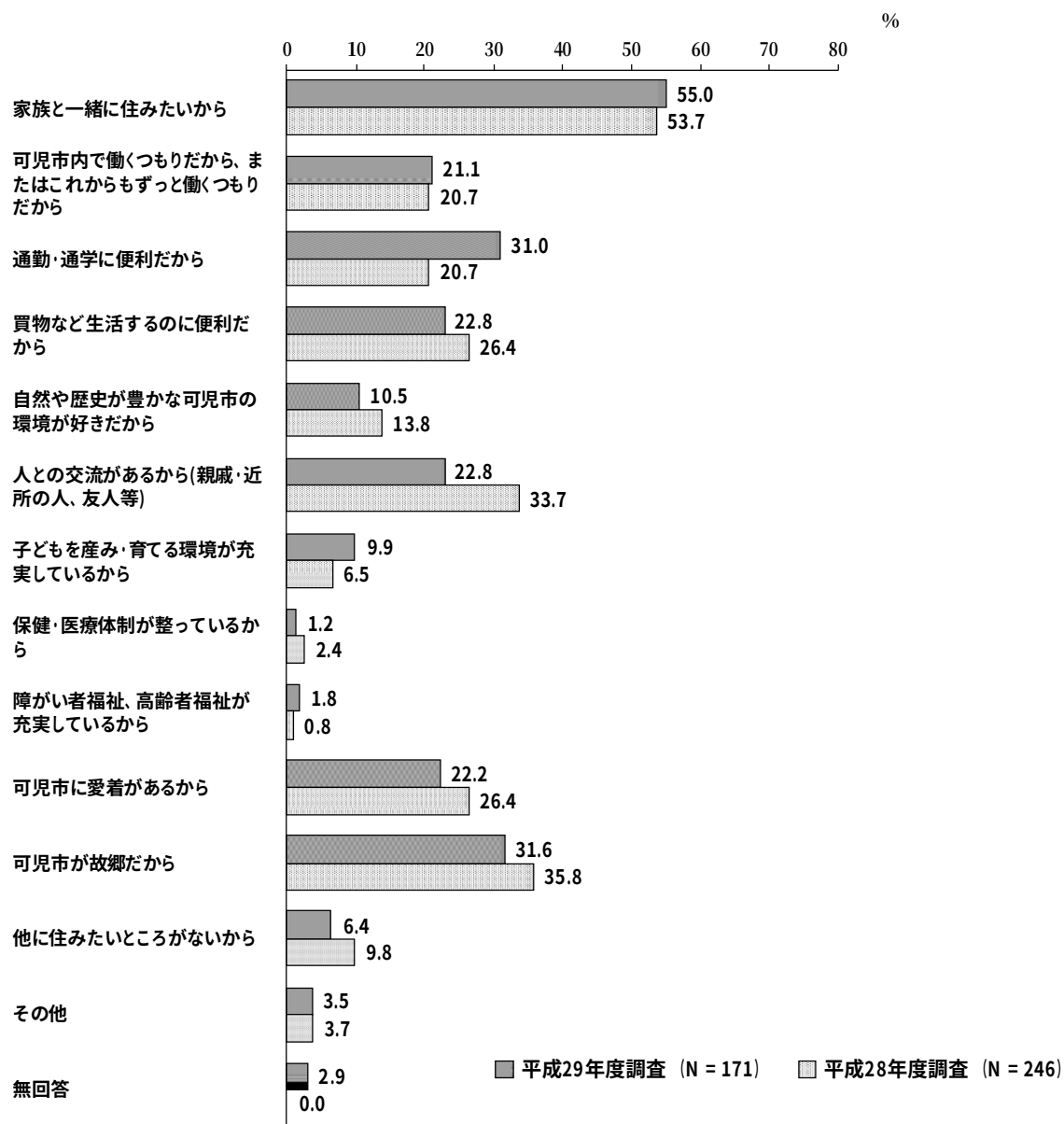
居住年数別でみると、他に比べ、5年以上10年未満で「ずっと可児市に住みたい」の割合が高く、4割台半ばとなっています。



問 14 問 13 で 1 または 2 (ずっと可児市に住みたい 可児市外に出ても、将来的には可児市へ戻りたい)とお答えになった方は、その理由を次の中から「3つまで」選んで番号に○をつけてください。

「家族と一緒に住みたいから」の割合が 55.0%と最も高く、次いで「可児市が故郷だから」の割合が 31.6%、「通勤・通学に便利だから」の割合が 31.0%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、「通勤・通学に便利だから」の割合が増加しています。一方、「人との交流があるから(親戚・近所の人、友人等)」の割合が減少しています。



【性 別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「可児市内で働くつもりだから、またはこれからずっと働くつもりだから」「通勤・通学に便利だから」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「家族と一緒に住みたいから」「子どもを産み・育てる環境が充実しているから」「他に住みたいところがないから」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	家族と一緒に住みたいから	可児市内で働くつもりだから、またはこれからずっと働くつもりだから	通勤・通学に便利だから	買物など生活するのに便利だから	自然や歴史が豊かな可児市の環境が好きだから	人との交流があるから(親戚・近所の人、友人等)	子どもを産み・育てる環境が充実しているから	保健・医療体制が整っているから	障がい者福祉、高齢者福祉が充実しているから	可児市に愛着があるから	可児市が故郷だから	他に住みたいところがないから	その他	無回答
男性	75	50.7	25.3	45.3	24.0	8.0	25.3	5.3	—	2.7	20.0	29.3	2.7	1.3	—
女性	96	58.3	17.7	19.8	21.9	12.5	20.8	13.5	2.1	1.0	24.0	33.3	9.4	5.2	5.2

【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、20 歳代で「家族と一緒に住みたいから」「人との交流があるから(親戚・近所の人、友人等)」「可児市が故郷だから」の割合が、30 歳代で「買物など生活するのに便利だから」「他に住みたいところがないから」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	家族と一緒に住みたいから	可児市内で働くつもりだから、またはこれからずっと働くつもりだから	通勤・通学に便利だから	買物など生活するのに便利だから	自然や歴史が豊かな可児市の環境が好きだから	人との交流があるから(親戚・近所の人、友人等)	子どもを産み・育てる環境が充実しているから	保健・医療体制が整っているから	障がい者福祉、高齢者福祉が充実しているから	可児市に愛着があるから	可児市が故郷だから	他に住みたいところがないから	その他	無回答
10 歳代	8	62.5	12.5	12.5	—	—	37.5	25.0	12.5	—	50.0	75.0	12.5	—	—
20 歳代	64	59.4	20.3	32.8	18.8	12.5	26.6	7.8	1.6	1.6	23.4	37.5	1.6	—	1.6
30 歳代	99	51.5	22.2	31.3	27.3	10.1	19.2	10.1	—	2.0	19.2	24.2	9.1	6.1	4.0

【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で「家族と一緒に住みたいから」「可見市内で働くつもりだから、またはこれからずっと働くつもりだから」「子どもを産み・育てる環境が充実しているから」の割合が高くなっています。また、子どもがいる人に比べ、子どもがいない人で「可見市に愛着があるから」「可見市が故郷だから」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	家族と一緒に住みたいから	可見市内で働くつもりだから、またはこれからずっと働くつもりだから	通勤・通学に便利だから	買物など生活するのに便利だから	自然や歴史が豊かな可見市の環境が好きだから	人との交流があるから（親戚・近所の人、友人等）	子どもを産み・育てる環境が充実しているから	保健・医療体制が整っているから	障がい者福祉、高齢者福祉が充実しているから	可見市に愛着があるから	可見市が故郷だから	他に住みたいところがないから	その他	無回答
いる	83	57.8	24.1	32.5	20.5	8.4	20.5	14.5	1.2	—	15.7	22.9	6.0	4.8	6.0
いない	88	52.3	18.2	29.5	25.0	12.5	25.0	5.7	1.1	3.4	28.4	39.8	6.8	2.3	—

【定住意向別】

定住意向別でみると、可見市外へ出ても、将来的には可見市へ戻りたい人で「可見市が故郷だから」「自然や歴史が豊かな可見市の環境が好きだから」の割合が高くなっています。

区分	有効回答数（件）	家族と一緒に住みたいから	可見市内で働くつもりだから、またはこれからずっと働くつもりだから	通勤・通学に便利だから	買物など生活するのに便利だから	自然や歴史が豊かな可見市の環境が好きだから	人との交流があるから（親戚・近所の人、友人等）	子どもを産み・育てる環境が充実しているから	保健・医療体制が整っているから	障がい者福祉、高齢者福祉が充実しているから	可見市に愛着があるから	可見市が故郷だから	他に住みたいところがないから	その他	無回答
ずっと可見市に住みたい	128	56.3	21.9	30.5	26.6	9.4	21.1	10.2	—	2.3	21.1	25.8	7.0	3.9	3.9
可見市外へ出ても、将来的には可見市へ戻りたい	43	51.2	18.6	32.6	11.6	14.0	27.9	9.3	4.7	—	25.6	48.8	4.7	2.3	—

【居住地区別】

居住地区別でみると、春里を除いた地区で「家族と一緒に住みたいから」の割合が高くなっています。また、他と比べて、春里で「可見市に愛着があるから」の割合が高くなっています。

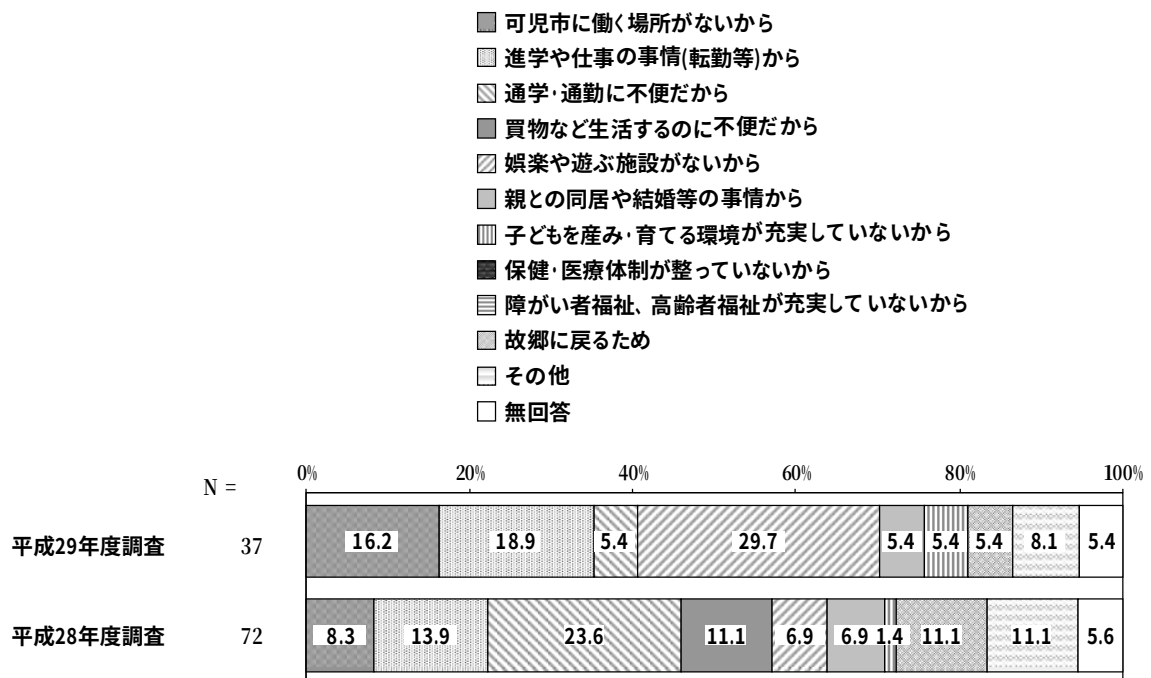
単位：％

区分	有効回答数(件)	家族と一緒に住みたいから	可見市内で働くつもりだから、またはこれからもずっと働くつもりだから	通勤・通学に便利だから	買物など生活するのに便利だから	自然や歴史が豊かな可見市の環境が好きだから	人との交流があるから(親戚・近所の人、友人等)	子どもを産み・育てる環境が充実しているから	保健・医療体制が整っているから	障がい者福祉、高齢者福祉が充実しているから	可見市に愛着があるから	可見市が故郷だから	他に住みたいところがないから	その他	無回答
今渡	14	64.3	21.4	42.9	28.6	28.6	28.6	7.1	—	—	14.3	28.6	—	7.1	—
川合	13	46.2	30.8	38.5	23.1	7.7	15.4	—	—	—	38.5	30.8	—	7.7	7.7
下恵土	19	52.6	21.1	47.4	42.1	—	10.5	21.1	—	—	21.1	26.3	5.3	—	—
土田	12	58.3	16.7	8.3	8.3	—	33.3	16.7	8.3	—	33.3	58.3	8.3	8.3	—
帷子	30	73.3	16.7	20.0	16.7	16.7	16.7	6.7	3.3	3.3	16.7	26.7	10.0	—	3.3
春里	13	38.5	15.4	23.1	30.8	7.7	30.8	—	—	7.7	46.2	46.2	—	—	—
姫治	3	—	—	33.3	—	33.3	33.3	—	—	—	33.3	33.3	33.3	—	—
平牧	8	50.0	25.0	50.0	25.0	12.5	37.5	—	—	12.5	12.5	37.5	—	12.5	—
桜ヶ丘ハイッ	15	53.3	6.7	26.7	6.7	20.0	13.3	20.0	—	—	13.3	—	6.7	6.7	13.3
久々利	2	—	50.0	50.0	50.0	—	50.0	—	—	—	—	—	50.0	—	—
広見東	5	60.0	20.0	40.0	20.0	—	40.0	20.0	—	—	20.0	40.0	—	—	—
広見	14	57.1	28.6	14.3	28.6	—	28.6	7.1	—	—	7.1	50.0	7.1	—	7.1
中恵土	10	80.0	40.0	50.0	30.0	10.0	30.0	20.0	—	—	10.0	20.0	—	—	—
兼山	3	66.7	66.7	—	—	—	—	—	—	—	100.0	66.7	—	—	—
不明	8	25.0	12.5	37.5	25.0	12.5	12.5	12.5	—	—	12.5	25.0	25.0	12.5	—

問 15 問 13 で 3（できれば可児市以外に引越したい(引越し予定)）とお答えになった方は、その理由を次の中から「1つ」選んで番号に○をつけて下さい。

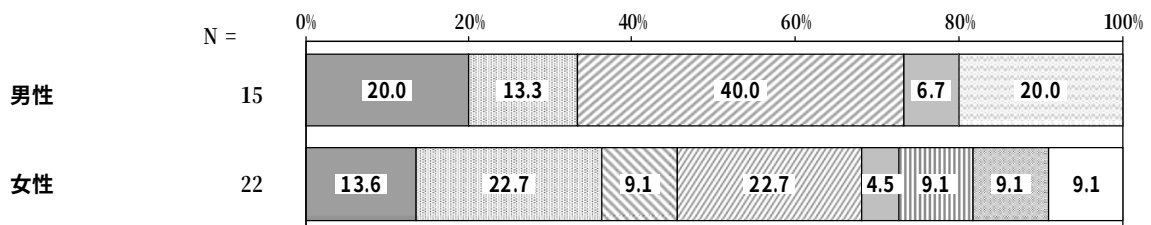
「娯楽や遊ぶ施設がないから」の割合が 29.7%と最も高く、次いで「進学や仕事の事情(転勤等)から」の割合が 18.9%、「可児市に働く場所がないから」の割合が 16.2%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、「可児市に働く場所がないから」「娯楽や遊ぶ施設がないから」の割合が増加しています。一方、「通学・通勤に不便だから」「買物など生活するのに不便だから」「故郷に戻るため」の割合が減少しています。



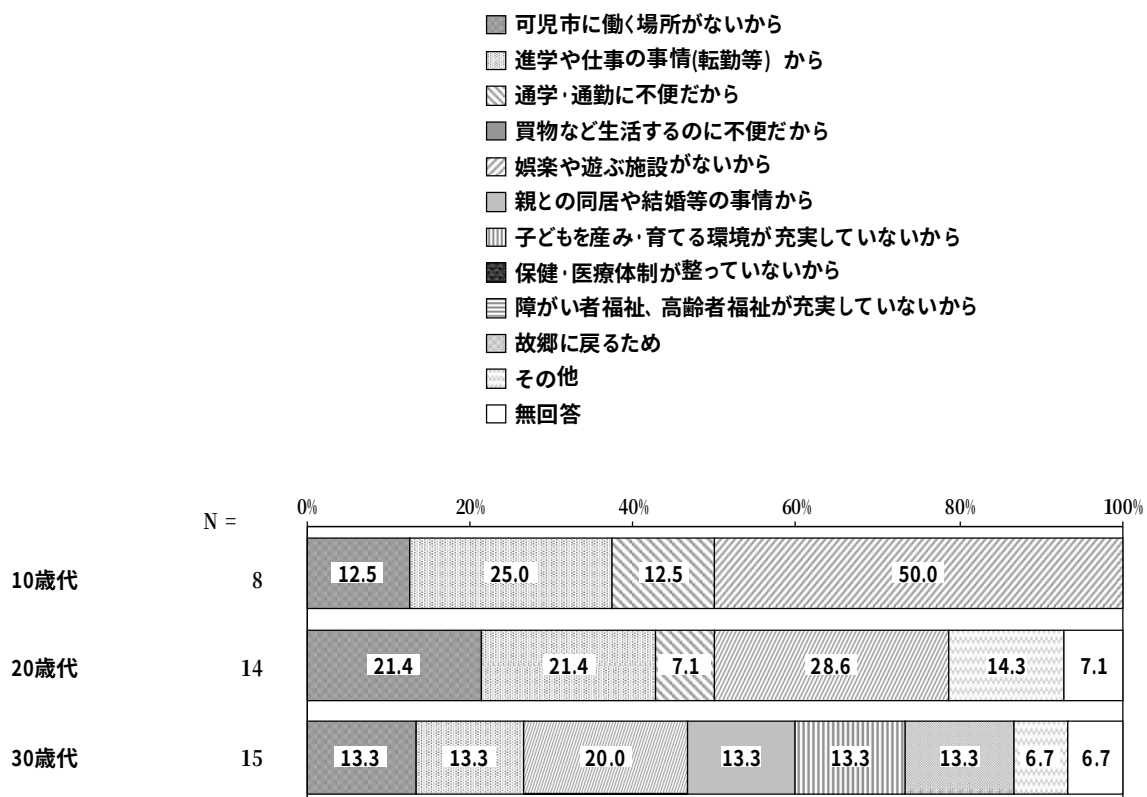
【性 別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「可児市に働く場所がないから」「娯楽や遊ぶ施設がないから」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「進学や仕事の事情(転勤等)から」「通学・通勤に不便だから」「子どもを産み・育てる環境が充実していないから」「故郷に戻るため」の割合が高くなっています。



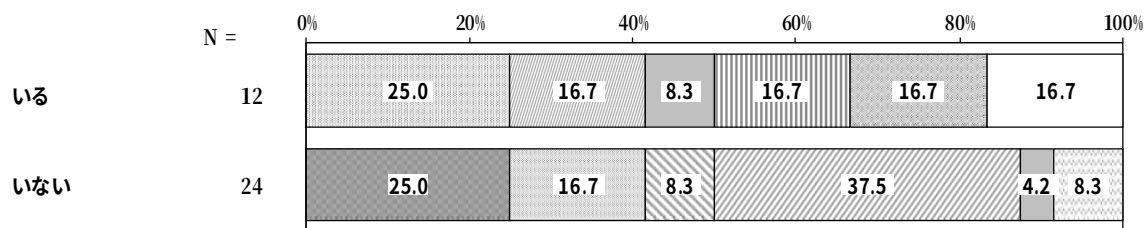
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、20 歳代で「可児市に働く場所がないから」「進学や仕事の事情(転勤等)から」「通学・通勤に不便だから」「娯楽や遊ぶ施設がないから」の割合が、30 歳代で「親との同居や結婚等の事情から」「子どもを産み・育てる環境が充実していないから」「故郷に戻るため」の割合が高くなっています。



【子どもの有無別】

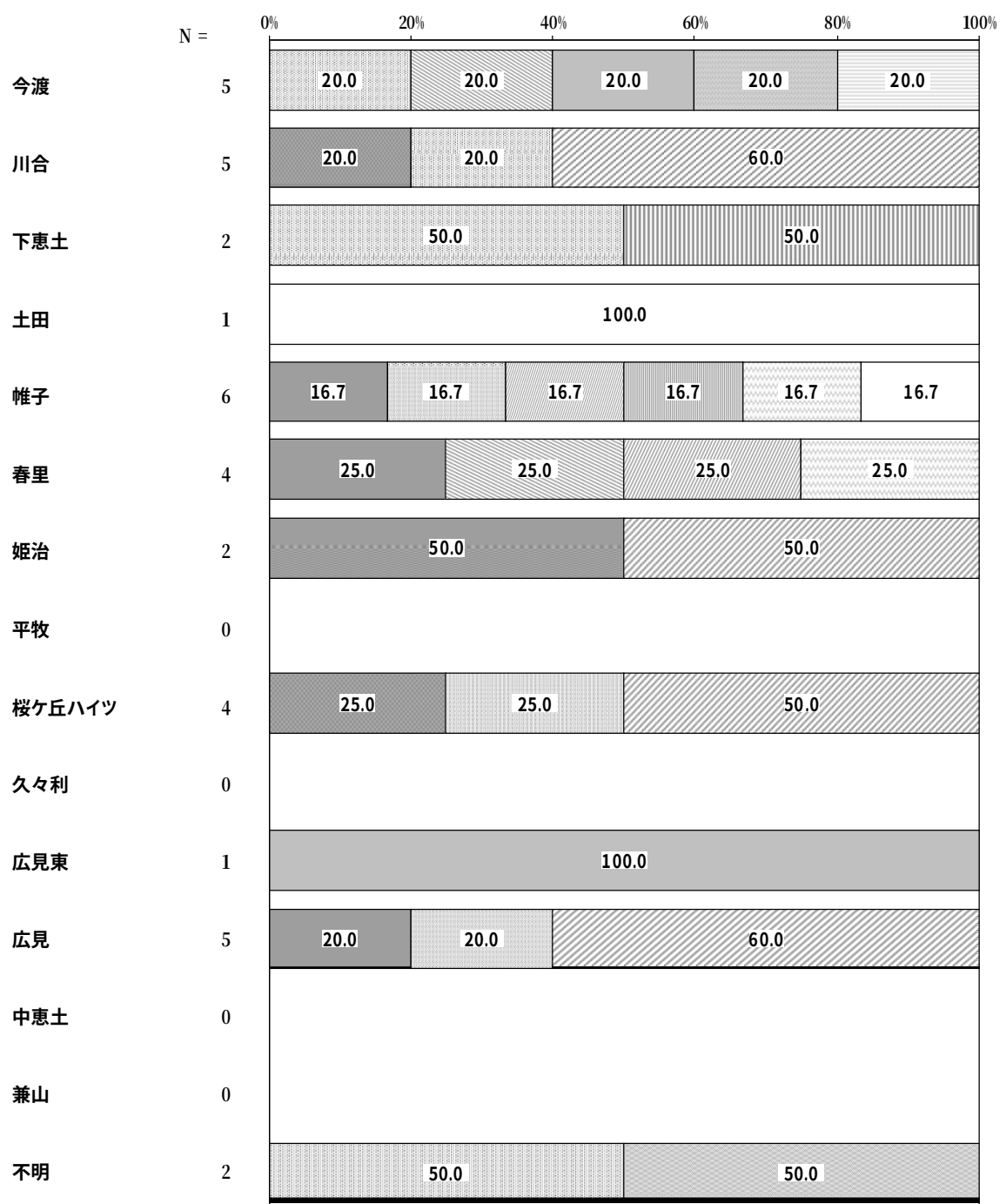
子どもの有無別でみると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で「進学や仕事の事情(転勤等)から」「子どもを産み・育てる環境が充実していないから」「故郷に戻るため」の割合が高くなっています。また、子どもがいる人に比べ、子どもがいない人で「可児市に働く場所がないから」「通学・通勤に不便だから」「娯楽や遊ぶ施設がないから」の割合が高くなっています。



【居住地区別】

居住地区別でみると、有効回答数が少ないため、コメントはひかえます。

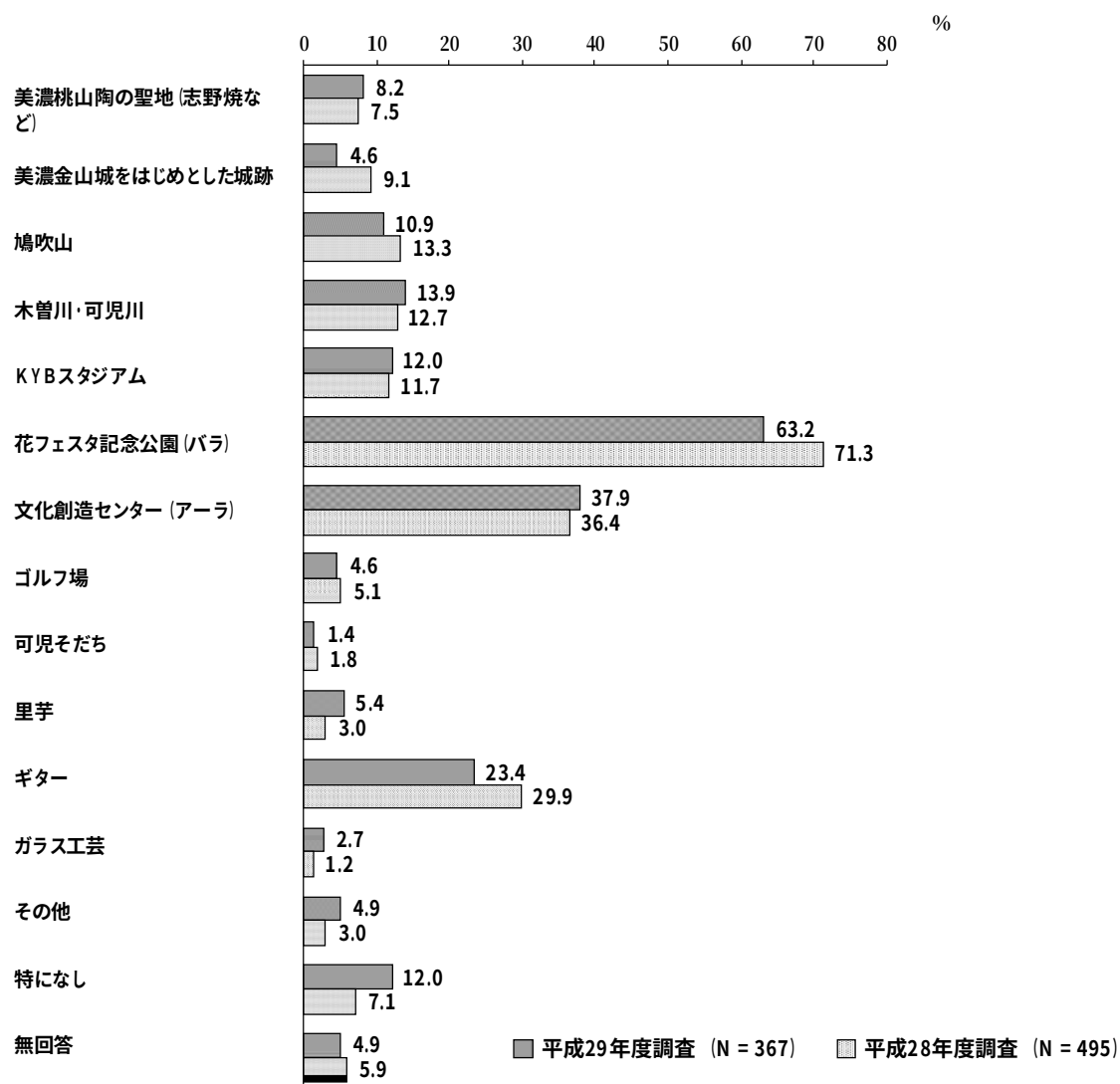
- 可児市に働く場所がないから
- ▨ 進学や仕事の事情(転勤等) から
- ▧ 通学・通勤に不便だから
- 買物など生活するのに不便だから
- ▨ 娯楽や遊ぶ施設がないから
- ▨ 親との同居や結婚等の事情から
- ▨ 子どもを産み・育てる環境が充実していないから
- 保健・医療体制が整っていないから
- ▨ 障がい者福祉、高齢者福祉が充実していないから
- 故郷に戻るため
- ▨ その他
- 無回答



問 16 可児市の自慢できる地域資源（観光施設・特産品など）を次の中から3つまで選んでください。

「花フェスタ記念公園（バラ）」の割合が 63.2%と最も高く、次いで「文化創造センター（ア－ラ）」の割合が 37.9%、「ギター」の割合が 23.4%となっています。

平成 28 年度調査 と比較すると、「花フェスタ記念公園（バラ）」「ギター」の割合が減少しています。



【性 別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「木曽川・可児川」「ゴルフ場」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「花フェスタ記念公園（バラ）」「文化創造センター（アーラ）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	美濃桃山陶の聖地（志野焼など）	美濃金山城をはじめとした城跡	鳩吹山	木曽川・可児川	KYBスタジアム	花フェスタ記念公園（バラ）	文化創造センター（アーラ）	ゴルフ場	可児そだち	里芋	ギター	ガラス工芸	その他	特になし	無回答
男性	158	7.6	5.1	13.3	17.1	12.0	60.1	32.9	8.2	1.3	4.4	25.3	1.9	3.8	12.7	5.1
女性	209	8.6	4.3	9.1	11.5	12.0	65.6	41.6	1.9	1.4	6.2	22.0	3.3	5.7	11.5	4.8

【年代別】

年代別でみると、年代が高くなるにつれ「花フェスタ記念公園（バラ）」の割合が高くなっています。また、年代が低くなるにつれ「KYBスタジアム」「文化創造センター（アーラ）」「ガラス工芸」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	美濃桃山陶の聖地（志野焼など）	美濃金山城をはじめとした城跡	鳩吹山	木曽川・可児川	KYBスタジアム	花フェスタ記念公園（バラ）	文化創造センター（アーラ）	ゴルフ場	可児そだち	里芋	ギター	ガラス工芸	その他	特になし	無回答
10 歳代	47	6.4	4.3	12.8	10.6	17.0	59.6	51.1	—	2.1	4.3	25.5	6.4	4.3	10.6	8.5
20 歳代	135	9.6	4.4	8.9	10.4	14.1	62.2	40.7	3.7	—	5.2	19.3	3.0	4.4	10.4	5.2
30 歳代	185	7.6	4.9	11.9	17.3	9.2	64.9	32.4	6.5	2.2	5.9	25.9	1.6	5.4	13.5	3.8

【居住地区別】

居住地区別でみると、いずれの地区でも「花フェスタ記念公園（バラ）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	美濃桃山陶の聖地 （志野焼など）	美濃金山城をはじ めとした城跡	鳩吹山	木曾川・可児川	KYBスタジアム	花フェスタ記念公 園（バラ）	文化創造センタ ー（アーラ）	ゴルフ場	可児そだち	里芋	ギター	ガラス工芸	その他	特になし	無回答
今渡	34	5.9	2.9	8.8	23.5	17.6	58.8	29.4	8.8	2.9	5.9	26.5	2.9	5.9	8.8	8.8
川合	26	7.7	3.8	15.4	19.2	19.2	46.2	38.5	3.8	—	3.8	19.2	—	—	11.5	15.4
下恵土	38	10.5	2.6	5.3	21.1	5.3	60.5	50.0	5.3	—	10.5	36.8	5.3	2.6	10.5	2.6
土田	30	10.0	3.3	10.0	16.7	16.7	66.7	40.0	—	—	3.3	10.0	—	6.7	13.3	3.3
帷子	60	8.3	5.0	16.7	21.7	13.3	61.7	33.3	6.7	1.7	8.3	18.3	—	3.3	15.0	5.0
春里	24	—	—	25.0	8.3	12.5	62.5	41.7	4.2	—	—	25.0	12.5	8.3	4.2	8.3
姫治	14	7.1	—	—	7.1	7.1	71.4	50.0	—	—	—	21.4	—	—	14.3	7.1
平牧	14	21.4	—	7.1	7.1	7.1	78.6	57.1	7.1	7.1	14.3	50.0	14.3	—	—	—
桜ヶ丘ハイツ	37	13.5	—	2.7	5.4	5.4	70.3	27.0	2.7	2.7	8.1	13.5	—	10.8	13.5	5.4
久々利	3	—	33.3	—	—	—	66.7	33.3	—	—	—	—	—	—	33.3	—
広見東	8	25.0	12.5	—	12.5	12.5	87.5	62.5	—	—	—	37.5	—	12.5	—	—
広見	31	3.2	9.7	16.1	6.5	16.1	67.7	41.9	6.5	—	—	29.0	6.5	—	12.9	—
中恵土	16	12.5	6.3	18.8	6.3	6.3	75.0	37.5	—	6.3	6.3	31.3	—	12.5	12.5	—
兼山	5	—	40.0	—	—	20.0	20.0	40.0	20.0	—	—	20.0	—	20.0	20.0	—
不明	22	—	4.5	9.1	9.1	4.5	54.5	22.7	—	—	4.5	22.7	—	4.5	18.2	4.5

【居住年数別】

居住年数別でみると、居住年数に関わらず「花フェスタ記念公園（バラ）」の割合が高くなっています。

単位：％

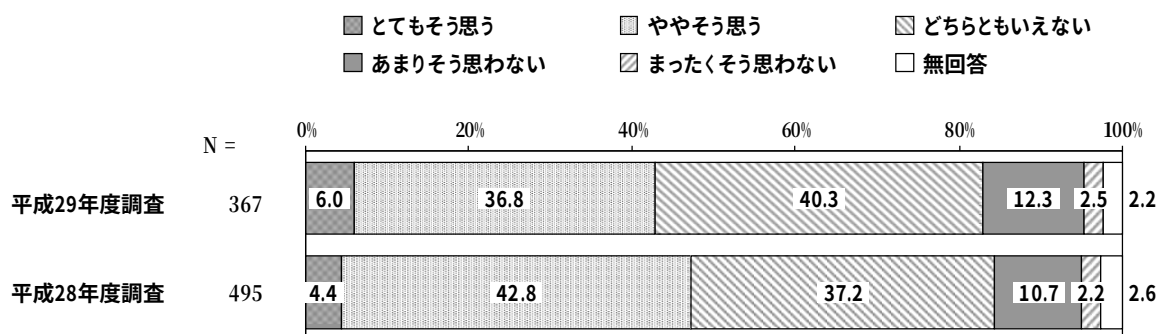
区分	有効回答数（件）	美濃桃山陶の聖地 （志野焼など）	美濃金山城をはじ めとした城跡	鳩吹山	木曾川・可児川	KYBスタジアム	花フェスタ記念公 園（バラ）	文化創造センタ ー（アール）	ゴルフ場	可児そだち	里芋	ギター	ガラス工芸	その他	特になし	無回答
3年未満	53	9.4	3.8	7.5	9.4	7.5	60.4	32.1	5.7	—	1.9	17.0	1.9	7.5	9.4	5.7
3年以上5年未満	28	3.6	—	7.1	7.1	10.7	60.7	42.9	7.1	—	—	25.0	3.6	3.6	14.3	3.6
5年以上10年未満	37	2.7	13.5	8.1	21.6	13.5	64.9	29.7	2.7	2.7	5.4	21.6	—	—	21.6	2.7
10年以上20年未満	51	7.8	2.0	9.8	9.8	13.7	62.7	43.1	2.0	2.0	5.9	15.7	3.9	5.9	15.7	5.9
20年以上	67	11.9	1.5	10.4	16.4	9.0	65.7	37.3	6.0	1.5	6.0	26.9	3.0	4.5	10.4	6.0
生まれてからずっと	131	8.4	6.1	14.5	15.3	14.5	63.4	39.7	4.6	1.5	7.6	27.5	3.1	5.3	9.2	4.6

(5) 子育て環境について

問 17 可児市は、子育てしやすい環境だと思いますか。(○は1つだけ)

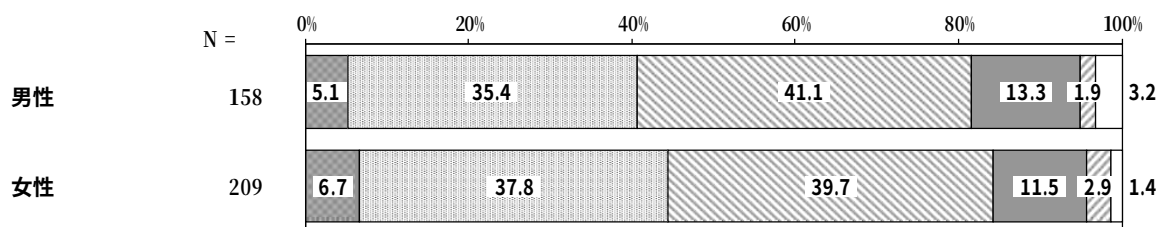
「とてもそう思う」と「ややそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が 42.8%、「あまりそう思わない」と「まったくそう思わない」を合わせた“そう思わない”の割合が 14.8%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、「ややそう思う」の割合が減少しています。



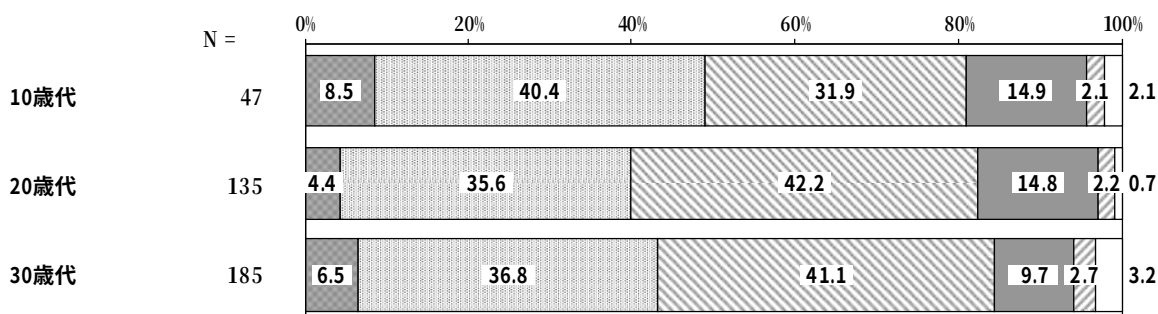
【性 別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



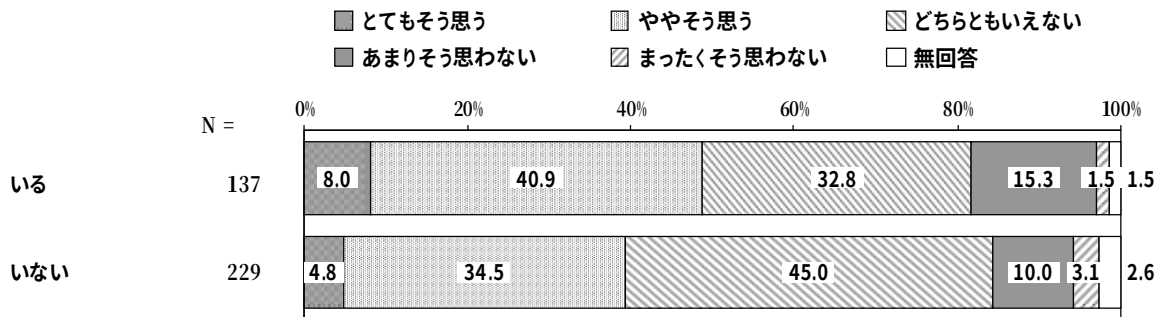
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、10 歳代で“そう思う”の割合が高く、約 5 割となっています。



【子どもの有無別】

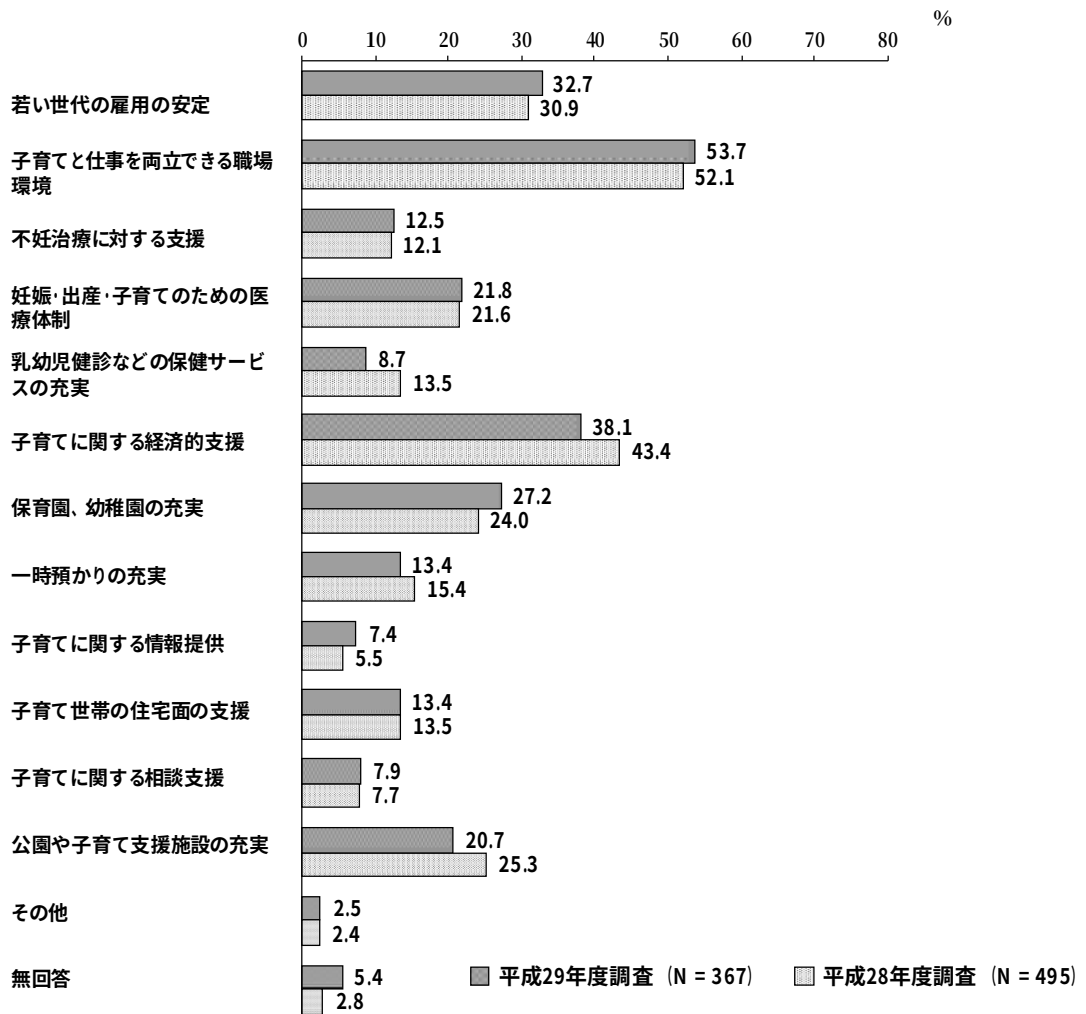
子どもの有無別でみると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で“そう思う”の割合が高く、約5割となっています。



問 18 妊娠・出産・子育てのために、市は今後どのようなことを重視した支援策に取り組むべきだと思いますか。次の中から選んでください。(○は3つまで)

「子育てと仕事を両立できる職場環境」の割合が 53.7%と最も高く、次いで「子育てに関する経済的支援」の割合が 38.1%、「若い世代の雇用の安定」の割合が 32.7%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、「子育てに関する経済的支援」の割合が減少しています。



【性 別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「若い世代の雇用の安定」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「子育てと仕事を両立できる職場環境」「不妊治療に対する支援」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	若い世代の雇用の安定	子育てと仕事を両立できる職場環境	不妊治療に対する支援	妊娠・出産・子育てのための医療体制	乳幼児健診などの保健サービスの充実	子育てに関する経済的支援	保育園、幼稚園の充実	一時預かりの充実	子育てに関する情報提供	子育て世帯の住宅面の支援	子育てに関する相談支援	公園や子育て支援施設の充実	その他	無回答
男性	158	43.7	48.7	6.3	20.3	7.0	37.3	29.7	12.0	5.7	13.3	5.1	19.0	1.9	5.7
女性	209	24.4	57.4	17.2	23.0	10.0	38.8	25.4	14.4	8.6	13.4	10.0	22.0	2.9	5.3

【年代別】

年代別でみると、年代が高くなるにつれ「不妊治療に対する支援」「子育てに関する情報提供」「子育てに関する相談支援」「公園や子育て支援施設の充実」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	若い世代の雇用の安定	子育てと仕事を両立できる職場環境	不妊治療に対する支援	妊娠・出産・子育てのための医療体制	乳幼児健診などの保健サービスの充実	子育てに関する経済的支援	保育園、幼稚園の充実	一時預かりの充実	子育てに関する情報提供	子育て世帯の住宅面の支援	子育てに関する相談支援	公園や子育て支援施設の充実	その他	無回答
10 歳代	47	40.4	40.4	4.3	19.1	8.5	31.9	29.8	10.6	6.4	12.8	6.4	14.9	2.1	12.8
20 歳代	135	40.0	57.8	8.9	18.5	5.9	43.7	29.6	14.8	6.7	10.4	7.4	17.0	1.5	5.9
30 歳代	185	25.4	54.1	17.3	24.9	10.8	35.7	24.9	13.0	8.1	15.7	8.6	24.9	3.2	3.2

【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で「不妊治療に対する支援」「子育てに関する経済的支援」「子育て世帯の住宅面の支援」「公園や子育て支援施設の充実」の割合が高くなっています。また、子どもがいる人に比べ、子どもがいない人で「若い世代の雇用の安定」「妊娠・出産・子育てのための医療体制」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	若い世代の雇用の安定	子育てと仕事を両立できる職場環境	不妊治療に対する支援	妊娠・出産・子育てのための医療体制	乳幼児健診などの保健サービス	子育てに関する経済的支援	保育園、幼稚園の充実	一時預かりの充実	子育てに関する情報提供	子育て世帯の住宅面の支援	子育てに関する相談支援	公園や子育て支援施設の充実	その他	無回答
いる	137	15.3	51.8	16.1	16.8	10.9	46.7	26.3	11.7	7.3	17.5	8.8	34.3	3.6	5.1
いない	229	42.8	55.0	10.5	24.9	7.4	33.2	27.9	14.4	7.0	10.5	7.4	12.7	1.7	5.7

【職業別】

職業別でみると、他に比べ、家事専業で「子育てに関する経済的支援」「公園や子育て支援施設の充実」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	若い世代の雇用の安定	子育てと仕事を両立できる職場環境	不妊治療に対する支援	妊娠・出産・子育てのための医療体制	乳幼児健診などの保健サービス	子育てに関する経済的支援	保育園、幼稚園の充実	一時預かりの充実	子育てに関する情報提供	子育て世帯の住宅面の支援	子育てに関する相談支援	公園や子育て支援施設の充実	その他	無回答
正社員・正職員	164	34.8	54.3	11.6	23.8	9.1	38.4	35.4	14.0	6.7	14.0	6.7	17.7	1.2	3.7
アルバイト・パート	45	33.3	53.3	17.8	15.6	4.4	40.0	8.9	6.7	11.1	20.0	13.3	22.2	6.7	6.7
派遣社員	4	75.0	75.0	—	25.0	—	—	25.0	25.0	—	25.0	—	—	25.0	—
嘱託・契約社員	5	40.0	100.0	—	20.0	—	20.0	20.0	20.0	—	—	20.0	40.0	—	—
自営業主・家族従業員	9	44.4	44.4	22.2	22.2	—	44.4	22.2	11.1	—	22.2	22.2	33.3	—	—
内職	3	33.3	100.0	—	—	—	33.3	—	—	33.3	33.3	33.3	33.3	—	—
家事専業	46	6.5	56.5	19.6	28.3	17.4	45.7	15.2	8.7	6.5	13.0	6.5	39.1	4.3	6.5
学生	74	35.1	43.2	6.8	18.9	8.1	37.8	28.4	12.2	9.5	9.5	5.4	14.9	1.4	10.8
無職	8	75.0	87.5	25.0	25.0	—	25.0	37.5	12.5	—	—	—	12.5	—	—
その他	6	16.7	66.7	16.7	16.7	—	16.7	50.0	66.7	—	—	16.7	—	—	—

【定住意向別】

定住意向別でみると、他に比べ、できれば可児市以外に引越したい（引越し予定）で「一時預かりの充実」「子育て世帯の住宅面の支援」の割合が高くなっています。

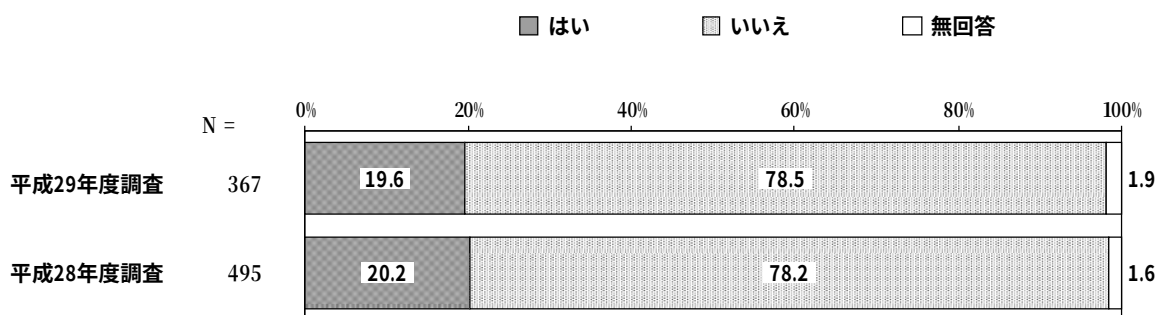
単位：％

区分	有効回答数（件）	若い世代の雇用の安定	子育てと仕事を両立できる職場環境	不妊治療に対する支援	妊娠・出産・子育てのための医療体制	乳幼児健診などの保健サービスの充実	子育てに関する経済的支援	保育園、幼稚園の充実	一時預かりの充実	子育てに関する情報提供	子育て世帯の住宅面の支援	子育てに関する相談支援	公園や子育て支援施設の充実	その他	無回答
ずっと可児市に住みたい	128	31.3	60.2	17.2	21.1	10.2	39.8	25.0	8.6	3.1	14.1	10.2	24.2	4.7	4.7
可児市外へ出ても、将来的には可児市へ戻りたい	43	39.5	62.8	4.7	34.9	16.3	46.5	25.6	7.0	9.3	4.7	16.3	20.9	—	2.3
できれば可児市以外に引越したい（引越し予定）	37	35.1	45.9	2.7	16.2	—	35.1	32.4	21.6	10.8	16.2	—	27.0	2.7	2.7
どちらともいえない	146	30.8	50.0	13.7	21.2	8.2	35.6	28.8	18.5	8.9	15.1	6.2	17.8	0.7	5.5

(6) 運動の推進について

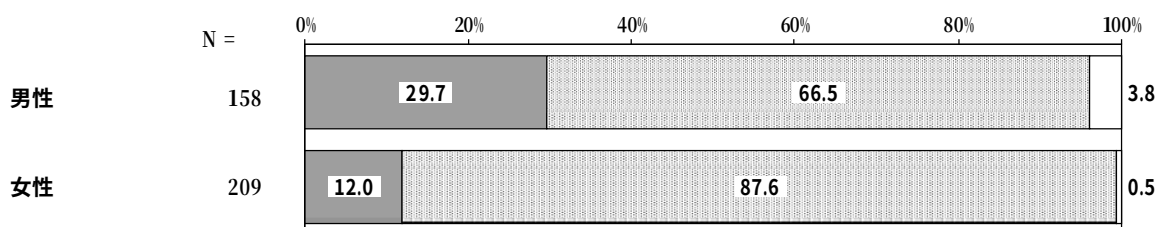
問 19 可児市では、1 回 30 分週 2 回のウォーキングを推奨する歩こう可児 302 運動や 1 人の市民が少なくとも 1 つのスポーツに親しむ一市民スポーツを推進しています。
あなたは、30 分以上の運動を週 2 回以上、1 年以上続けていますか。

「はい」の割合が 19.6%、「いいえ」の割合が 78.5%となっています。
平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



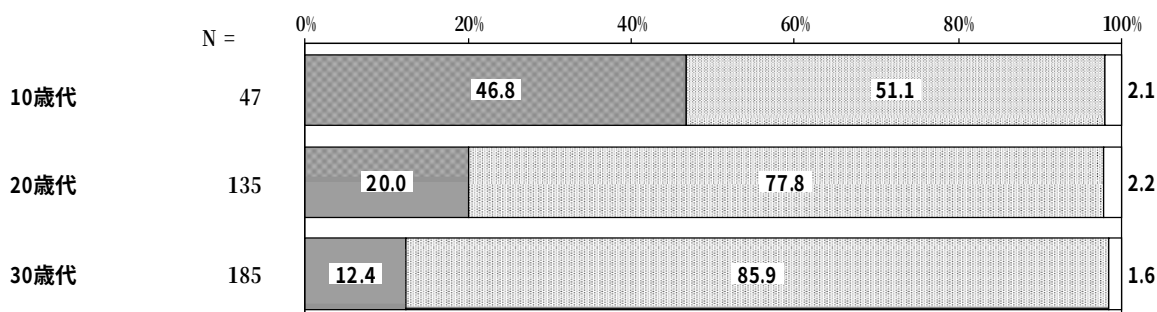
【性 別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「はい」の割合が高くなっています。



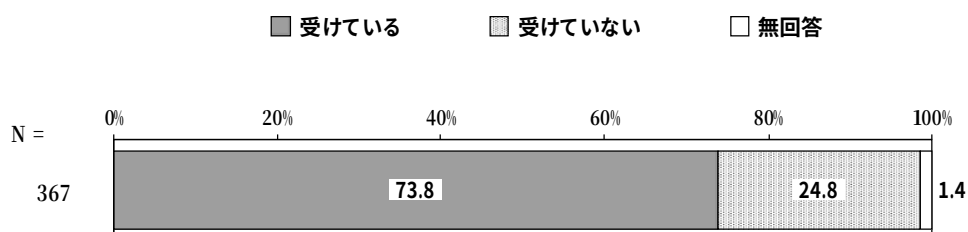
【年代別】

年代別でみると、年代が低くなるにつれ「はい」の割合が高くなっており、10 歳代で 4 割台半ばとなっています。



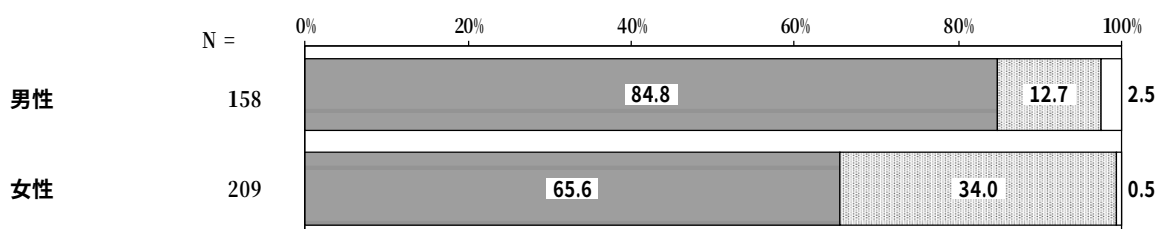
問 20 あなたは、定期的に健康診査を受けていますか。

「受けている」の割合が 73.8%、「受けていない」の割合が 24.8%となっています。



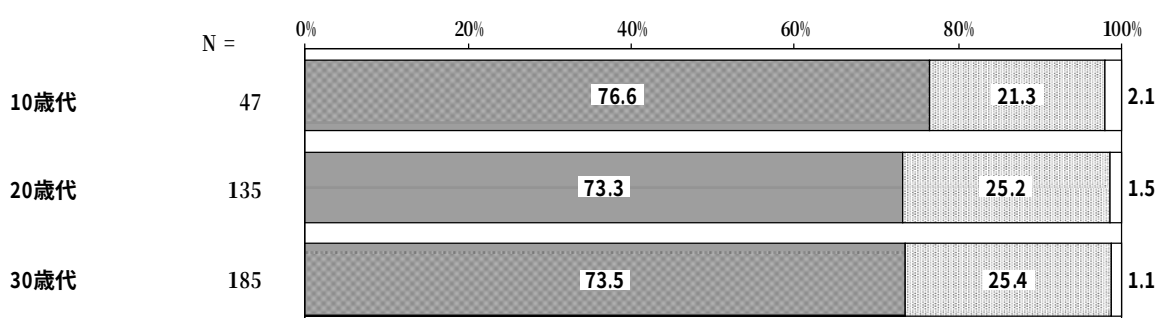
【性 別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「受けている」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「受けていない」の割合が高くなっています。



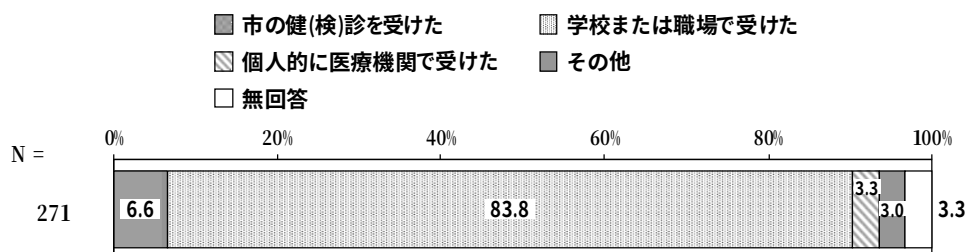
【年代別】

年代別でみると、大きな差異はみられません。



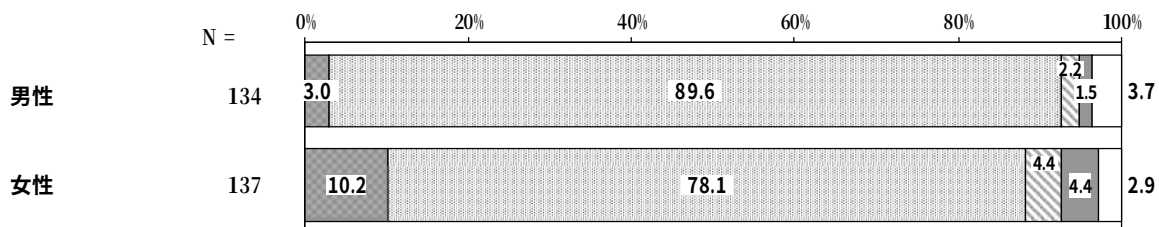
1. 受けている

「学校または職場で受けた」の割合が83.8%と最も高くなっています。



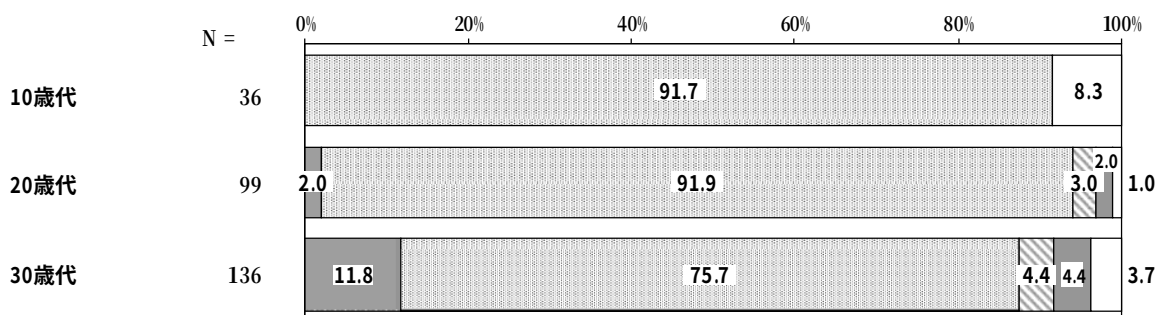
【性 別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「学校または職場で受けた」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「市の健(検)診を受けた」の割合が高くなっています。



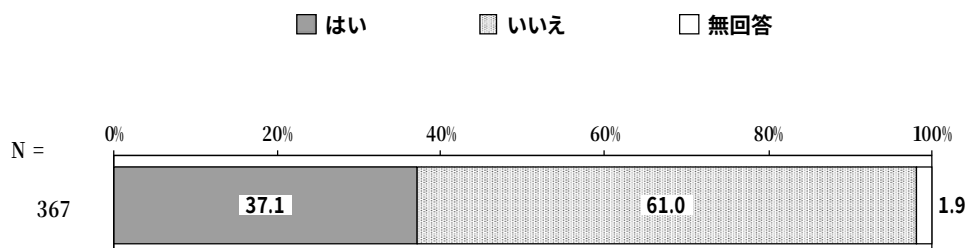
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、10歳代、20歳代で「学校または職場で受けた」の割合が高くなっており、9割を超えています。



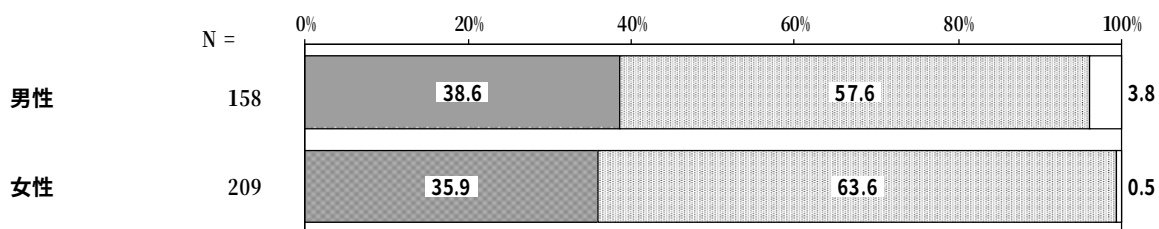
問 21 家庭で防災に関する取り組みをしていますか。

「はい」の割合が 37.1%、「いいえ」の割合が 61.0%となっています。



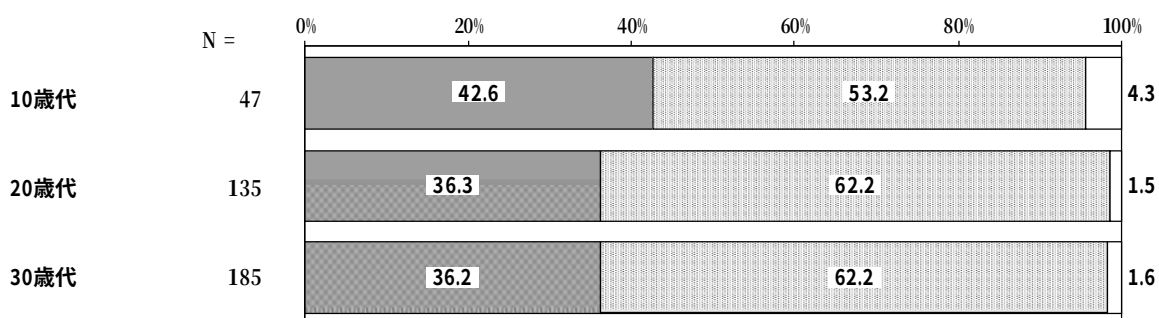
【性 別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「いいえ」の割合が高くなっています。



【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、10 歳代で「はい」の割合が高くなっており、4 割を超えています。



**可児市市民意識アンケート調査
調査結果報告書**

平成 29 年 9 月

発行：可児市 企画部 総合政策課